旧小西家住宅保存修理工事

設計図書

令和８年９月

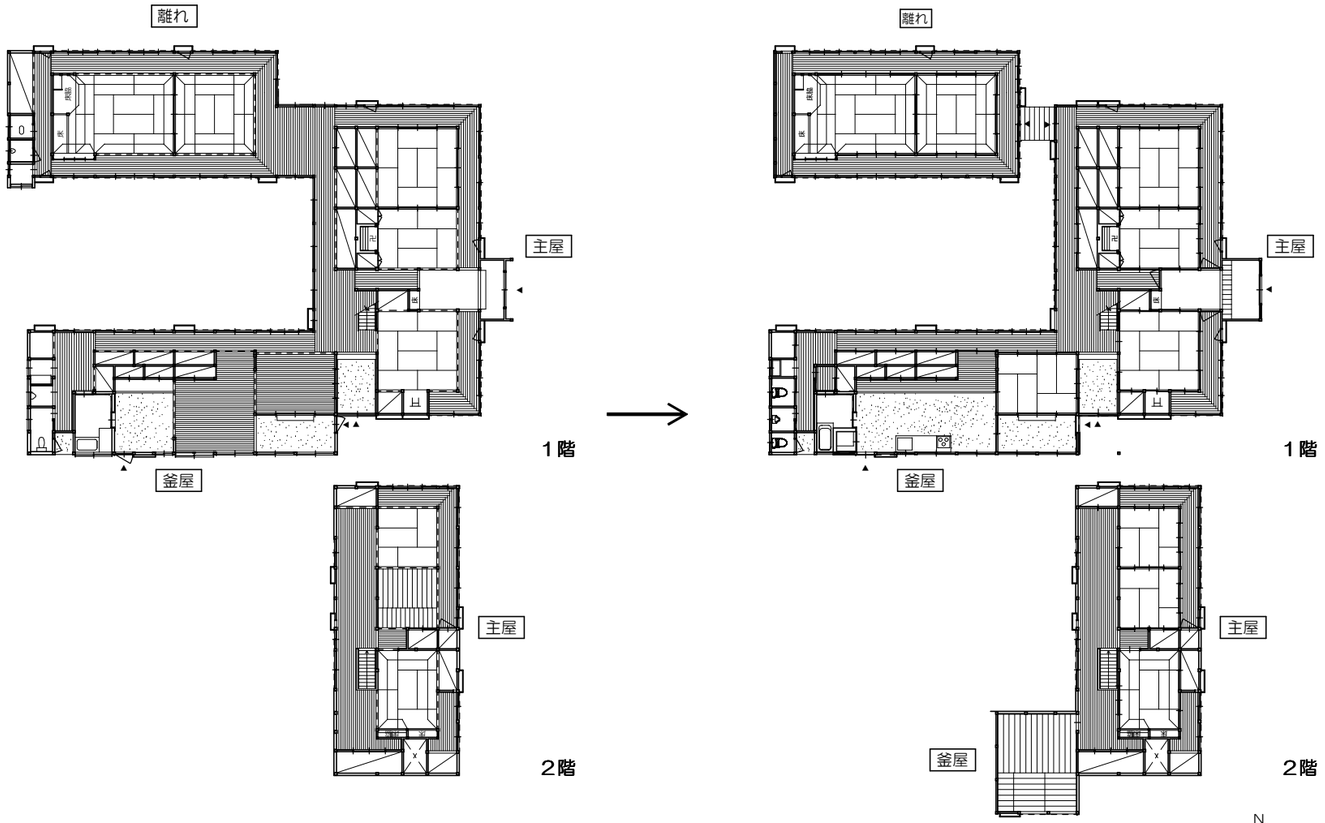
㈱都市環境研究所九州事務所

番号	図面名	縮尺	番号	図面名	縮尺	番号	図面名	縮尺
【建　築】			A２８	現況　１・２階平面図	１/１００	【電　気】		
A１	設計概要書／付近見取図		A２９	現況　基礎伏図	１/１００	E１	特記仕様書（電気設備）	
A２	特記仕様書		A３０	現況　床伏図	１/１００	E２	照明器具・分電盤リスト	
A３	仕上表		A３１	現況　桁伏図	１/１００	E３	幹線・空調電源設備平面図	１/１００
A４	計画　配置図／敷地面積求積図	１/４００	A３２	現況　梁伏図	１/１００	E４	電灯設備平面図	１/１００
A５	計画　１階平面図	１/１００	A３３	現況　小屋伏図	１/１００	E５	コンセント設備平面図	１/１００
A６	計画　２階平面図／面積求積図	１/１００	A３４	現況　屋根伏図	１/１００	E６	弱電設備平面図	１/１００
A７	計画　基礎伏図	１/１００	A３５	現況　軒天井見上図	１/１００			
A８	計画　床伏図	１/１００	A３６	現況　南側・西側立面図	１/１００	【機　械】		
A９	計画　桁伏図	１/１００	A３７	現況　北側・東側立面図	１/１００	M１	特記仕様書（機械設備）	
A１０	計画　梁伏図	１/１００	A３８	現況　釜屋東側・離れ西側立面図	１/１００	M２	衛生設備・換気設備・空調設備凡例	
A１１	計画　小屋伏図	１/１００	A３９	現況　主屋　断面詳細図	１/１００	M３	給水設備平面図	１/１００
A１２	計画　屋根伏図	１/１００	A４０	現況　釜屋　断面詳細図	１/１００	M４	排水設備平面図	１/１００
A１３	計画　軒天井見上図	１/１００	A４１	現況　離れ　断面詳細図	１/１００	M５	空調換気設備平面図	１/１００
A１４	計画　主屋　立面図	１/１００	A４２	現況　断面図１	１/１００			
A１５	計画　釜屋　立面図	１/１００	A４３	現況　断面図２	１/１００			
A１６	計画　離れ　立面図	１/１００	A４４	現況　主屋　展開図	１/１００			
A１７	計画　主屋　断面詳細図	１/１００	A４５	現況　釜屋　展開図	１/１００			
A１８	計画　釜屋　断面詳細図	１/１００	A４６	現況　離れ　展開図	１/１００			
A１９	計画　離れ　断面詳細図	１/１００	L１	撤去平面図	１/２００			
A２０	計画　断面図１	１/１００	L２	施設平面図	１/２００			
A２１	計画　断面図２	１/１００	L３	凡例表				
A２２	計画　主屋　展開図	１/１００	L４	詳細図　その１				
A２３	計画　釜屋　展開図	１/１００	L５	詳細図　その２				
A２４	計画　離れ　展開図	１/１００	L６	詳細図　その３				
A２５	計画　建具配置図	１/１００	L７	詳細図　その４				
A２６	計画　建具姿図	１/４０	L８	詳細図　その５				
A２７	計画　仮設図	１/１００	L９	詳細図　その６				

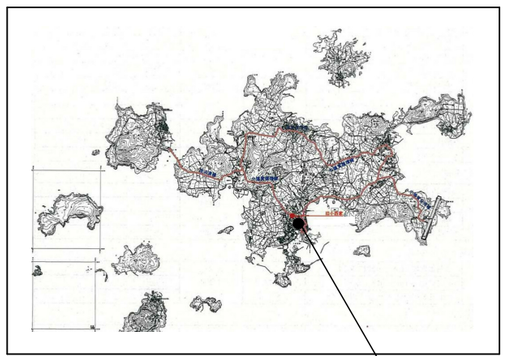
■設計概要書

1．工事名称　　旧小西家住宅保存修理工事
2．建築主　　小値賀町
3．地番　　長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷上ノ坂１９８４番地
4．主要用途　　住宅
5．工事種別　　改修、耐震改修、その他（保存・復元）
6．建物構造　　主屋･釜屋：木造二階建
　　釜屋：木造平屋建
7．面積規模　　計画　延床面積　主屋：２１５．３９㎡
　　釜屋：１１３．８６㎡
　　離れ：　７２．２６㎡
　　合計：４０１．５１㎡
8．工事期間　　――――（９ヵ月）
9．工事内容

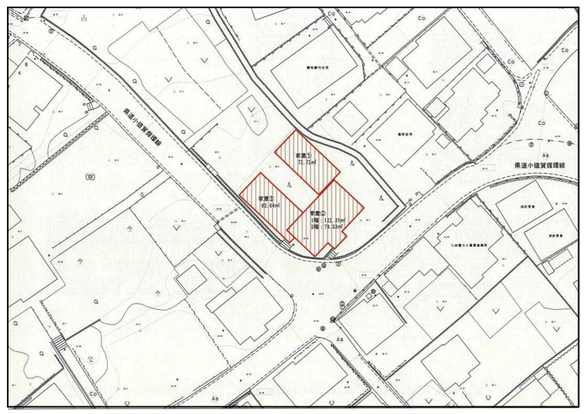
A-1 直接仮設工事
・外部足場、養生ほか
A-2 解体工事
・主屋・離れ繋ぎ、主屋南玄関
・屋根、野地板、一部庇、外壁・内壁ほか
・不陸調整
A-3 基礎工事
・ベタ基礎新設、新規柱礎石、エコ給湯器基礎整備
A-4 屋根工事
・瓦葺替、小庇ガルバリウム鋼板葺、樋整備
A-5 木工事
・内外部修理、復原、整備
A-6 左官工事
・内外壁漆喰塗壁塗替
A-7 塗装工事
・木部塗装
A-8 木製建具工事
・内外部木製建具修理、整備
A-9 金物工事
・釘隠し整備、主屋・離れガルバリウム鋼板製樋整備
A-10 内装工事
・風呂・便所・手洗い床ビニルタイル仕上げ
・風呂の洗い場と窓敷居高腰壁タイル張り仕上げ
・畳整備、表替え
A-11 雑工事
・什器整備畳整備、防蟻処理
E 電気設備工事
・幹線・空調電源、照明、コンセント、弱電
M 機械設備工事
・空調、換気扇、給排水



設計概要図（1/300）



位置図



配置図

旧小西家住宅
長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷上ノ坂１９８４番地

付近見取図

単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：300	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 A１
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.2	図面名称	設計概要書／付近見取図		

長崎県営繕工事特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1．工事名称　旧小西家住宅保存修理工事

2．工事場所　長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷地内

3．工事内容　新営　（　○ 新築　・　○ 増築　・　○ 改築　）　・　● 改修　・　○ （　　）

（1） 新営工事

	1	2	3	4	5	6	7	8
建物名称								
用　途								
構　造								
階　数								
建築面積								
延床面積								
階								
階								
階								
階								
階								
階								
階								
階								
計								
	耐震安全性の分類（官庁施設の総合耐震・対津波計画基準による）							
構造体	○ Ⅰ類 ○ Ⅱ類 ○ Ⅲ類	○ Ⅰ類 ○ Ⅱ類 ○ Ⅲ類	○ Ⅰ類 ○ Ⅱ類 ○ Ⅲ類	○ Ⅰ類 ○ Ⅱ類 ○ Ⅲ類	○ Ⅰ類 ○ Ⅱ類 ○ Ⅲ類	○ Ⅰ類 ○ Ⅱ類 ○ Ⅲ類	○ Ⅰ類 ○ Ⅱ類 ○ Ⅲ類	○ Ⅰ類 ○ Ⅱ類 ○ Ⅲ類
建築非構造部材	○ A類 ○ B類	○ A類 ○ B類	○ A類 ○ B類	○ A類 ○ B類	○ A類 ○ B類	○ A類 ○ B類	○ A類 ○ B類	○ A類 ○ B類

（2） 改修工事

	1	2	3	4	5	6	7	8
建物名称	旧小西家住宅							
用　途	住宅							
階　数	2階							
延床面積	401.51㎡							
	○ 防水 ● 外壁 ● 建具 ● 塗装 ○ 耐震 ● その他 ○	○ 防水 ○ 外壁 ○ 建具 ○ 塗装 ○ 耐震 ○ その他 ○	○ 防水 ○ 外壁 ○ 建具 ○ 塗装 ○ 耐震 ○ その他 ○	○ 防水 ○ 外壁 ○ 建具 ○ 塗装 ○ 耐震 ○ その他 ○	○ 防水 ○ 外壁 ○ 建具 ○ 塗装 ○ 耐震 ○ その他 ○	○ 防水 ○ 外壁 ○ 建具 ○ 塗装 ○ 耐震 ○ その他 ○	○ 防水 ○ 外壁 ○ 建具 ○ 塗装 ○ 耐震 ○ その他 ○	○ 防水 ○ 外壁 ○ 建具 ○ 塗装 ○ 耐震 ○ その他 ○
改修内容	昭和8年に建築された当該物件は建物全面に渡り、老朽化が進んでいる。現状保存を基本とするが、外壁や屋根、ならびに内壁、柱、梁などの各部材のうち、表面や雨漏りによる調査など、耐久性に問題がある場合は新たな部材への交換も含めた修繕を行う。							

4．週休２日促進工事

● 適用しない
○ 適用する　（　○ 発注者指定方式　・　○ 受注者希望方式　）　なお、適用する場合は「現場説明書」週休２日促進工事によること。

5．工事の余裕期間

※ 適用しない
● 適用する　（　● 発注者指定方式　・　○ 任意着手方式　）　なお、適用する場合は「現場説明書」余裕期間制度活用工事によること。

6．工事範囲　（●印のついた工事種目が、本工事の工事範囲である。）

	建築工事（工事種目）	建物番号 1	2	3	4	5	6	7		屋外
1	仮設工事	●								
2	土工事	●								
3	地業工事	●								
4	鉄筋工事	●								
5	コンクリート工事	●								
6	鉄骨工事									
7	コンクリートブロック、ALCパネル及び押出成形セメント板工事									
8	防水工事									
9	石工事	●								
10	タイル工事	●								
11	木工事	●								
12	屋根及びとい工事	●								
13	金属工事	●								
14	左官工事	●								
15	建具工事	●								
16	カーテンウォール工事									
17	塗装工事	●								
18	内装工事	●								
19	ユニット及びその他工事	●								
20	排水工事									
21	舗装工事	●								
22	植栽及び屋上緑化工事	●								
23	その他									
24										
25										
26										

	電気設備工事（工事種目）	建物番号 1	2	3	4	5	6	7		屋外
1	電灯設備	●								
2	動力設備									
3	電気自動車用充電設備									
4	電熱設備									
5	雷保護設備									
6	受変電設備									
7	電力貯蔵設備									
8	発電設備									
9	構内情報通信網設備	●								
10	構内交換設備	●								
11	情報表示設備									
12	映像・音響設備									
13	拡声設備									
14	誘導支援設備									
15	テレビ共同受信設備	●								
16	監視カメラ設備									
17	駐車場管制設備									
18	防犯・入退室管理設備									
19	火災報知設備									
20	中央監視制御設備									
21	構内配電線路									
22	構内通信線路									
23	その他									

	機械設備工事（工事種目）	建物番号 1	2	3	4	5	6	7		屋外
1	空気調和設備	●								
2	換気設備	●								
3	排煙設備									
4	自動制御設備									
5	衛生器具設備	●								
6	給水設備	●								
7	排水設備	●								
8	給湯設備									
9	消火設備									
10	ガス設備									
11	雨水利用設備									
12	撤去工事									
13	浄化槽設備									
14	厨房設備									
15	ごみ処理設備									

設備概要　（●印のついたものを適用する）

方式及び種別	設備概要
空調方式	○ （　　）
主要熱源機器	○ （　　）
自動制御方式	○ 電気式　・　○ 電子式　・　○ デジタル式
給水方式	○ タンク方式　（○ 高置タンク方式　・　○ ポンプ直結方式　） ● 直結方式　（● 水道直結方式　・　○ 水道直結増圧方式　）
排水方式	建物内の汚水と雑排水 ○ 合流式（　　）系統 ● 分流式 ポンプ排水 ○ あり　（○ 汚物　・　○ 雑排水　・　○ 湧水　） ○ なし 排水槽 ○ あり　（計画容量　　㎥） ○ なし 建物外放流先 （1） 汚水　（● 直放流下水管　・　○ 浄化槽　） （2） 雑排水　（● 直放流下水管　・　○ 浄化槽　）
消火設備の種類	○ 屋内消火栓設備　・　○ スプリンクラー設備　・　○ 泡消火設備 ○ 連結散水設備　・　○ 連結送水管　・　○ 不活性ガス消火設備 ○ （　　）
ガスの種類	○ 都市ガス 種別　（　　）　供給圧力　（　　）Pa 高位発熱量　（　　）MJ/N㎥　供給事業者名 低位発熱量　（　　）MJ/N㎥　（　　） ○ 液化石油ガス

（注意）改修の場合は、既存概要を示す

	昇降機設備工事（工事種目）	建物番号 1	2	3	4	5	6	7		屋外
1	一般エレベーター									
2	一般油圧エレベーター									
3	普及型エレベーター									
4	非常用エレベーター									
5	機械室レスエレベーター									

Ⅱ　工事仕様

1．特記事項

（1） 章、項目は、番号の前に●印のついたものを適用する。適用しない項目等は、斜線、又は無印とする。

（2） 特記事項は、●印のついたものを適用する。
●印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
●印と※印がついた場合は、両方を適用する。
※印を適用しない場合は、○印に変えること。

（3） 本特記仕様書に選択項目がない場合は、空欄等に仕様等を記載する。

（4） 各章の特記事項にある（　　）内記載番号は下記による。
（建○、○、○）内の表示番号は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）の当該項目・図または表を示す。
（電○、○、○）内の表示番号は、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）の当該項目・図または表を示す。
（機○、○、○）内の表示番号は、公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）の当該項目・図または表を示す。
（建改○、○、○）内の表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）の当該項目・図または表を示す。
（改電○、○、○）内の表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）の当該項目・図または表を示す。
（改機○、○、○）内の表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）の当該項目・図または表を示す。
（共○、○、○）内の表示番号は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）、（電気設備工事編）、（機械設備工事編）に共通の当該項目・図または表を示す。

（5） G　印は、長崎県の「環境物品調達方針」の特記調達品目を示す。

（6） 関係法令の改正等により（条例を含む）、工事内容が法令に抵触する恐れのあることを認識した場合には、その対応について監督職員と協議すること。

（7） 形状寸法の単位は、特記した場合を除き、ミリメートルとする。

2．適用基準等

（1） 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、次の基準による。
● 公共建築工事標準仕様書　（建築工事編）　［　最新版　］国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
● 公共建築工事標準仕様書　（電気設備工事編）　［　最新版　］〃
● 公共建築工事標準仕様書　（機械設備工事編）　［　最新版　］〃
● 公共建築改修工事標準仕様書　（建築工事編）　［　最新版　］〃
● 公共建築改修工事標準仕様書　（電気設備工事編）　［　最新版　］〃
● 公共建築改修工事標準仕様書　（機械設備工事編）　［　最新版　］〃
● 公共建築設備工事標準標準図　（電気設備工事編）　［　最新版　］〃
● 公共建築設備工事標準標準図　（機械設備工事編）　［　最新版　］〃
● 木造建築工事共通仕様書　［　最新版　］〃
● 建築工事標準詳細図　［　最新版　］〃
● 構内舗装・排水設計基準及び参考資料　［　最新版　］
● 長崎県建設工事共通仕様書　第１編（共通編）　第１章（総則）第１節（総則）

3．総論

・本工事は、文化財建造物の修理とする
・当設計図書における定義
修理：当初、中古を問わず、修理すること
復旧：現在の形を修理して、解体前に復すこと
復原：現在存在しないが、当初の形、材質、工法を推測してつくること
整備：新たな設計により、新しくつくること
・請負者は修理工事報告に必要な調査（痕跡調査を含む）を行う
・本工事は次の設計図書により施工し、内容に相違がある場合の優先順位は次の通り
1. 現場説明・質疑回答
2. 特記仕様書
3. 設計図書
4. 国土交通大臣官房庁営繕部監修『公共建築工事標準仕様書』『公共建築改修工事標準仕様書』『木造建築工事共通仕様書』、日本建築学会建築工事標準仕様書　最新版
5. ＪＩＳ等公共規格
・工事請負者は、設計図書にもとづいて施工計画書・施工図・原寸図を作成し、監督員と事前協議し、熟知の上着手する。疑義が生じた時は速やかに監督員に申し出て協議を行い、一方的解釈により施工しない。
・工事請負者は、監督員と協議の上、設計図書に記載がなくとも工事施工上必要な事項を請負金額の範囲内で施工する。現場の納り等によって生じる軽微の設計変更、請負者の見積落しによる工事金額増は認めない。微小でない設計変更の増減における単価は、全て契約書(内訳明細書)の単価に請負率を乗じた金額、経費は契約書（内訳明細書）の経費率に請負率を乗じた金額とする。
・監督員は材料検査、竣工検査、木材検査、建方検査ほか必要な検査を実施する。
・工事請負者から発注者および監督員への提出物は以下の通り。
・工事契約書写し、請負代金内訳書　（契約時）
・現場代理人、主任技術者届　（契約時）
・工程表　（契約時）
・組織表ならびに・協力業者一覧　（契約時）
・施工図、施工計画書　（各着工7日前）
・工事報告書（写真添付）　（月報）
・打合せ記録　（その都度）
・工事引渡書写し、竣工報告書、竣工手直し報告書（竣工時）
・竣工図、施工図製本各2部（竣工後30日以内）
・そのほか必要と考えられるもの
・工事中の損害保険（火災保険を含む）および近隣保証は工事請負者が負担する
・消防署ほか諸官庁への手続きは工事請負者が行う
・工事期間中、使用しない。
・工事竣工1年後に発注者、設計監理者、請負者は三者立会いのもとで定期点検を行う。材料の不良、施工の不完全による不具合は施工者が無償で修繕する。
・契約事項により火災保険に付さなければならない。工事目的物、工事材料（支給材料を含む）及び始期と終期は次の通りとする。
保険対象物：建築物
保険対象金額：請負金額
始期：着工前
終期：工期から1ヵ月後まで
ただし、次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。
1. 解体工事
2. 植栽工事
3. 外構工事
4. 火災の恐れのない工事
また、契約時に保険証券の写しを契約担当者に提出すること。
（補足）工期を延伸した場合には、保険の期間も延長すること。
なお、建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。

長崎県営繕工事特記仕様書（１）		建築士事務所名	都市環境研究所九州事務所一級建築士事務所 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号	工事名称	旧小西家保存修理工事		
設計年：令和8年9月	長崎県土木部建築課	設計者氏名	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	図面名称	建築・設備工事共通特記仕様書（1）	図面番号	A２－１

章	項目	特記事項
1 各章共通事項	● 1 工事実績情報への登録 (共 1.1.4)	登録する ● 工事請負代金が５００万円以上の場合 ○ 監督職員が指示する場合
	● 2 書面の書式及び取扱い (共 1.1.5)	「指示」、「承諾」、「協議」、「通知」、「提出」、「報告」等の事項について書面により取り交わし整理するとされている内容については「工事打合せ簿（監督職員が指示する様式）」を使用する
	● 3 設備工事との取り合い (共 1.1.7)	施工範囲 図面に特記なき場合は、監督職員の承諾を受ける 施工図等 設備機器設置、取合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける
	● 4 工事の記録 (共 1.2.4)	工事報告 受注者は、当月の工事の全般的な経過を記載した「工事報告書」（監督職員が指示する様式）を作成し、翌月10日までに以下の書類を添付の上、監督職員に提出する。 （１） 工事進捗状況報告書 （２） 工事記録写真 履行状況報告 中間前金払いを選択した場合は、履行状況を所定の様式に基づき作成し、認定請求時に以下の書類を添付の上、発注者に提出する。 （１） 実施工程表 （２） 出来高数量表 （３） 完成部分の状況写真 工事写真 工事写真の撮影は、「長崎県営繕工事撮影要領」（平成31年度版）による。 工事写真は原則、電子納品とし、併せて別途撮影対象表に定める概要版アルバムを１部提出すること。 ただし、電子媒体での対応が出来ない場合は、監督職員の承諾を受けて従来の工事写真帳でも可とする。
	● 5 電気保安技術者 (建・建改 1.3.3) (電・機・電改・機改 1.3.2)	適用する
	● 6 施工条件 (建・建改 1.3.3) (電・機・電改・機改 1.3.3)	※ 下記以外は、「現場説明書」による。 ○ 工事車両の駐車場 ：※ 構内 ・ ○ （ ） ○ 資材置場 ：※ 構内 ・ ○ （ ） ○ 建設発生土（埋戻し、盛り土用）の仮置場 ：※ 構内 ・ ○ （ ）
	● 7 発生材の処理等 (建 1.3.11) (建改 1.3.12) (電・機 1.3.9)	○ 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年５月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。施行令による分別解体等実施義務の対象工事であるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を請ずる、ただし、工事契約後明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。 ● 本工事は、建設リサイクル法等の対象工事外であるが、分別解体等及び特定建設資材の再資源化等について適切な措置を行う 工程ごとの作業内容

	工程	作業内容
工程ごとの作業内容	○ 1． 造成等	造成等の工事 ○ あり ・ ○ なし
	○ 2． 基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 ○ あり ・ ○ なし
	○ 3． 上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事 ○ あり ・ ○ なし
	○ 4． 屋根	屋根の工事 ○ あり ・ ○ なし
	○ 5． 建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 ○ あり ・ ○ なし
	○ 6． その他 （ ）	その他の工事 ○ あり ・ ○ なし

再資源化すべきもの

廃棄物の種類	施設名称	所在地	搬出距離
● コンクリート塊	（株）細川建設	長崎県北松浦郡小値賀町	（ 2.6 ） km
● アスファルト・コンクリート	同上	同上	（ 同上 ） km
○ 建設発生木材			（ ） km
○			（ ） km

本工事により発生する上記発生材の搬出は、「公表用積算基準（長崎県土木部）」の再資源化処理施設一覧表に掲載の処理場から選定するものとする。

再資源化すべきもの以外

廃棄物の種類	施設名称	所在地	搬出距離
● 廃プラスチック類	（株）中央環境	長崎県長崎市	（ 50.5 ） km
○ 防水アスファルト			（ ） km
● ガラスくず、陶磁器くず	（株）中央環境	長崎県長崎市	（ 50.5 ） km
○ 繊維くず			（ ） km
● 木くず	（株）中央環境	長崎県長崎市	（ 50.5 ） km
○ 非飛散性ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材（廃プラスチック類）			（ ） km
○ 非飛散性ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材（ガラス、陶磁器くず類）			（ ） km
● 廃石膏ボード	（株）中央環境	長崎県長崎市	（ 50.5 ） km
○ 飛散性アスベスト			（ ） km
○			（ ） km
○			（ ） km

上記に示す受入施設は参考であり、実施にあったっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする。
なお、処分地の決定にあたっては、監督職員と協議する。

章	項目	特記事項
1 各章共通事項（続き）		○ 引渡しを要するもの

種類	引渡し場所	引渡し場所	備考
○ 金属類			
○ 電線・ケーブル類			
○ 蓄電池			
○ 照明器具			
○ （ ）			

○ 現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの

種類	処理方法			備考
○ （ ）	○	再利用	○ 再資源化	
○ （ ）	○	再利用	○ 再資源化	
○ （ ）	○	再利用	○ 再資源化	

○ 特別管理産業廃棄物

種類	処理方法	備考
○ PCB使用機器		
○ （ ）		
○ （ ）		

○ PCB使用機器の有無については、調査を行い結果を監督職員に報告する。
○ PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。

○ 引渡しを要するもの及び現場において再利用及び再資源化を図るもの以外は、構外搬出適切処理する。

8 品質計画 (建・建改1.1.2)

施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算
基準風速（V0） （ ） m/s
地表面粗度区分 ○ Ⅰ ・ ○ Ⅱ ・ ○ Ⅲ ・ ○ Ⅳ
○ 上記風圧力の１．３倍の風圧力に対する安全性を確保する
○ 上記風圧力の１．１５倍の風圧力に対する安全性を確保する

適用工種
○ ＡＬＣパネル（外壁、屋根）
○ 押出成形セメント板（外壁）
○ 外壁石張（乾式）
○ 長尺金属板葺
○ 折板葺
○ アルミ笠木
○ ガラスブロック
○ シート防水（機械式）
○ 屋上緑化システム
○ （ ）

● 9 環境への配慮 (共 1.4.1)

本工事の建築建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の（１）から（４）を満たすものとする
（１） 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ，パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する
（２） 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する
（３） 接着剤は可塑剤（フタル酸ジｰｎｰブチル及びフタル酸ジｰ２ｰエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する
（４） （１）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次の通りとする
（１）規制対象外
①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
（２）第三種品
①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
②建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
（３）アスベスト含有建材
本工事に使用する材料については、アスベストを含有しないものとする

● 10 材料・機材の品質等 (共 1.4.2)

同等以上の材料・機材等の使用
本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する
ただし、製造業者が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける
材料・機材等の品質及び性能
本工事において別表－２(材料、機材等の品質及び性能）に示す材料を使用する場合の材料・機材等の製造業者等は次の（１）から（６）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける
（１） 品質及び性能に関する試験データを整備していること
（２） 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること
（３） 安定的な供給が可能であること
（４） 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること
（５） 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
（６） 販売、保守等の営業体制を整えていること

● 11 技能士 (建・機 1.5.2) (建改・機改 1.6.2)

適用する
（●印は、適用作業。なお、指定のない作業についてもその活用を図るように努めること。）

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	● とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	○ 鉄筋組立作業
コンクリート工事	コンクリート圧送	○ コンクリート圧送工事作業
	型枠施工	○ 型枠工事作業
鉄骨工事	鉄工	○ 構造物鉄工作業
	とび	○ とび作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	ブロック建築	○ コンクリートブロック工事作業
	ＡＬＣパネル施工	○ ＡＬＣパネル工事作業
防水工事	防水施工	○ アスファルト防水工事作業
		○ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
		○ アクリルゴム系塗膜防水工事作業
		○ 合成ゴム系シート防水工事作業
		○ 塩化ビニル系シート防水工事作業
		○ セメント系防水工事作業
		○ シーリング防水工事作業
		○ 改質アスファルトシートトーチ工法
		○ ＦＲＰ防水工事作業

章	項目	特記事項
1 各章共通事項（続き）		

石工事	石材施工	○ 石張り作業
タイル工事	タイル張り	○ タイル張り作業
木工事	建築大工	○ 大工工事作業
屋根・とい工事		○ 内外装板金作業
		○ かわらぶき作業
		○ スレート工事作業
金属工事	内装仕上げ施工	○ 鋼製下地工事作業
	建築板金	○ 内外装板金作業
左官工事	左官	○ 左官作業
建具工事		○ 木製建具手加工作業
		○ 木製建具機械加工作業
		○ アルミ製室内建具作成作業
		○ ビル用サッシ施工作業
		○ ガラス工事作業
	自動ドア施工	○ 自動ドア施工作業
	カーテンウォール施工	○ 金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	○ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	○ ガラス工事作業
塗装工事	塗装	○ 建築塗装作業
内装工事	内装仕上げ施工	○ プラスチック系床仕上げ工事作業
		○ カーペット系床仕上げ工事作業
		○ ボード仕上げ工事作業
	建築板金	○ 鋼製下地工事作業
		○ 表具作成
	表装	○ 壁塗装作業
配管工事	配管	○ 建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	○ 溶融ペイントハンドマーカー工事作業
		○ 加熱ペイントハンドマーカー工事作業
植栽工事	造園	○ 造園工事作業
機械設備工事		○ 配管施工作業工事（配管工事）
		○ 熱絶縁施工作業（保温工事）
		○ 建築板金作業（ダクト製作及び取付）
		○ 冷凍空気調和機器施工作業

12 化学物質の濃度測定 (建 1.5.9) (電 1.5.7) (機 1.5.8) (建改 1.6.9) (電改 1.6.8) (機改 1.6.9)

工事完了後に実施する
（１） 測定は、パッシブ型採取機器により行う。
（２） 建物の用途により、以下の物質の室内濃度を測定すること。
○ 学校施設： ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン
○ 学校施設以外： ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン
（３） 測定対象室、測定箇所数は次のとおり。

測定対象室	箇所数

● 13 特別な材料の工法

● 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による
● 改修特記仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、当該製品の指定工法とする

14 施工調査 (建改 1.5.2)

施工数量調査
調査項目 ○ 防水改修 ・ ○ 外壁改修 ・ ○ （ ）
調査範囲 ○ 図示による ・ ○ （ ）
調査方法 ○ 打診及び目視による
○ （ ）
○ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は図示による

● 15 完成時の提出図書 (建・電・機 1.7.1) (建改・機改 1.8.1) (電改 1.11.1)

部数仕様 ハードファイルA4版（１部）
（１） 完成図書
※ 提出する ・ ○ 提出しない
（２） 建築物の保全に関する書類
※ 提出する ・ ○ 提出しない
（３） 完成図
※ 提出する ○ 提出しない
（４） CADデータ、PDFデータ ・
※ 提出する ○ 提出しない

● 16 完成図（施工図及び施工計画書を除く） (建・電・機 1.7.2) (建改・機改 1.8.2) (電改 1.11.2)

● 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）１，７，２（完成図等）によるほか、下記による
● 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）１，７，２（完成図等）によるほか、下記による
● 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）１，７，２（完成図等）によるほか、下記による
● 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）１，８，２（完成図等）によるほか、下記による
● 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）１，８，２（完成図等）によるほか、下記による
● 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）１，１１，２（完成図等）によるほか、下記による

○ 上記以外の提出図書の種類及び記入内容

種類	記入内容

● 17 完成写真

提出する

分類・規格	撮影箇所	提出部数
○ カラー キャビネ版	外部 （ ） 外観正面 （ ） 内部 （ ）	（ ） 部
○ カラー 四切木製パネル	外部 （ ） 外観正面 （ ） 内部 （ ）	（ ） 部
● （A4チューブファイル）	外部 （ ） 外観正面 （ ） 内部 （ ）	（ 1 ） 部
● 電子データ		１式

電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD－Rにて提出する

完成写真の撮影は、以下のとおりとする。
○ 建築写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する撮影者
● 任意

● 18 契約不適合責任点検（瑕疵点検）

実施する・・・契約事項による契約不適合責任期間満了前に点検を行うので、受注者は立ち会うこと。
点検の時期：竣工後 （ ○ ２年 ・ ● １年 ）

長崎県営繕工事特記仕様書（２）			建築士事務所名	都市環境研究所九州事務所一級建築士事務所 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第１－１２６３６号	工事名称	旧小西家保存修理工事
設計年：令和8年9月	長崎県土木部建築課		設計者氏名	赤松 悟 一級建築士登録 第２９８５４３号	図面名称	建築・設備工事共通特記仕様書（２）
					図面番号	Ａ２－２

章	項目	特記事項
	10　左官工事	③糊土（壁） 1．剥がし・糊土製作 ・剥がし、浸透性プライマーを塗布する。 ・中塗土で平滑に中塗りする。 ・中塗乾燥後、現場にて製作した糊土を塗る。 2．糊土塗 ・糊土を鏝圧をかけて塗りつける ・水引きを見計らい、追っかけで糊土を塗付ける。 ・仕上鏝で鏝波が出ないように撫できる。 ④屋根漆喰 ・修理前の状況に倣い豆漆喰及び熨斗瓦を修理する。 ⑤モルタル塗り壁修理 釜屋風呂の壁のモルタル塗りt20修理
	11　建具工事	①計画 ・鋼製戸の撤去（ガラス含む） ・欠失している建具は新しく製作 ・破損している建具は程度に応じて修理 ・外部建具レールは全て新調 ②その他留意する事項 ・建具やガラス、金物の仕様は図示の通り。 ・調査結果によって、建具形状が変更になる可能性があるが、設計図により計画する。
	12　塗装工事	①計画 ・外部木部、外部木製建具に木材補助塗料塗り ②その他留意する事項 ・木材補助塗料塗り（WP 木部 B種）はキシラデコール2回塗り。 ・着色の場合は組立前に1回塗りを行う。作業工程に注意すること。
	13　内外装工事	①計画 ・畳の撤去及び不足分含めた新設 ・ビニル床タイル張り ②畳敷き ・可能なものは表替え。 ・復原含め不足分及び腐朽箇所は新調。 ・畳割付は修理前に倣い、必ず監督員の承認を受ける。 ・新調材は建材畳床　普及品　20～60mm　C-2程度。 ②ビニル床タイル張り ・釜屋：便所・手洗いの床をビニル床タイル仕上げとする。 ・風呂の洗い場と窓敷居高腰壁をタイル貼りとする。
	14　ユニット及び その他工事	①計画 ・釜屋にキッチン新設 ②キッチン ・釜屋台所に流し台L1800、IHコンロ台L700を新設。 ・発注前に監督員の承認を得ること。

章	項目	特記事項
	■外構工事	
	1　土工事	①計画 ・敷地北側に駐車場等整備のための撤去 ②工事内容 ・駐車場等整備のためのすきとり、床掘り、埋戻し、発生土運搬、基面整正。 ・図示の通り。
	2　基礎整備工事	①計画 ・建物周辺の庭園石等再現 ②工事内容 ・建物周辺の庭園石等再現のための除草、整地、すきとり。 ・図示の通り。
	3　撤去・移設工事	①計画 ・建物周辺の庭園整備 ・敷地北側の駐車場等整備 ・敷地擁壁の防災処置 ②工事内容 ・建物周辺の庭園整備のための伐採、伐根、石等撤去、景石等移設。 ・敷地北側の駐車場等整備のためのコンクリートや門扉等撤去。 ・敷地擁壁の防災処置のための擁壁上部の煉瓦撤去。 ・図示の通り。
	4　樹木整枝工事	①計画 ・建物周辺の庭園整備のための樹木整枝 ②工事内容 ・図示の通り。
	5　舗装工事	①計画 ・建物周辺の犬走改修 ・敷地北側の駐車場等整備 ②工事内容 ・建物周辺の犬走改修 ・敷地北側の駐車場等整備のためのアスファルト舗装、縁石据直し、石縁止。 ・図示の通り。
	6　修景施設工事	①計画 ・主屋離れ間の自然石新設 ②工事内容 ・自然石は300×300 L600程度を4個新設。 ・図示の通り。
	7　管理施設工事	①計画 ・建物エントランスの門扉復元 ・敷地北側駐車場整備に伴う施設新設 ②工事内容 ・門扉は古写真に倣い復元。施工図を作成し、着手前に監督員に承認を得ること。 ・門扉は鉄製鋳造仕上（火造）とし、H2220 W1000+1000程度、枠は22×22程度、立子φ16程度、横桟φ19程度。 ・門扉の頂部飾りはH500 W2000程度、枠φ25程度、棟飾平角棒6×50程度。 ・敷地北側駐車場整備に伴いバリカー、手すりを新設。 ・図示の通り。

章	項目	特記事項

章	項目	特記事項
	■建築工事 共通仮設工事	・仮設電気、仮設用水 ・仮囲い：プラスチック製フェンス（高1.2m、幅1m）(例　ディックＳＰフェンス) ・工作小屋：単管組、平屋建軽量鉄骨組立ハウス ・事務所兼休憩所：　平屋建軽量鉄骨組立ハウス ・仮設便所：簡易組立式トイレ ・消火設備 ・看板：工事名、工程等を表示したもの ・仮設工事通路（鉄板養生等） ・建物周囲清掃ほか ・住民の安全に注意すること（クレーン車、ミキサー車等）
	1　直接仮設工事	・外部足場：建物周囲枠組本足場、くさび緊結式足場、ブラケット足場 ・素屋根：単管トラス組、硬質塩ビ波板張り（飛散防止用ネット張り）、 棟納めt0.4ガルバリウム鋼板、軒樋塩ビ120半丸、竪樋75φ ・内部足場：脚立足場 ・内外部養生
	2　土工事	①計画 ・ベタ基礎及びエコ給湯器基礎の新設に伴う土工事 ②根切り、すきとり、発生土運搬 ・ベタ基礎新設箇所t300
	3　地業工事	①計画 ・ベタ基礎及びエコ給湯器基礎の新設に伴う地業工事 ②砂利地業 ・新設ベタ基礎及びエコ給湯器基礎下部再生クラッシャランt100 ③床下防湿層敷き ・新設ベタ基礎及びエコ給湯器基礎下部ポリエチレンフィルムt0.15 ④捨てコンクリート ・新設ベタ基礎及びエコ給湯器基礎下部t50
	4　コンクリート工事	①計画 ・ベタ基礎及びエコ給湯器基礎の新設に伴うコンクリート工事 ②コンクリート ・建築用生コンクリート（普通セメント）21-18-20 ・人力打設想定
	5　石工事	①計画 ・柱、束新設に伴う礎石新設 ②礎石 ・200×200×180
	6　タイル工事	①計画 ・釜屋浴室における撤去及び修理 ②撤去 ・既存床及び壁タイルの撤去 ③修理 ・床　一般床タイル張り　無ゆう　100mm角 ・壁　ユニットタイル　有機系接着剤張り（タイプⅠ）施ゆう　100mm角
	7　木工事	①概要 ・工事中の調査によって、計画が変わる可能性が高い。 ・柱痕跡を中心とした解体部材調査に基づく設計（復原）に従い、組立に際して、新たな痕跡や計画と異なる架構が想定された場合は、詳細な工事計画を立て監督員の指示に従う。 ・組立活用・構造補強のために形式を改変する箇所については、別途指示する。 ・木部の腐朽部分は繕い、新材取替をおこなう。 ・垂木は全面解体しないが、一部垂木を解体して桁および木負の一部を取替えもしくは修理する。 ・全般に木部の締め直しをおこなう。 ②再利用材 ・構造（軸組）については、当初材の再利用を基本とする。 ・当初材は将来の保存に支障のない限りつとめて再用する。 ・破損個所は根継・埋木・矧木等で繕って再用する。 ③取替材 ・腐朽・破損の著しいもの、あるいは復原等の事由により取替または新補する材は、原則として旧来の同種材とし、旧形・旧工法を踏襲する。

章	項目	特記事項
		・取替材は下記を標準とする。 1）化粧材　柱・造作材　　スギ・マツ・ヒノキ　上小節赤身勝挽立材 壁板・天井板　　スギ・ヒノキ　上小節赤身勝挽立材 2）野物材　野地・小屋組材　　スギ・マツ　１等赤身勝挽立材・マツ丸太材 床束・大引・根太　スギ　１等赤身勝挽立材・スギ丸太材 ・材種・寸法は出荷時に監督員の承認を得ること ・すべて無垢材。充分乾燥（含水率20%以内）の上使用し、死節は用いない。 ・化粧材のうち特に板類は必要に応じて現場で２カ月以上自然乾燥させるものとする。 ・背割りの場所は監督員と協議の上で決定する ・設計図書の木材寸法はすべて仕上寸法。5㎜増して製材する。 ・内法材の寸法は柱に連動する。 ・取替材および新補材にはすべて見え隠れ部分に修理年号を刻した烙印「令和※年修補」を押す。※は竣工年度 ④修理内容(図面参照) ・野地板 全取替 ・軒まわり　化粧垂木 損傷個所取替 化粧裏板 損傷箇所取替 茅負 損傷箇所取替 裏甲 損傷個所取替 瓦座 全取替 ・腰壁板 損傷箇所取替、一部整備、天井板 損傷箇所取替、一部整備 ・土台、大曳、根太 損傷箇所取替、一部整備、梁 損傷箇所取替、一部整備 ・柱、桁等損傷部分の繕い、建起し、高さ調整、貫等の締め直し。 ・そのほか痛み具合により現場協議の上決定する。 ・木部清掃　　附着した藻等を水と柔らかいたわしで落とす。 ⑤加工（仕口・継手） ・継手・仕口・曲線等は在来どおりに、また復原などによる新補材は復原年代の残存資料等により工法を決定して加工する。 ・化粧部分は従来の表面加工を調査のうえ、補足材も同様の架構とする。 ・カンナ仕上は、原則、手カンナとする。 ・同技法でない場合、施工図を作成し監督員の承認を得る。 以下は参考例 ・ホゾ　　：長ホゾ込栓打ち ・込栓　　：5分角栓、6分角栓、6分丸栓 ・ダボ　　：1寸角、1寸2分角 ・桁・棟木母屋継手：追っ掛け大栓継ぎ ・土台継手　　：腰掛け蟻継ぎ ・桁と太鼓梁　　：兜掛け滑り腮付 ・足固と柱仕口　　：ホゾ指し込栓、もしくは雇ホゾ車知止め ・貫　　：柱・束とは楔止め、継手は同志鎌　楔は平上妻下 ・破風板と棟木、母屋、桁とは蟻落し、もしくは雇い蟻車知止めすべり平枘。もしくは引き寄せ金物等により取付け。 ・筋違：切り欠きはしない ⑥繕い ・不要の穴および仕口の見え掛かり部や腐朽部等は根継・埋木・矧木等により繕いを行う。 ・接着剤は合成樹脂を用いる。 ・構造的強度を要する箇所はエポキシ樹脂系とし、水漏れのおそれのない場所の継木・埋木・矧木は酢酸ビニルエマルジョン系を用いる。この場合必ず見え隠れに釘止めを行う。 ⑦金物 ・在来品に倣うことを原則とする。 ・使用する金物は事前に監督員の承諾を得ること。 ・化粧柱、梁の見え掛りには金物を使用しない。やむをえず使用する際は、ステンレス又はメッキ金物を使用し、埋木を行う。 ・化粧材取り付けの釘は協議の上決定（例　洋釘頭つぶし、和釘、ステンレス製コースレッド）。 ⑧その他留意すべき事項 ・継木・矧木・埋木は建物の仕上げを左右するので入念に施工すること。 ・補足木材は節の多少よりも、木埋・赤身・年輪の緻密さ等の素性を優先して選別する。 ・継木・矧木・埋木は建物の仕上げを左右するので入念に施工すること。 ・補足木材は節の多少よりも、木埋・赤身・年輪の緻密さ等の素性を優先して選別する。

章	項目	特記事項
	8　屋根及びとい工事	1）瓦 ①計画 ・屋根を全葺替。釜屋越屋根瓦は再使用。 ・取り解く前に各瓦の形状、寸法、葺足、瓦割等を記録する。 ②新規瓦 ・新規瓦は、原則在来どおりとし、いぶし瓦和形中深切落桟瓦、軒瓦は万十瓦、棟瓦は素熨斗瓦、素丸瓦、隅瓦には隅巴瓦 ③瓦割 ・軒瓦口幅を基準に割り付け、瓦桟をなじみよく合わせる。 ④桟瓦葺 ・新規瓦は引掛け桟瓦葺きとし、横桟の上に固桟を取り付け、千鳥に１枚おきに釘止する。各面毎に、桟瓦の重ね面をなじみよく合わせ順次葺き上げる。 ・瓦は、53Ａ型いぶし瓦、巴芯々8寸8分、葺足5寸5分 ・瓦は空葺き工法，桟木は防腐加工品使用。 ・瓦を留めるにあたり南蛮漆喰，ホルマル被覆銅線使用＃16～18併用。 ・軒先瓦の上部から銅線しばり、シリコンコーキング併用。一枚毎に釘打ち。 ・谷樋はガルバリウム鋼板製0.35mm ・鬼瓦まわり、螻羽まわり、雀口は漆喰とする。 ・下地は改質アスファルトルーフィングとし、重ねは上下100㎜、左右200㎜以上（重ねは上下でずらすこと）。 ⑤棟瓦積 ・各棟積は旧来の棟積高に倣う。 ・熨斗積は各段目違いに葺土と漆喰を用いて積み上げ、１段置きに銅線で緊結する。 2）樋 ①計画 ・軒樋・竪樋・アンコウ及び受金物すべて新しく取り付ける。 ①材料 ・在来と同等のもの ・軒樋　　：塩ビ製　角型　幅75㎜ ・縦樋・這樋：塩ビ製　角型　６０㎜角程度 ・アンコウ　：塩ビ製　角型　幅75㎜用 ・そのほか　：エルボ、軒樋受金物、つかみ金物 ・釘打の釘頭はすべてシーリング処理をおこなう。 ②工法 ・軒樋は軒先からの出・下がり位置等を十分配慮し竪樋の位置は体裁を考慮する。受金物は原寸・見本品によって検討する。
	9　金物工事	①計画 ・ベタ基礎新設に伴う溶接金網敷き ・現存する釘隠し及び隅木木口撤去と不足分含めた修理 ②その他留意すべき事項 ・在来品に倣うことを原則とする。 ・使用する金物は事前に監督員の承諾を得ること。
	10　左官工事	①計画 ・壁の漆喰・糊土仕上げを剥がし、下地不陸調整後、仕上げ直し ・崩落個所は木工事による新設木摺り下地上に荒壁から仕上げ直し ・屋根漆喰の修理 ・モルタル塗り壁の修理 ②漆喰塗（壁） 1.　壁・天井剥がし ・ケレン後、皮スキ等で丁寧に剥がす。 ・浮きがある箇所は下地まで撤去する。 ・浸透性プライマーで脆弱した下地を強化する。 2.　不陸調整 ・大きく欠損した箇所を補修する。 ・富調合の砂漆喰で鏝圧をかけて塗りつける。 ・水引き具合を見計らい、追っかけで少し貧調合砂漆喰により不陸調整をする。 ・同じく水引きを見計らい、ガラスネットを表層に入れる。 3.　漆喰仕上げ ・水引き砂灰を鏝厚をかけて塗りつける。 ・水引き具合を見計らい、貝灰漆喰を塗りつける。 ・水引具合を見計らい、こなしていく。 ・最後に鏝圧をかけ押さえ込む。

特記仕様書（１）			建築士事務所名	都市環境研究所九州事務所一級建築士事務所 一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	
	設計年：令和8年9月		設計者氏名	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	図面名称	建築改修工事特記仕様書（１）	図面番号 Ａ２－３

■外部仕上表

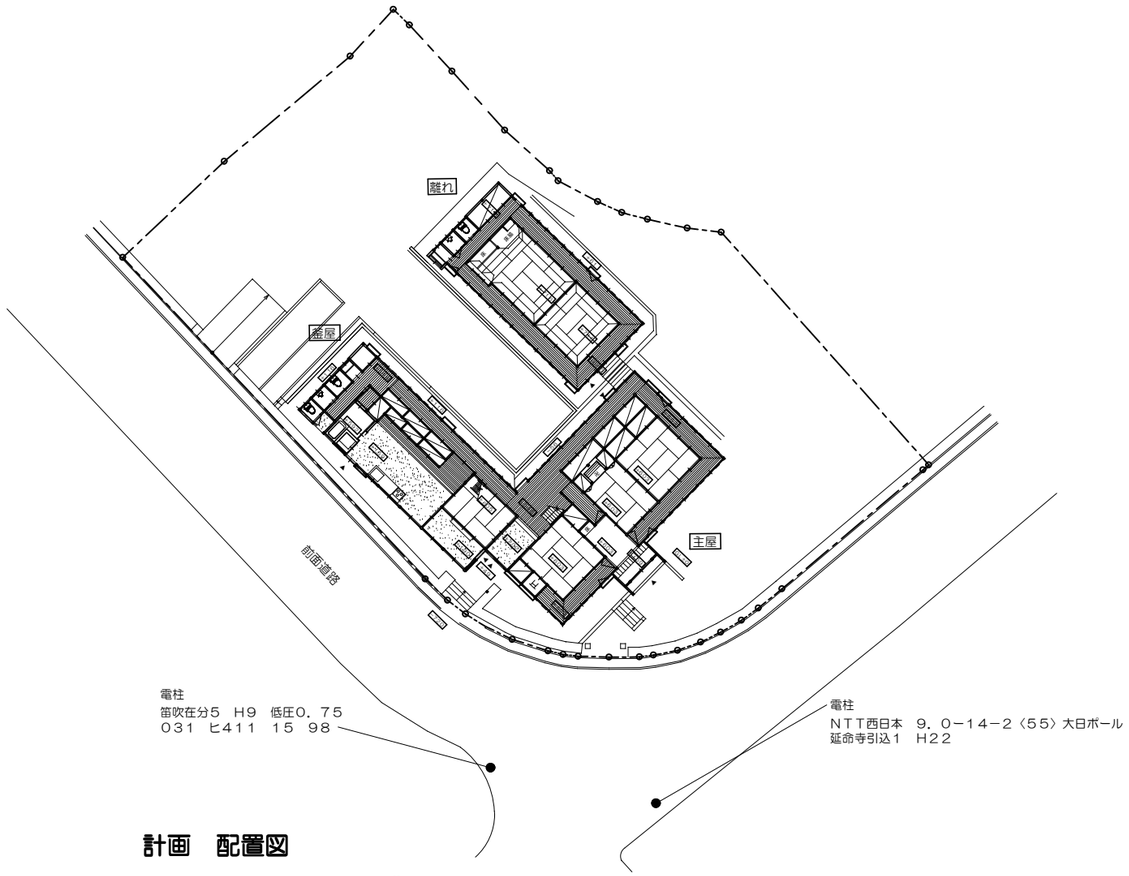
建物名	主屋	外壁	基礎	軒裏	樋	備考
主屋	桟瓦葺	縦板張目板打ち	布石 礎石	垂木露し 化粧野地板	軒樋　硬質塩ビ製　角型　幅75㎜　黒色 竪樋　硬質塩ビ製　角型　60㎜角程度　黒色 硬質　塩ビ製　角型　幅75㎜用　黒色	木部塗装は2回塗りとする
釜屋	桟瓦葺	漆喰塗 縦板張目板打ち	布石 礎石	垂木露し 化粧野地板	軒樋　硬質塩ビ製　角型　幅75㎜　黒色 竪樋　硬質塩ビ製　角型　60㎜角程度　黒色 硬質　塩ビ製　角型　幅75㎜用　黒色	
離れ	桟瓦葺	漆喰塗 縦板張目板打ち	布石 礎石	垂木露し 化粧野地板	軒樋　硬質塩ビ製　角型　幅75㎜　黒色 竪樋　硬質塩ビ製　角型　60㎜角程度　黒色 硬質　塩ビ製　角型　幅75㎜用　黒色	

■内部仕上表

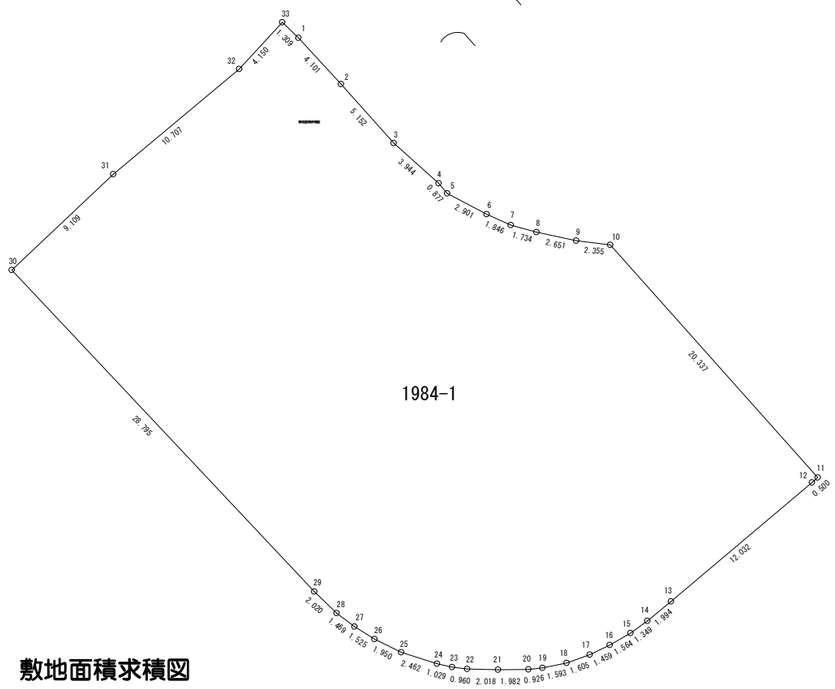
建物名			床	巾木	腰壁	壁	天井	廻縁	天井高	備考
主屋	1階	玄関	三和土　t150	土台	—	漆喰塗	棹縁天井	成54	2,670	
		玄関間	畳敷（新設）	畳寄	—	漆喰塗	棹縁天井	成54	2,610	
		西間	畳敷（表替）	畳寄	—	漆喰塗	根太天井	—	2,493	
		神棚	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	棹縁天井	成54	3,181	
		中央間	畳敷（表替）	畳寄	—	漆喰塗	根太天井	—	2,493	
		仏壇	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	格天井	※	※	
		東間	畳敷（表替）	—	—	漆喰塗	根太天井	—	2,493	
		内玄関	三和土　t150	土台	—	漆喰塗	棹縁天井	成54	2,713	
		西縁	板張	—	—	漆喰塗	棹縁天井	—	2,594/2,314	
		南縁	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	棹縁天井	—	2,594	
		東縁	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	棹縁天井	—	2,594/2,314	
		北廊下	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	棹縁天井	成50	2,522	
		押入	板張	雑巾摺	—	漆喰塗（修理なし）	根太天井	—	2,493	
	2階	座敷	畳敷（表替）	畳寄	—	漆喰塗	棹縁天井	成57	2,160	
		床	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	棹縁天井	成52	2,235	
		中央間	畳敷（新設）	畳寄	—	漆喰塗	棹縁天井	成57	2,069	
		東間	畳敷（表替）	畳寄	—	漆喰塗	棹縁天井	成62	2,067	
		中廊下	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	棹縁天井	成57	2,136	
		南廊下	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	棹縁天井	成48	2,100	
		西廊下	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	棹縁天井	成48	2,088	
		北廊下	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	棹縁天井	成60	2,095	
		押入	板張	雑巾摺	—	漆喰塗（修理なし）	棹縁天井/板張	成48/33	2,095/1,946	
釜屋	1階	土間	三和土　t150	—	—	漆喰塗	小屋露し	—	—	
		玄関	三和土　t150	—	—	漆喰塗	根太天井	—	2,453	
		畳の間	畳敷（新設）	畳寄	—	漆喰塗	根太天井	—	2,007	
		風呂	タイル貼	—	タイル貼	モルタル塗	板張	—	2,267	
		洗面室	タイル貼	—	—	漆喰塗	棹縁天井	成51	2,447	
		脱衣室	タイル貼	—	—	漆喰塗	棹縁天井	成54	2,380	
		多機能トイレ	タイル貼	—	—	漆喰塗	棹縁天井	成51	2,444	
		男子トイレ	タイル貼	—	板張	漆喰塗	棹縁天井	成51	2,448	
		外部用トイレ	三和土　t150	—	—	漆喰塗	※解体後確認	※	※	
		東廊下	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	棹縁天井	成54	2,381	
		北廊下	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	棹縁天井	成54	2,426	
		押入	板張	雑巾摺	—	漆喰塗（修理なし）	棹縁天井	成45	2,298	
	2階	2階の間	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	小屋露し	—	—	
離れ		座敷	畳敷（表替）	畳寄	—	漆喰塗	棹縁天井	成54/33	3,120	
		床	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	棹縁天井	成33	2,979	
		次の間	畳敷（表替）	—	—	漆喰塗	棹縁天井	成54/33	3,120	
		洗面室	タイル貼	—	タイル貼	モルタル塗	クロス貼	成35	1,978	
		男子トイレ	タイル貼	木製　成60	板張	漆喰塗	棹縁天井	成54	2,063	
		女子トイレ	タイル貼	木製　成60	板張	漆喰塗	棹縁天井	成54	2,063	
		押入	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	棹縁天井	成54	2,044	
		西縁	板張	雑巾摺	—	糊土	垂木露し	—	—	
		南縁	板張	雑巾摺	—	糊土	垂木露し	—	—	
		東縁	板張	雑巾摺	—	糊土	垂木露し	—	—	
		北廊下	板張	雑巾摺	—	漆喰塗	棹縁天井	成54	2,407	

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（A3）		工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号
年月日	2026.9	図面名称	仕上表		A３



計画　配置図



敷地面積求積図

敷地面積求積表

地番一覧表	
所在	笛吹郷上ノ坂
地番	1984-1
登記地目	宅地
登記面積	1152.36㎡
計算面積	1152㎡

所在　笛吹郷ノ坂　番地　1984-1

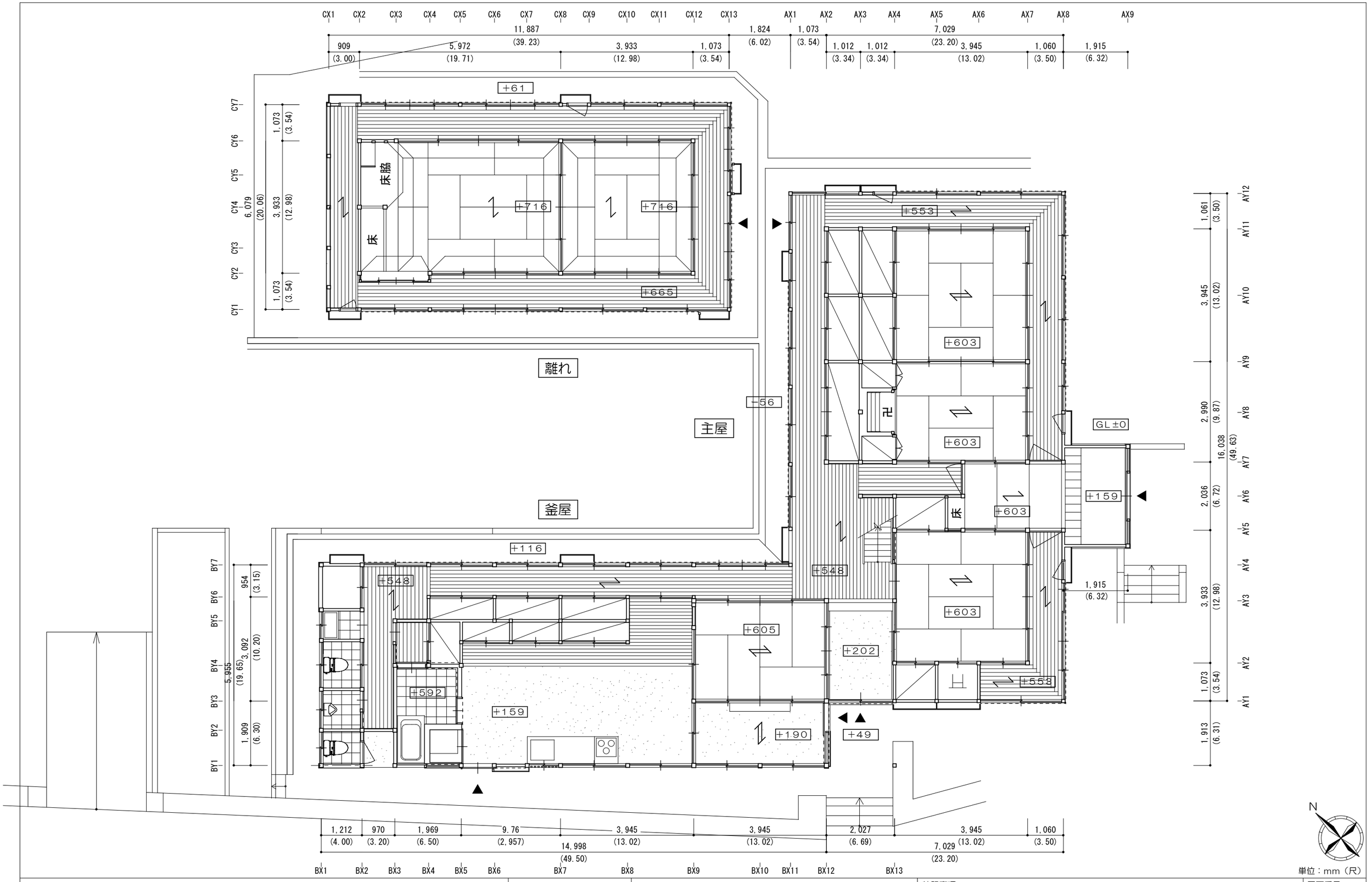
No.	点番	X座標値	Y座標値	辺長(m)
1	10G041	21296.190	-41334.104	1.309
2	10G042	21293.185	-41331.313	4.101
3	10G043	21289.342	-41327.882	5.152
4	10G044	21286.710	-41324.945	3.944
5	10G045	21286.041	-41324.378	0.877
6	10G046	21284.700	-41321.805	2.901
7	10G047	21283.967	-41320.111	1.846
8	10G048	21283.500	-41318.441	1.734
9	10G049	21282.944	-41315.849	2.651
10	10G050	21282.662	-41313.511	2.355
11	10G051	21267.514	-41299.941	20.337
12	10G514	21267.204	-41300.333	0.500
13	10G513	21259.407	-41309.497	12.032
14	10G512	21258.153	-41311.047	1.994
15	10G511	21257.363	-41312.141	1.349
16	10G510	21256.568	-41313.488	1.564
17	10G509	21255.931	-41314.801	1.459
18	10G508	21255.399	-41316.315	1.605
19	10G507	21255.082	-41317.876	1.593
20	10G506	21254.987	-41318.797	0.926
21	10G505	21254.952	-41320.779	1.982
22	10G504	21255.015	-41322.796	2.018
23	10G503	21255.117	-41323.751	0.960
24	10G502	21255.340	-41324.756	1.029
25	10G501	21256.097	-41327.099	2.462
26	10G500	21256.948	-41328.854	1.950
27	10G499	21257.751	-41330.150	1.525
28	10G498	21258.638	-41331.321	1.469
29	10G497	21260.014	-41332.800	2.020
30	10G496	21280.949	-41352.570	28.795
31	10G496-1	21287.266	-41346.007	9.109
32	10G496-2	21294.137	-41337.796	10.707
33	10G496-3	21297.174	-41334.967	4.150

基準点番号	X座標値	Y座標値
F01F01031-6	21244.410	-41351.305
S00F01013-5	21275.764	-41356.978
S00F01013-6	21240.582	-41318.412
S00F01032-1	21267.190	-41291.613
S00F01032-2	21282.675	-41314.188
S00F01032-3	21294.575	-41301.987
S00F01032-4	21313.188	-41318.576

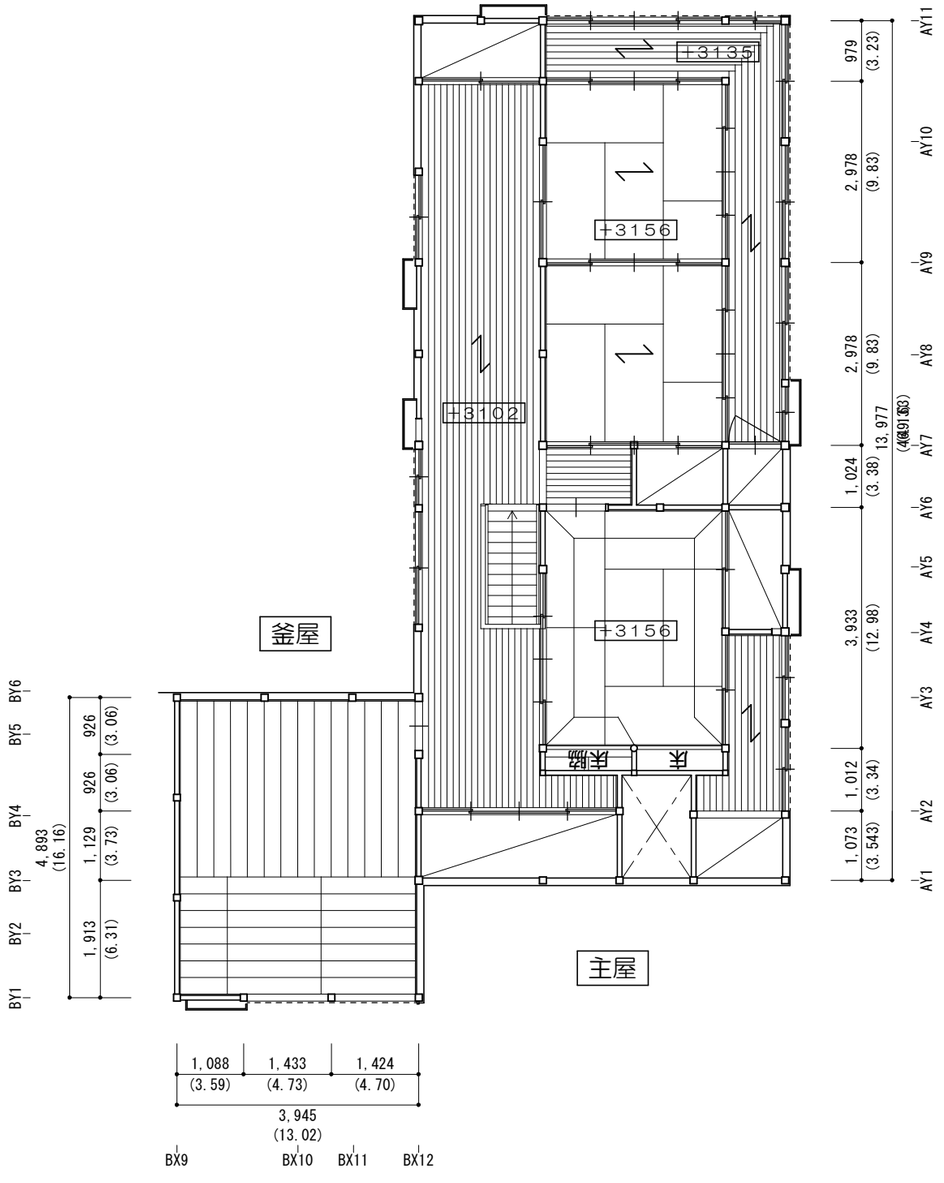
N

単位：mm

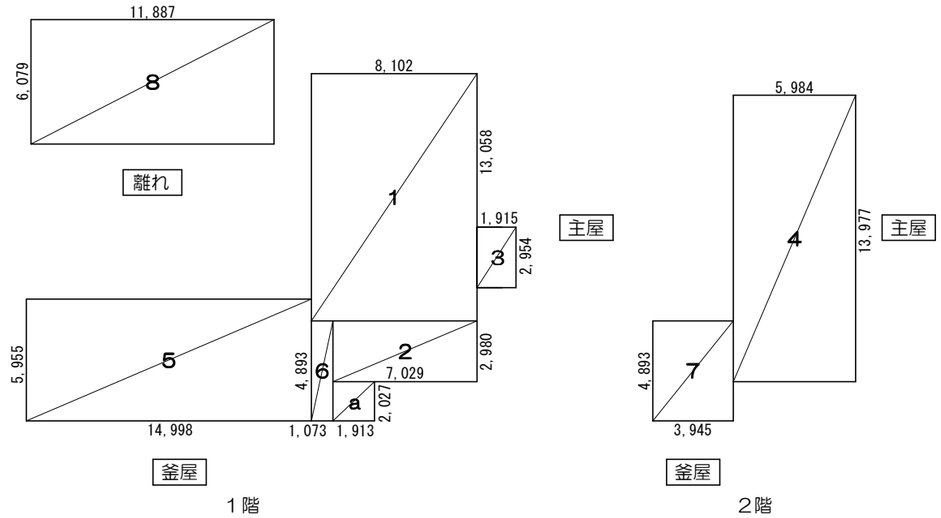
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092－263－7848	縮尺（A3）	1：400	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 A４
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1－12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　配置図／敷地面積求積図		



都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項
						図面番号 A５
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　１階平面図	



2階平面図（1/100）



建物求積図（1/200）

■面積求積表

主屋	1階	1	8.102 × 13.058 = 105.7959		
		2	7.029 × 2.890 = 20.3138		
		3	1.915 × 2.954 = 5.6569	131.7666	
		小計		131.76㎡	A
		a	1.913 × 2.027 = 3.8776		
		小計		3.87㎡	B
	2階	4	5.984 × 13.977 = 83.6383	83.6383	
		小計		83.63㎡	C
釜屋	1階	5	14.998 × 5.955 = 89.3130		
		6	1.073 × 4.893 = 5.2501	94.5631	
		小計		94.56㎡	D
	2階	7	3.945 × 4.893 = 19.3028	19.3028	
		小計		19.30㎡	E
離れ	1階	8	11.887 × 6.079 = 72.2610		
		小計		72.26㎡	F

■延床面積

主屋	A+C	215.39㎡
釜屋	D+E	113.86㎡
離れ	F	72.26㎡
合計	A+C+D+E+F	401.51㎡

■建築面積

主屋	A+B	135.63㎡
釜屋	D	94.56㎡
離れ	F	72.26㎡
合計	A+B+D+F	302.45㎡

N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
年月日	2026.9	図面名称	計画　２階平面図／面積求積図

特記事項

図面番号 A６

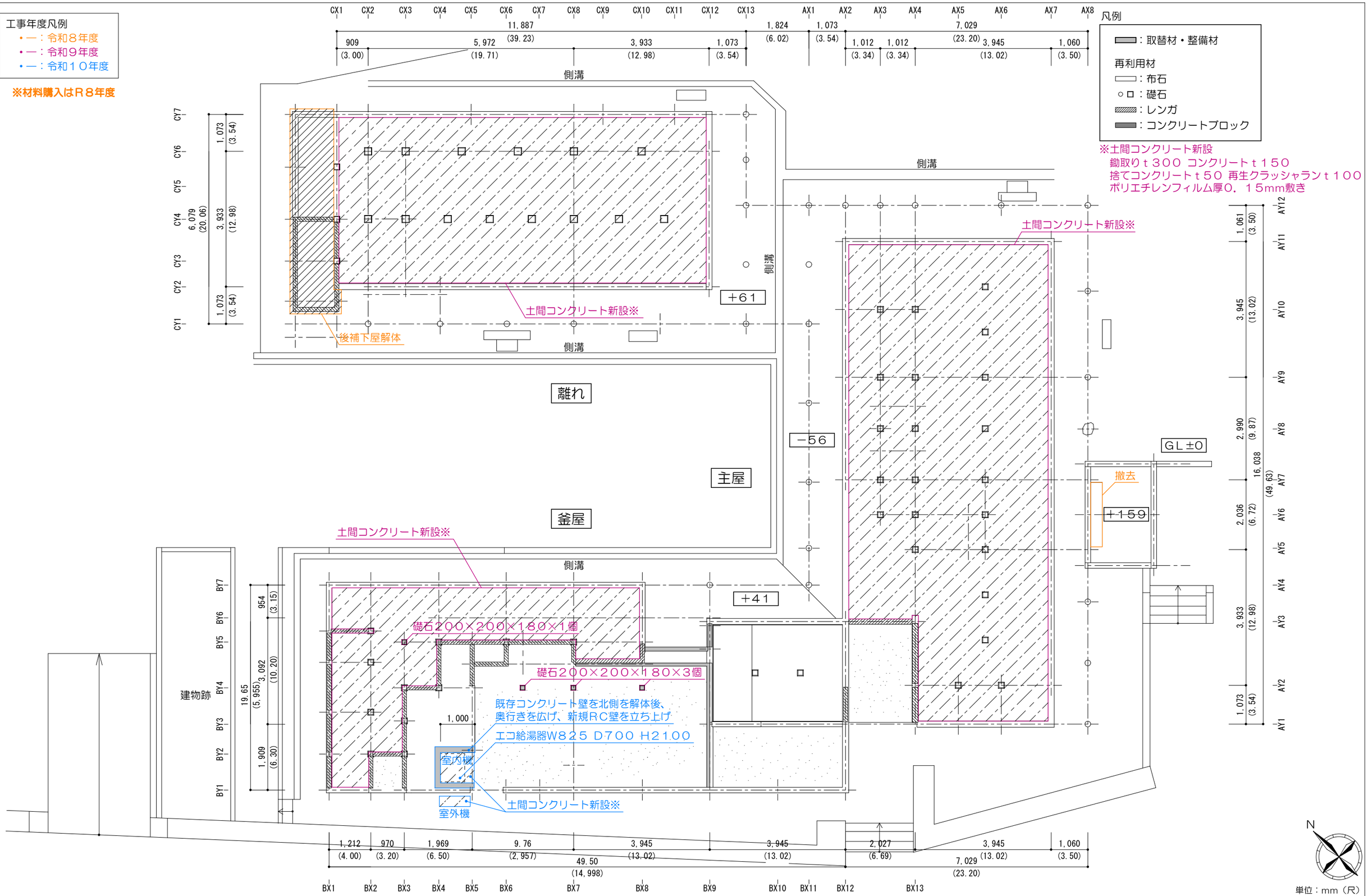
工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

※材料購入はＲ８年度

凡例
- ：取替材・整備材

再利用材
- ：布石
- ○□：礎石
- ：レンガ
- ：コンクリートブロック

※土間コンクリート新設
鋤取りｔ３００ コンクリートｔ１５０
捨てコンクリートｔ５０ 再生クラッシャランｔ１００
ポリエチレンフィルム厚０．１５mm敷き



単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1−12636号	赤松 悟 一級建築士登録 第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画 基礎伏図

特記事項

図面番号 A７

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

※材料購入はＲ８年度
※玄関まわり撤去はＲ８年度（●）

凡例
：取替材・整備材
再利用材
：足固　：根太
：大曳　：下部束
：柱
巾×成

床板１　スギ
１５０×９×２m×７枚
根太１　スギ
６０角×１m×６本
鋼製火打ち
雨戸敷居７　ヒノキ　４５×９８×３m
雨戸敷居８　ヒノキ　４５×９８×２m
置敷居３　ヒノキ
９７×１８×２.５m
足固７　ヒノキ
１３４×１８７×２.５m
雨戸敷居７　ヒノキ
４５×９８×３m
置敷居２　ヒノキ
９７×１８×３m
足固６　ヒノキ
１３４×１８７×３m
大曳　ヒノキ
１２０×２１０×４m
柱根継
柱根継
※足固取替箇所の床板一次撤去、復旧
離れ
柱３　スギ
１０５×１０５×３m
後補下屋解体
雨戸敷居７　ヒノキ
４５×９８×３m
置敷居１　ヒノキ
９７×１８×４m
足固５　ヒノキ
１３４×１８７×４m
窓敷居２　スギ
９３×５２×２.３m
雨戸敷居７　ヒノキ　４５×９８×３m
雨戸敷居８　ヒノキ　４５×９８×２m
置敷居３　ヒノキ
９７×１８×２.５m
足固７　ヒノキ
１３４×１８７×２.５m
雨戸敷居７　ヒノキ
４５×９８×３m
置敷居２　ヒノキ
９７×１８×３m
足固６　ヒノキ
１３４×１８７×３m
雨戸敷居３　ヒノキ
５４×１０５×４m
置敷居１　ヒノキ
９７×１８×４m
足固５　ヒノキ
１３４×１８７×４m
柱４　１０５角×３m
窓敷居３　９３×５２×２m
雨戸敷居２　９７×４５×２m
窓敷居３　９３×５２×２m
雨戸敷居１　１００×５２×２m
雨戸敷居４　ヒノキ　５２×１００×４m
雨戸敷居６　ヒノキ　５２×１００×２m
足固２　ヒノキ　１３０×１７０×３m
敷居４　カシ　１０５×５４×３m
※足固取替箇所の床板一次撤去、復旧
壁き解体
主屋
床板３　スギ
１０８×１５×４m×１０枚
根太１（補強）　スギ
６０角×１m×４本
雨戸敷居４　ヒノキ　５２×１００×４m
雨戸敷居５　ヒノキ　５２×１００×３m
足固４　ヒノキ　１３０×１７０×１.５m
敷居６　カシ　１０５×５４×１.５m
束　スギ
１１５角×０.２m
框　地松または米松
１００×２２８×２.２m
土台２　ヒノキ●
１１５角×２m
柱２　スギ●
１１５角×３m
半柱　スギ●
１１５×５８×３m
土台１　ヒノキ●
１１５角×３m
柱２　スギ●
１１５角×３m
土台２　ヒノキ●
１１５角×２m
束　スギ
１１５角×０.２m
雨戸敷居４　ヒノキ
５２×１００×４m
足固１　ヒノキ　１３０×１７０×４m
敷居３　カシ　１０５×５４×４m
雨戸敷居５　ヒノキ
５２×１００×３m
足固３　ヒノキ　１３０×１７０×２.５m
敷居５　カシ　１０５×５４×２.５m
窓敷居３　スギ
９３×５２×２m
窓敷居１　スギ
９３×５２×３m
根太１（補強）　スギ
６０角×２m
土台　ヒノキ
１１５角×２m
敷居２　カシ
１１２×５５×４m
釜屋
床板２　スギ
２７３×１５×３m×１４枚
床梁１　スギ
１１７×２３５×３m
根太３　スギ
７０×１００×２m
柱１　スギ
１１５角×４m
柱４（継木）　スギ
１０５角×３m
床組解体
釜屋２階
柱５　スギ
１００角×２m
アンカー打込み
足固３　ヒノキ　１３０×１７０×２.５m
敷居５　カシ　１０５×５４×２.５m

※腐朽箇所柱根継
- スギ　１１５角×０.６m　１４本程度
- スギ　１０５角×０.６m　４６本程度

N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
TEL：092－263－7848
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
年月日	2026.9	図面名称	計画　床伏図

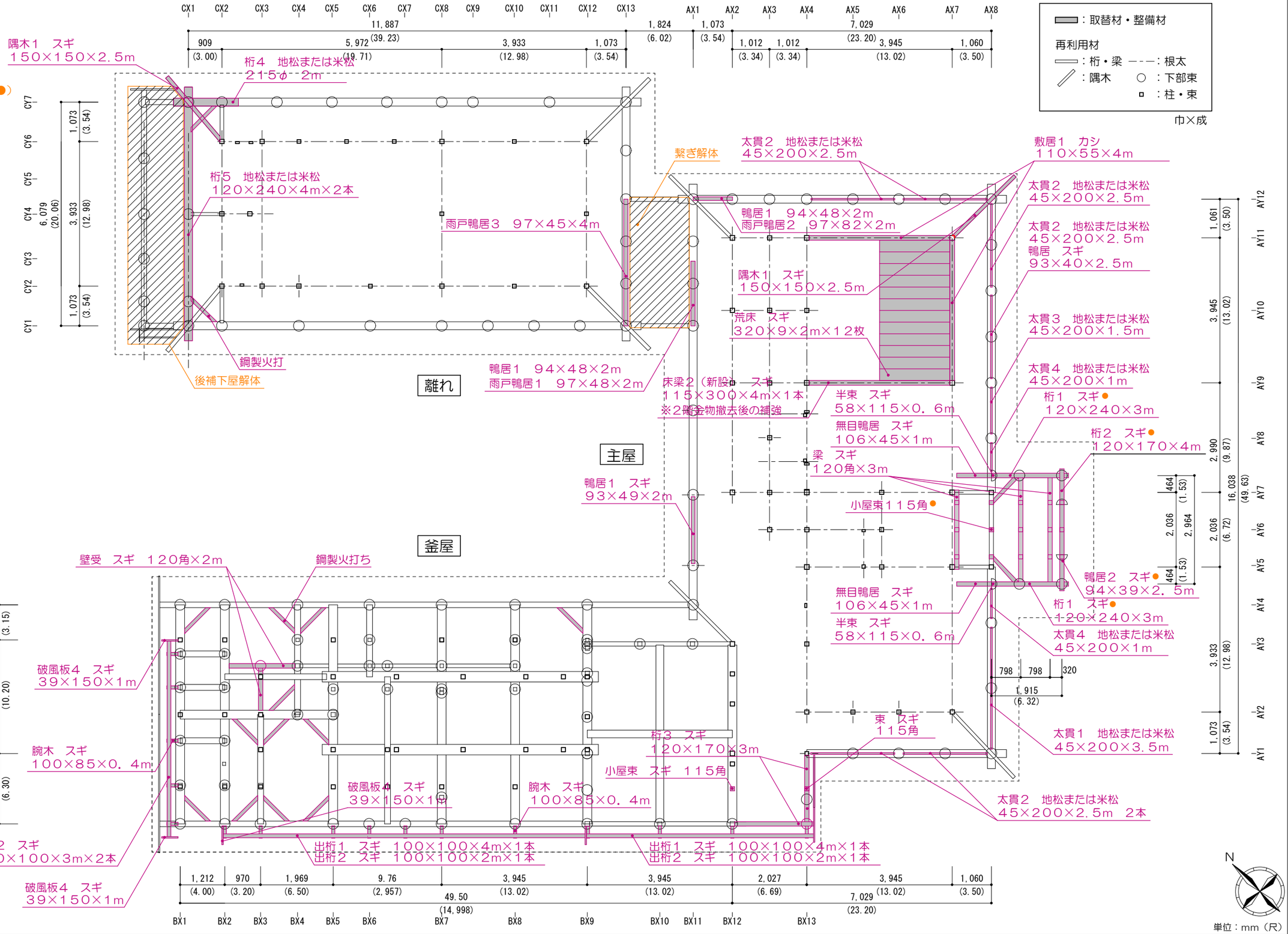
特記事項
柱元半数継木

図面番号
A８

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

※材料購入はＲ８年度
※玄関まわり撤去はＲ８年度（●）

凡例
：取替材・整備材
再利用材
：桁・梁　：根太
：隅木　○：下部束
□：柱・束
巾×成



単位：mm（R）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　桁伏図

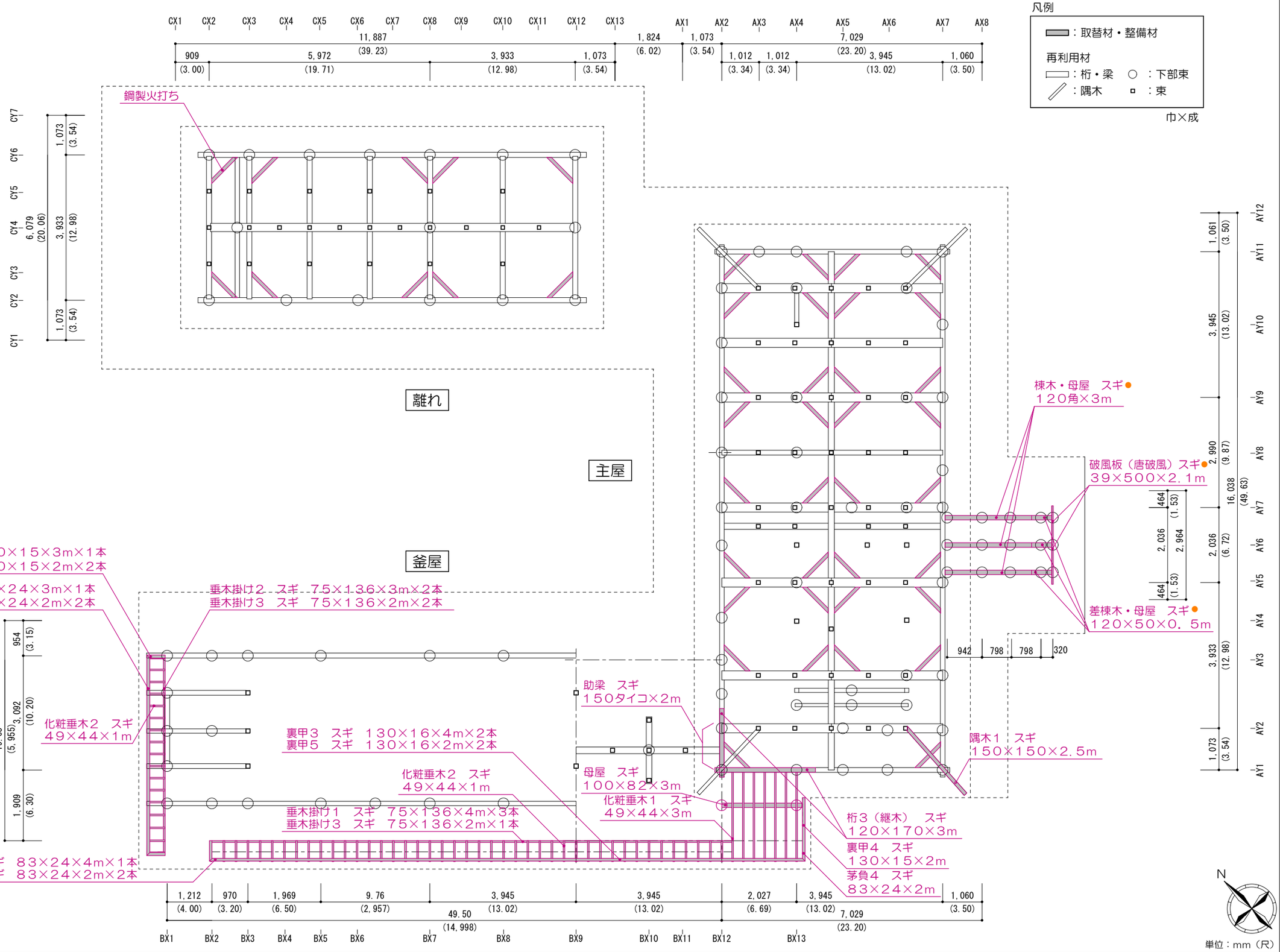
特記事項

図面番号 A9

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

※材料購入はＲ８年度
※玄関まわり撤去はＲ８年度（●）

凡例
：取替材・整備材
再利用材
：桁・梁　○：下部束
：隅木　□：束
巾×成



単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　梁伏図

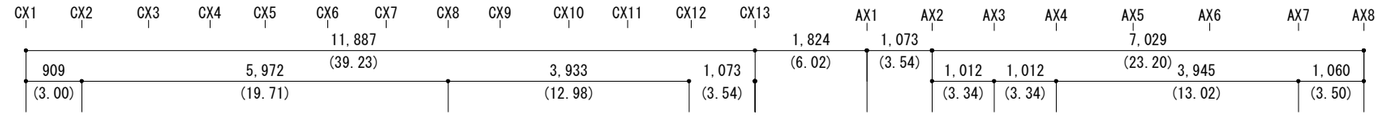
特記事項
特記なき隅木はすべて矧修理

図面番号
A10

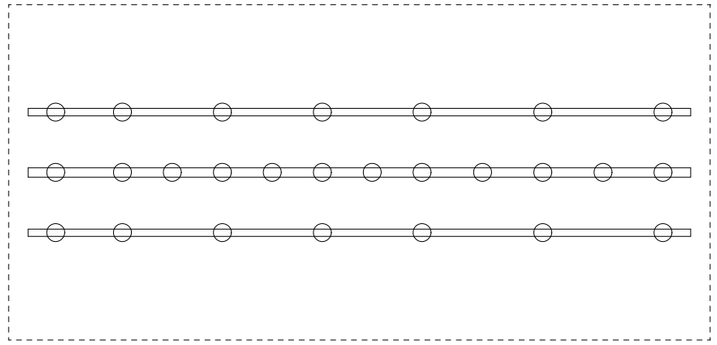
工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

※材料購入はＲ８年度
※玄関まわり撤去はＲ８年度（●）

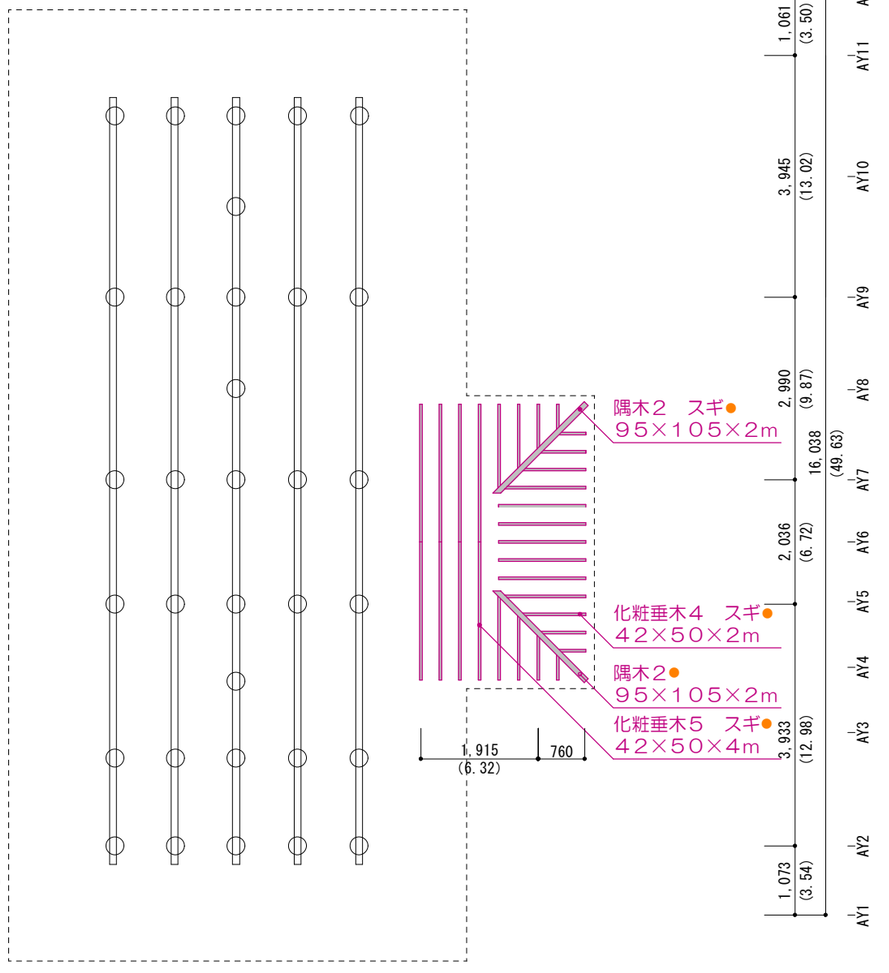
凡例
：取替材・整備材
再利用材
：棟木・母屋
○ ：下部束
巾×成





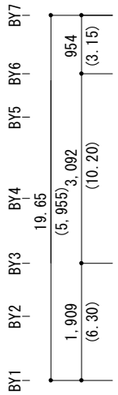


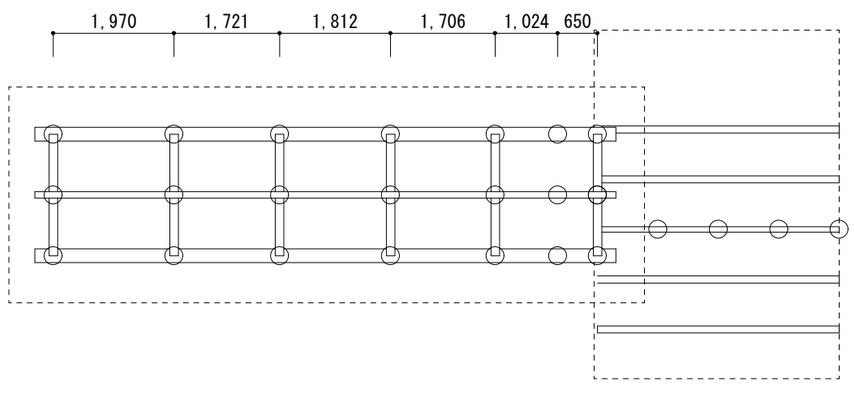
離れ

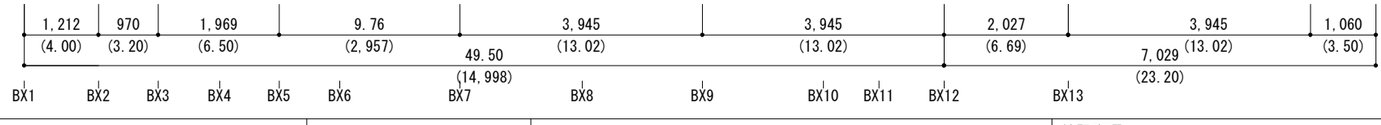


主屋

釜屋







N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1−12636号	赤松 悟 一級建築士登録 第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画 小屋伏図

特記事項

図面番号 A11

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

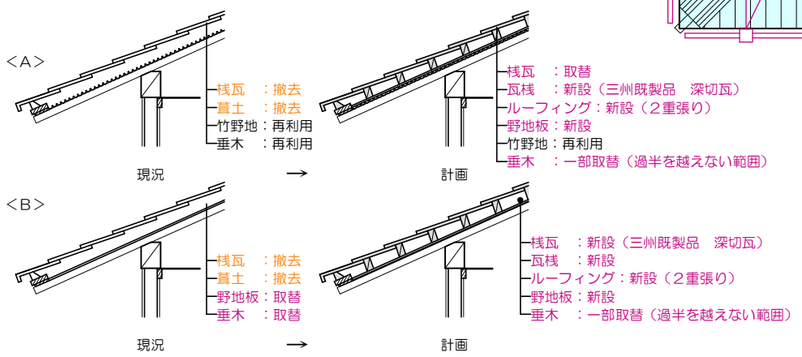
※材料購入はＲ８年度

雨樋凡例

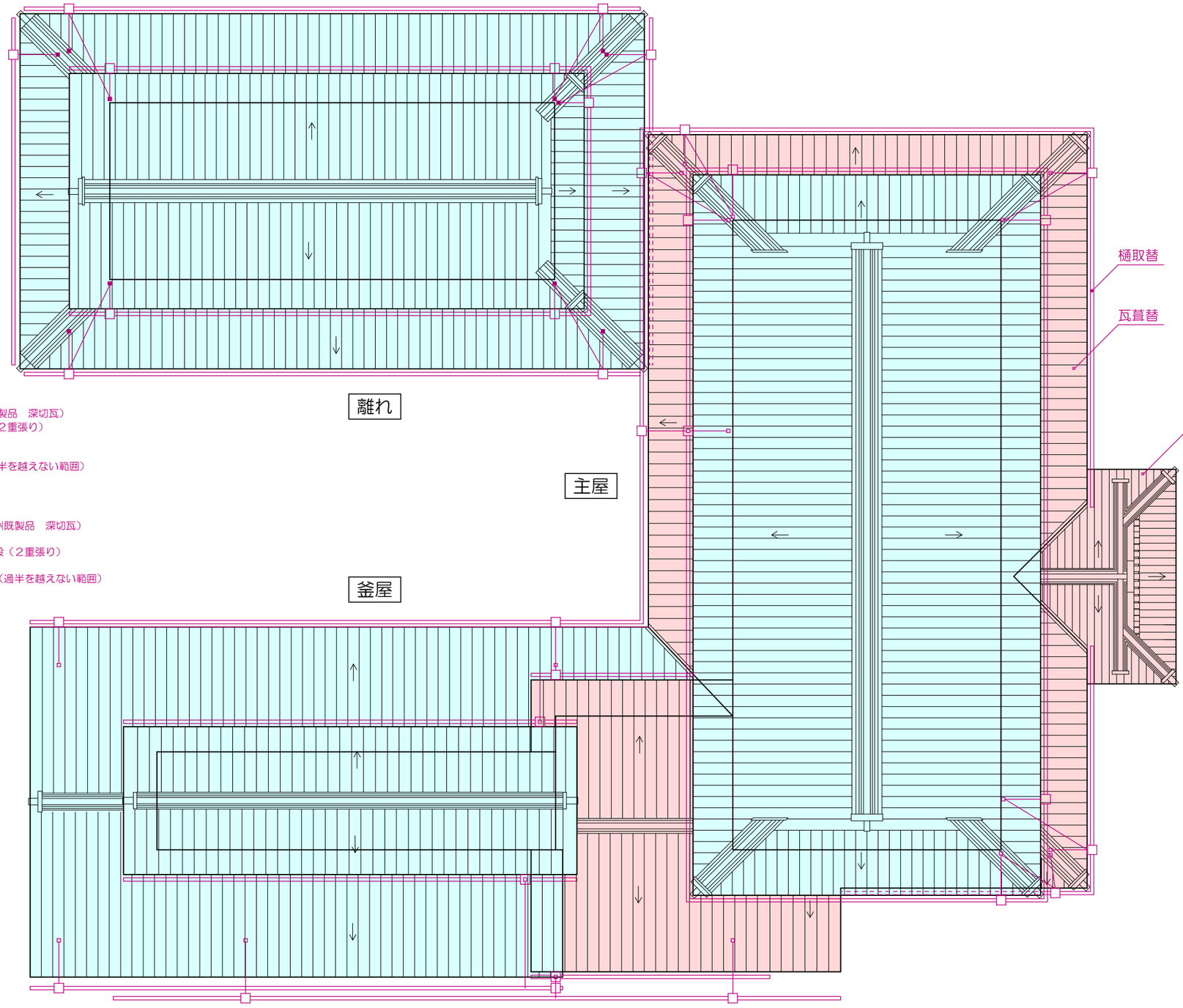
：軒樋（７５mm幅）
：竪樋（６０mm角）
：這樋
：集水桝

下屋根改修凡例（詳細図参照）

：A 野地板は保全しカバー工法
：B 野地板から葺替



屋根改修詳細図



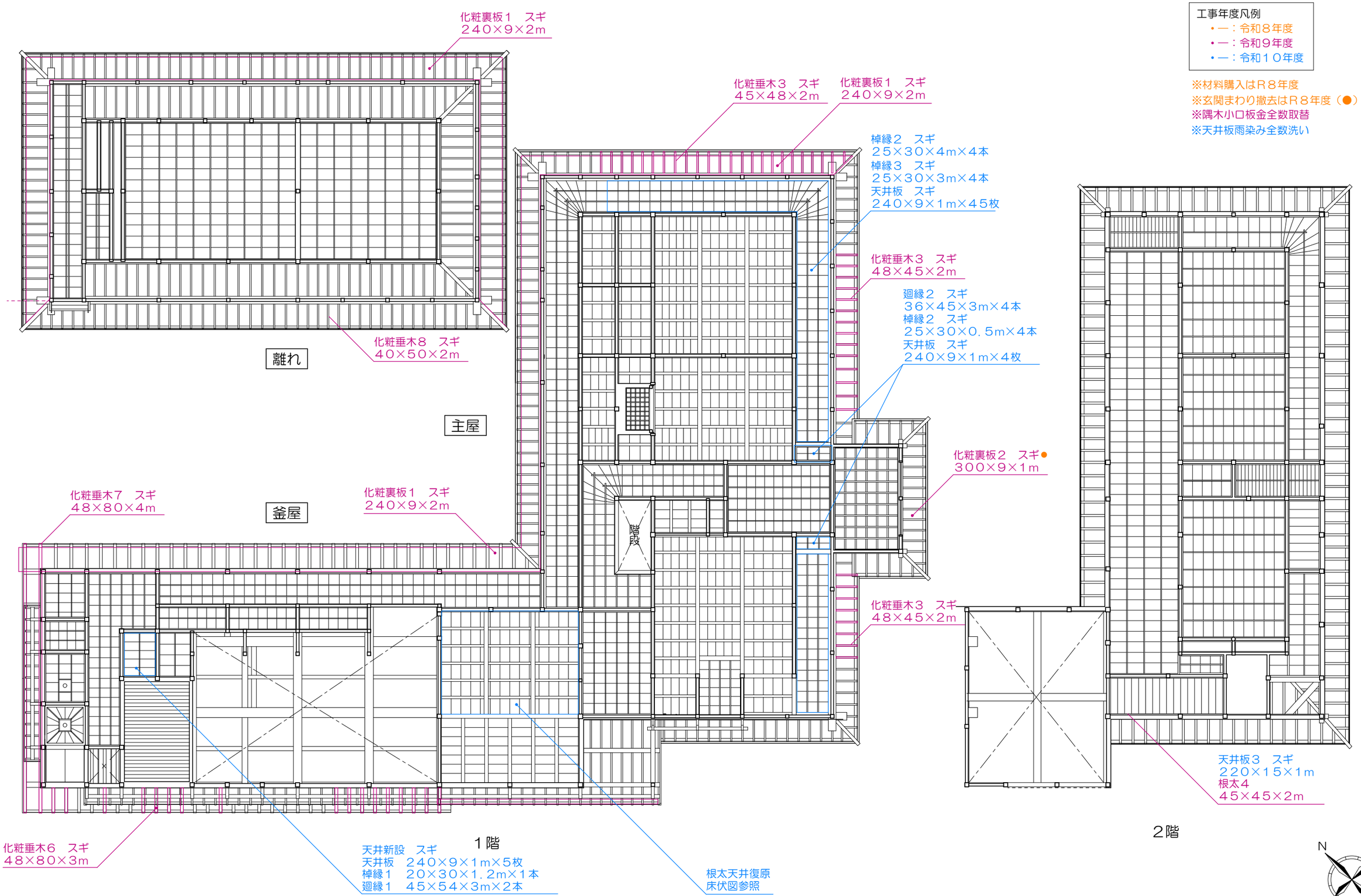
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所　福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号　TEL：092−263−7848		縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　屋根伏図

特記事項

図面番号 A12

工事年度凡例
- ー：令和８年度
- ー：令和９年度
- ー：令和１０年度

※材料購入はＲ８年度
※玄関まわり撤去はＲ８年度（●）
※隅木小口板金全数取替
※天井板雨染み全数洗い



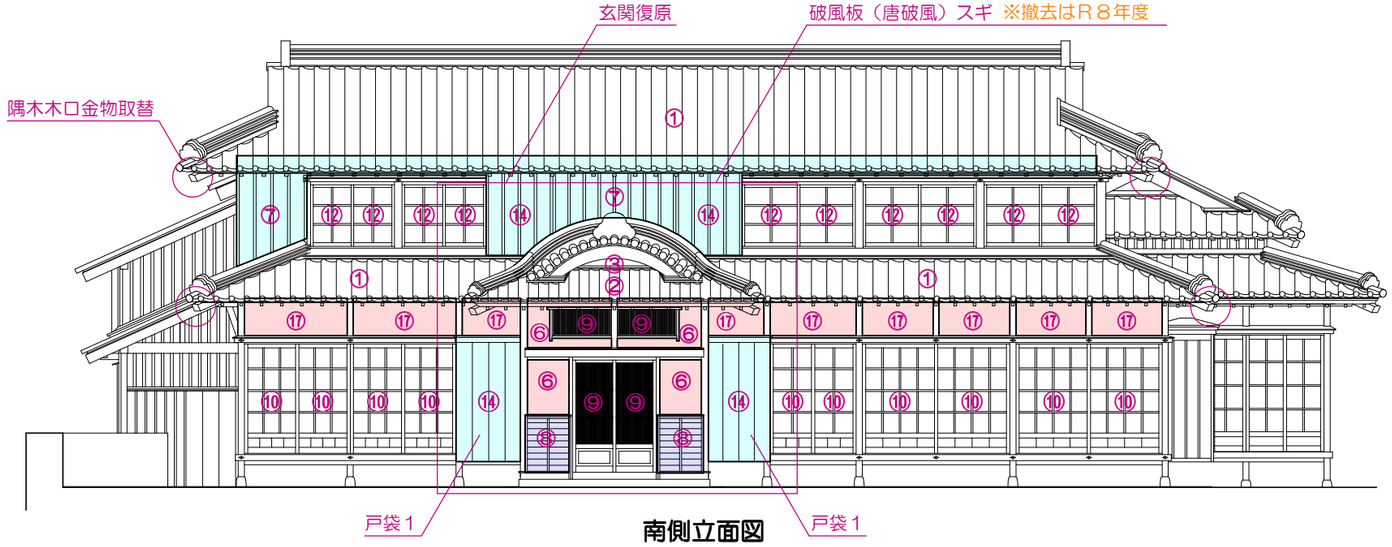
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所　福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848		縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　軒天井見上図

特記事項

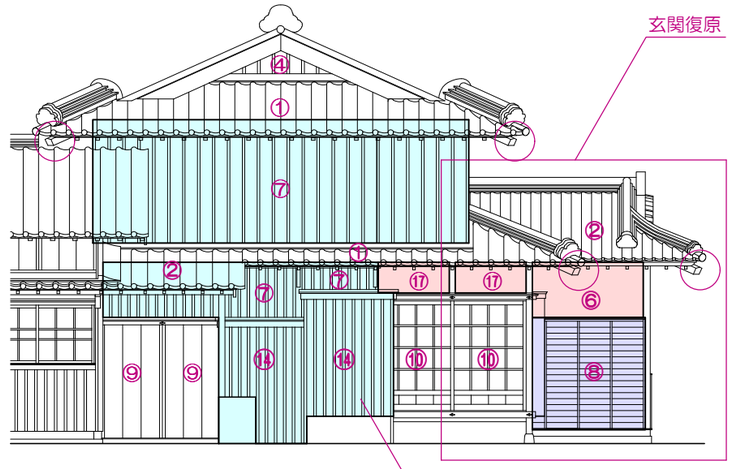
図面番号
A13

※茅負・裏甲すべて取替（茅負１･２、裏甲１･２）

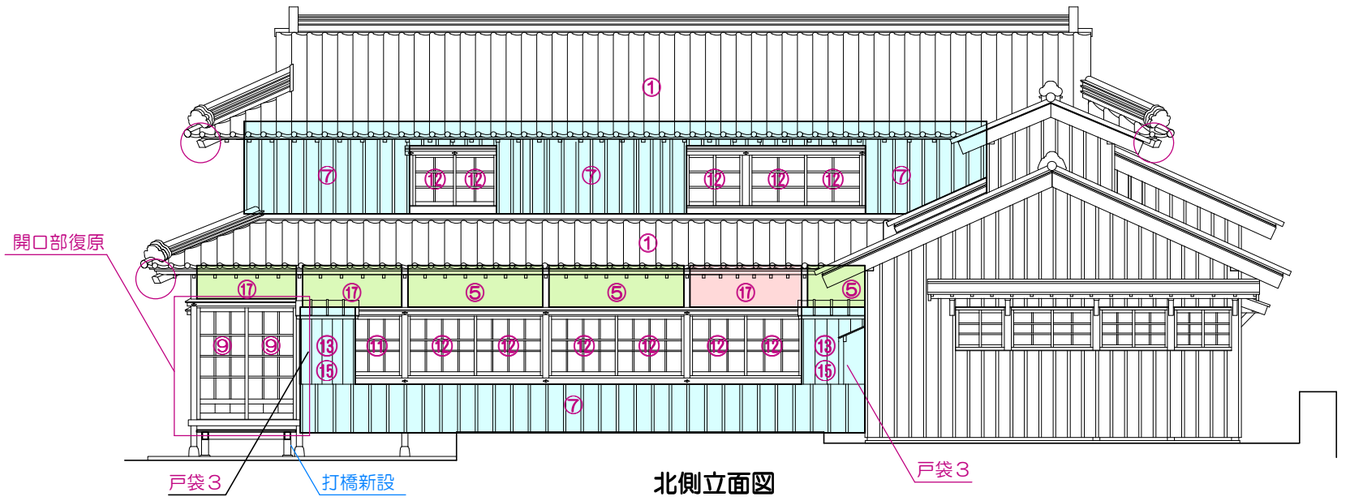
工事年度凡例
- ー：令和８年度
- ー：令和９年度
- ー：令和１０年度



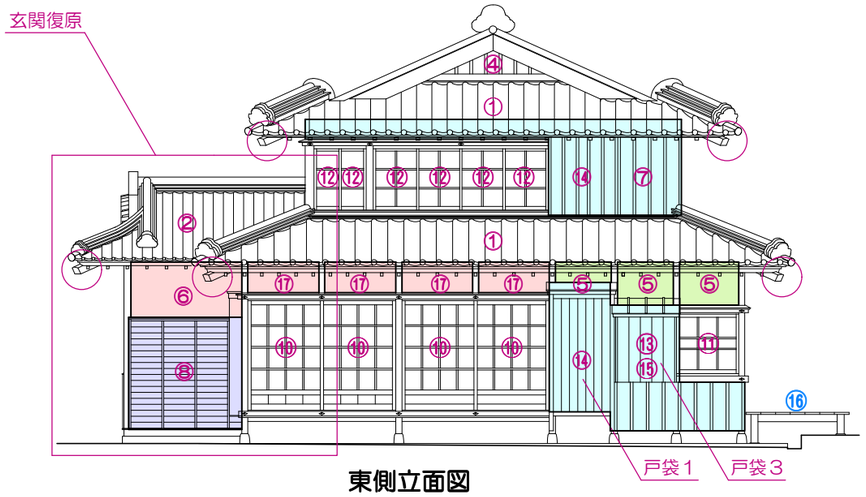
南側立面図



西側立面図



北側立面図



東側立面図

外部仕上げ

①	桟瓦葺 葺替、鬼ほか使用可能なものは再利用	⑦	外壁縦板張り目板打ち 撤去、取替	⑬	木製戸袋 既存建具に倣い復原
②	桟瓦葺 新設	⑧	外壁縦板張り目板打ち 新設	⑭	木製戸袋 既存戸袋に倣い取替
③	屋切漆喰塗 新設	⑨	木製引違い戸 既存建具に倣い復原	⑮	木製雨戸 既存建具に倣い復原
④	屋切縦板張り目板打ち 撤去、取替	⑩	木製引違い戸 洗い、調整、金物取替	⑯	打橋 新設
⑤	外壁漆喰塗 既存仕上げを掻き落し、 中塗り修理のうえ、上塗り塗替	⑪	木製引違い窓 洗い、調整、金物取替	⑰	外壁漆喰塗 一部下地新設のうえ、漆喰塗仕上げ
⑥	外壁漆喰塗 新設	⑫	木製引違い窓 洗い、調整、金物取替		

外壁改修凡例
- ：漆喰塗１
  - 下地からやり替え（ラス貼、中塗り）後
  - 不陸調整（浸透プライマー塗布）＋漆喰塗仕上げ
- ：漆喰塗２
  - 土壁は保全
  - 不陸調整（浸透プライマー塗布）＋漆喰塗仕上げ
- ：焼杉板張り目板打ち１
  - 下地からやり替え（ラス貼、中塗り）後
  - 胴縁･壁板を取替
- ：焼杉板張り目板打ち２
  - 土壁は保全
  - 胴縁･壁板を取替

N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

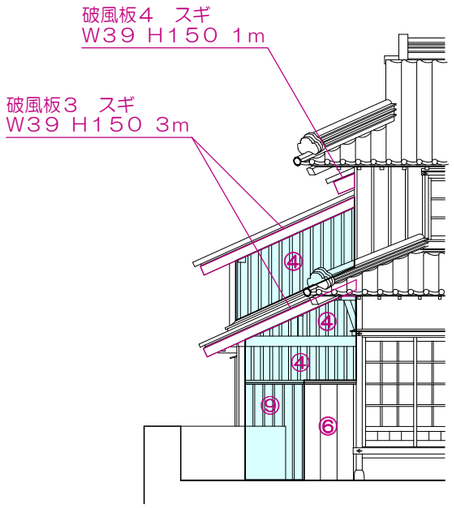
縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
年月日	２０２６.９	図面名称	計画　主屋　立面図

特記事項

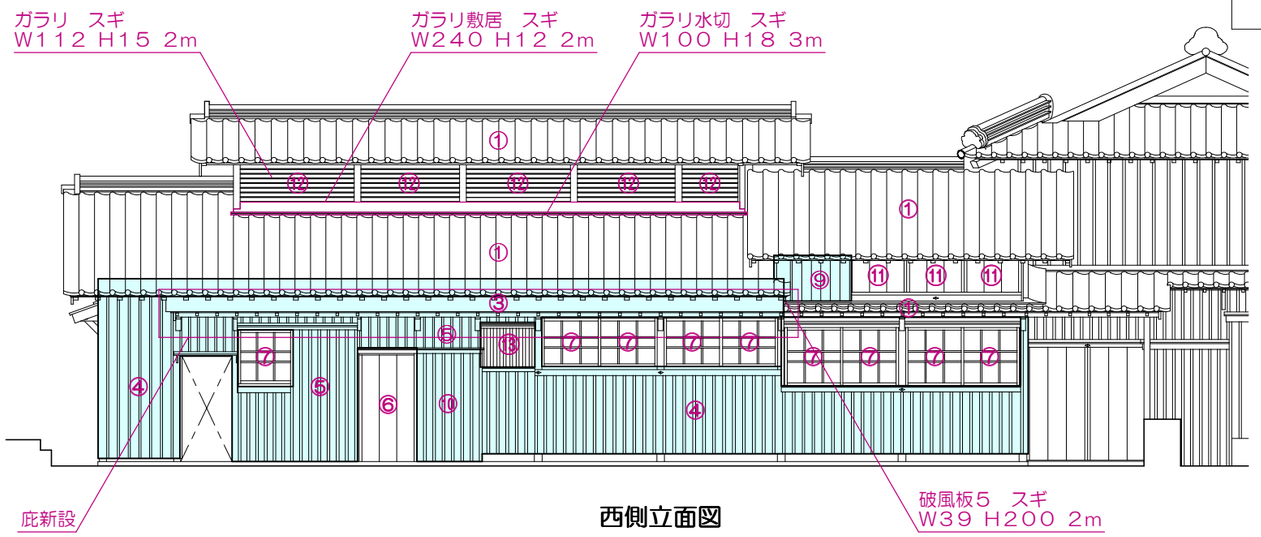
図面番号 Ａ１４

※茅負・裏甲上屋除きすべて取替（茅負６～９、裏甲６～９）

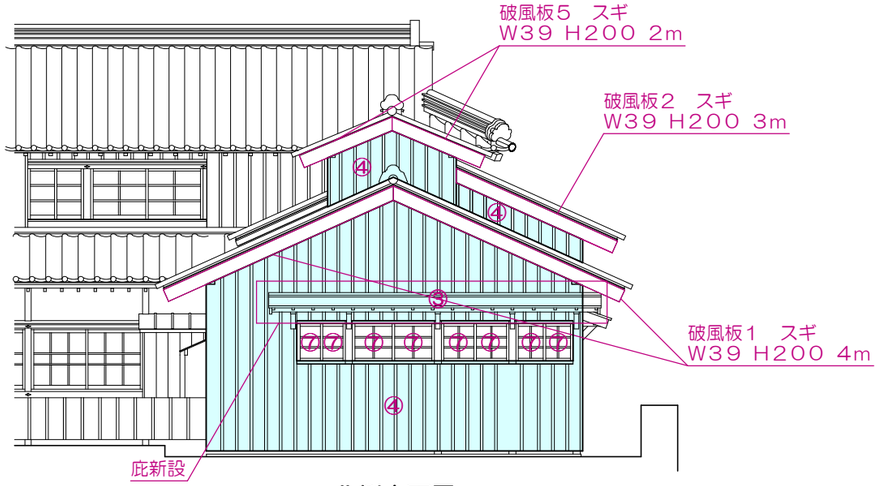
工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度



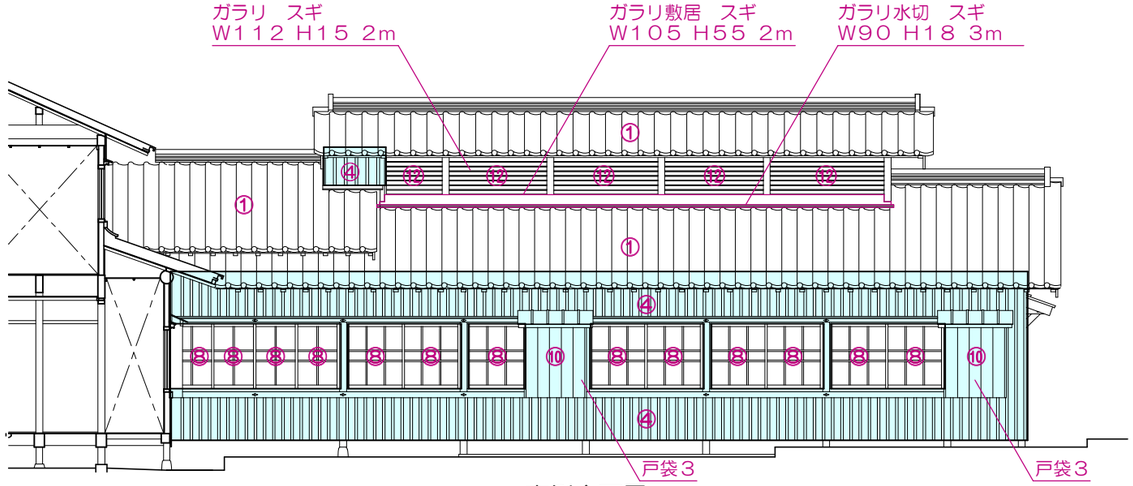
南側立面図



西側立面図



北側立面図



東側立面図

外部仕上げ

①	桟瓦葺 葺替、腰屋根・鬼ほか使用可能なものは再利用	⑦	木製引違い窓 既存建具に倣い復原	⑬	木製木格子 復原
②	桟瓦葺 新設	⑧	木製引違い窓 洗い、調整		
③	ガルバリウム鋼板葺 新設	⑨	木製戸袋 既存建具に倣い復原		
④	外壁縦板張り目板打ち 撤去、取替	⑩	木製戸袋 繕い		
⑤	外壁縦板張り目板打ち 新設	⑪	木製雨戸 既存建具に倣い復原		
⑥	木製引込戸 既存建具に倣い復原	⑫	木製ガラリ（敷居・水切り含む） 繕い		

外壁改修凡例
- ：漆喰塗１
  下地からやり替え（ラス貼、中塗り）後
  不陸調整（浸透プライマー塗布）＋漆喰塗仕上げ
- ：漆喰塗２
  土壁は保全
  不陸調整（浸透プライマー塗布）＋漆喰塗仕上げ
- ：焼杉板張り目板打ち１
  下地からやり替え（ラス貼、中塗り）後
  胴縁･壁板を取替
- ：焼杉板張り目板打ち２
  土壁は保全
  胴縁･壁板を取替

N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

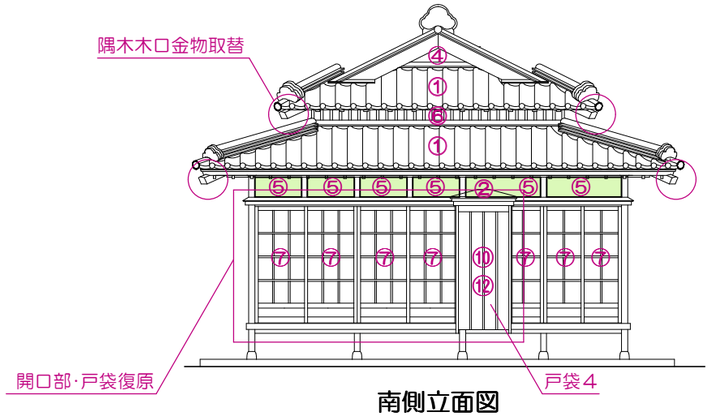
縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
年月日	２０２６.９	図面名称	計画　釜屋　立面図

特記事項

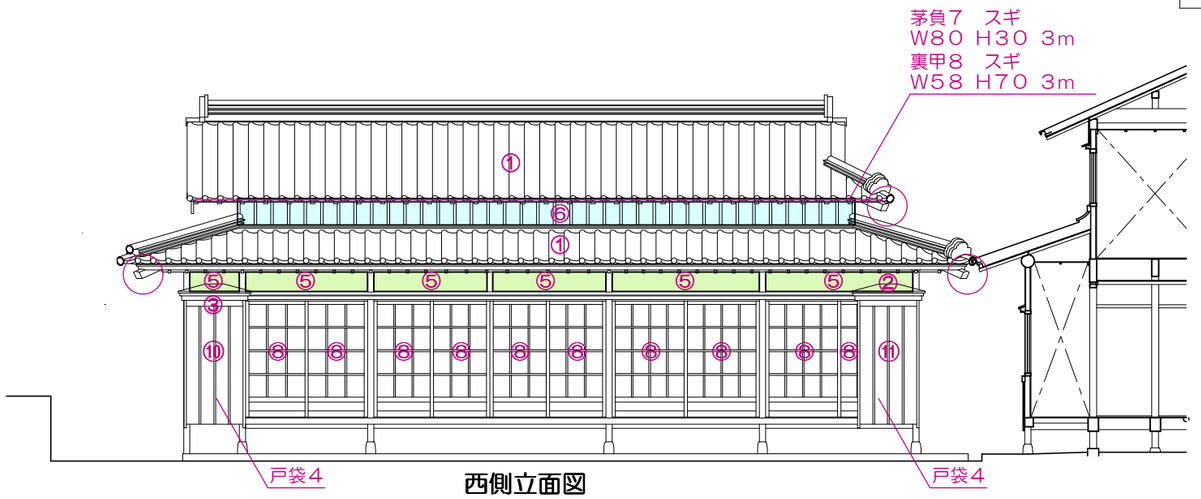
図面番号 Ａ１５

※茅負・裏甲すべて取替（茅負１０～１２、裏甲1･2、１０）

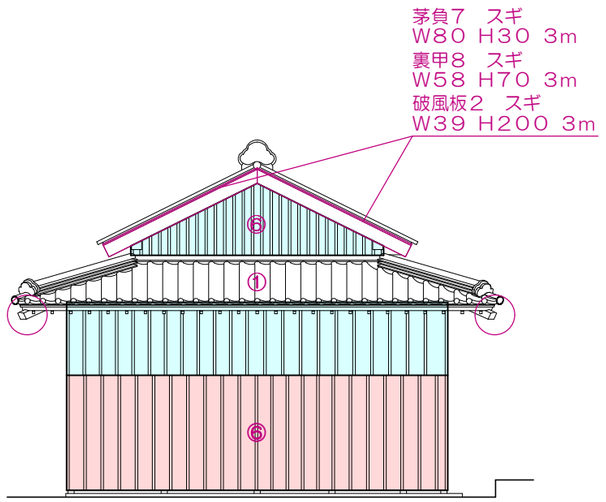
工事年度凡例
- ―：令和８年度
- ―：令和９年度
- ―：令和１０年度



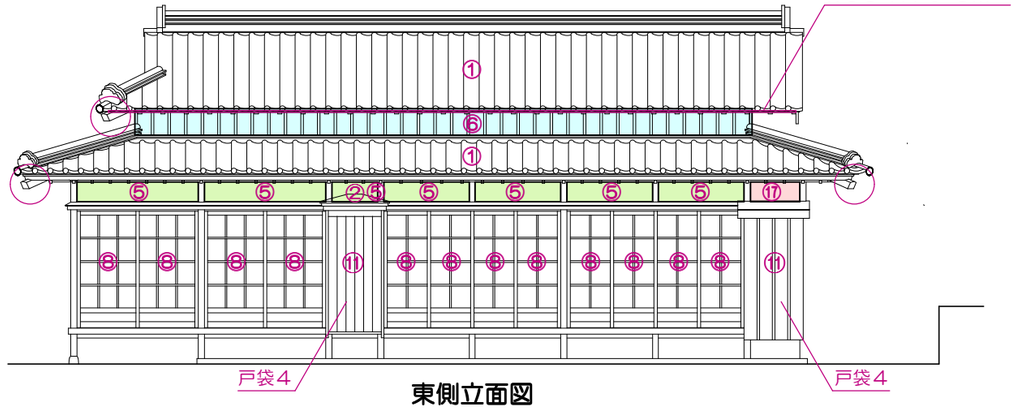
南側立面図



西側立面図



北側立面図



東側立面図

外部仕上げ

①	桟瓦葺 葺替、鬼ほか使用可能なものは再利用	⑦	木製引違い戸 既存建具に倣い復原	⑬	木製面格子 取替
②	鉄板葺 葺替（戸袋屋根）	⑧	木製引違い戸 洗い、調整		
③	鉄板葺 新設（戸袋屋根）	⑨	木製引違い窓 既存建具に倣い復原		
④	屋切漆喰塗 既存仕上げを掻き落し、 中塗り修理のうえ、上塗り塗替	⑩	木製戸袋 既存建具に倣い復原		
⑤	外壁漆喰塗 既存仕上げを掻き落し、 中塗り修理のうえ、上塗り塗替	⑪	木製戸袋 繕い		
⑥	外壁縦板張り目板打ち 撤去、取替	⑫	木製雨戸 既存建具に倣い復原		

外壁改修凡例
- ：漆喰塗１
  下地からやり替え（ラス貼、中塗り）後
  不陸調整（浸透プライマー塗布）＋漆喰塗仕上げ
- ：漆喰塗２
  土壁は保全
  不陸調整（浸透プライマー塗布）＋漆喰塗仕上げ
- ：焼杉板張り目板打ち１
  下地からやり替え（ラス貼、中塗り）後
  胴縁･壁板を取替
- ：焼杉板張り目板打ち２
  土壁は保全
  胴縁･壁板を取替

N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
年月日	２０２６.９	図面名称	計画　離れ　立面図

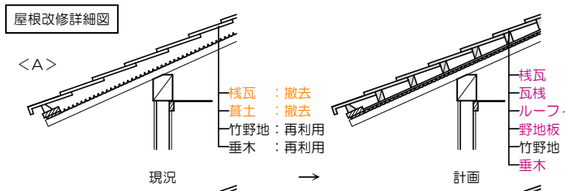
特記事項

図面番号 A１６

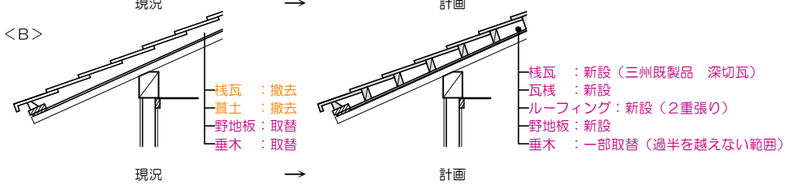
工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

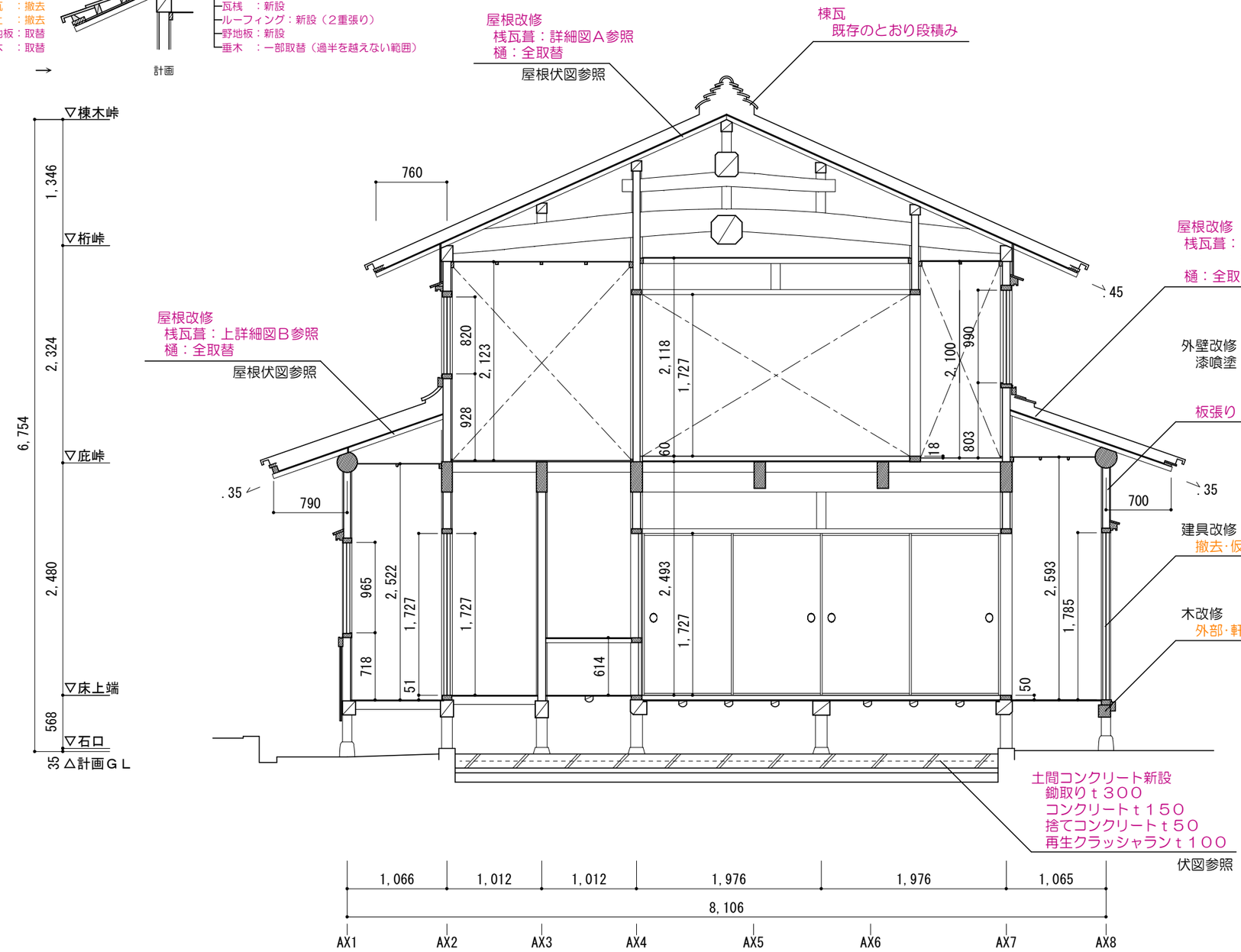
屋根改修詳細図

<A>



<B>





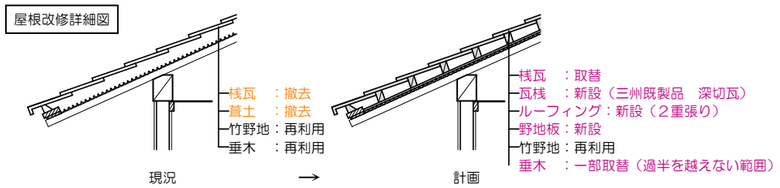
N

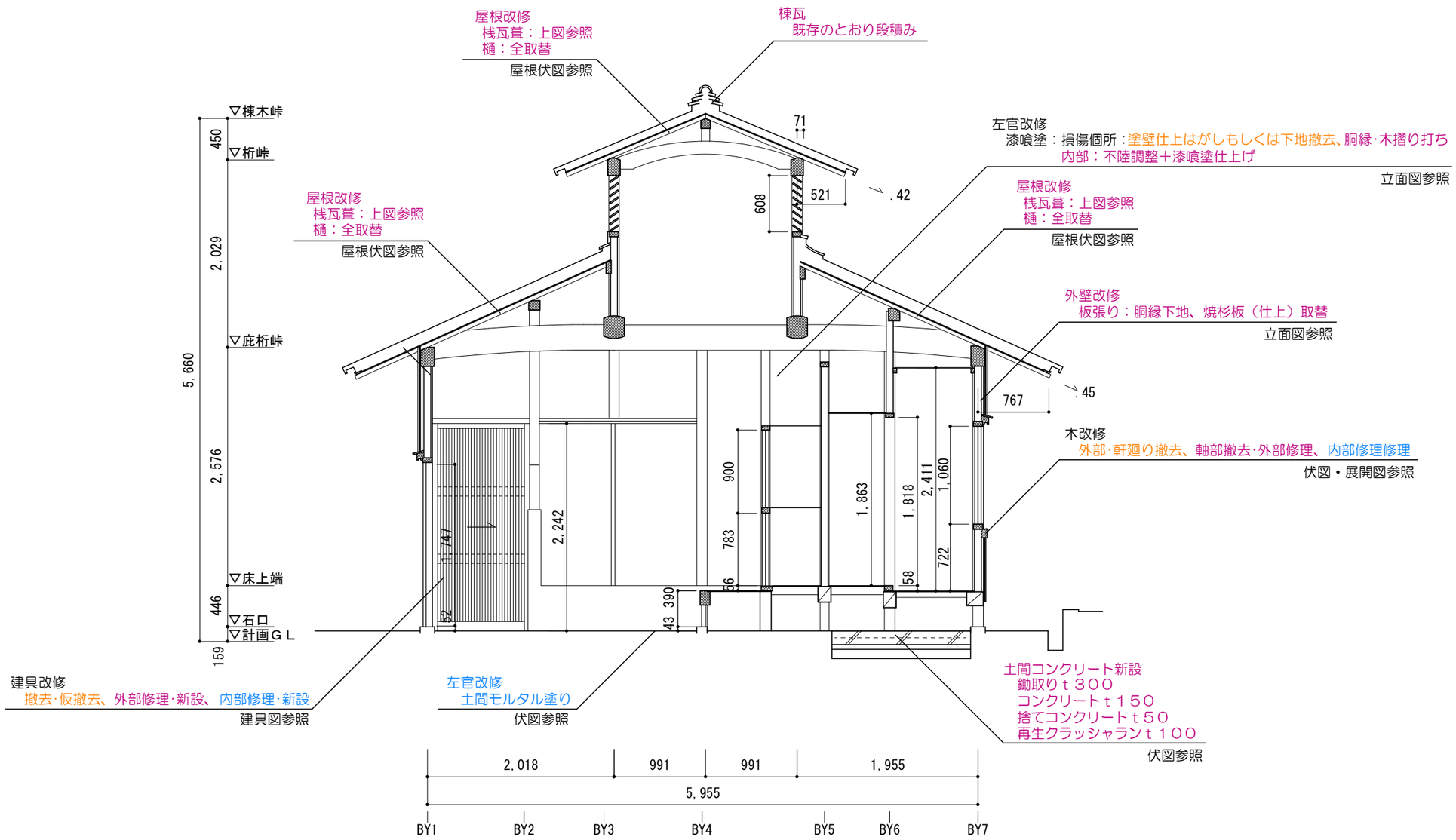
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：50	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 A17
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　主屋　詳細断面図		

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

屋根改修詳細図





単位：mm

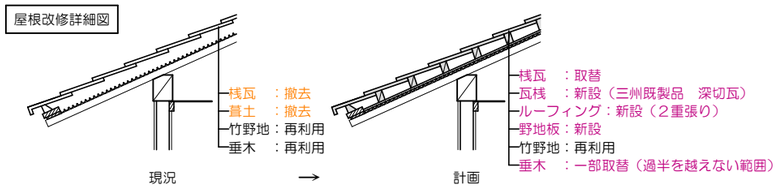
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：50	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　釜屋　詳細断面図

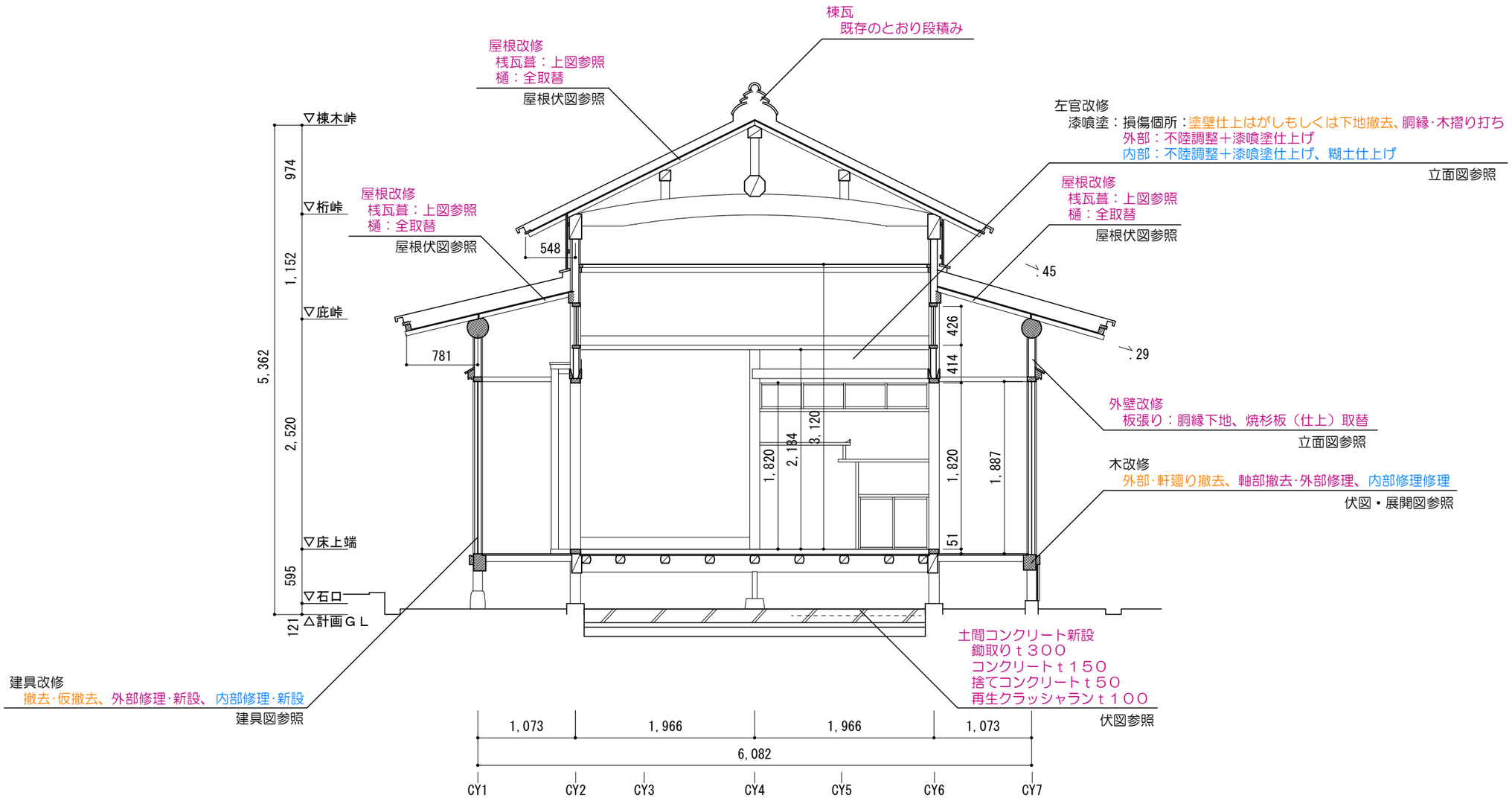
特記事項

図面番号 A18

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

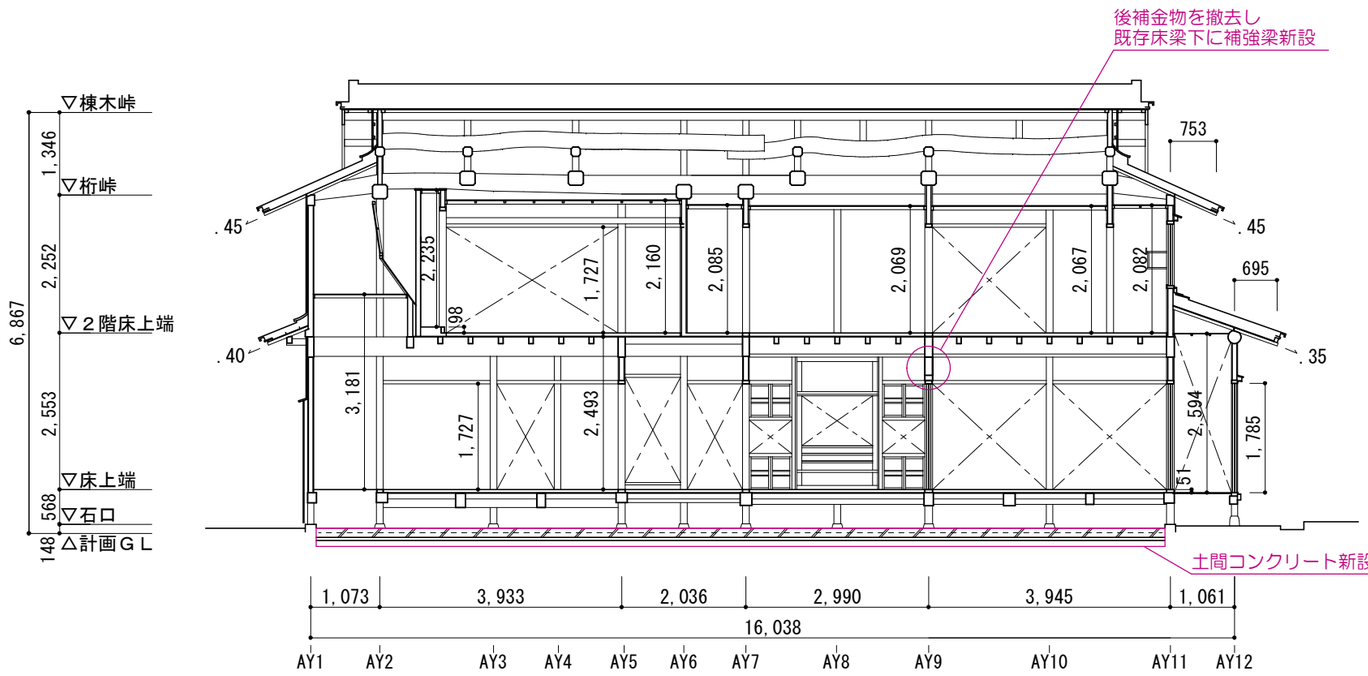
屋根改修詳細図





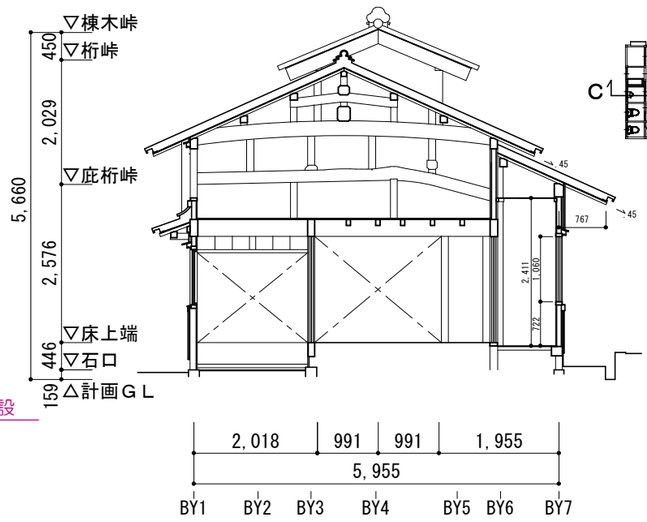
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	１：５０	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 A１９
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１−１２６３６号	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６.９	図面名称	計画　離れ　詳細断面図		



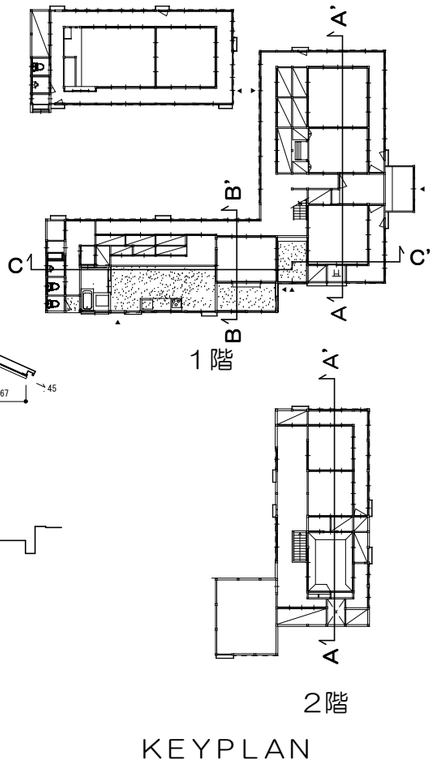
Ａ－Ａ’ 断面図

主屋

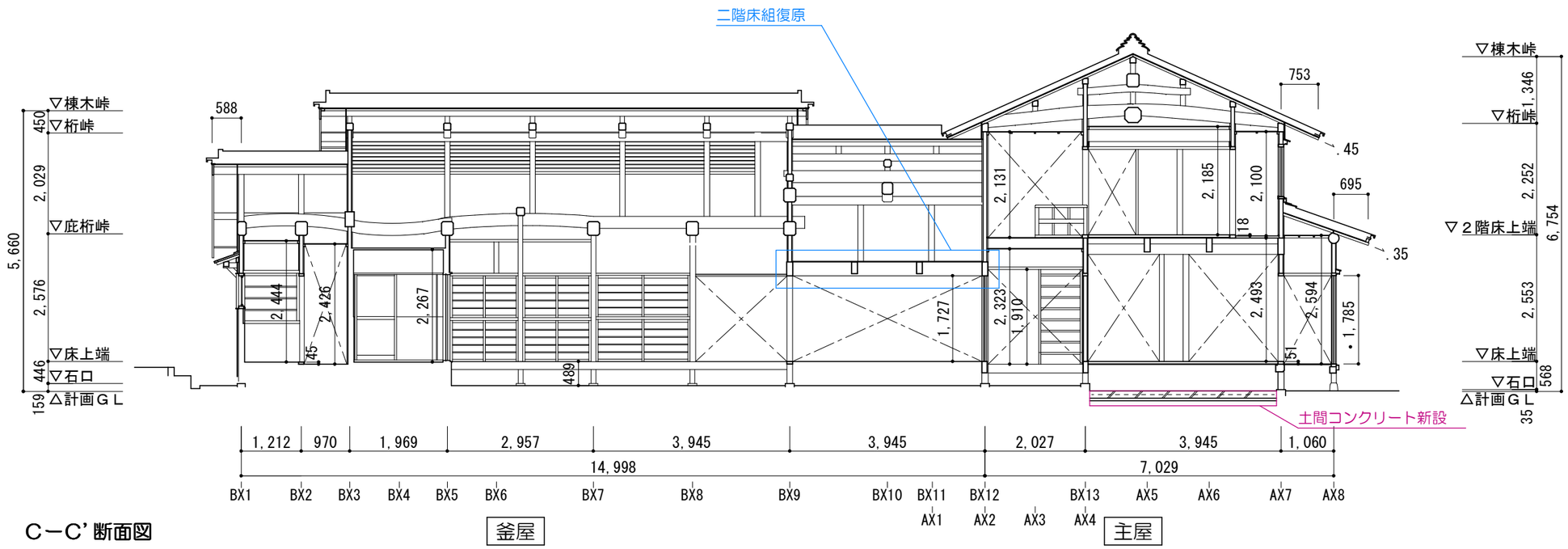


Ｂ－Ｂ’ 断面図

釜屋



KEYPLAN



Ｃ－Ｃ’ 断面図

釜屋

主屋

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

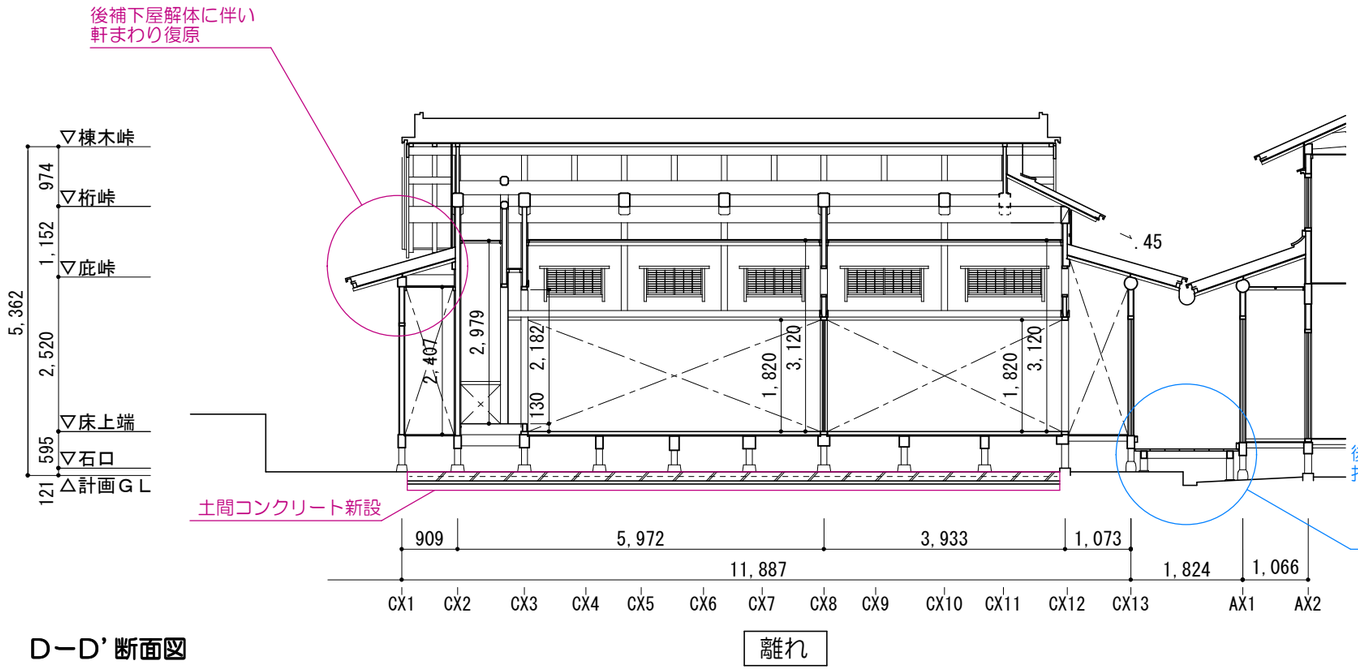
N

単位：mm

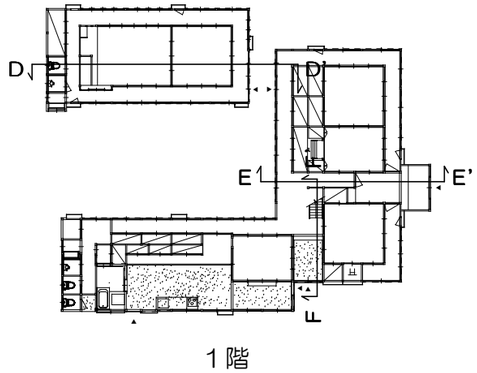
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092－263－7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1－12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　断面図１

特記事項

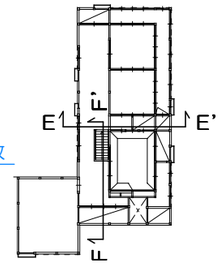
図面番号 A２０



D－D’ 断面図

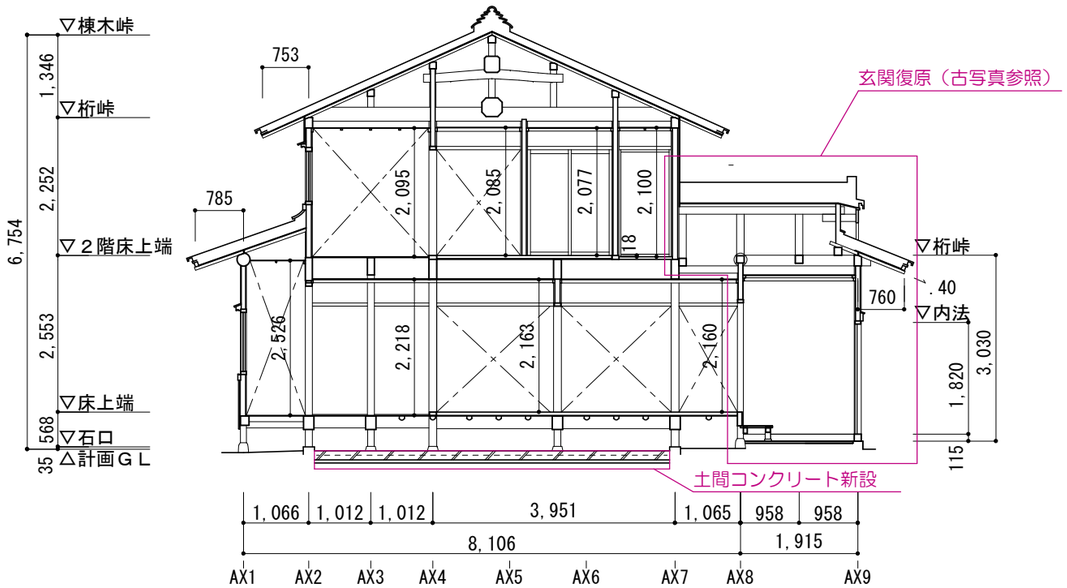


１階

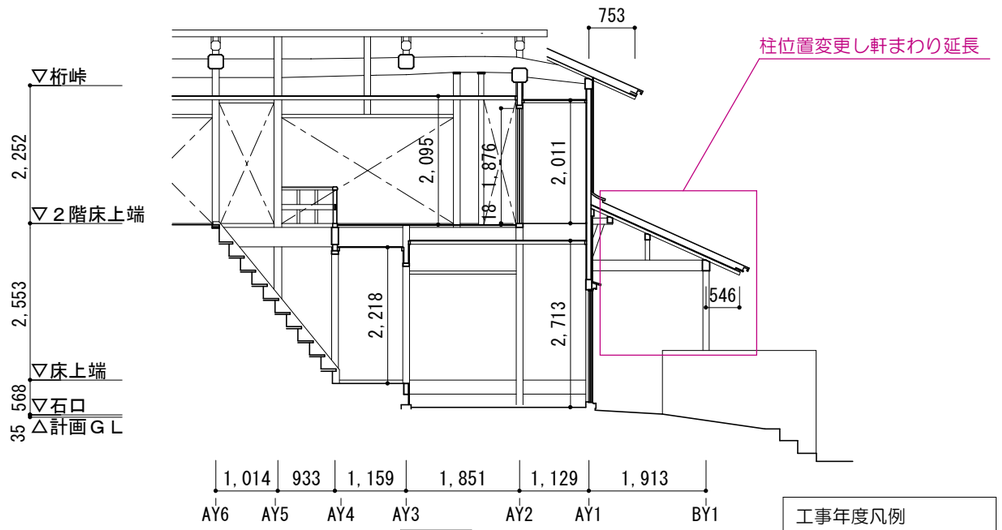


２階

KEYPLAN



E－E’ 断面図



F－F’ 断面図

工事年度凡例
- －：令和８年度
- －：令和９年度
- －：令和１０年度

N

単位：mm

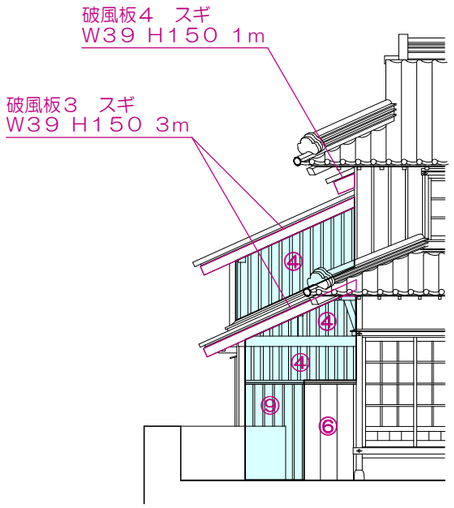
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092－263－7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1－12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　断面図２

特記事項

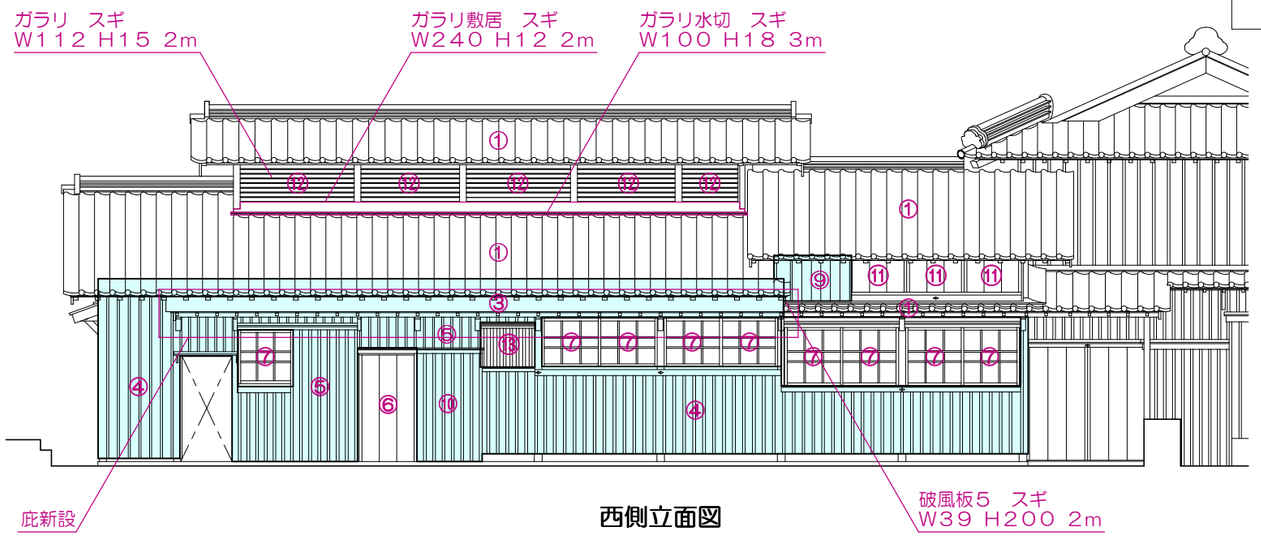
図面番号 A21

※茅負・裏甲上屋除きすべて取替（茅負６～９、裏甲６～９）

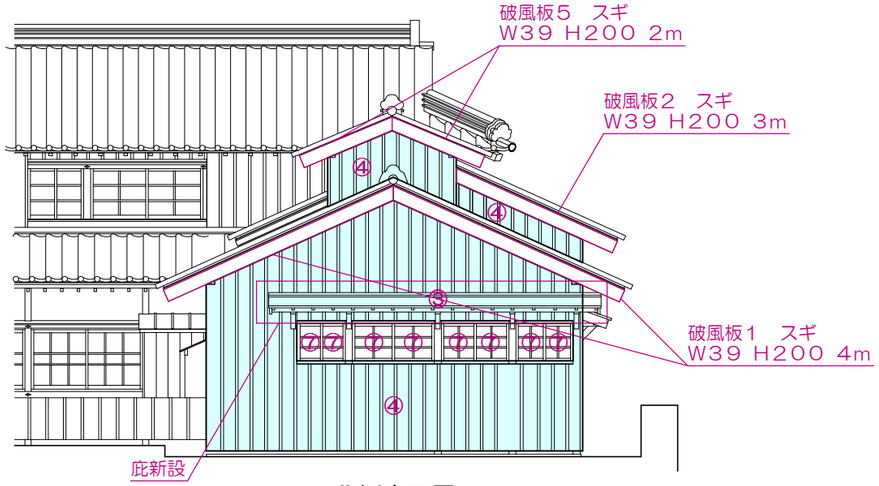
工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度



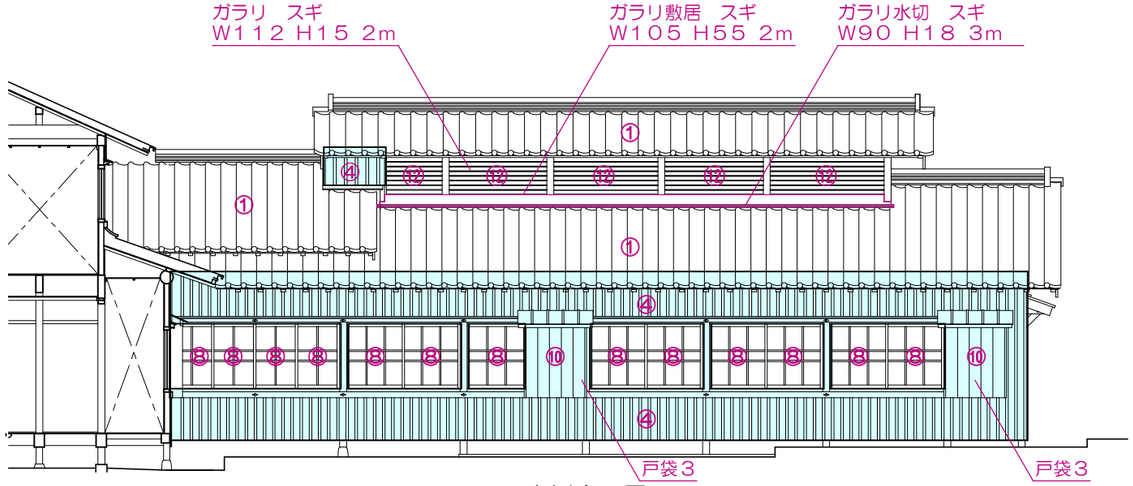
南側立面図



西側立面図



北側立面図



東側立面図

外部仕上げ

①	桟瓦葺 葺替、腰屋根・鬼ほか使用可能なものは再利用	⑦	木製引違い窓 既存建具に倣い復原	⑬	木製木格子 復原
②	桟瓦葺 新設	⑧	木製引違い窓 洗い、調整		
③	ガルバリウム鋼板葺 新設	⑨	木製戸袋 既存建具に倣い復原		
④	外壁縦板張り目板打ち 撤去、取替	⑩	木製戸袋 繕い		
⑤	外壁縦板張り目板打ち 新設	⑪	木製雨戸 既存建具に倣い復原		
⑥	木製引込戸 既存建具に倣い復原	⑫	木製ガラリ（敷居・水切り含む） 繕い		

外壁改修凡例
- ：漆喰塗１
  下地からやり替え（ラス貼、中塗り）後
  不陸調整（浸透プライマー塗布）＋漆喰塗仕上げ
- ：漆喰塗２
  土壁は保全
  不陸調整（浸透プライマー塗布）＋漆喰塗仕上げ
- ：焼杉板張り目板打ち１
  下地からやり替え（ラス貼、中塗り）後
  胴縁･壁板を取替
- ：焼杉板張り目板打ち２
  土壁は保全
  胴縁･壁板を取替

N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
年月日	２０２６.２	図面名称	計画　釜屋　立面図

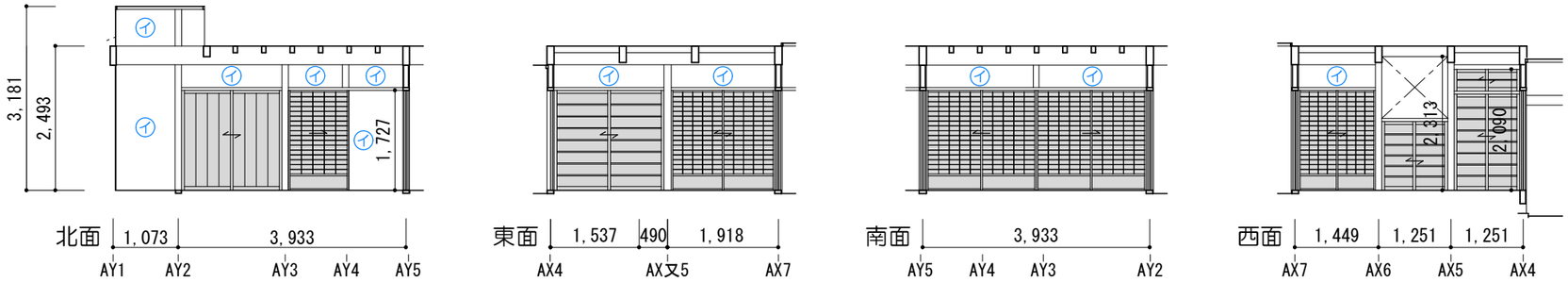
特記事項

図面番号 Ａ１５

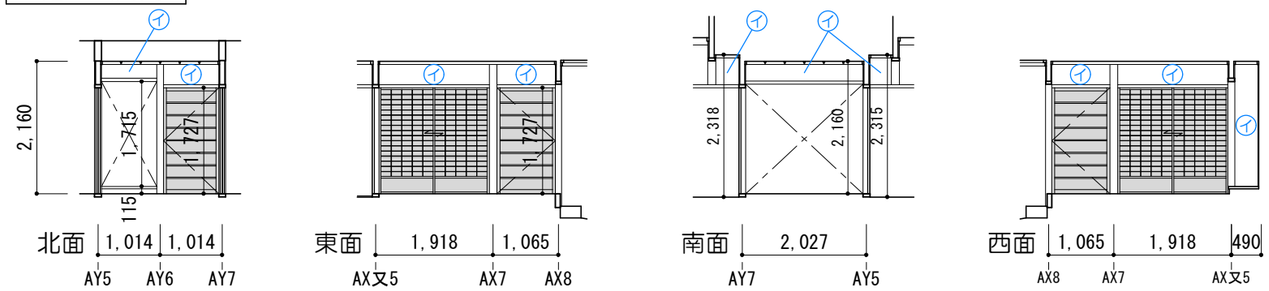
工事年度凡例
- ー：令和８年度
- ー：令和９年度
- ー：令和１０年度

※材料購入はＲ８年度

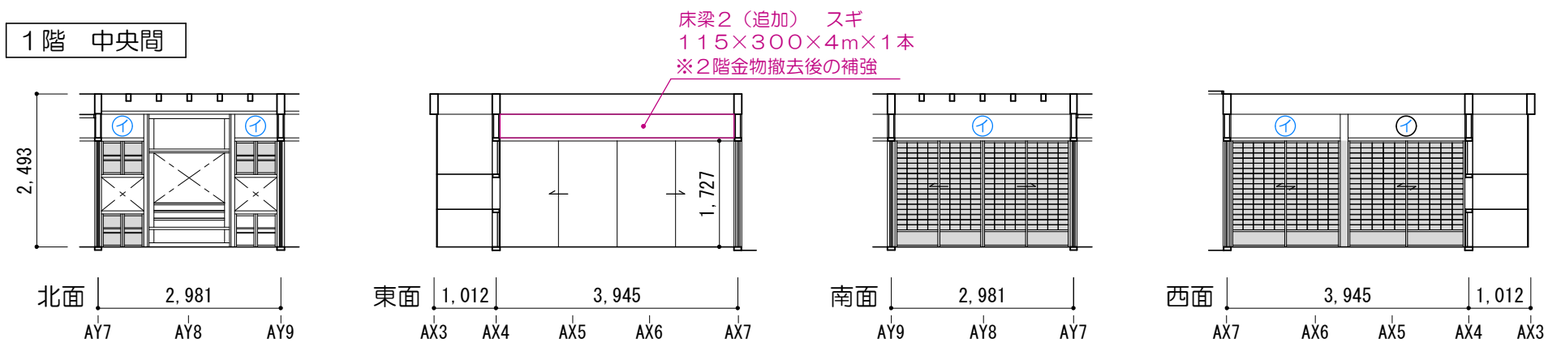
１階　西間



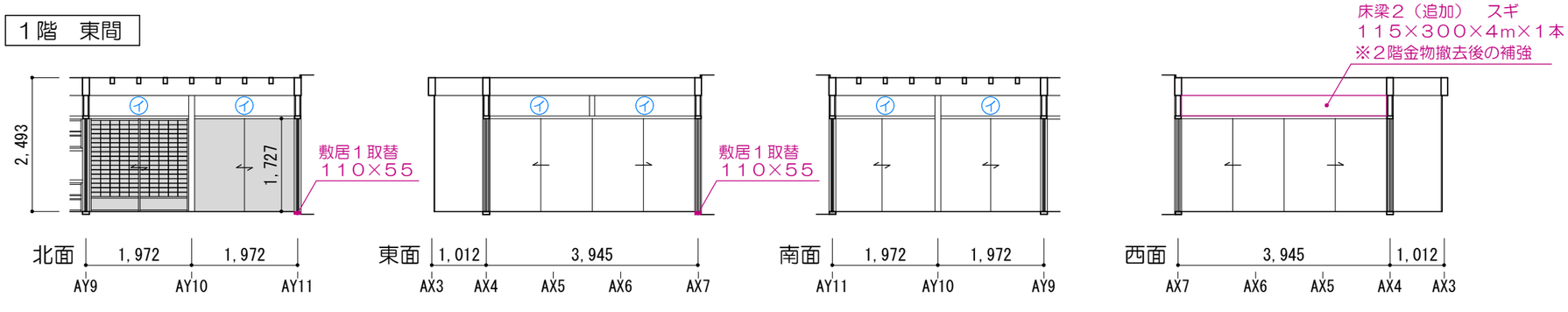
１階　玄関間



１階　中央間



１階　東間



凡例

■壁仕上げ
- (イ)：漆喰塗仕上げ
- (ロ)：糊土仕上げ
- (ハ)：モルタル吹付
- (ニ)：タイル貼
- (ホ)：クロス貼
- (ヘ)：板張

■建具
- ：新設建具
  他建具はすべて補修

■新設壁
- ：下地から新設

単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　主屋　展開図１

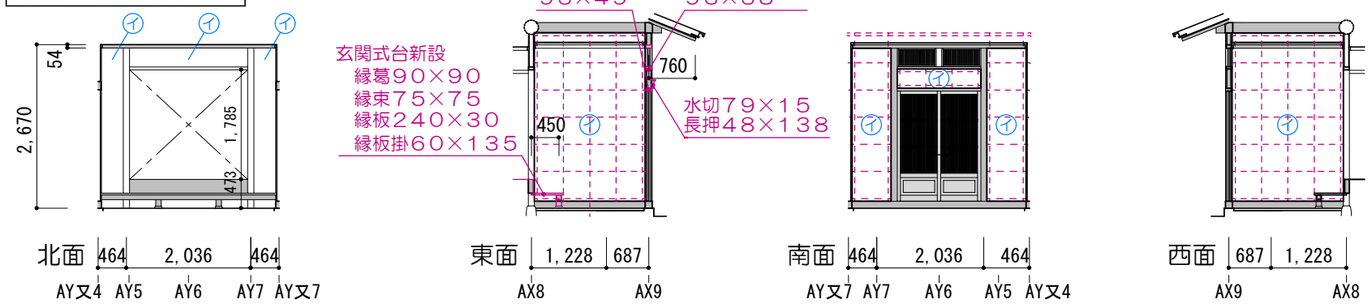
特記事項
※ ：取替材・新規材
※構造材・軒まわりの取替材・新規材寸法は伏図（Ａ７～１１）を参照
※建具は建具図（Ａ２５）を参照

図面番号 Ａ２２-１

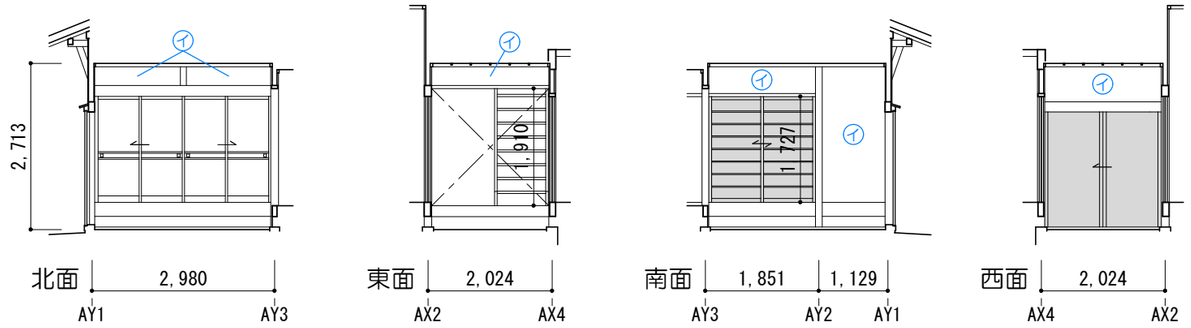
工事年度凡例
- ―：令和８年度
- ―：令和９年度
- ―：令和１０年度

※材料購入はＲ８年度

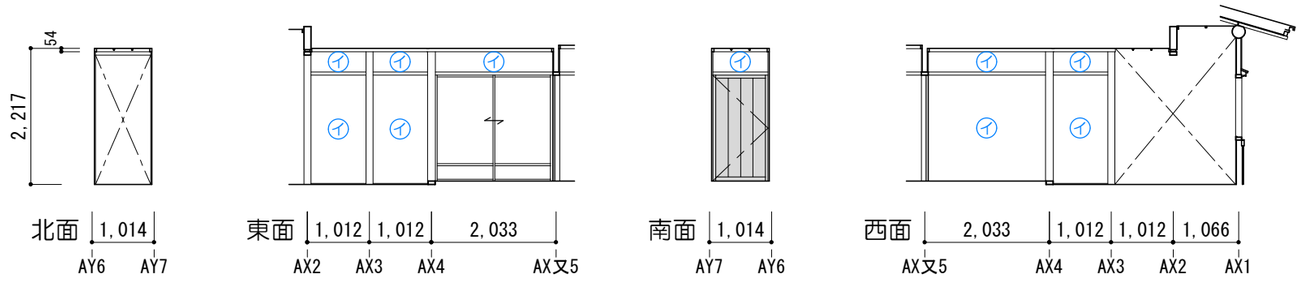
１階　玄関（内部）



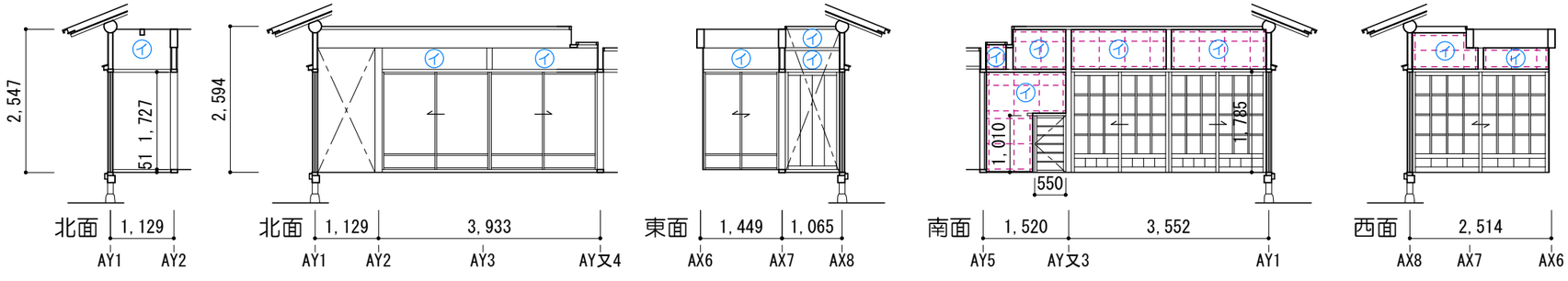
１階　内玄関



１階　中廊下



１階　西側縁



凡例

■壁仕上げ
- (イ)：漆喰塗仕上げ
- (ロ)：糊土仕上げ
- (ハ)：モルタル吹付
- (ニ)：タイル貼
- (ホ)：クロス貼
- (ヘ)：板張

■建具
- ：新設建具
  他建具はすべて補修

■新設壁
- ：下地から新設

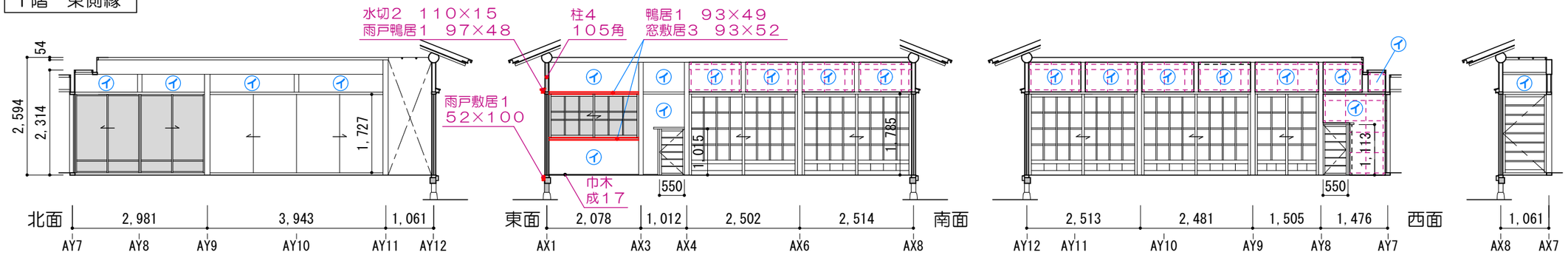
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092－263－7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1－12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　主屋　展開図２

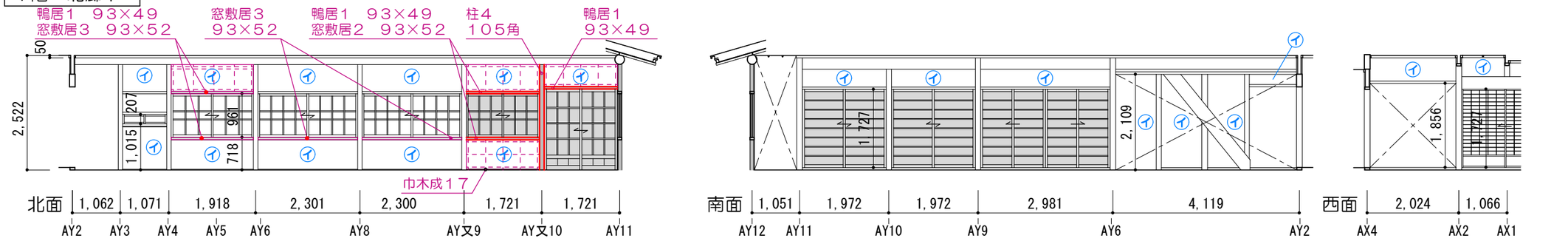
特記事項
※ ：取替材・新規材
※構造材・軒まわりの取替材・新規材寸法は伏図（Ａ７～１１）を参照
※建具は建具図（Ａ２５）を参照

図面番号 Ａ２２-２

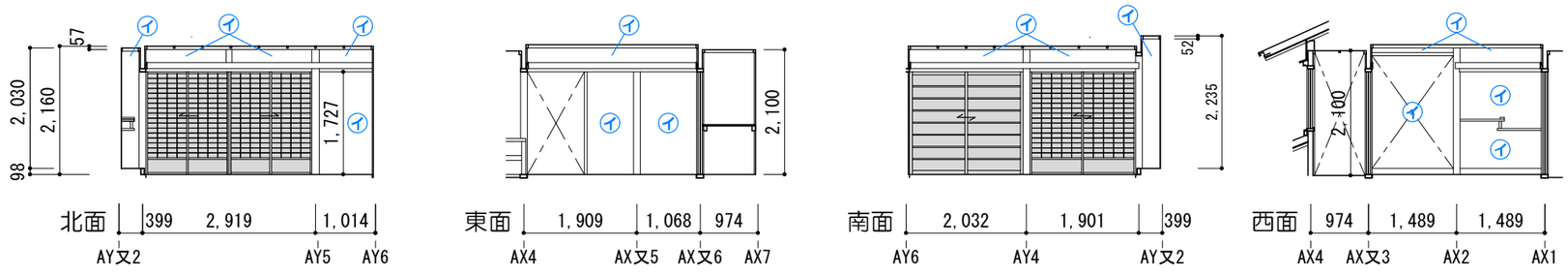
1階　東側縁



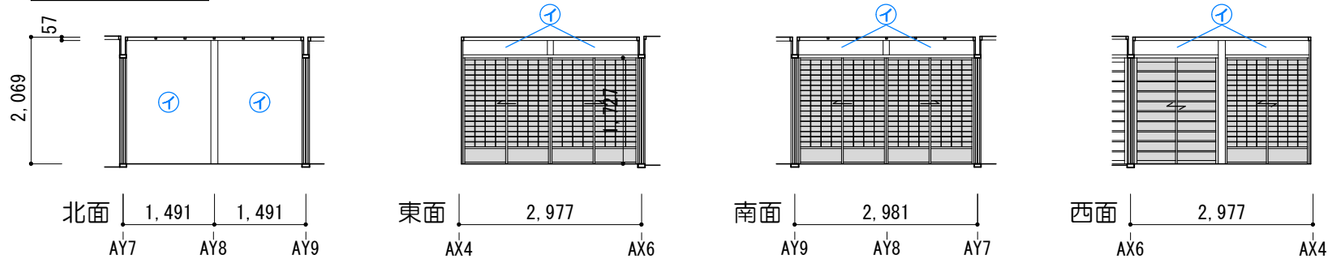
1階　北廊下



2階　座敷



2階　中央間



凡例

■壁仕上げ
- (イ)：漆喰塗仕上げ
- (ロ)：糊土仕上げ
- (ハ)：モルタル吹付
- (ニ)：タイル貼
- (ホ)：クロス貼
- (ヘ)：板張

■建具
- ：新設建具
  他建具はすべて補修

■新設壁
- ：下地から新設

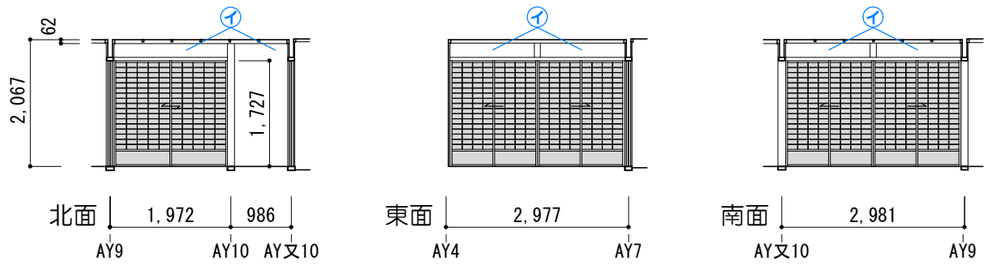
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　主屋　展開図３

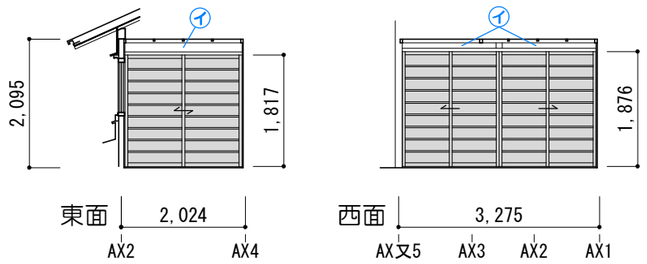
特記事項
※ ：取替材・新規材
※構造材・軒まわりの取替材・新規材寸法は伏図（A7〜11）を参照
※建具は建具図（A25）を参照

図面番号 A22-3

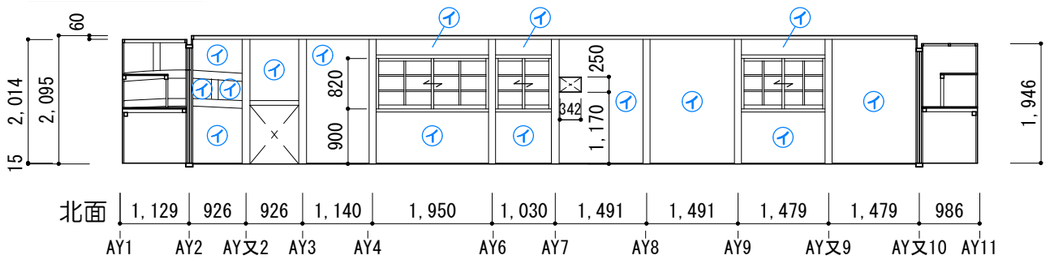
２階　東間

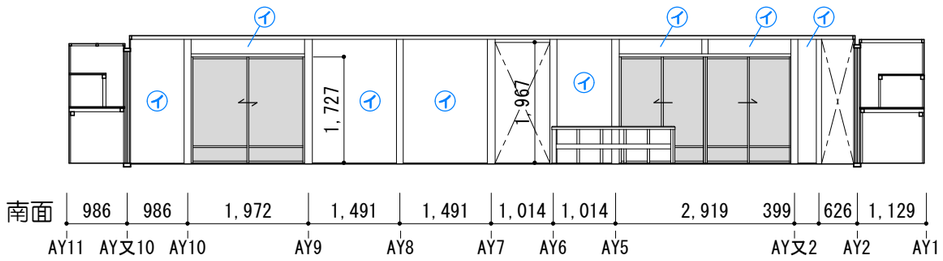


主屋２階　北廊下

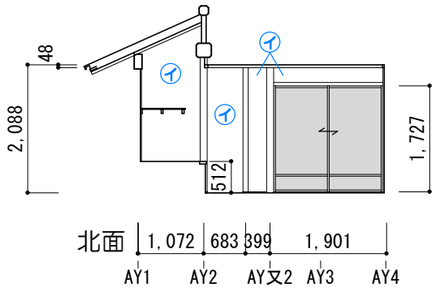


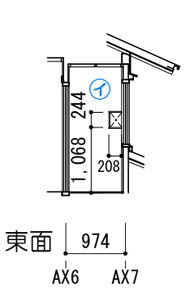
２階　北廊下

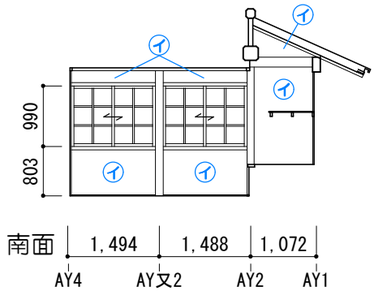


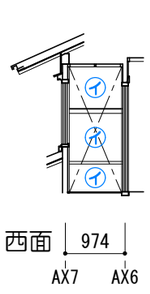


２階　南廊下

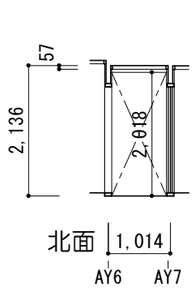


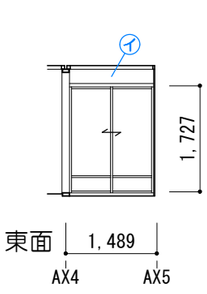


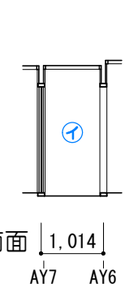


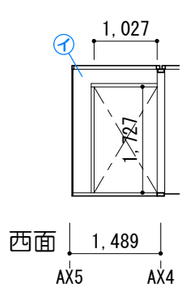


主屋２階　中廊下

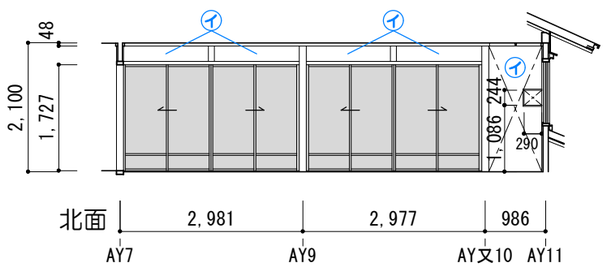


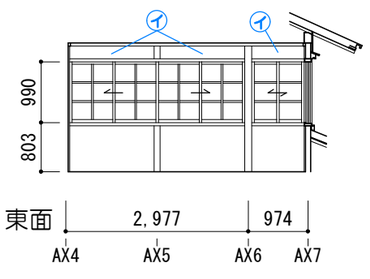


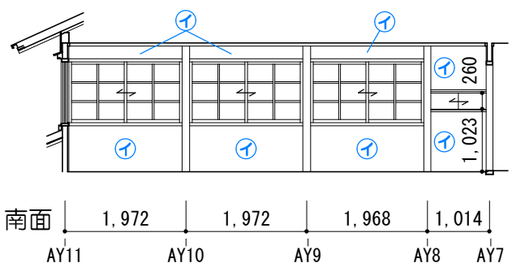


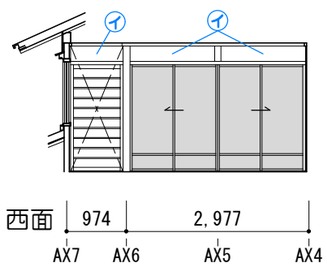


２階　南廊下









凡例

■壁仕上げ
- (イ)：漆喰塗仕上げ
- (ロ)：糊土仕上げ
- (ハ)：モルタル吹付
- (ニ)：タイル貼
- (ホ)：クロス貼
- (ヘ)：板張

■建具
- ：新設建具
  他建具はすべて補修

■新設壁
- ：下地から新設

単位：mm

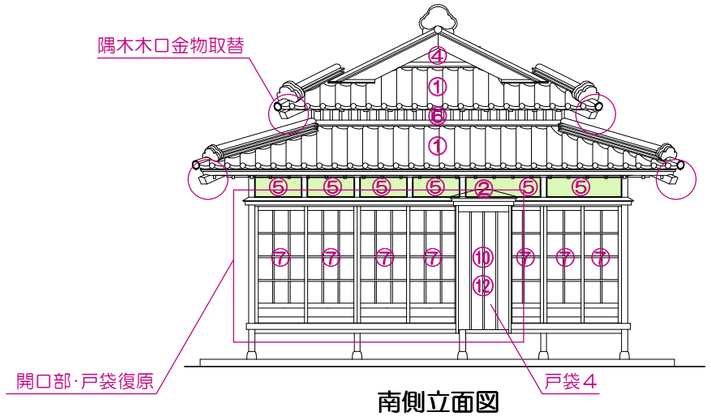
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　主屋　展開図４

特記事項
※ ：取替材・新規材
※構造材・軒まわりの取替材・新規材寸法は伏図（A7〜11）を参照
※建具は建具図（A25）を参照

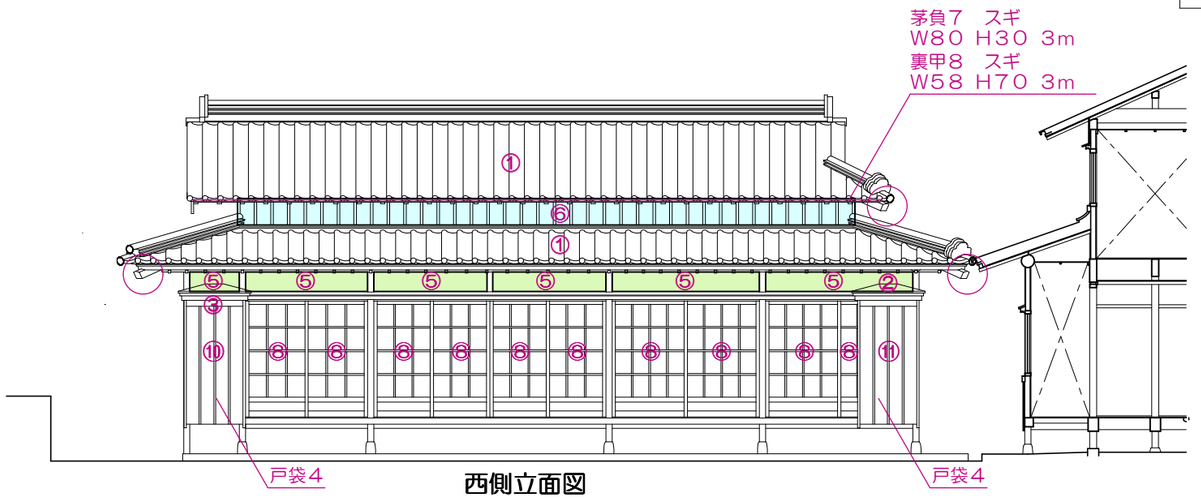
図面番号 A22-4

※茅負・裏甲すべて取替（茅負１０～１２、裏甲1･2、１０）

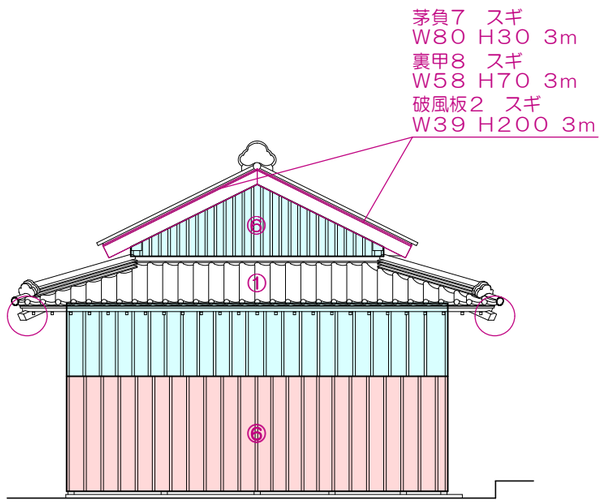
工事年度凡例
- ―：令和８年度
- ―：令和９年度
- ―：令和１０年度



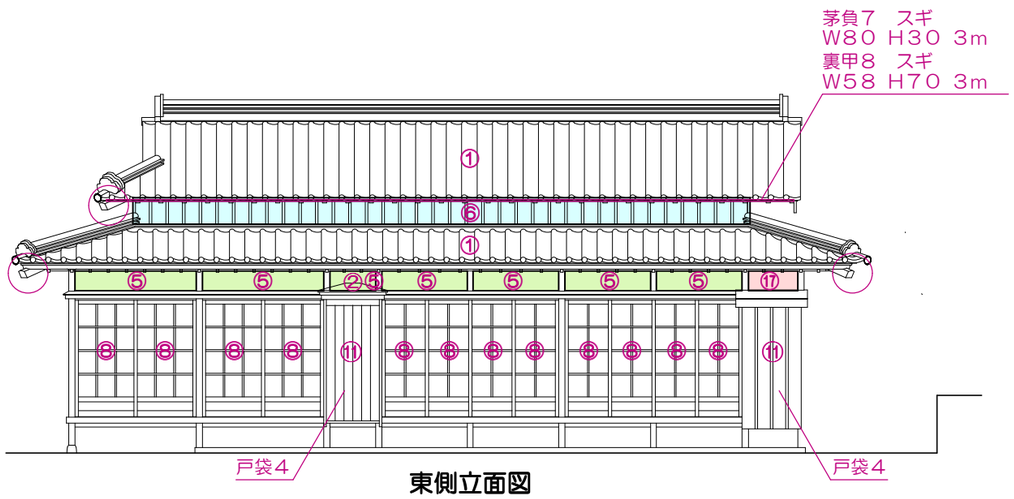
南側立面図



西側立面図



北側立面図



東側立面図

外部仕上げ

①	桟瓦葺 葺替、鬼ほか使用可能なものは再利用	⑦	木製引違い戸 既存建具に倣い復原	⑬	木製面格子 取替
②	鉄板葺 葺替（戸袋屋根）	⑧	木製引違い戸 洗い、調整		
③	鉄板葺 新設（戸袋屋根）	⑨	木製引違い窓 既存建具に倣い復原		
④	屋切漆喰塗 既存仕上げを掻き落し、 中塗り修理のうえ、上塗り塗替	⑩	木製戸袋 既存建具に倣い復原		
⑤	外壁漆喰塗 既存仕上げを掻き落し、 中塗り修理のうえ、上塗り塗替	⑪	木製戸袋 繕い		
⑥	外壁縦板張り目板打ち 撤去、取替	⑫	木製雨戸 既存建具に倣い復原		

外壁改修凡例
- ：漆喰塗１
  - 下地からやり替え（ラス貼、中塗り）後
  - 不陸調整（浸透プライマー塗布）＋漆喰塗仕上げ
- ：漆喰塗２
  - 土壁は保全
  - 不陸調整（浸透プライマー塗布）＋漆喰塗仕上げ
- ：焼杉板張り目板打ち１
  - 下地からやり替え（ラス貼、中塗り）後
  - 胴縁･壁板を取替
- ：焼杉板張り目板打ち２
  - 土壁は保全
  - 胴縁･壁板を取替

N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
年月日	２０２６．２	図面名称	計画　離れ　立面図

特記事項

図面番号 Ａ１６

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

※材料購入はＲ８年度

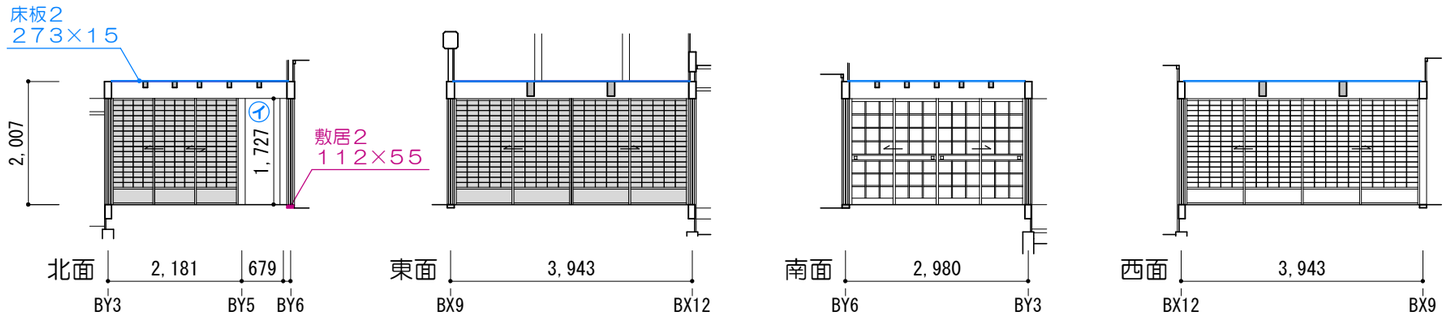
凡例

■壁仕上げ
- (イ)：漆喰塗仕上げ
- (ロ)：糊土仕上げ
- (ハ)：モルタル吹付
- (ニ)：タイル貼
- (ホ)：クロス貼
- (ヘ)：板張

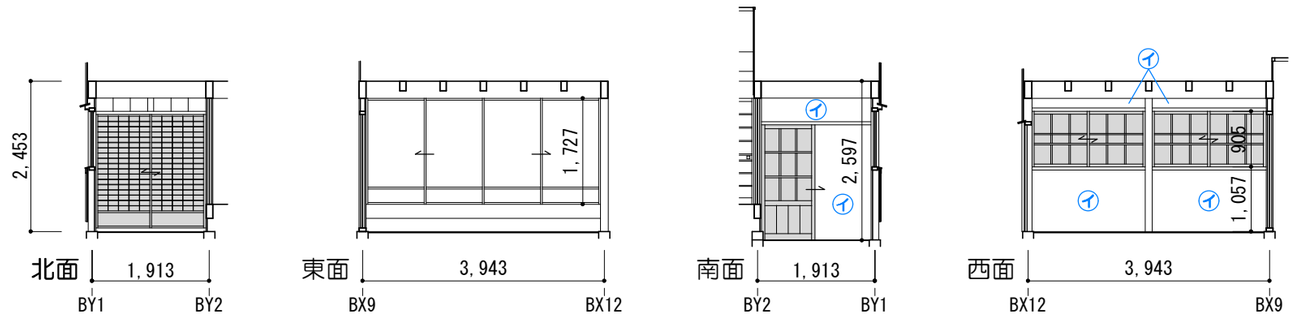
■建具
- ：新設建具
  他建具はすべて補修

■新設壁
- ：下地から新設

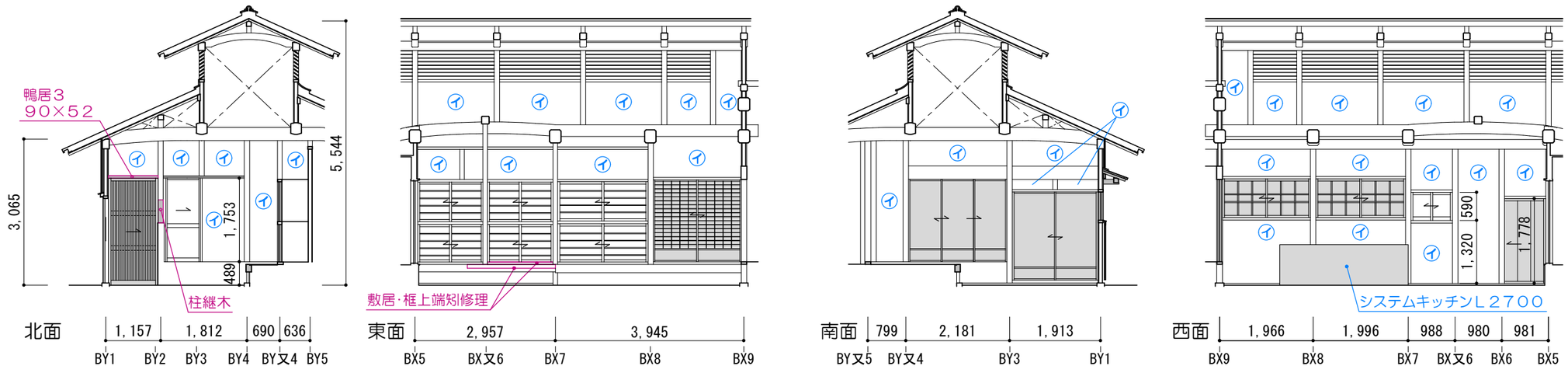
畳の間



玄関



土間



単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１−１２６３６号	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６.９	図面名称	計画　釜屋　展開図１

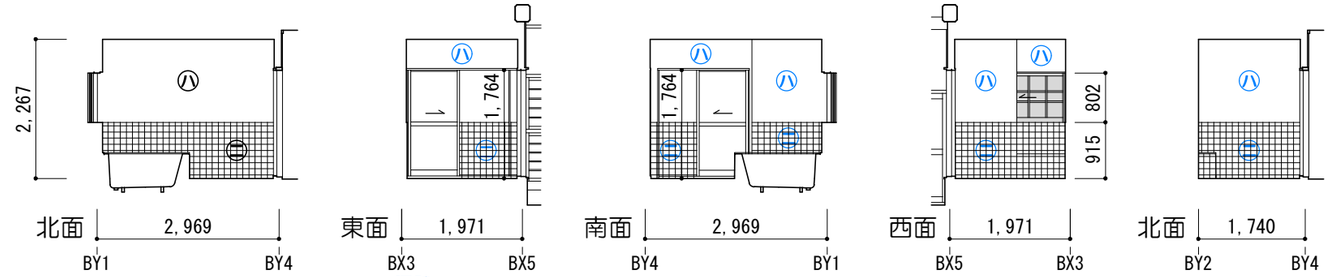
特記事項
※ ：取替材・新規材
※構造材・軒まわりの取替材・新規材寸法は伏図（Ａ７～１１）を参照
※建具は建具図（Ａ２５）を参照

図面番号
Ａ２３-１

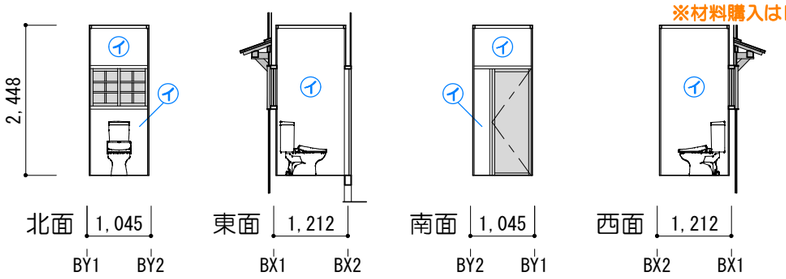
工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

※材料購入はＲ８年度

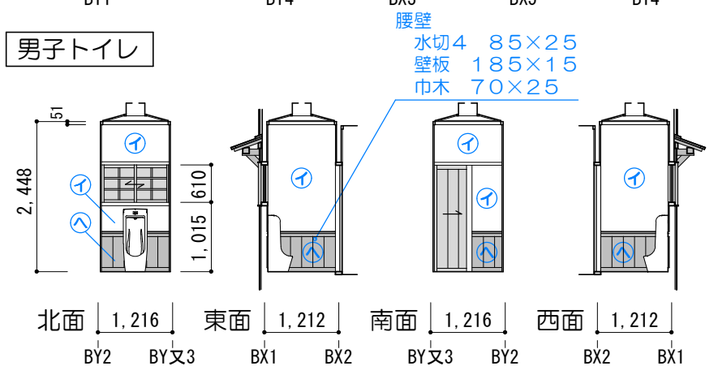
風呂



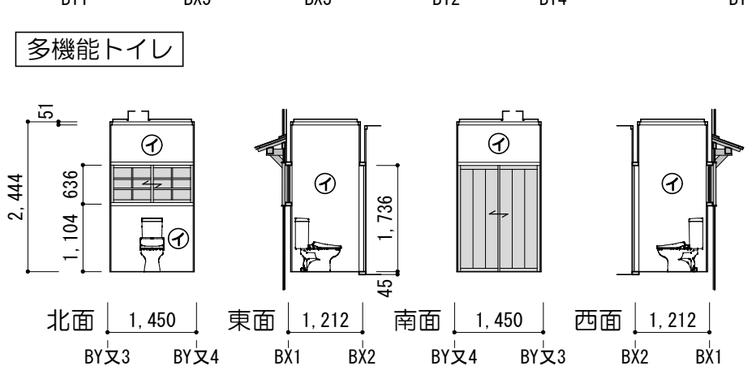
釜屋　外部用トイレ



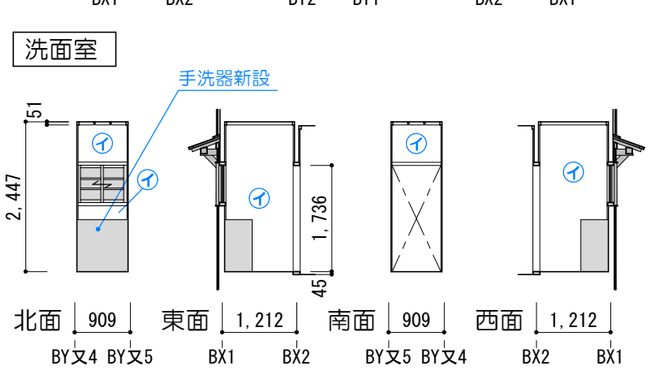
男子トイレ



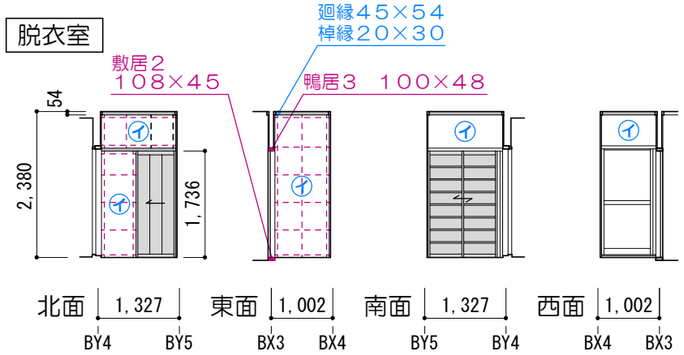
多機能トイレ



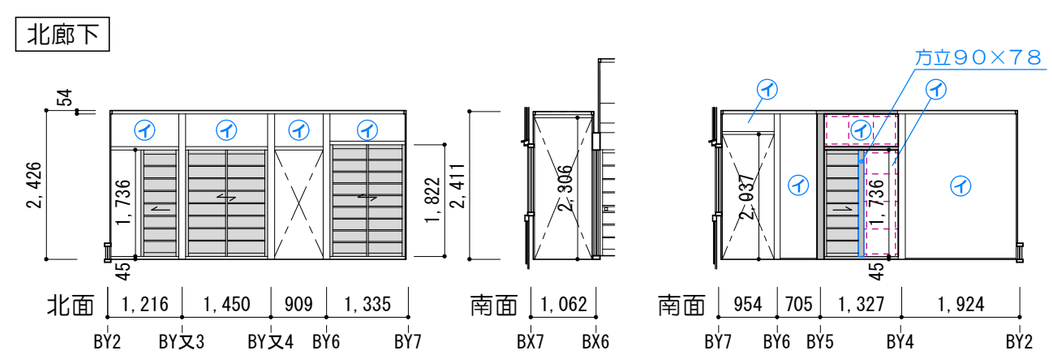
洗面室



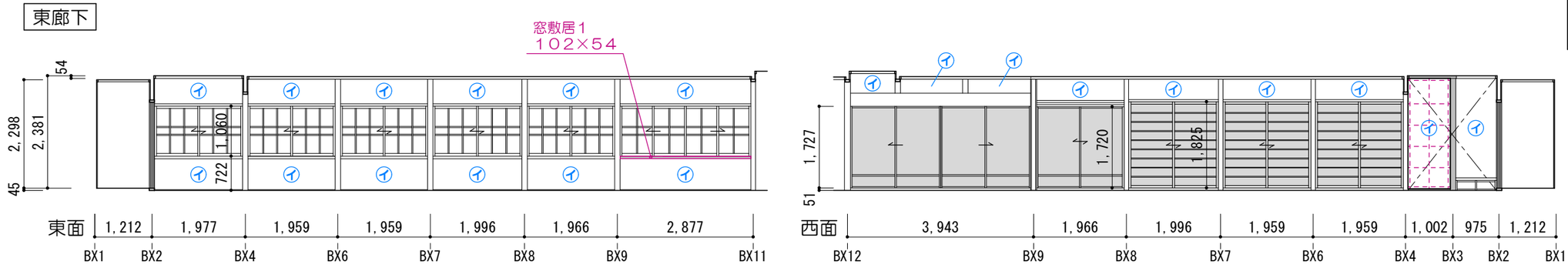
脱衣室



北廊下



東廊下



凡例

■壁仕上げ
- (イ)：漆喰塗仕上げ
- (ロ)：糊土仕上げ
- (ハ)：モルタル吹付
- (ニ)：タイル貼
- (ホ)：クロス貼
- (ヘ)：板張

■建具
- ：新設建具
  他建具はすべて補修

■新設壁
- ：下地から新設

単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所 福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848		縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　釜屋　展開図２

特記事項
- ※ ：取替材・新規材
- ※構造材・軒まわりの取替材・新規材寸法は伏図（Ａ７～１１）を参照
- ※建具は建具図（Ａ２５）を参照

図面番号 Ａ２３-２

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

※材料購入はＲ８年度

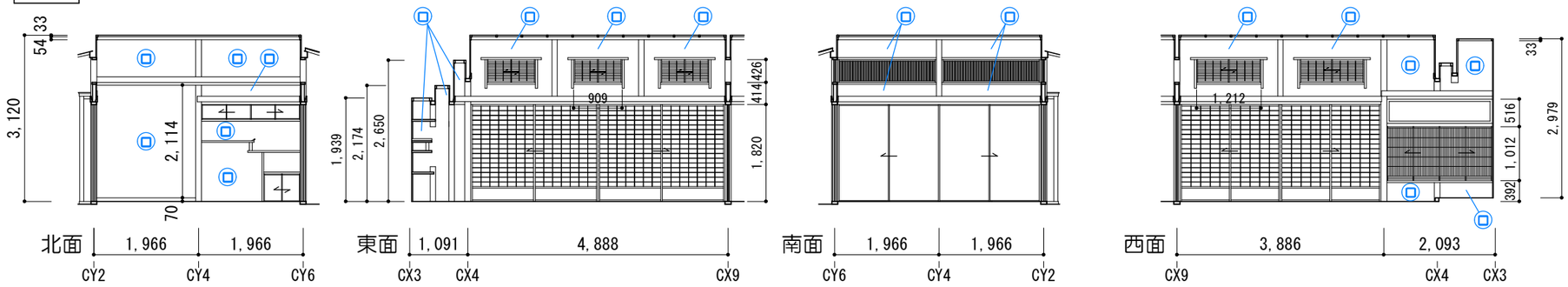
凡例

■壁仕上げ
- (イ)：漆喰塗仕上げ
- (ロ)：糊土仕上げ
- (ハ)：モルタル吹付
- (ニ)：タイル貼
- (ホ)：クロス貼
- (ヘ)：板張

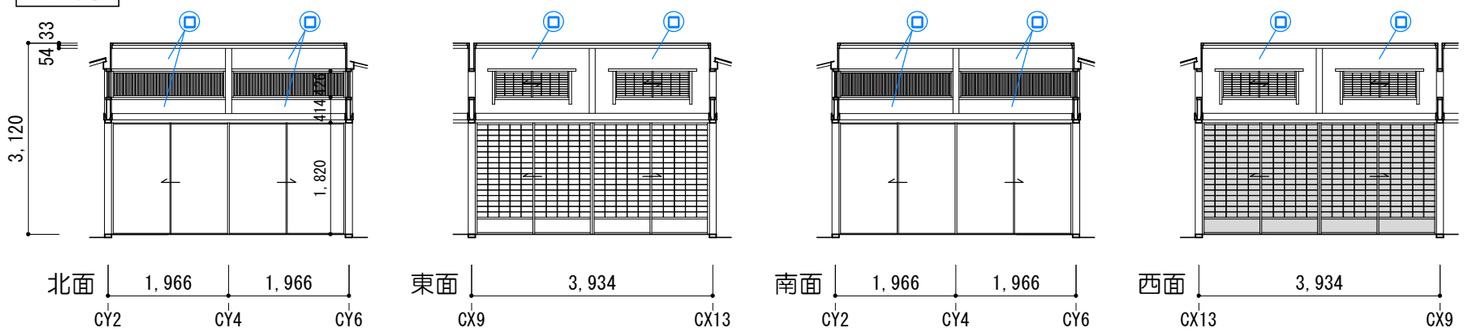
■建具
- ：新設建具
  他建具はすべて補修

■新設壁
- ：下地から新設

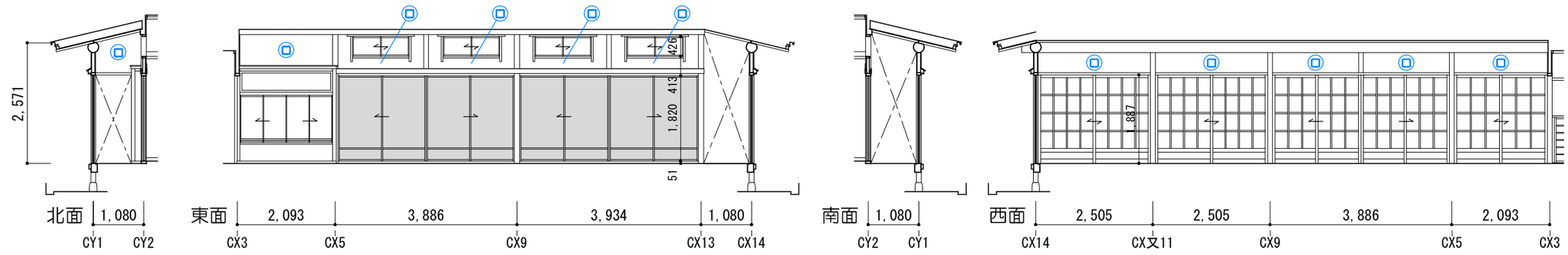
座敷



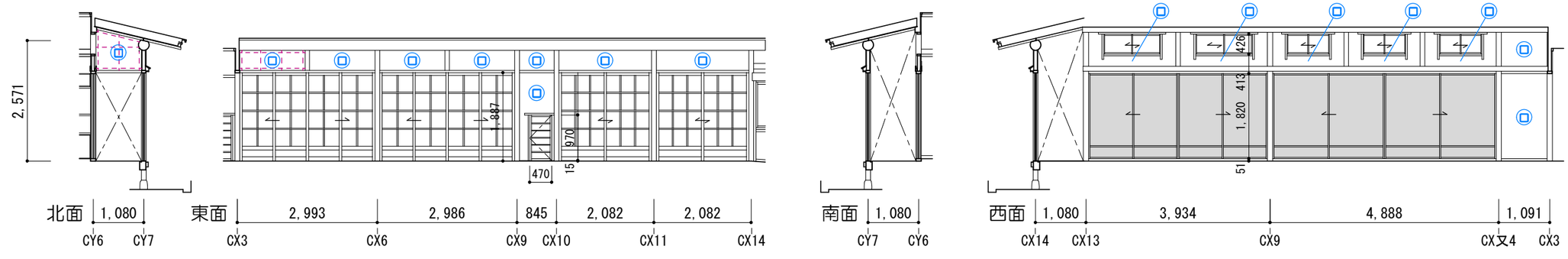
次の間



西側縁



東側縁



単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項 ※ ：取替材・新規材 ※構造材・軒まわりの取替材・新規材寸法は伏図（Ａ７～１１）を参照 ※建具は建具図（Ａ２５）を参照	図面番号 Ａ２４-１
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１−１２６３６号	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６.９	図面名称	計画　離れ　展開図１		

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

※材料購入はＲ８年度

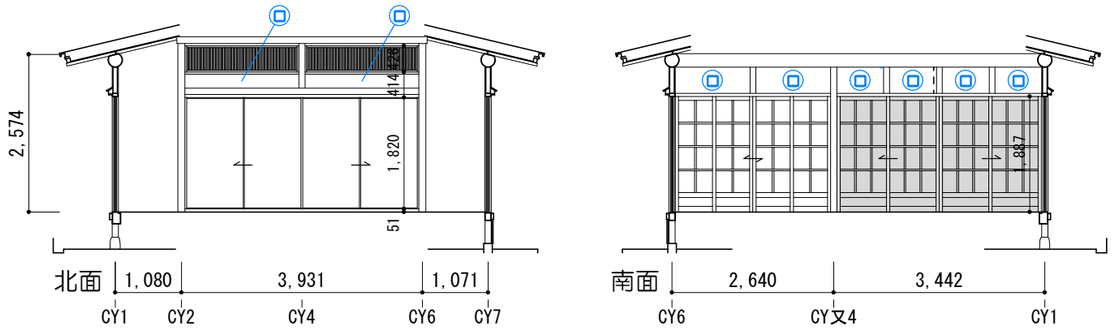
凡例

■壁仕上げ
- (イ)：漆喰塗仕上げ
- (ロ)：糊土仕上げ
- (ハ)：モルタル吹付
- (ニ)：タイル貼
- (ホ)：クロス貼
- (ヘ)：板張

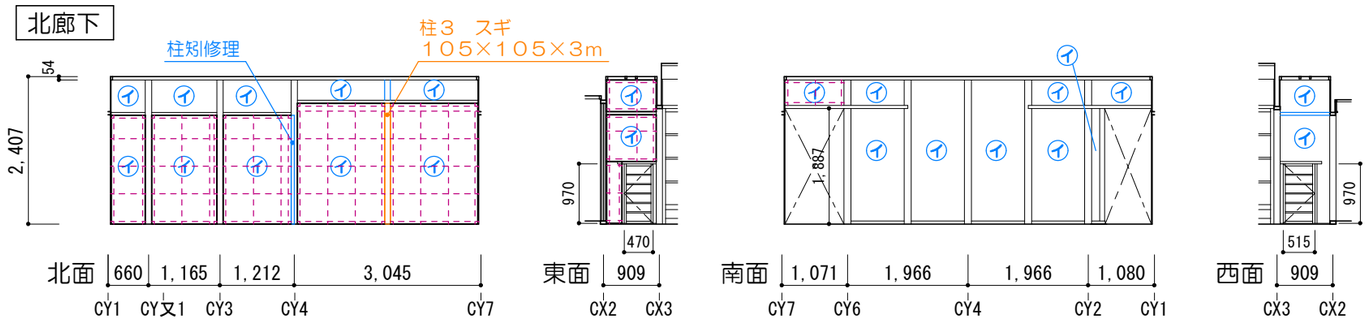
■建具
- ：新設建具
  他建具はすべて補修

■新設壁
- ：下地から新設

南側縁



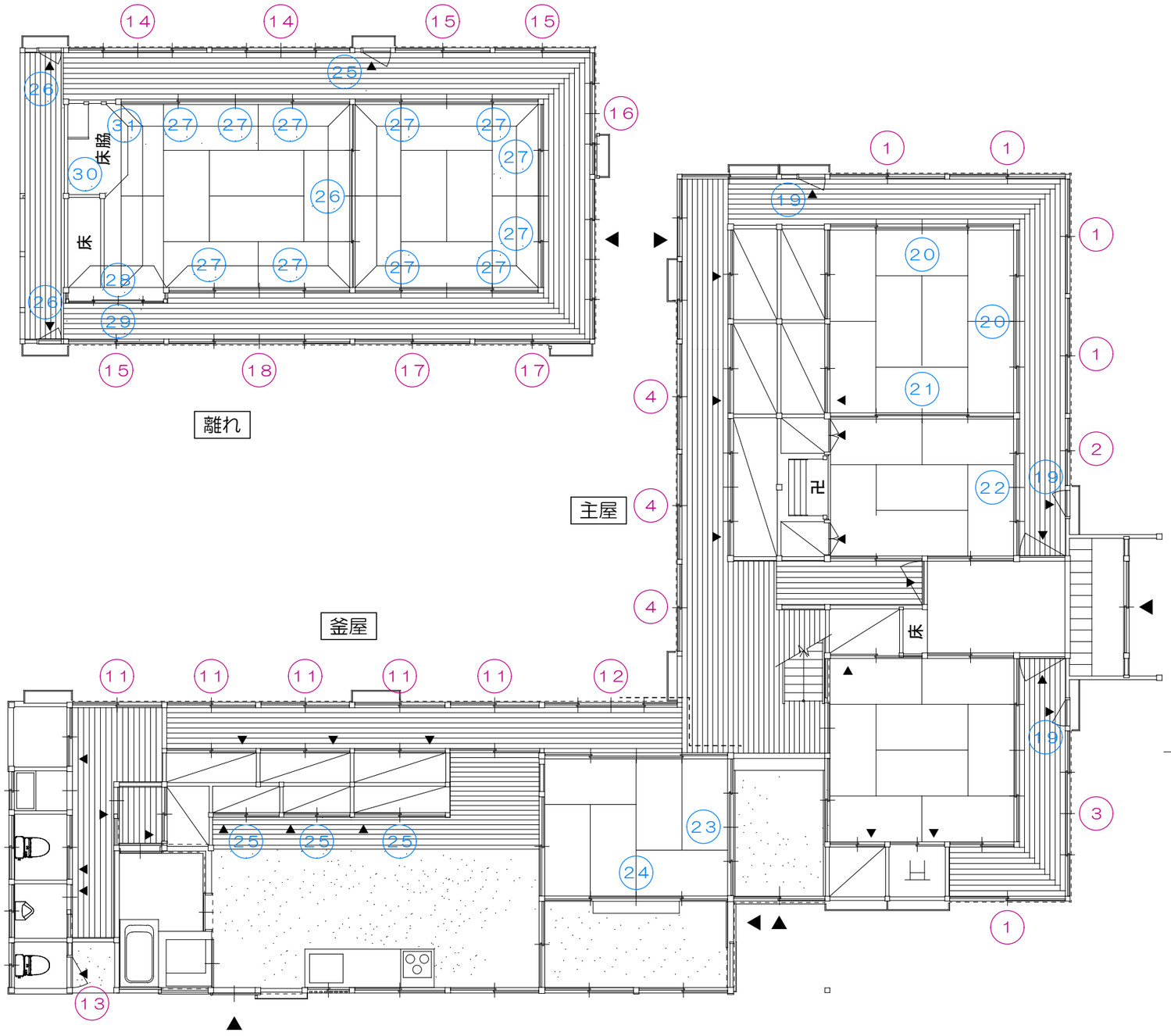
北廊下

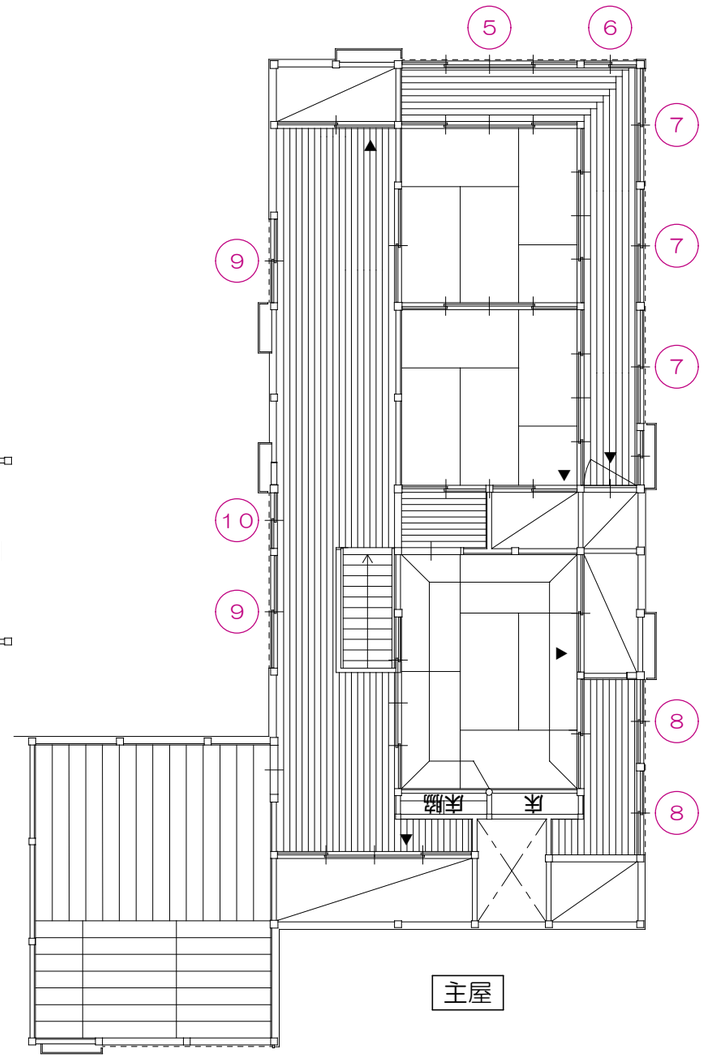


単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項 ※ ：取替材・新規材 ※構造材・軒まわりの取替材・新規材寸法は伏図（Ａ7～１１）を参照 ※建具は建具図（Ａ２５）を参照	図面番号 Ａ２４-２
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１−１２６３６号	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６.９	図面名称	計画　離れ　展開図２		

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

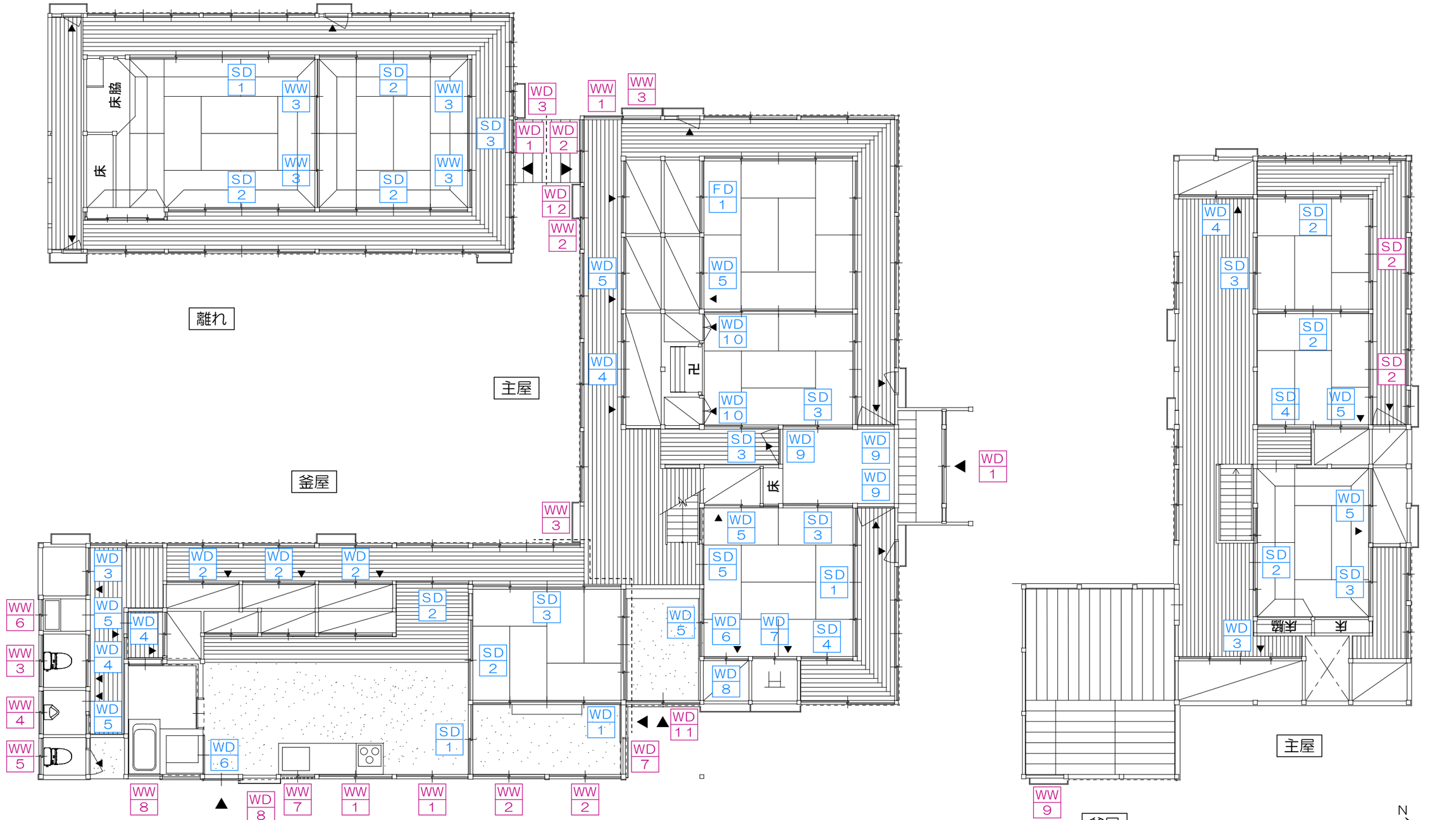




N

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所 福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項 ※▲は舞良面 / 図面番号 A２５-１
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１−１２６３６号　赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６.９	図面名称	計画　建具配置図（修理）	

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度



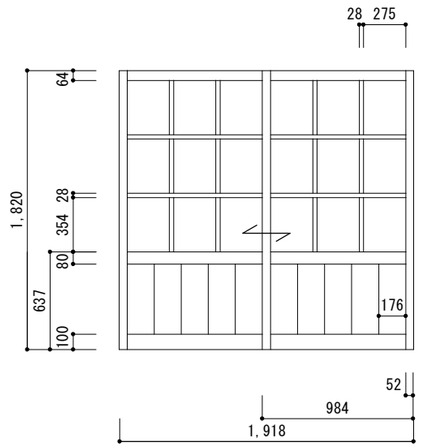
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	計画　建具配置図（新規）

特記事項
※▲は舞良面

図面番号
A25-2

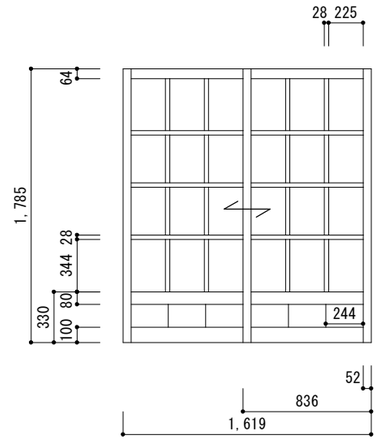
主屋

WD－１　引違い腰付ガラス格子戸



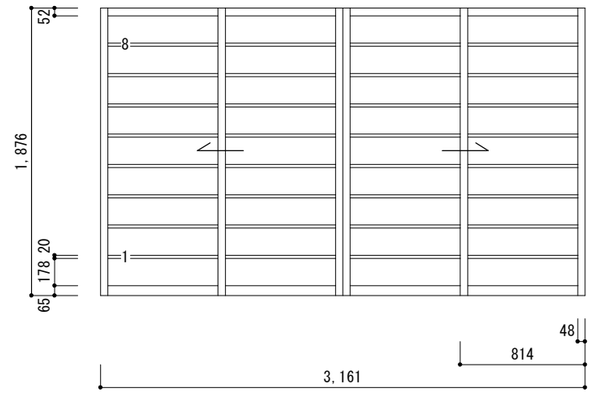
取付場所	１階玄関　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	透明ガラス５㎜
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車、引手
備考	

WD－２　引違い腰付ガラス格子戸



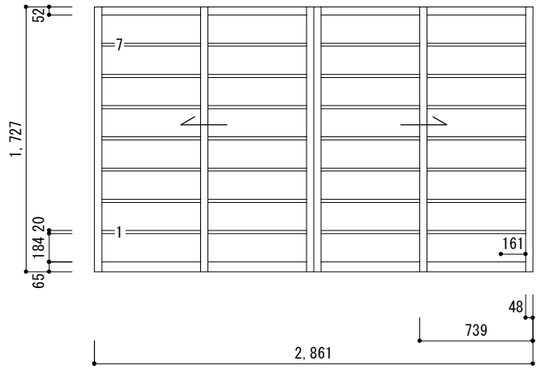
取付場所	１階北廊下　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	透明ガラス５㎜
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車
備考	

WD－３　４枚建ち舞良戸



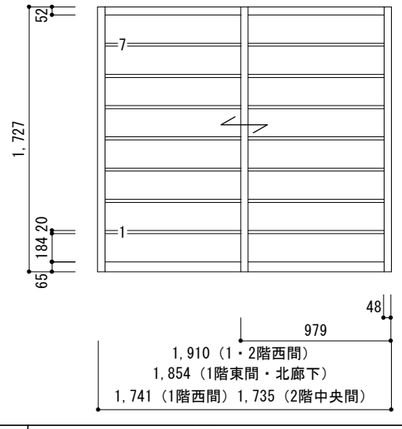
取付場所	２階西廊下　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	透明ガラス５㎜
金物	
備考	

WD－４　４枚建ち舞良戸



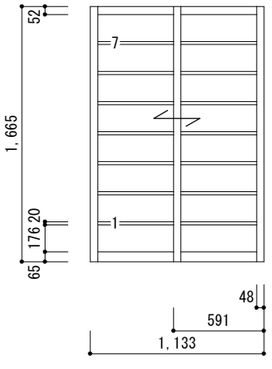
取付場所	１階北廊下　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	

WD－５　引違い舞良戸



取付場所	１階西間・東間・北廊下、２階西間・中央間　箇所数 6
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	

WD－６　引違い舞良戸



取付場所	１階西間　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	

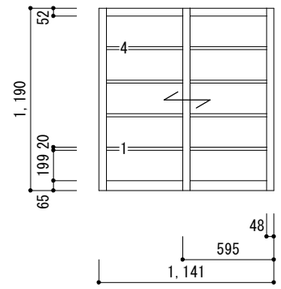
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（A3）	１：４０
年月日	２０２６.９
工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
図面名称	計画　建具姿図１（新規）
特記事項	
図面番号	Ａ２６-１

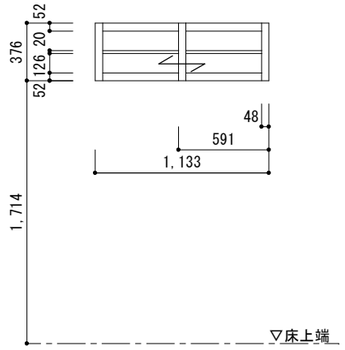
主屋

WD－７　引違い舞良戸



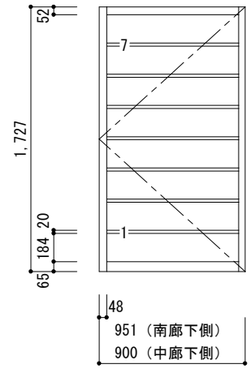
取付場所	１階西間	箇所数	1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）		
ガラス			
金物			
備考			

WD－８　引違い舞良戸



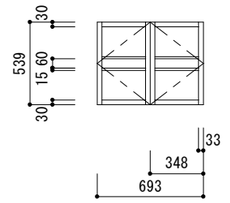
取付場所	１階西間	箇所数	1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）		
ガラス			
金物			
備考			

WD－９　片開き舞良戸



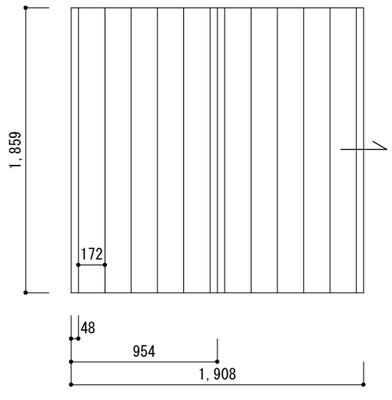
取付場所	１階玄関間	箇所数	3
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）		
ガラス			
金物	丁番×※個		
備考	横ざる 開き方向、舞良面は平面図参照		

WD－１０　両開き舞良戸



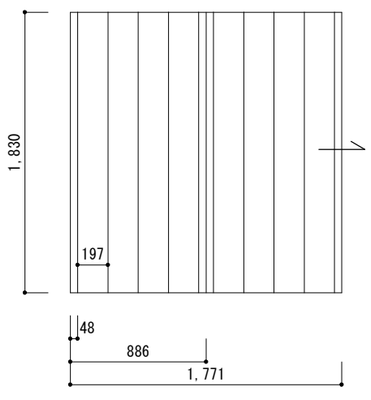
取付場所	１階中央間	箇所数	2
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）		
ガラス			
金物	丁番×４個、ラッチ		
備考			

WD－１１　雨戸



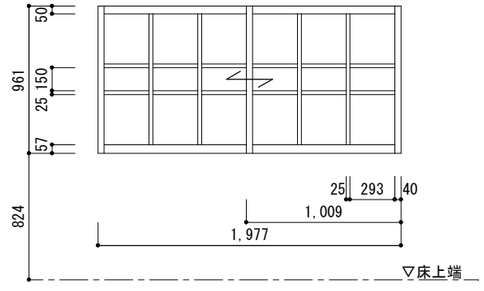
取付場所	１階西玄関	箇所数	1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）		
ガラス			
金物	甲丸埋込レール、戸車		
備考			

WD－１２　雨戸



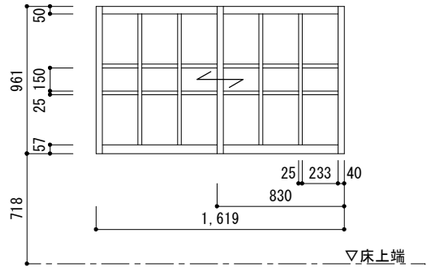
取付場所	１階北廊下	箇所数	1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）		
ガラス			
金物	甲丸埋込レール、戸車		
備考			

WW－１　引違いガラス格子窓



取付場所	１階西間・東間・北廊下、２階西間	箇所数	1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）		
ガラス	透明ガラス５㎜		
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車		
備考			

WW－２　引違いガラス格子窓



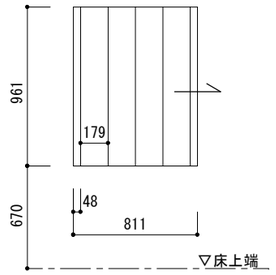
取付場所	１階西間	箇所数	1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）		
ガラス			
金物			
備考			

単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８	縮尺（A3）	１：４０	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 Ａ２６-２
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６．９	図面名称	計画　建具姿図２（新規）		

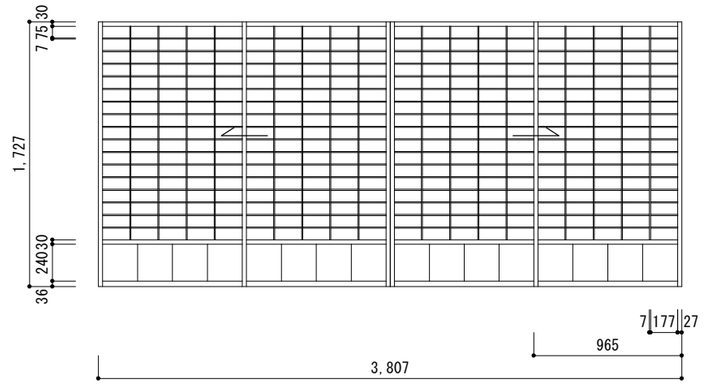
主屋

WW－３　雨戸



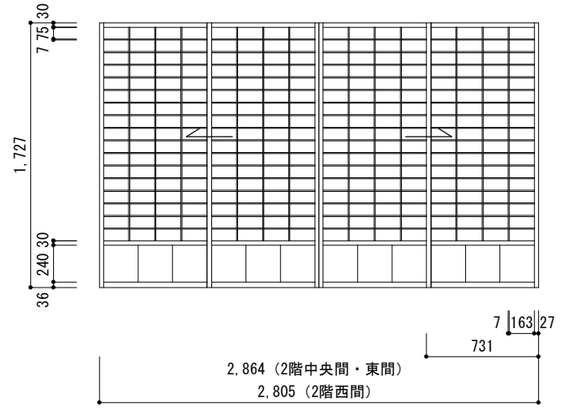
取付場所	１階北廊下・東廊下　箇所数 2
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	甲丸埋込レール、戸車
備考	

SD－１　４枚建ち障子戸



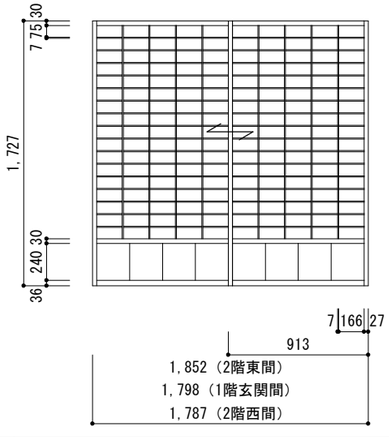
取付場所	１階西間　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	障子紙貼り

SD－２　４枚建ち障子戸



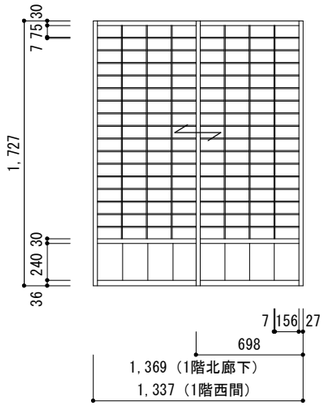
取付場所	１階西間、２階西間・中央間・東間　箇所数 5
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	障子紙貼り

SD－３　引違い障子戸



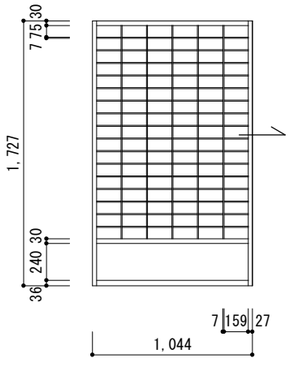
取付場所	１階玄関間・中央間、２階西間・東間　箇所数 5
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	障子紙貼り

SD－４　引違い障子戸



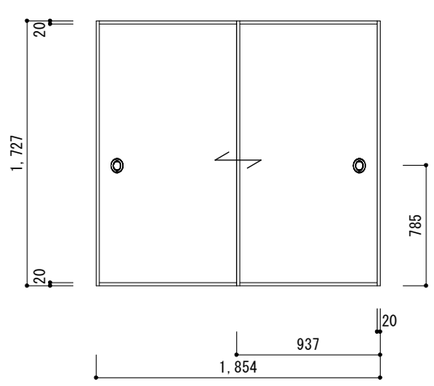
取付場所	１階西間・北廊下　箇所数 2
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	障子紙貼り

SD－５　片引き障子戸



取付場所	１階　西間　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	障子紙貼り

FD－１　引違いガラス格子窓



取付場所	１階　西間　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	

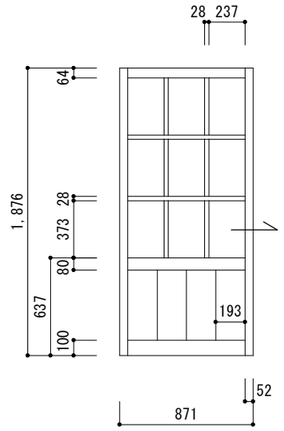
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（A3）	１：４０
年月日	２０２６.９
工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
図面名称	計画　建具姿図３（新規）
特記事項	
図面番号	Ａ２６-３

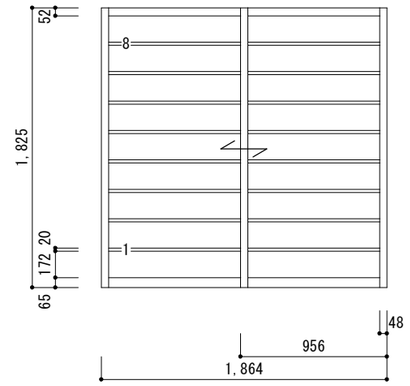
釜屋

WD－１　片引き腰付ガラス格子戸



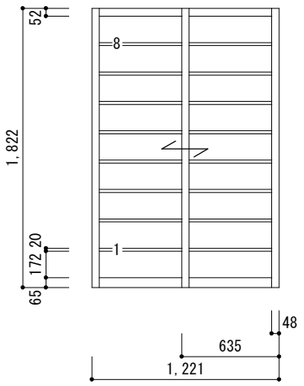
取付場所	玄関　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	透明ガラス５㎜
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車、引手
備考	

WD－２　引違い舞良戸



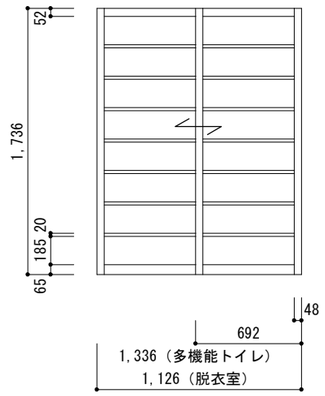
取付場所	北廊下　箇所数 3
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	

WD－３　引違い舞良戸



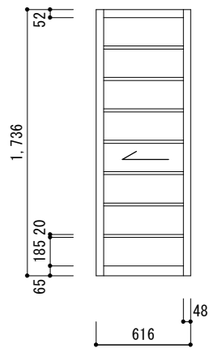
取付場所	北廊下押入　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	

WD－４　引違い舞良戸



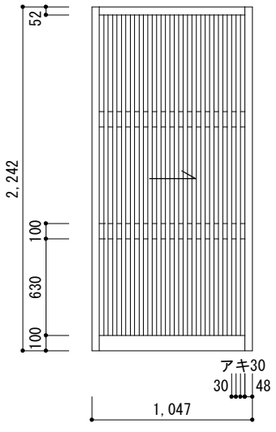
取付場所	多機能トイレ、脱衣室　箇所数 2
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	透明ガラス５㎜
金物	
備考	

WD－５　片引き舞良戸



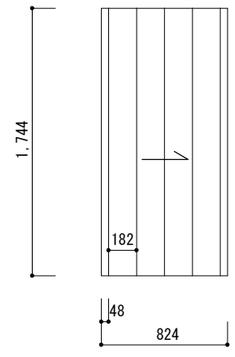
取付場所	１階北廊下　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	

WD－６　片引き格子戸



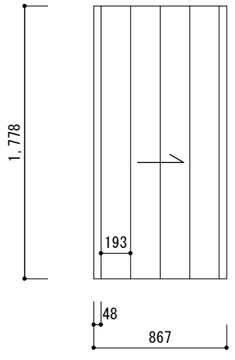
取付場所	土間　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車、引手
備考	

WD－７　雨戸



取付場所	土間　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車、引手
備考	

WD－８　雨戸



取付場所	土間　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車、引手
備考	

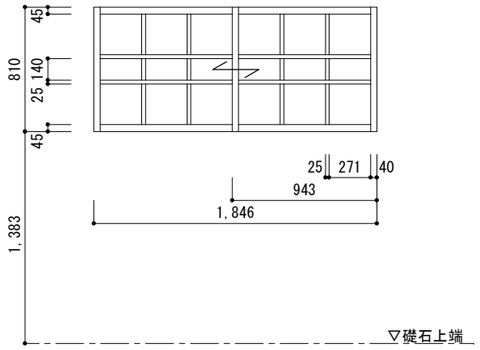
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（A3）	１：４０
年月日	２０２６．９
工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
図面名称	計画　建具姿図４（新規）
特記事項	
図面番号	Ａ２６-４

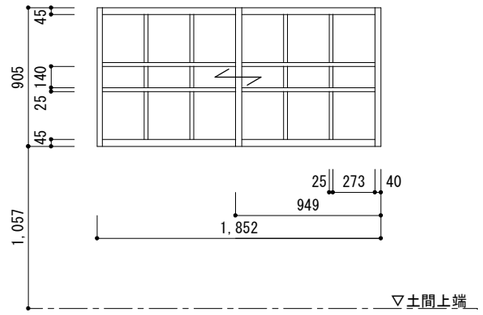
釜屋

WW－１　引違いガラス格子窓



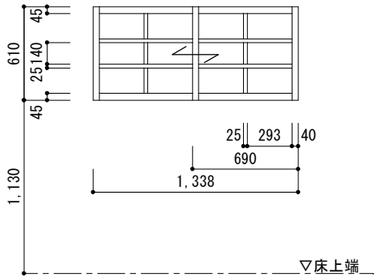
取付場所	土間　箇所数　2
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	透明ガラス５㎜
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車
備考	

WW－２　引違いガラス格子窓



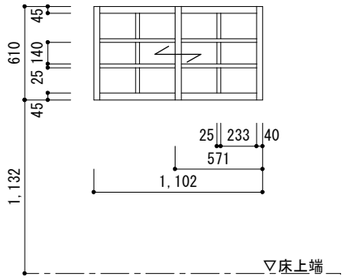
取付場所	西玄関　箇所数　2
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	透明ガラス５㎜
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車
備考	

WW－３　引違いガラス格子窓



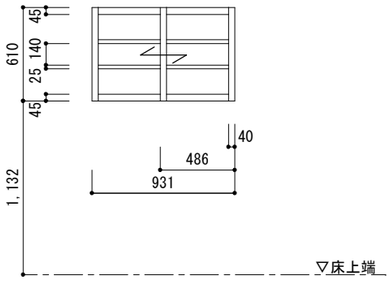
取付場所	多機能トイレ　箇所数　1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	透明ガラス５㎜
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車
備考	

WW－４　引違いガラス格子窓



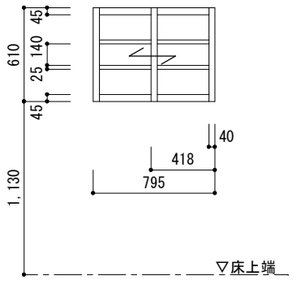
取付場所	多機能トイレ　箇所数　1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	透明ガラス５㎜
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車
備考	

WW－５　引違いガラス格子窓



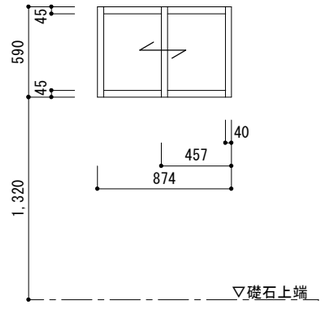
取付場所	外部用大便所　箇所数　1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	透明ガラス５㎜
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車
備考	

WW－６　引違いガラス格子窓



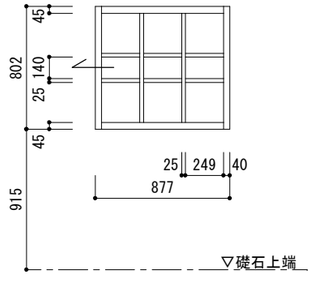
取付場所	手洗所　箇所数　1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	透明ガラス５㎜
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車、引手
備考	

WW－７　引違いガラス窓



取付場所	土間　箇所数　1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	透明ガラス５㎜
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車、引手
備考	

WW－８　片引きガラス格子窓



取付場所	浴室　箇所数　1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	甲丸埋込レール、戸車
備考	

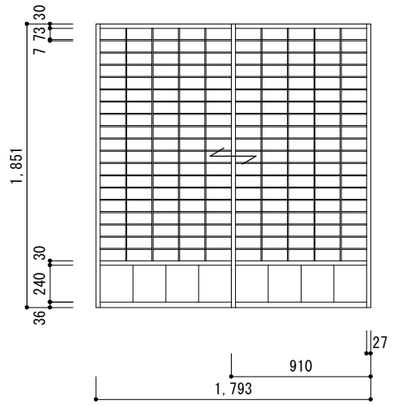
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（A3）	１：４０
年月日	２０２６．９
工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
図面名称	計画　建具姿図５（新規）
特記事項	
図面番号	Ａ２６-５

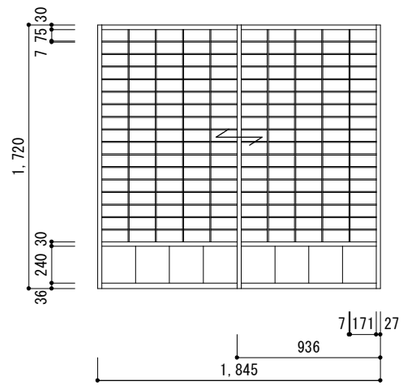
釜屋

SD－1　引違い障子戸



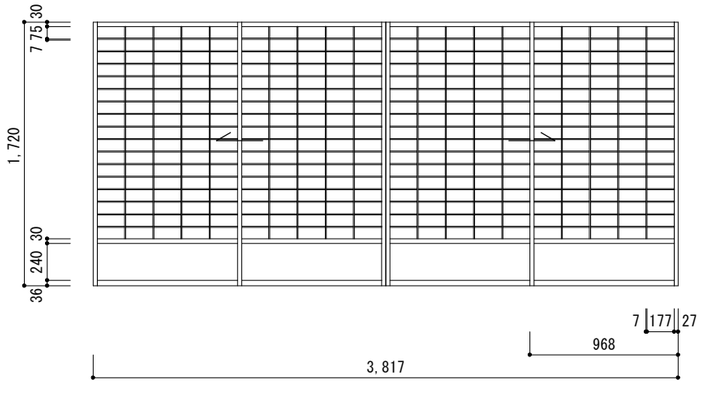
取付場所	土間　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	障子紙貼り

SD－2　引違い障子戸



取付場所	土間、畳の間　箇所数 2
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	障子紙貼り

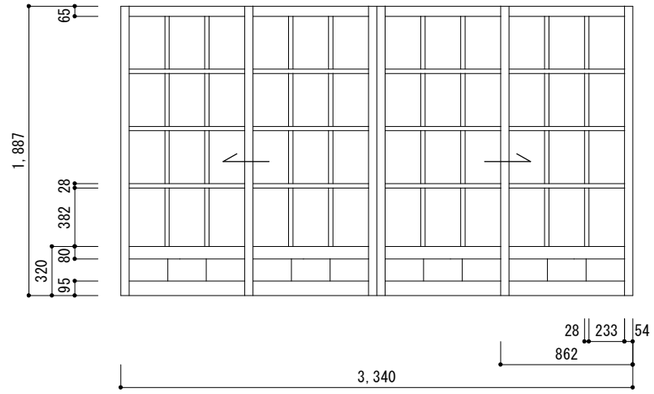
SD－3　４枚建ち障子戸



取付場所	畳の間　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	障子紙貼り

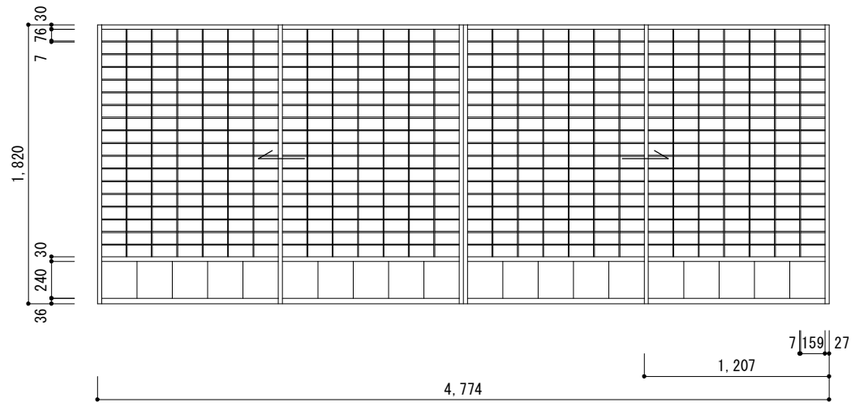
離れ

WD－1　引違いガラス格子戸



取付場所	南縁　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	透明ガラス５㎜
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車
備考	

SD－1　４枚建ち障子戸



取付場所	座敷　箇所数 1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）
ガラス	
金物	
備考	障子紙貼り

単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

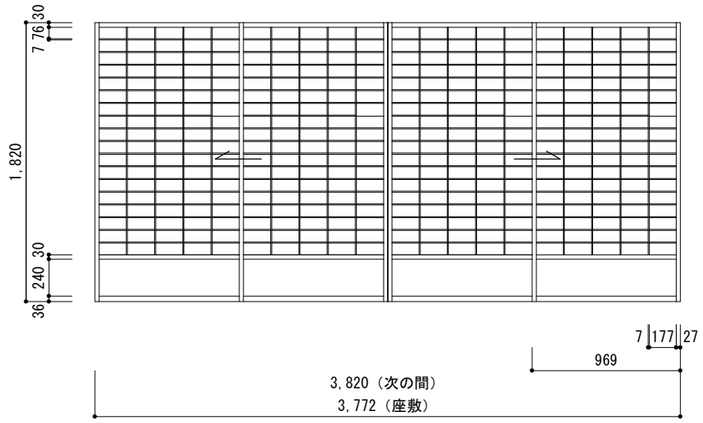
縮尺（A3）	１：４０	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
年月日	２０２６．９	図面名称	計画　建具姿図６（新規）

特記事項

図面番号　Ａ２６-６

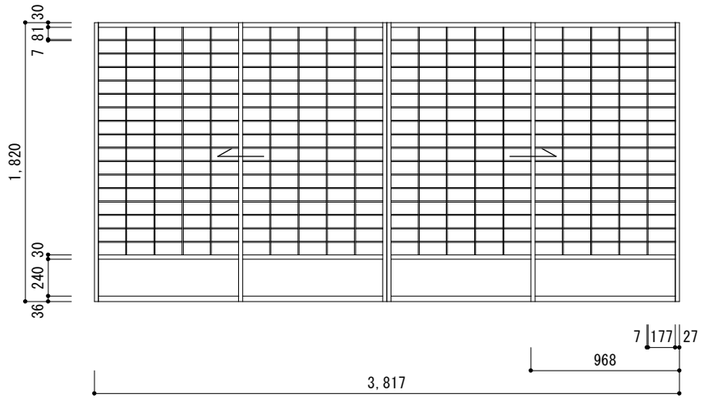
離れ座敷

SD－２　４枚建ち障子戸



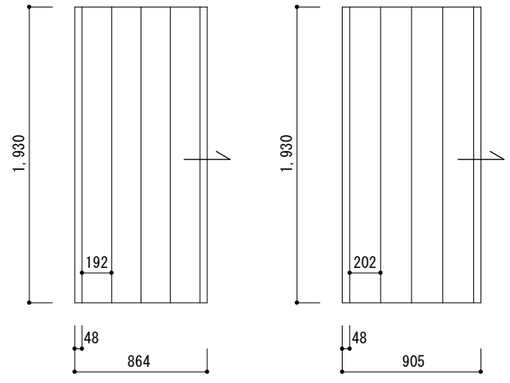
取付場所	座敷、次の間	箇所数	3
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）		
ガラス			
金物			
備考	障子紙貼り		

SD－３　４枚建ち障子戸



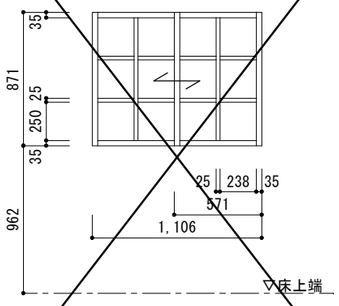
取付場所	次の間	箇所数	1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）		
ガラス			
金物			
備考	障子紙貼り		

WD－３　雨戸



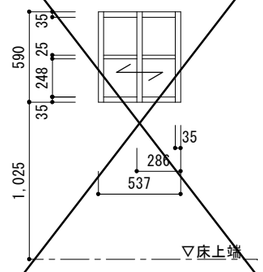
取付場所	南縁	箇所数	1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）		
ガラス			
金物	甲丸埋込レール、戸車		
備考			

WW－１　引違いガラス格子窓



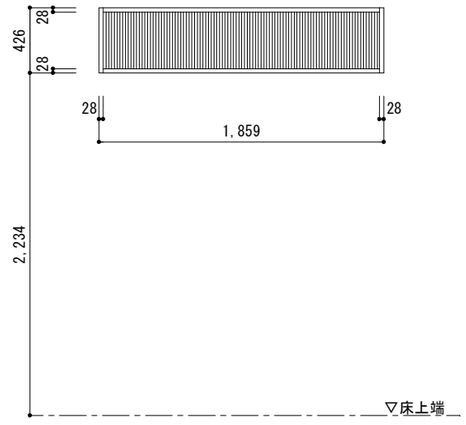
取付場所	洗面所	箇所数	1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）		
ガラス	透明ガラス５㎜		
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車		
備考			

WW－２　引違いガラス格子窓



取付場所	洗面所	箇所数	1
材料	枠：杉赤身、見込３０mm、板材：杉３分厚 ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）		
ガラス	透明ガラス５㎜		
金物	中折ねじ締り、甲丸埋込レール、戸車		
備考			

WW－３　筬欄間



取付場所	座敷、次の間	箇所数	4
材料	枠：杉赤身、見込３０mm ※材はすべてムク材　裏板化粧裏打（つぶし釘打）		
ガラス			
金物			
備考			

単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（A3）	１：４０	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
年月日	２０２６.９	図面名称	計画　建具姿図７（新規）

特記事項

図面番号　Ａ２６-７

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

外構撤去後
現場事務所、資材倉庫等設置

離れ座敷

釜屋

単管足場
ステージ足場

主屋は素屋根設置

枠組本足場
メッシュシート貼

軒先

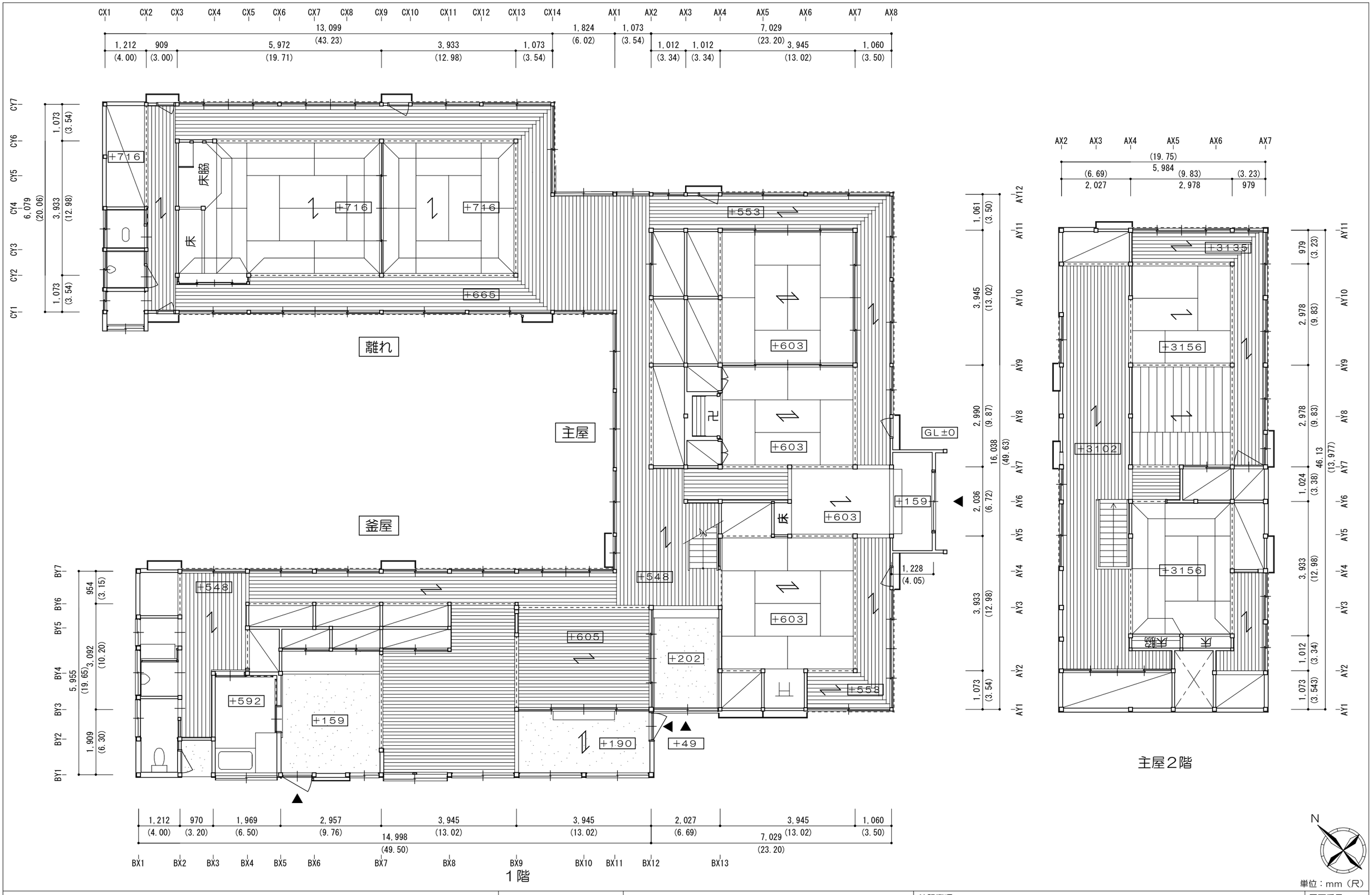
主屋

前面道路

N

単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８	縮尺（A3）	１：２００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 Ａ２７
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６．９	図面名称	計画　仮設図		



単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　1・2階平面図

特記事項

図面番号 A28

凡例

- ：布石
- ：礎石
- ：レンガ
- ：コンクリートブロック

CX1 CX2 CX3 CX4 CX5 CX6 CX7 CX8 CX9 CX10 CX11 CX12 CX13 CX14 AX1 AX2 AX3 AX4 AX5 AX6 AX7 AX8

13,099 (43.23) / 1,824 (6.02) / 1,073 (3.54) / 7,029 (23.20)

1,212 (4.00) / 909 (3.00) / 5,972 (19.71) / 3,933 (12.98) / 1,073 (3.54) / 1,012 (3.34) / 1,012 (3.34) / 3,945 (13.02) / 1,060 (3.50)

CY7 CY6 CY5 CY4 CY3 CY2 CY1

1,073 (3.54) / 3,933 (12.98) / 1,073 (3.54) / 6,079 (20.06)

BY7 BY6 BY5 BY4 BY3 BY2 BY1

954 (3.15) / 3,092 (10.20) / 1,909 (6.30) / 19.65 (5,955)

AY12 AY11 AY10 AY9 AY8 AY7 AY6 AY5 AY4 AY3 AY2 AY1

1,061 (3.50) / 3,945 (13.02) / 2,990 (9.87) / 16,038 (49.63) / 2,036 (6.72) / 3,933 (12.98) / 1,073 (3.54)

BX1 BX2 BX3 BX4 BX5 BX6 BX7 BX8 BX9 BX10 BX11 BX12 BX13

1,212 (4.00) / 970 (3.20) / 1,969 (6.50) / 9.76 (2,957) / 49.50 (14,998) / 3,945 (13.02) / 3,945 (13.02) / 2,027 (6.69) / 3,945 (13.02) / 7,029 (23.20) / 1,060 (3.50)

φ170 成170

上巾190 下巾220 成115

巾170

上巾140 下巾180 成70

巾160

巾160

巾155

巾210

+61

+41

+159

GL±0

−56

側溝

側溝

側溝

側溝

離れ

主屋

釜屋

建物跡

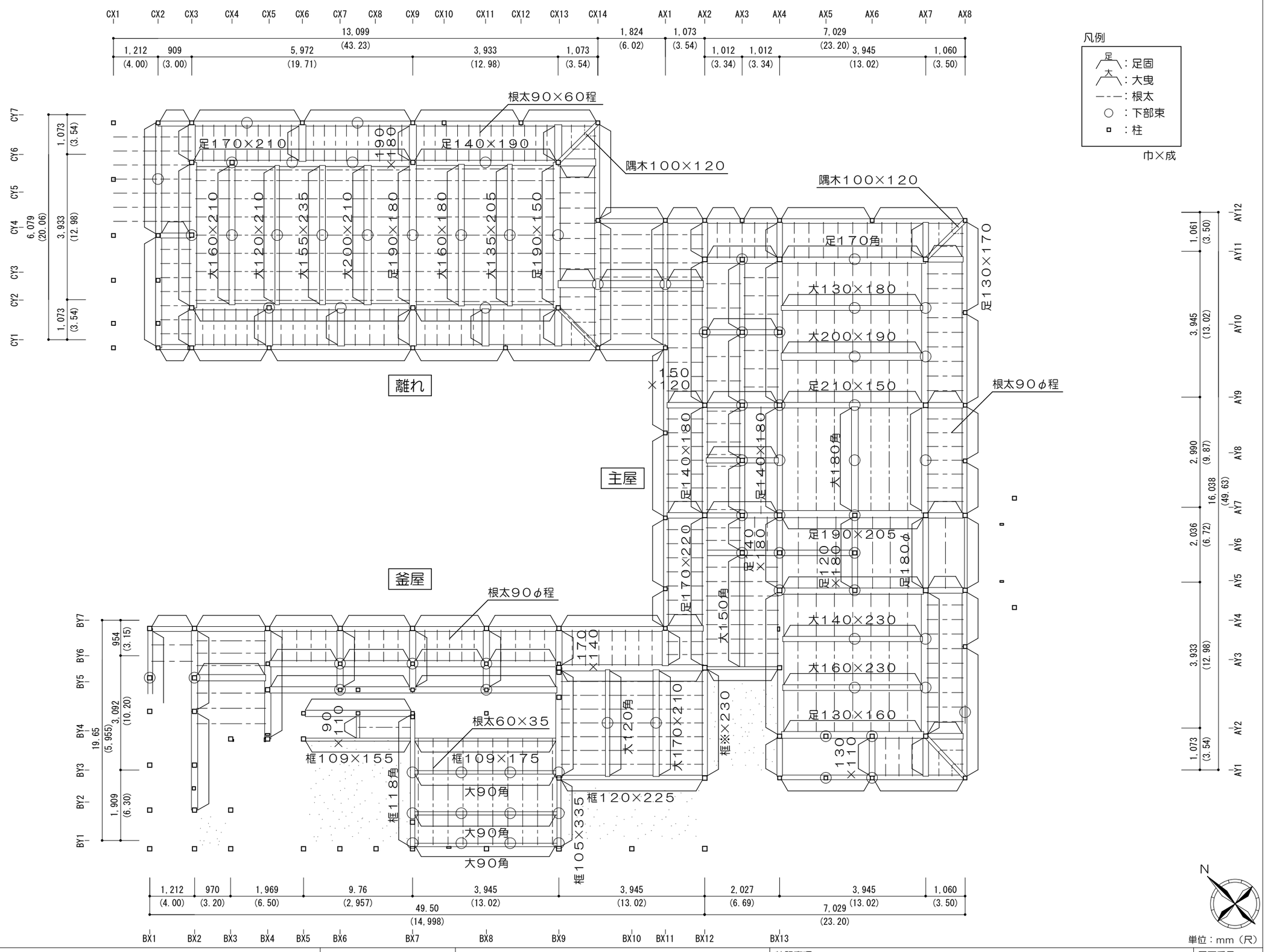
N

単位：mm（R）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　基礎伏図

特記事項

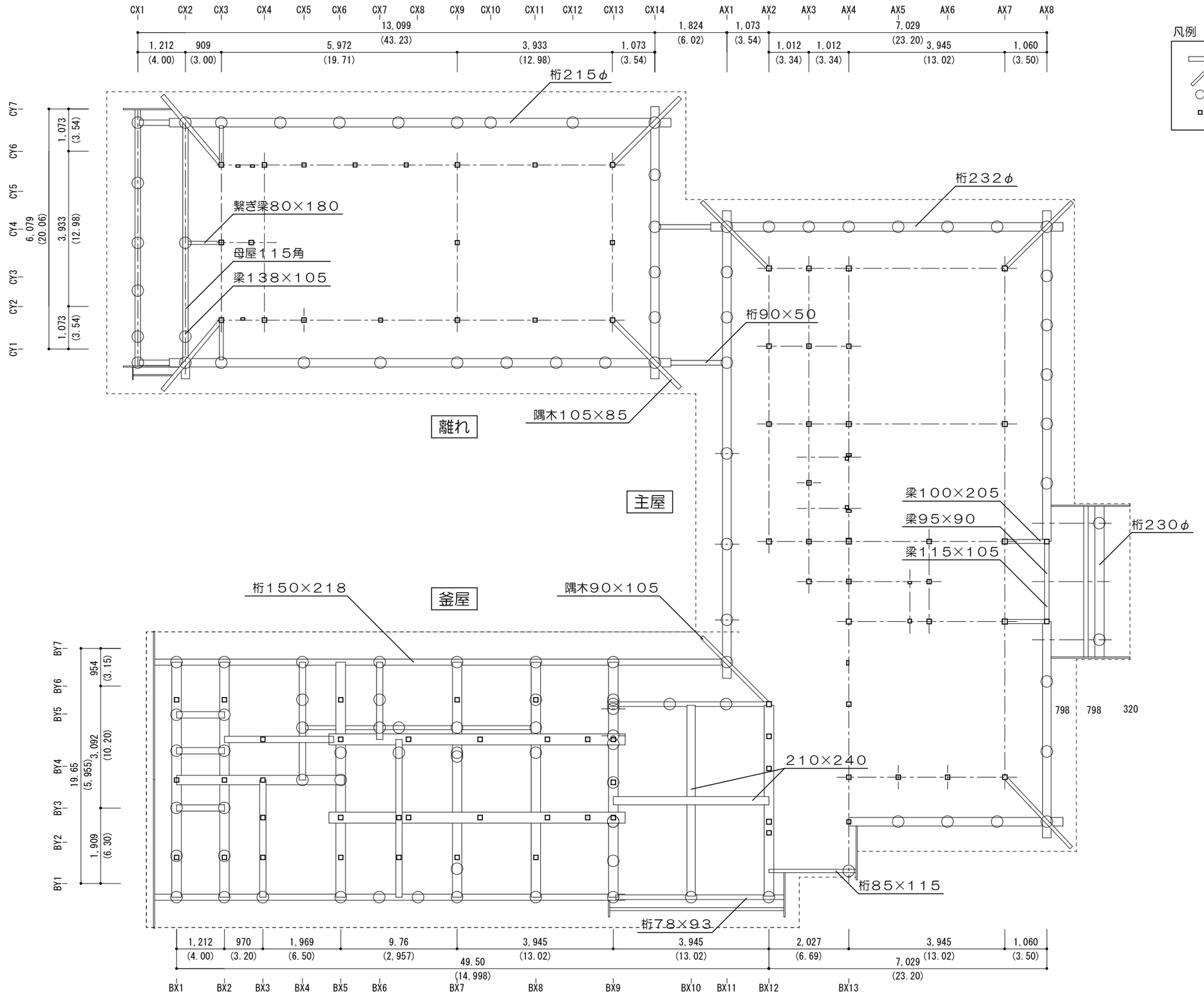
図面番号 A29



N

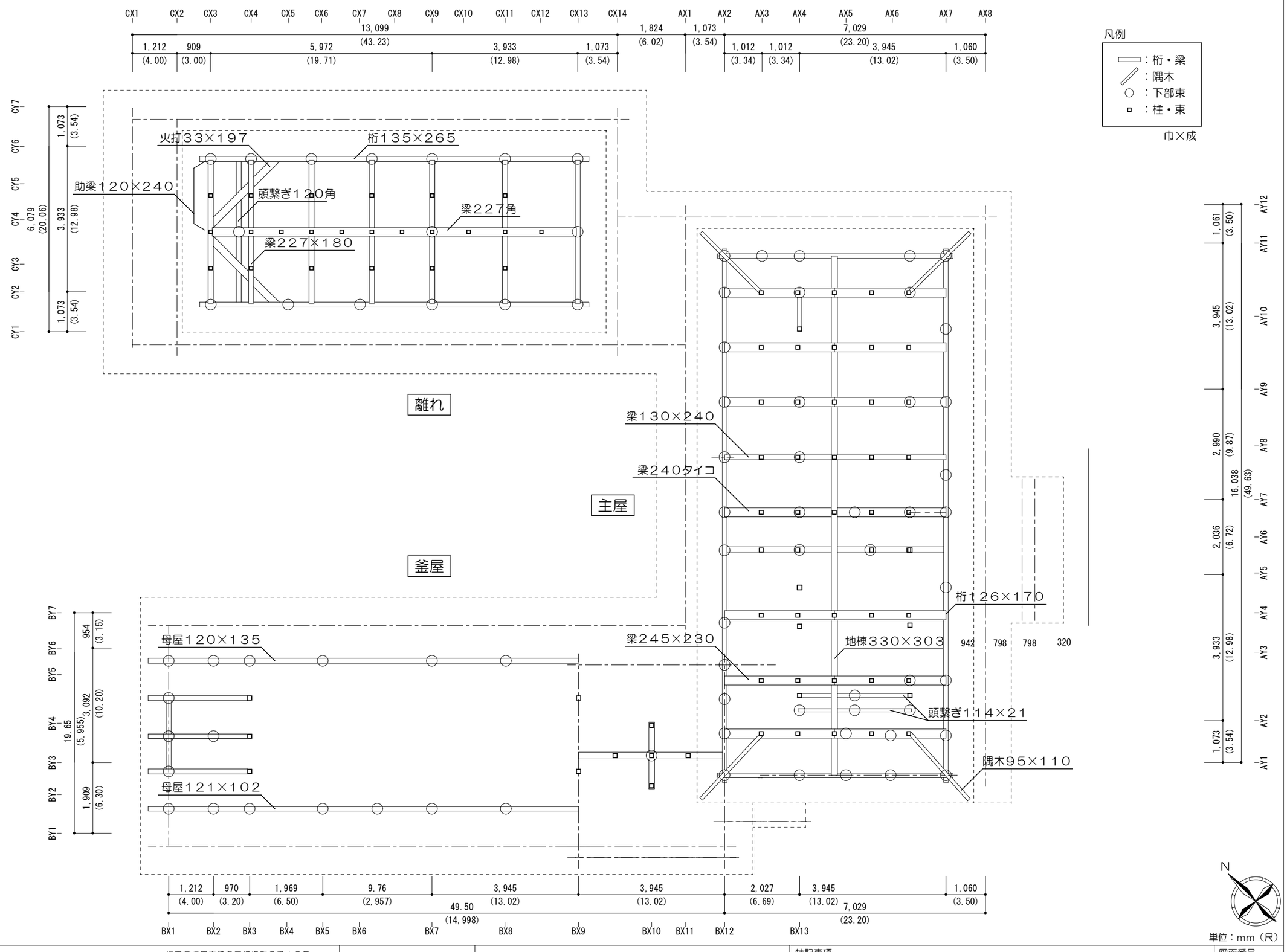
単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項
						図面番号 A30
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　床伏図	



単位：mm（尺）

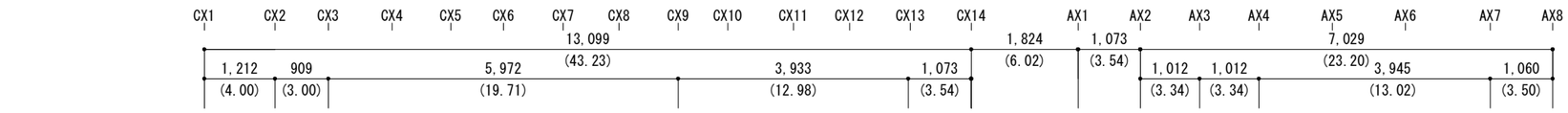
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項
						図面番号 A31
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　床伏図	



都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町5番15号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　梁伏図

特記事項

図面番号 A32

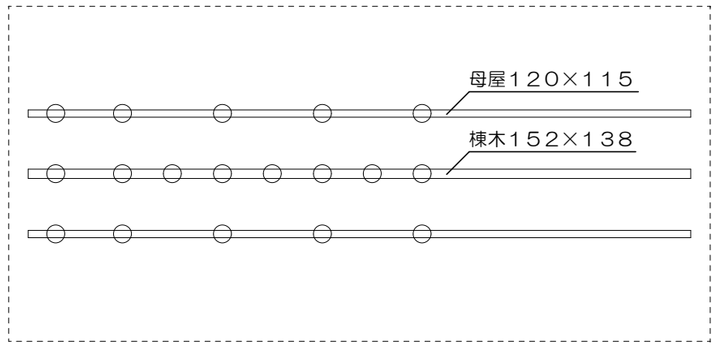


凡例

▭：棟木
//：母屋
○：下部束
▫：束

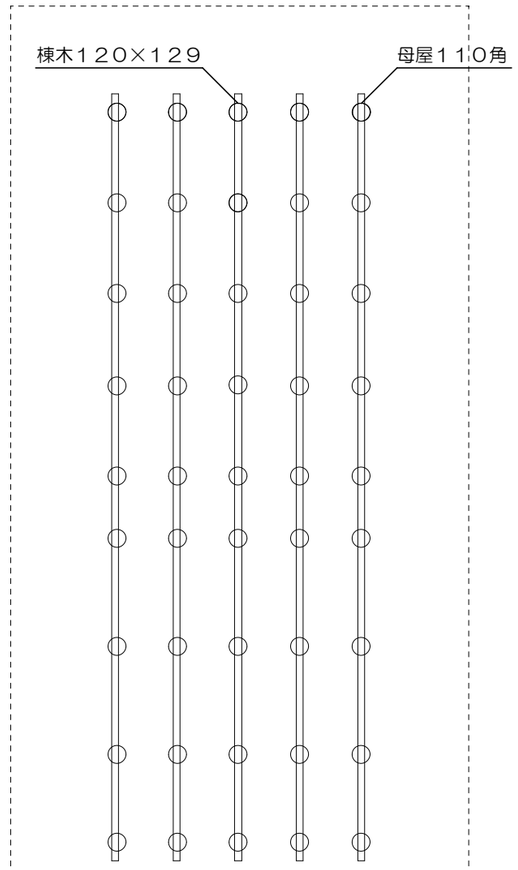
巾×成

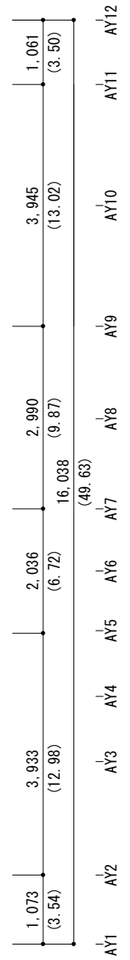




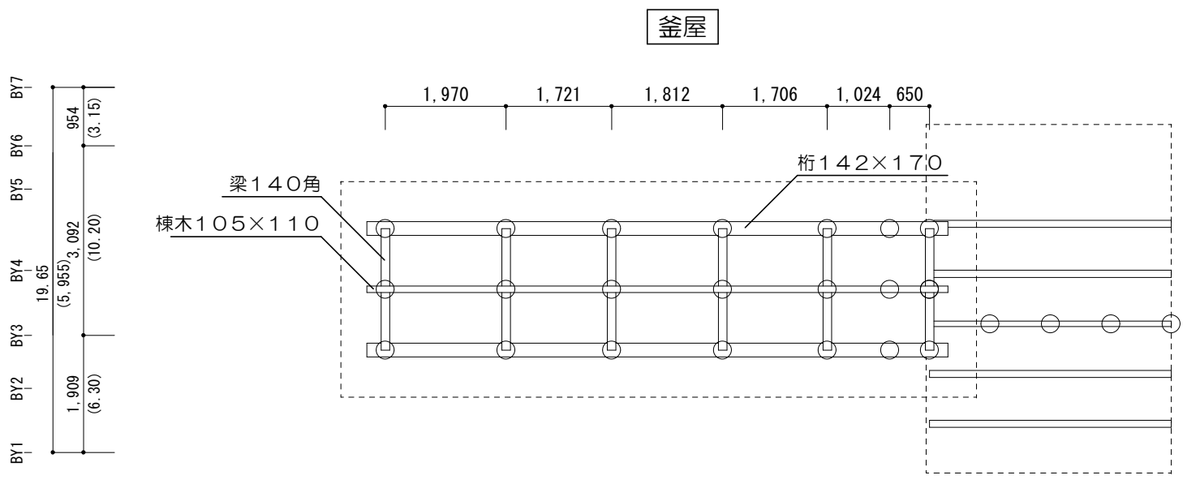
離れ

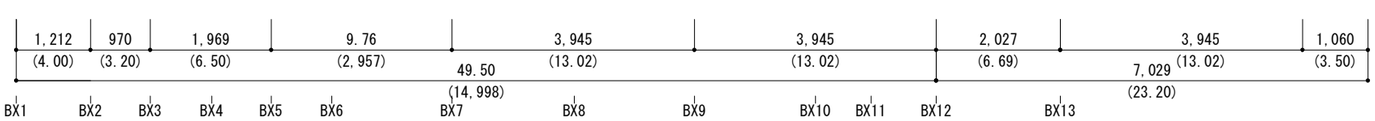
主屋





釜屋





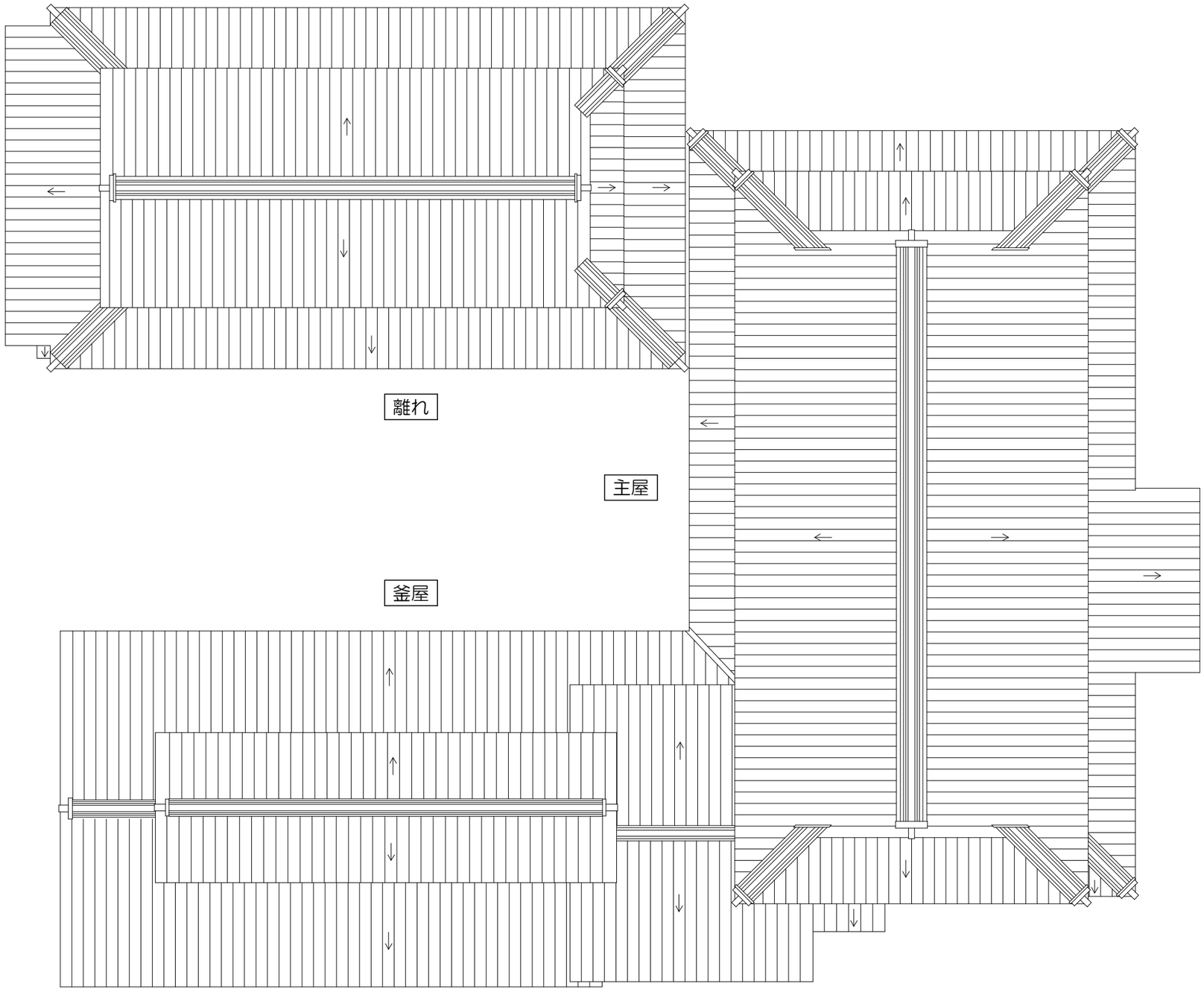
N

単位：mm（尺）

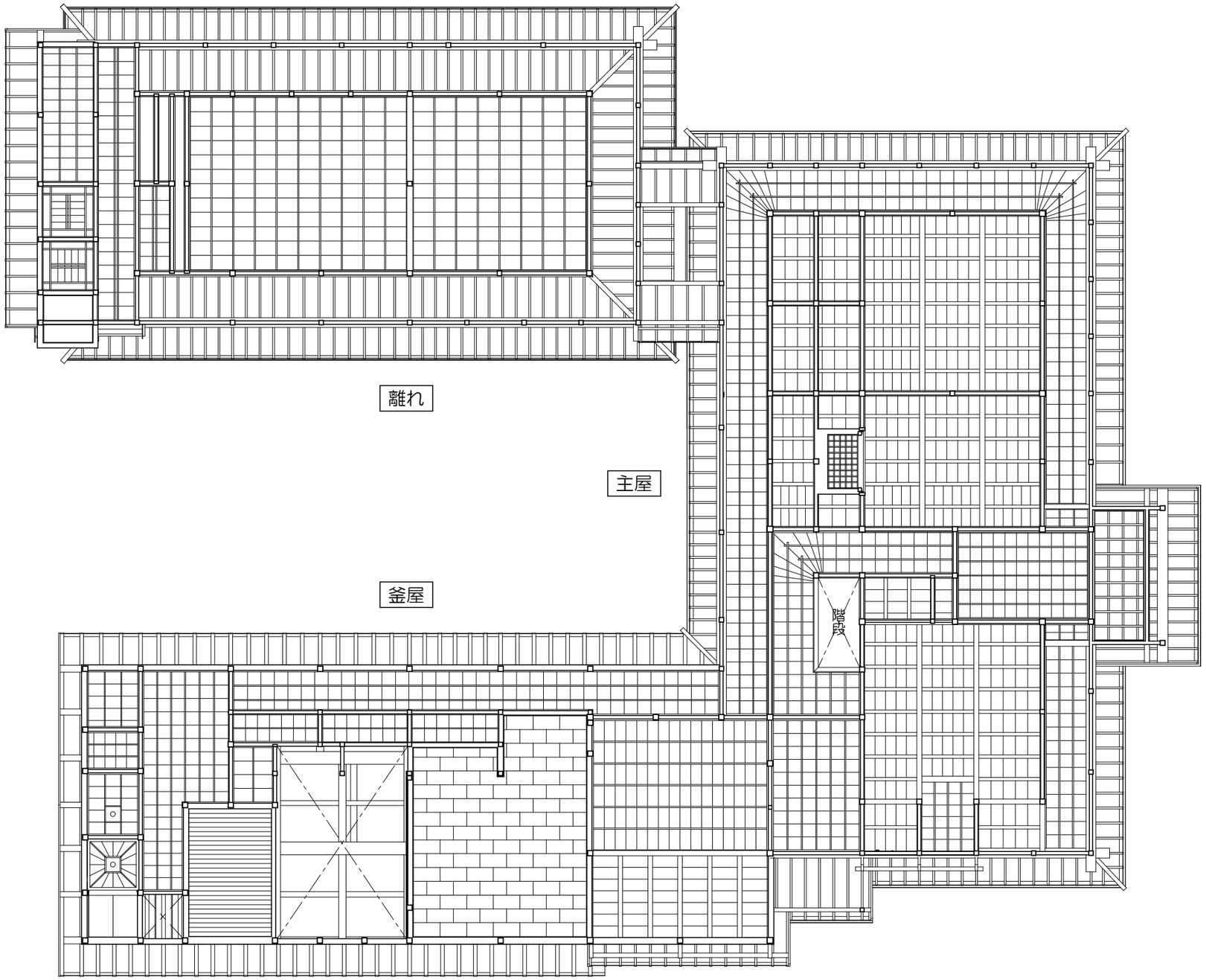
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　小屋伏図

特記事項

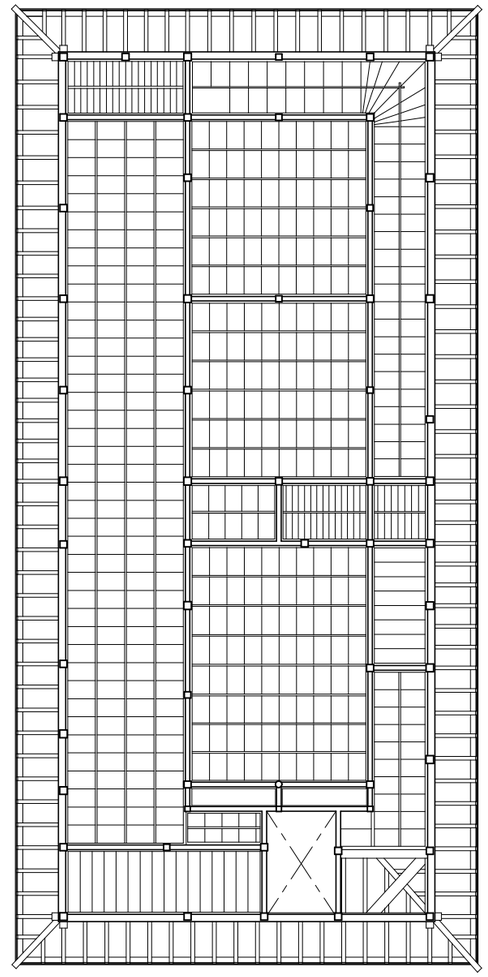
図面番号 A33



都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 A34
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　屋根伏図		



1階



主屋2階

N

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町5番15号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 A35
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　軒天井見上図		



主屋

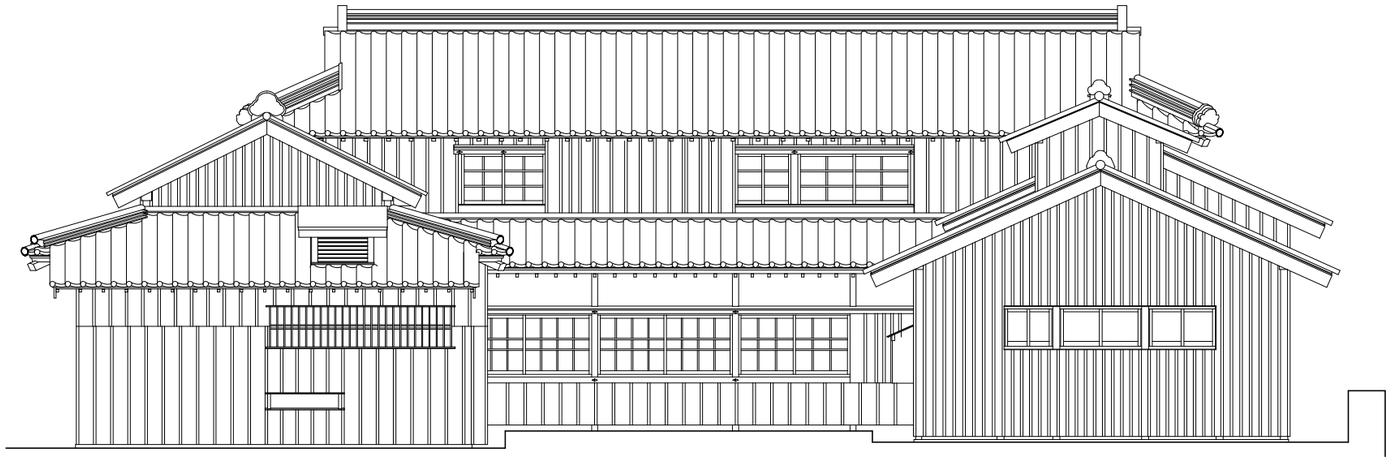
南側立面図



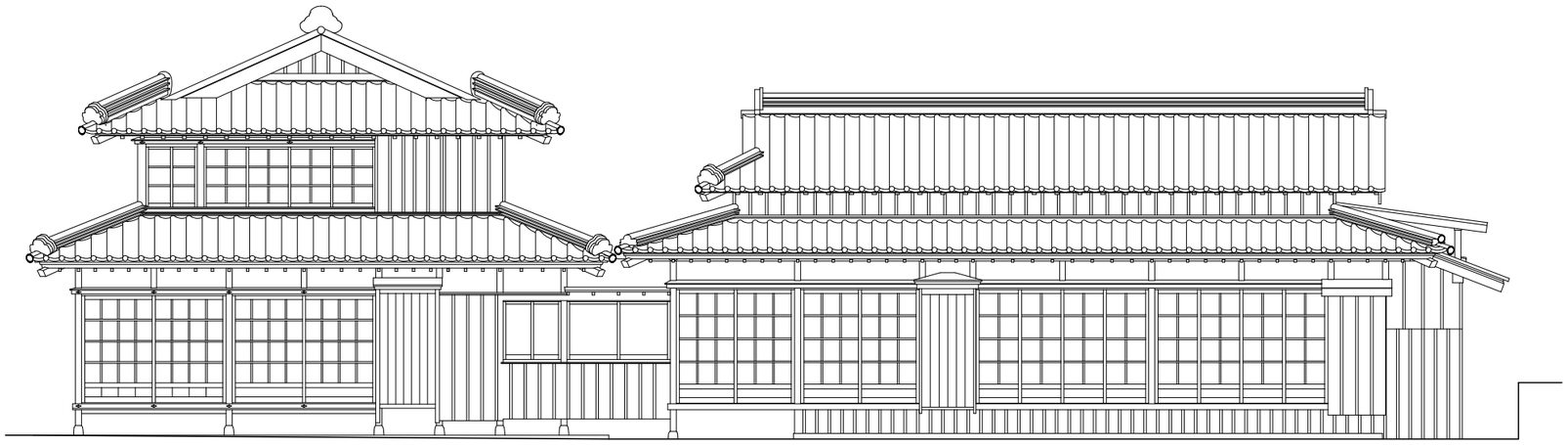
釜屋　　主屋

西側立面図

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 A36
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　南側・西側立面図		

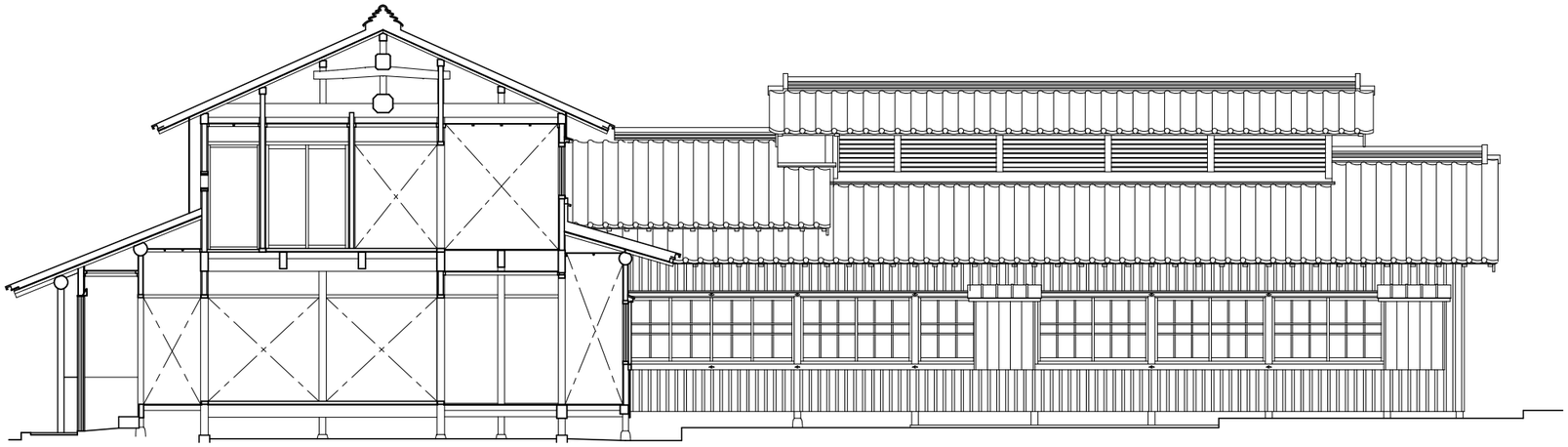


北側立面図

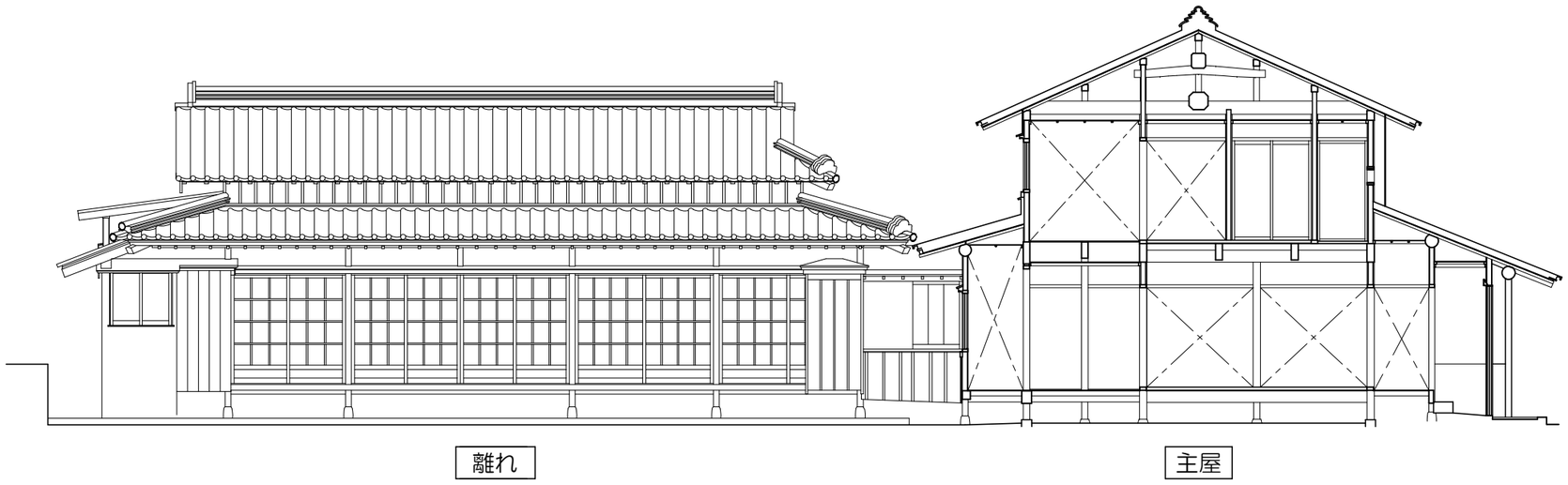


東側立面図

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 A３７
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　北側・東側立面図		

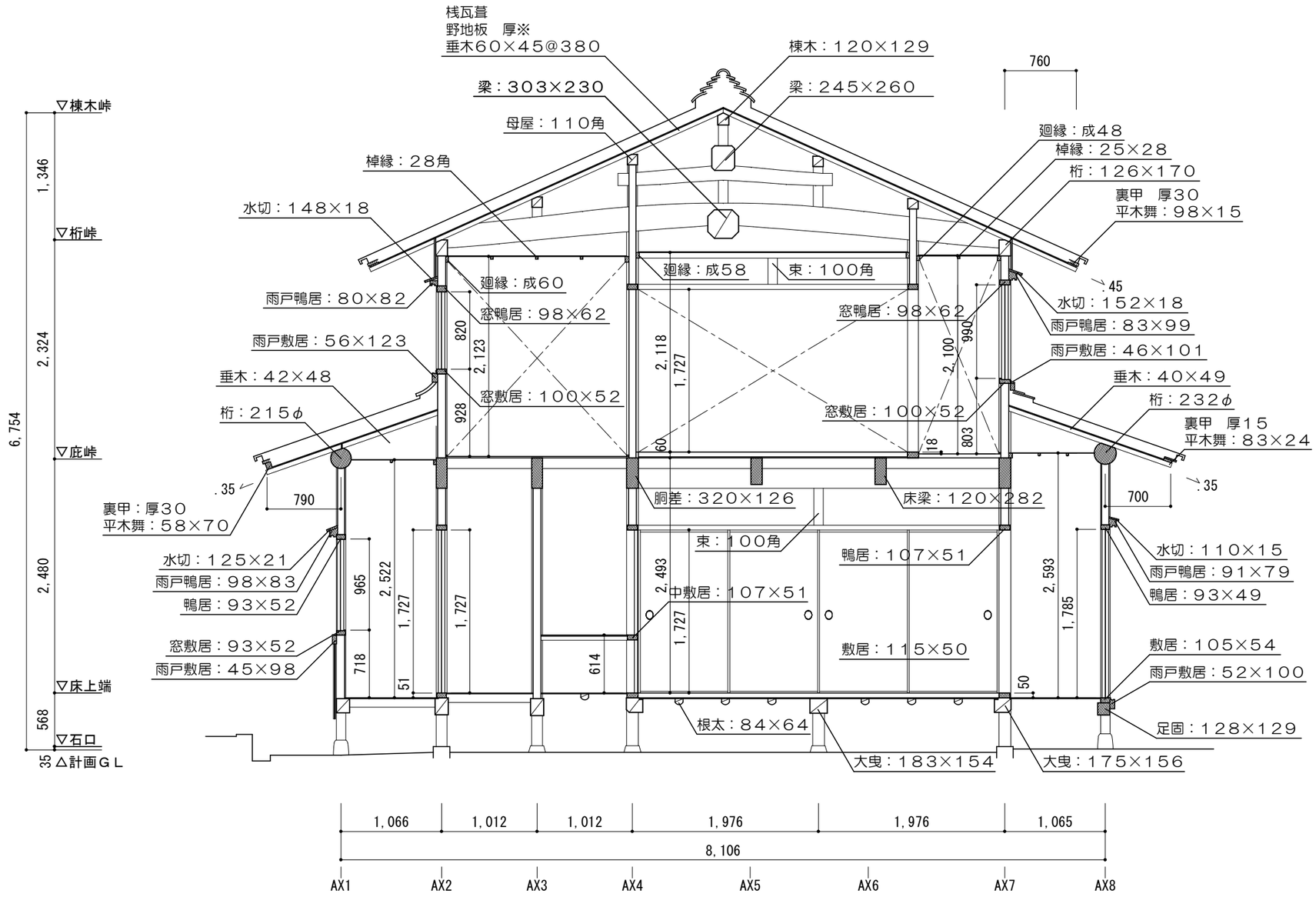


東側立面図



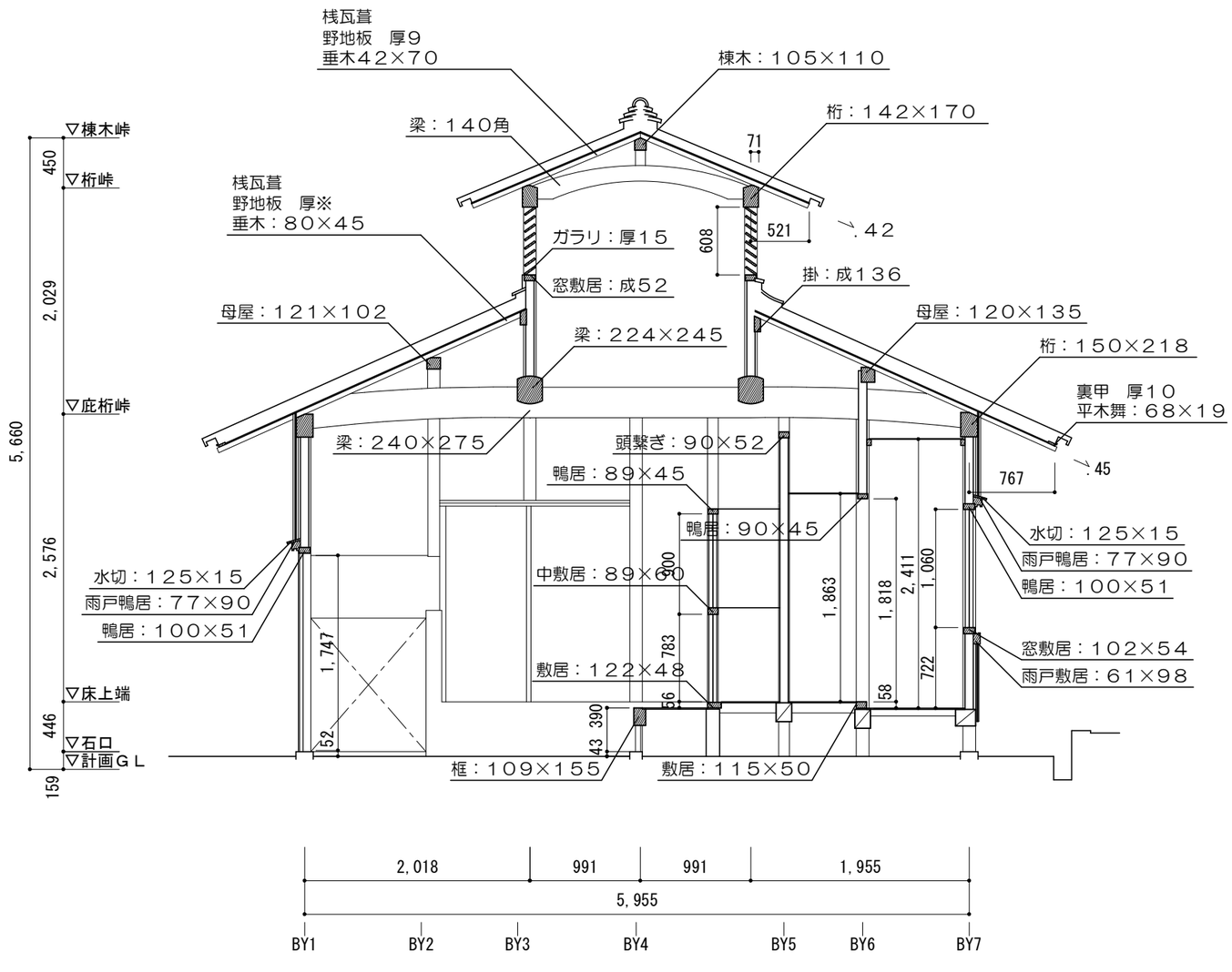
西側立面図

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 A３８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　釜屋東側・離れ座敷西側立面図		



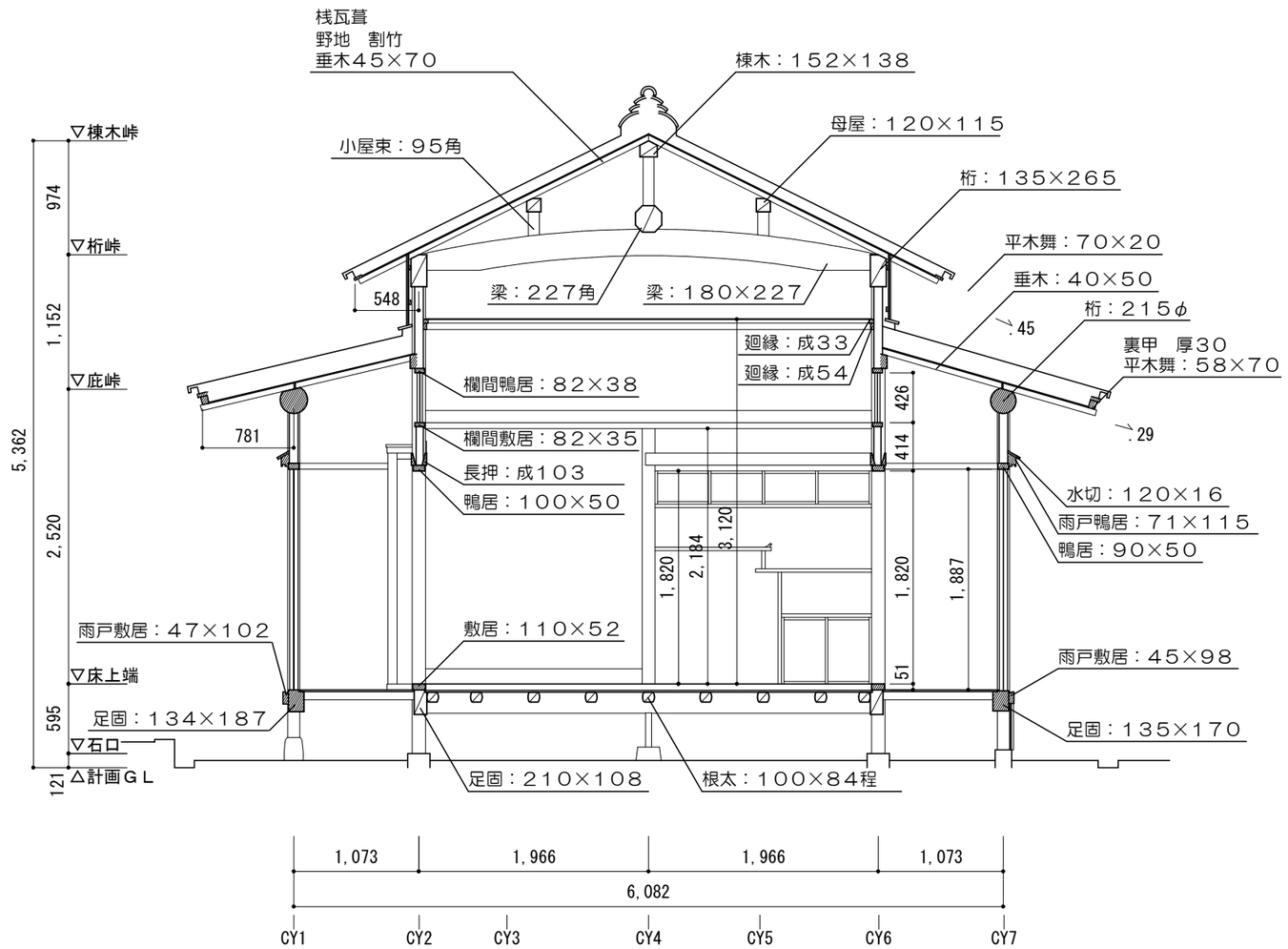
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：50	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 A39
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　主屋　詳細断面図		



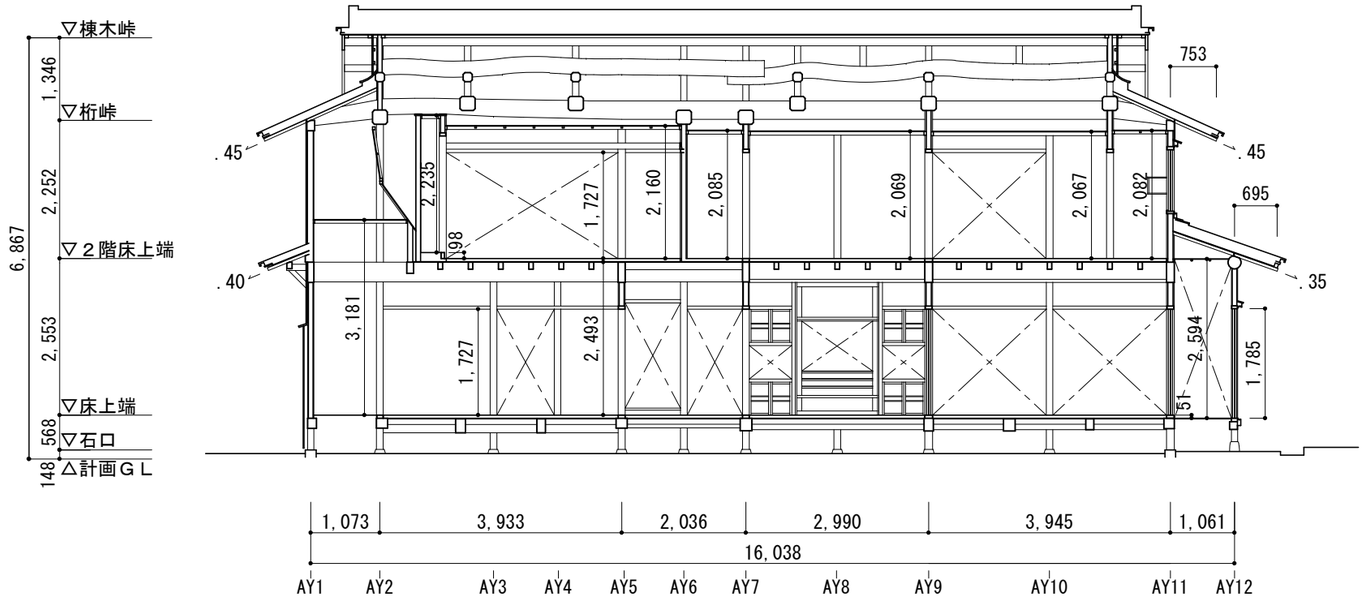
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町5番15号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：50	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項
						図面番号 A40
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　釜屋　詳細断面図	



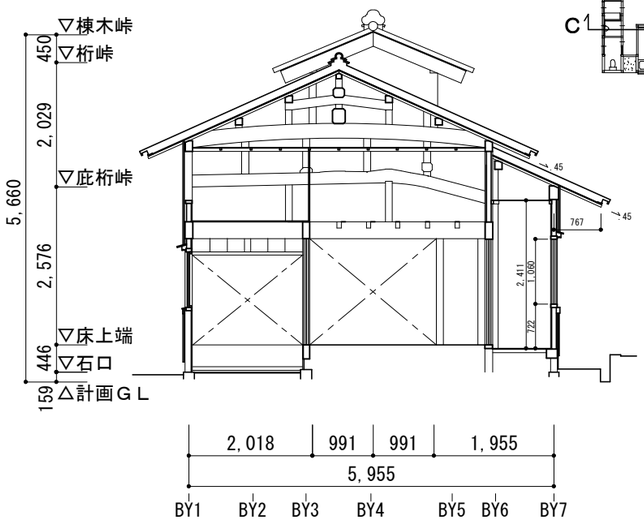
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：50	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 A41
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　離れ　詳細断面図		



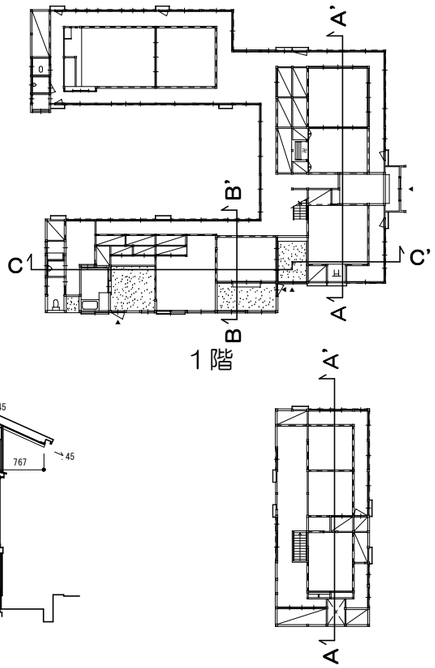
A－A’ 断面図

主屋

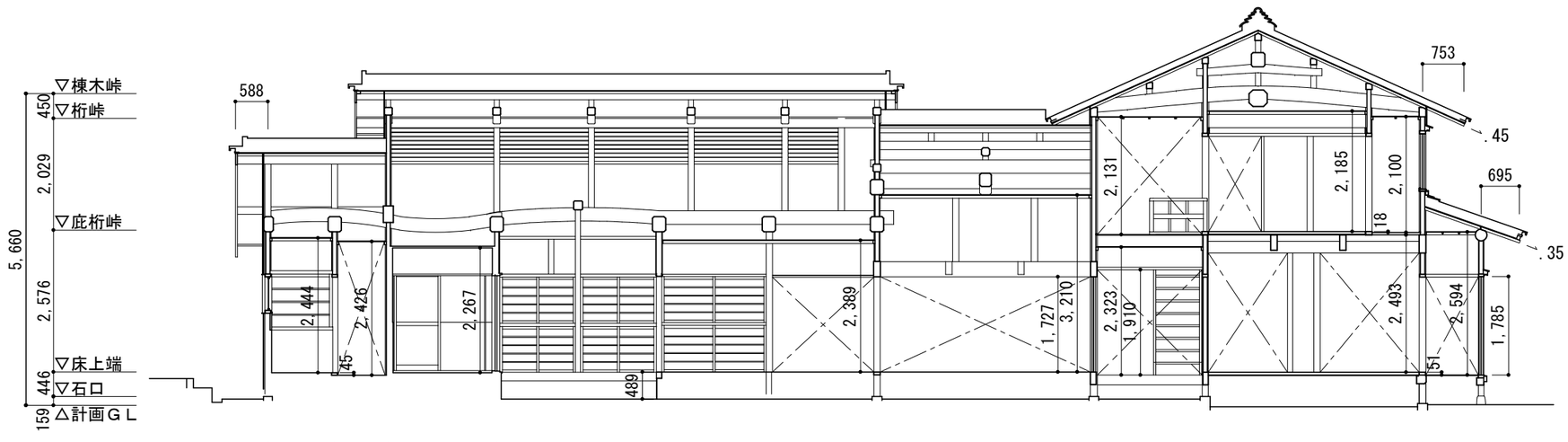


B－B’ 断面図

釜屋



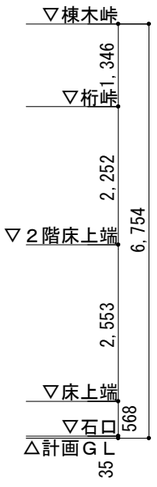
KEYPLAN



C－C’ 断面図

釜屋

主屋

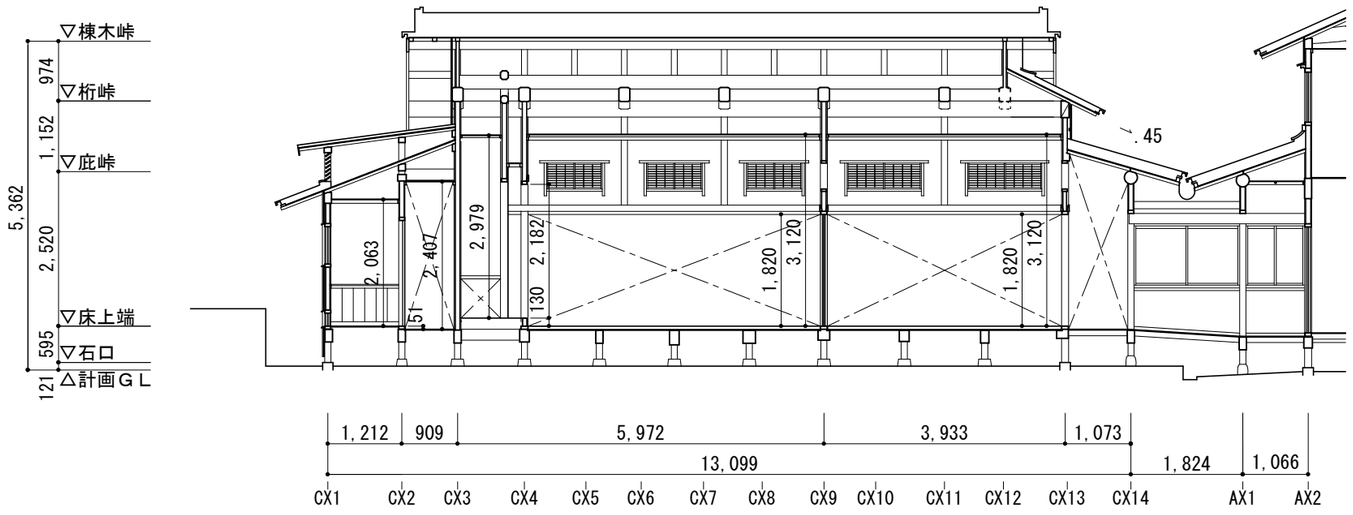


単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092－263－7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1－12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　断面図１

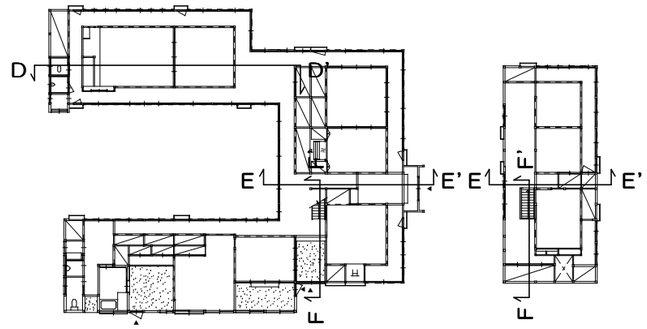
特記事項

図面番号 A４２

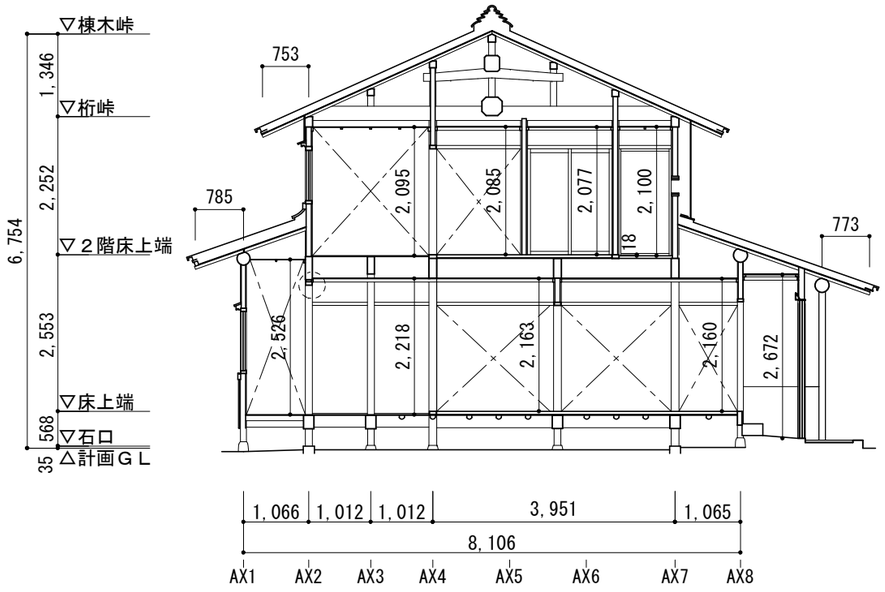


D－D’ 断面図

離れ

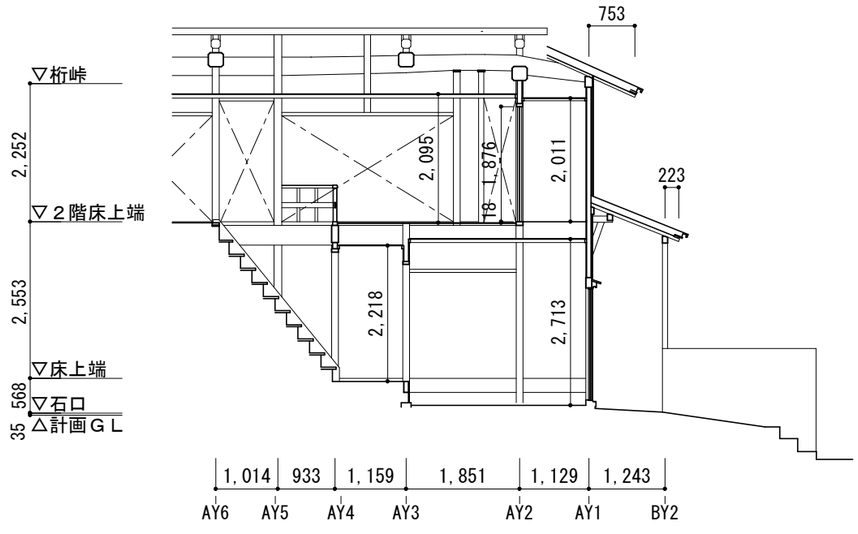


KEYPLAN



E－E’ 断面図

主屋



F－F’ 断面図

主屋

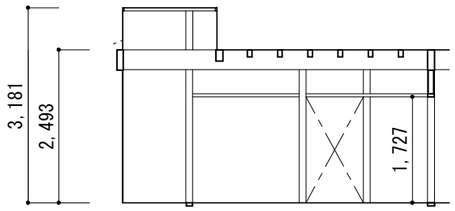
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092－263－7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1－12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　断面図２

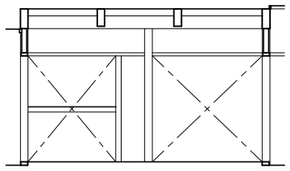
特記事項

図面番号 A４３

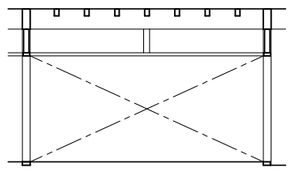
１階　西間



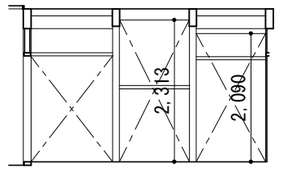
北面　1,073　3,933
AY1　AY2　AY3　AY4　AY5



東面　1,537　490　1,918
AX4　AX5　AX又5　AX6　AX7

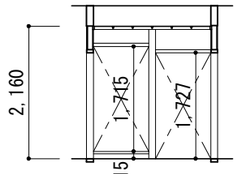


南面　3,933
AY5　AY4　AY3　AY2

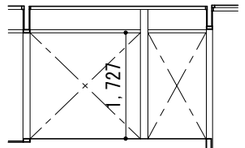


西面　1,449　1,251　1,251
AX7　AX6　AX5　AX4

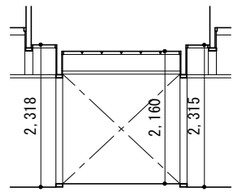
１階　玄関間



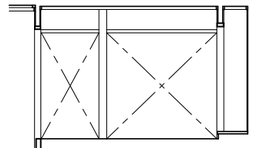
北面　1,014　1,014
AY5　AY6　AY7



東面　1,918　1,065
AX又5　AX7　AX8

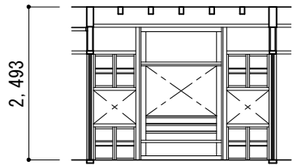


南面　2,027
AY7　AY5

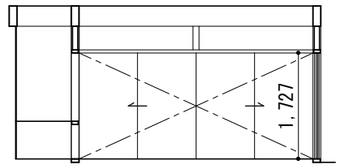


西面　1,065　1,918　490
AX8　AX7　AX又5

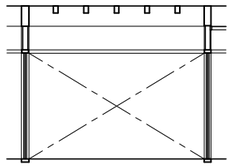
１階　中央間



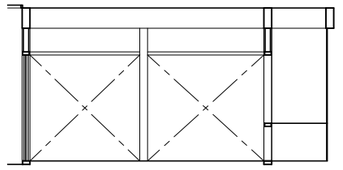
北面　2,981
AY7　AY8　AY9



東面　1,012　3,945
AX3　AX4　AX5　AX6　AX7

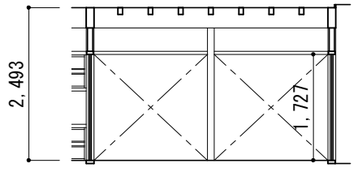


南面　2,981
AY9　AY8　AY7

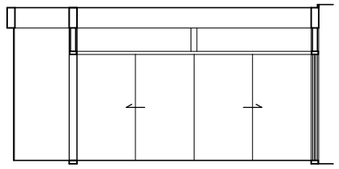


西面　3,945　1,012
AX7　AX6　AX5　AX4　AX3

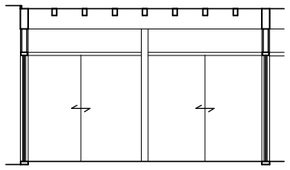
１階　東間



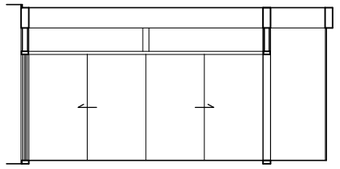
北面　1,972　1,972
AY9　AY10　AY11



東面　1,012　3,945
AX3　AX4　AX5　AX6　AX7



南面　1,972　1,972
AY11　AY10　AY9

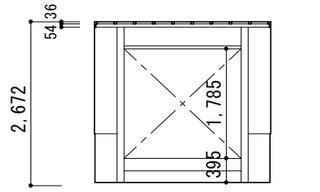


西面　3,945　1,012
AX7　AX6　AX5　AX4　AX3

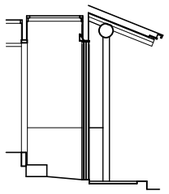
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 A44-1
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１−１２６３６号	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６．９	図面名称	現況　主屋　展開図１		

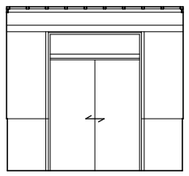
１階　玄関



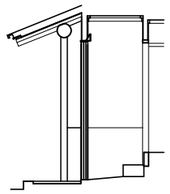
北面　464 | 2,027 | 464
AY又4　AY5　AY6　AY7　AY又7



東面　1,333
AX8　AX又8

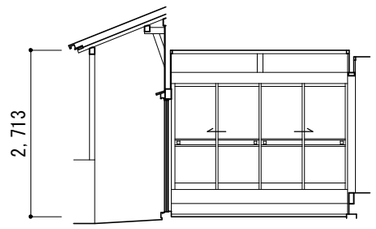


南面　464 | 2,027 | 464
AY又7　AY7　AY6　AY5　AY又4

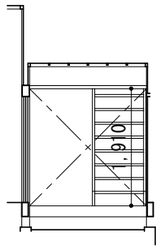


西面　1,333
AX又8　AX8

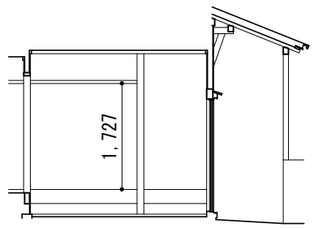
１階　西玄関



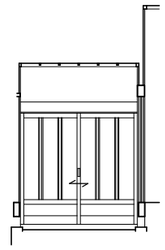
北面　2,980
AY1　AY3



東面　2,024
AX2　AX4

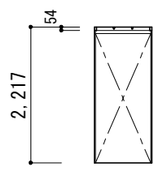


南面　1,851 | 1,129 | 1,243
AY3　AY2　AY1

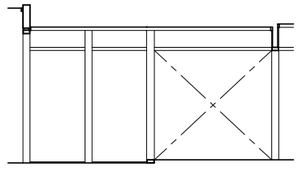


西面　2,024
AX4　AX2

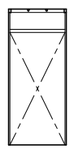
１階　中廊下



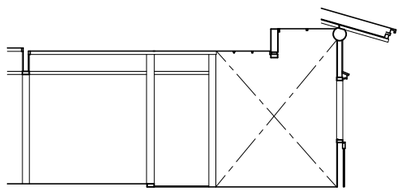
北面　1,014
AY6　AY7



東面　1,012 | 1,012 | 2,033
AX2　AX3　AX4　AX又5

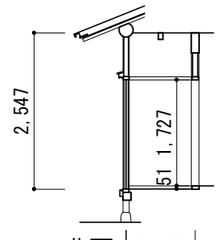


南面　1,014
AY7　AY6

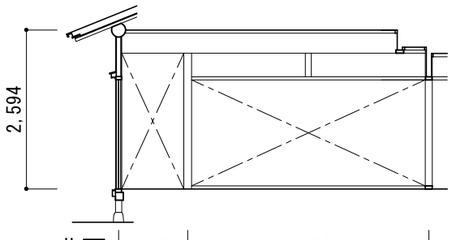


西面　2,033 | 1,012 | 1,012 | 1,066
AX又5　AX4　AX3　AX2　AX1

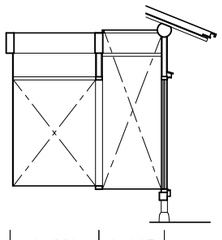
１階　西縁



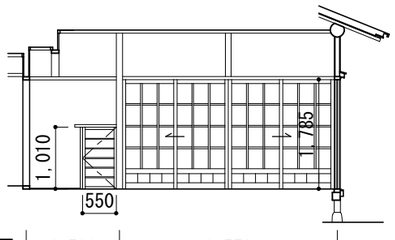
北面　1,129
AY1　AY2



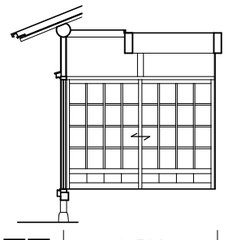
北面　1,129 | 3,933
AY1　AY2　AY又4



東面　1,449 | 1,065
AX6　AX7　AX8



南面　1,520 | 3,552
AY5　AY又3　AY1

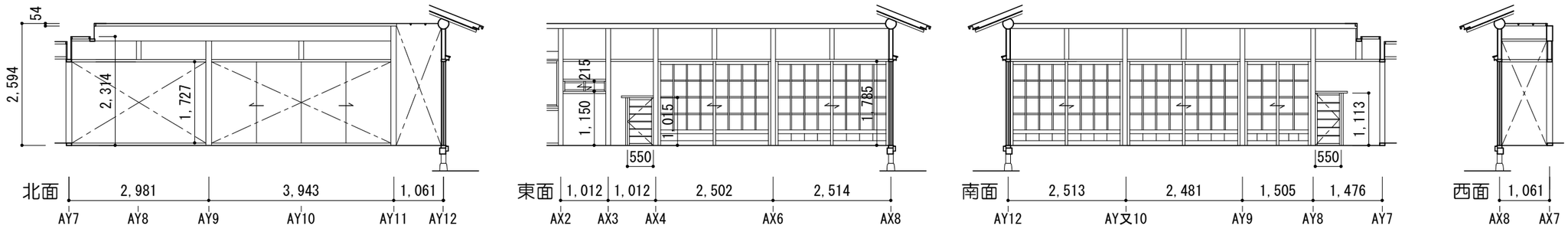


西面　2,514
AX8　AX7　AX6

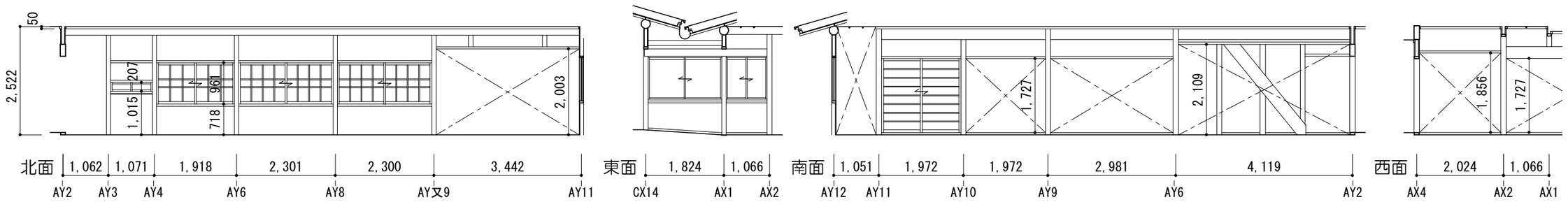
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所　福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号　ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８		縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号　Ａ４４-２
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６.９	図面名称	現況　主屋　展開図２		

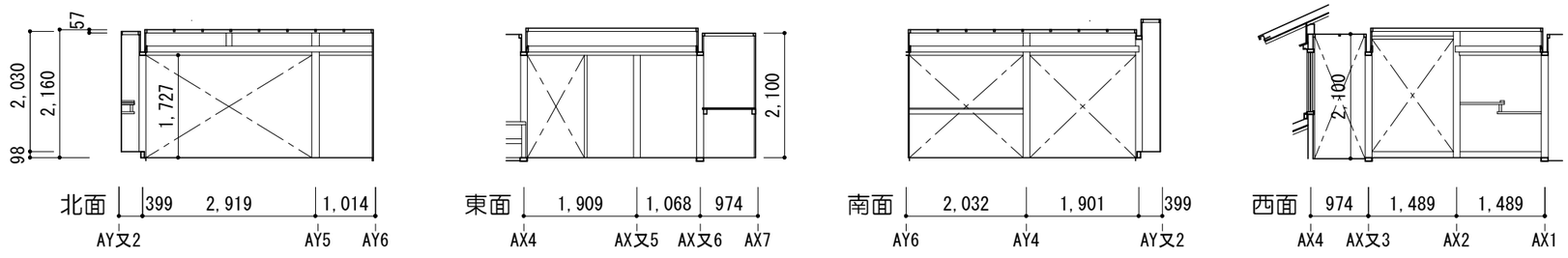
１階　東縁



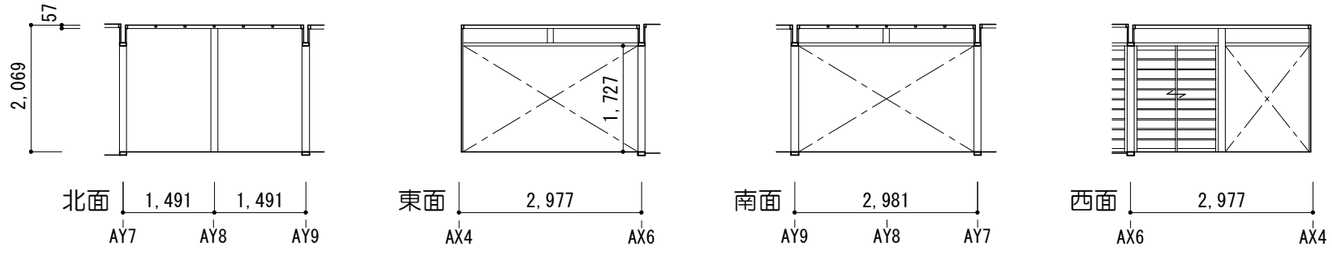
１階　北廊下



２階　座敷



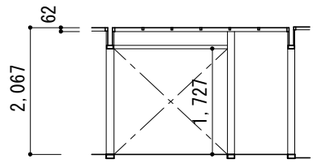
２階　中央間

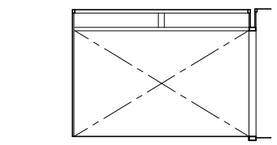


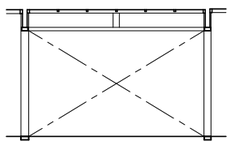
単位：mm

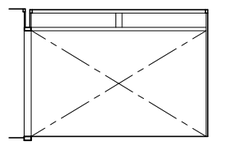
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所　福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号　ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８	縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項
					図面番号 Ａ４４-３
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号　赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６.９	図面名称	現況　主屋　展開図３	

2階　東間

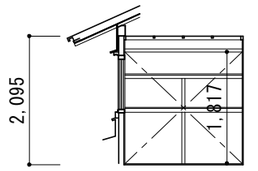


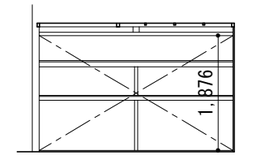




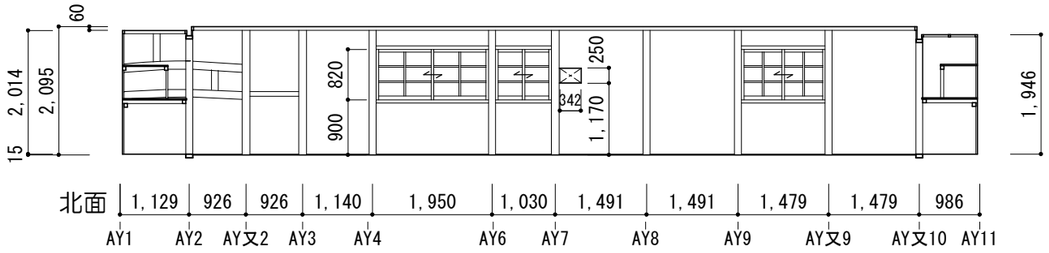


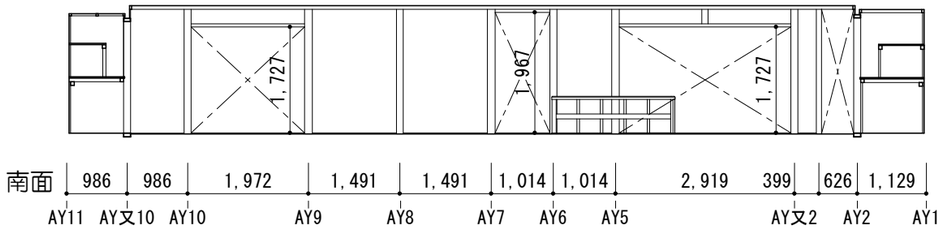
主屋2階　北廊下



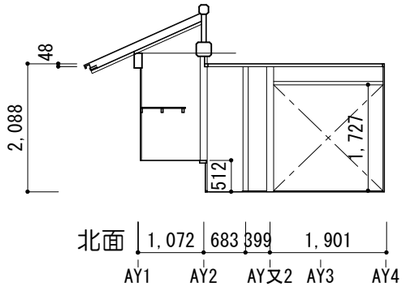


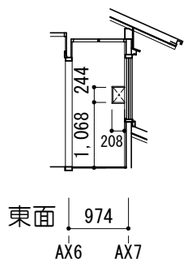
2階　北廊下

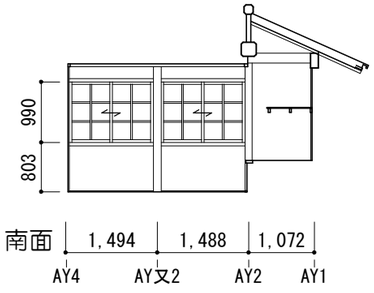


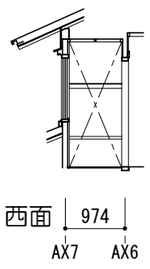


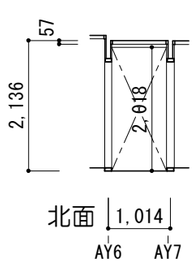
2階　西廊下

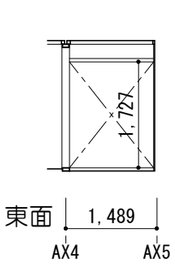


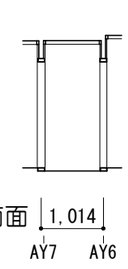


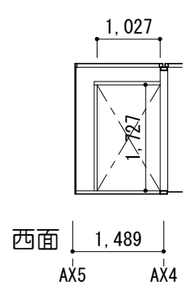




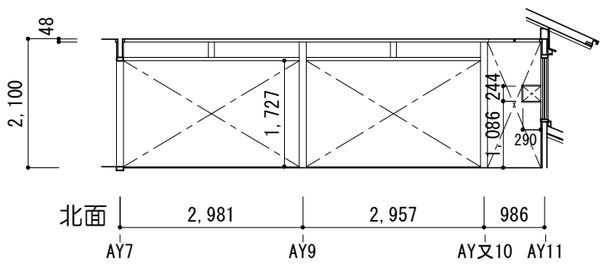


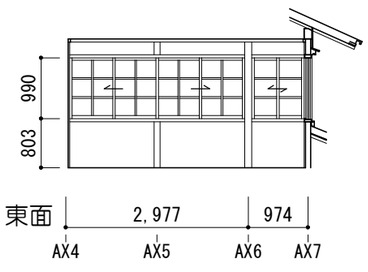


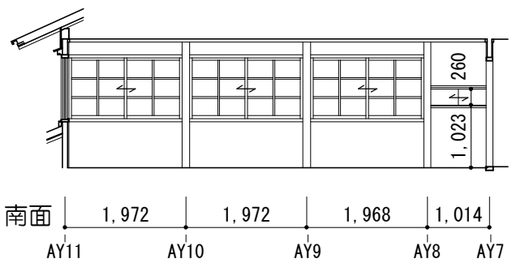


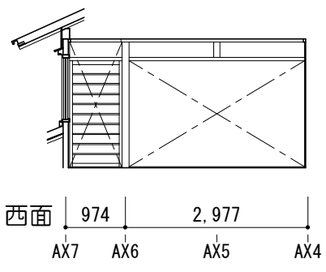


2階　南廊下





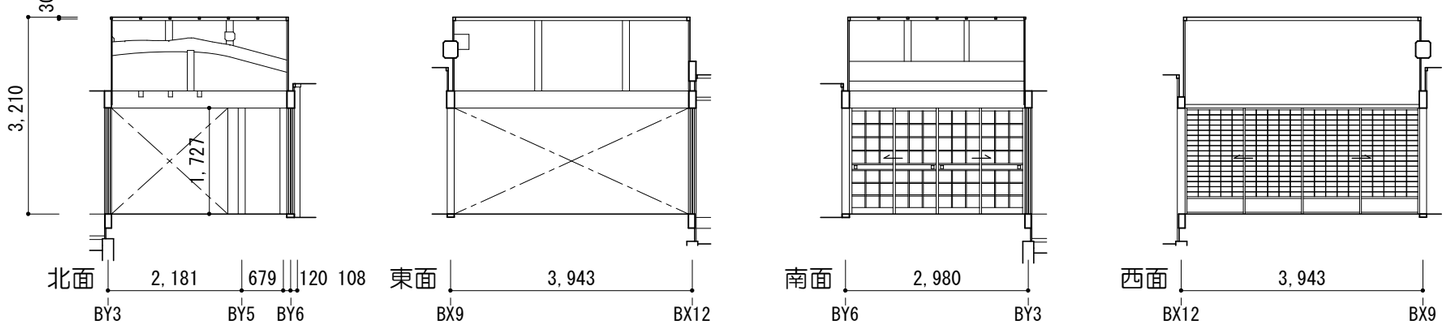




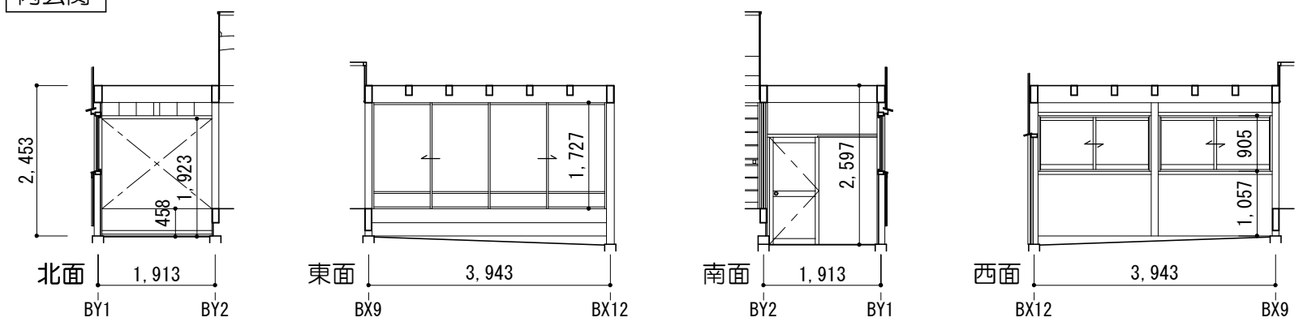
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所　福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号　TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号　赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　主屋　展開図４	図面番号 A44-4

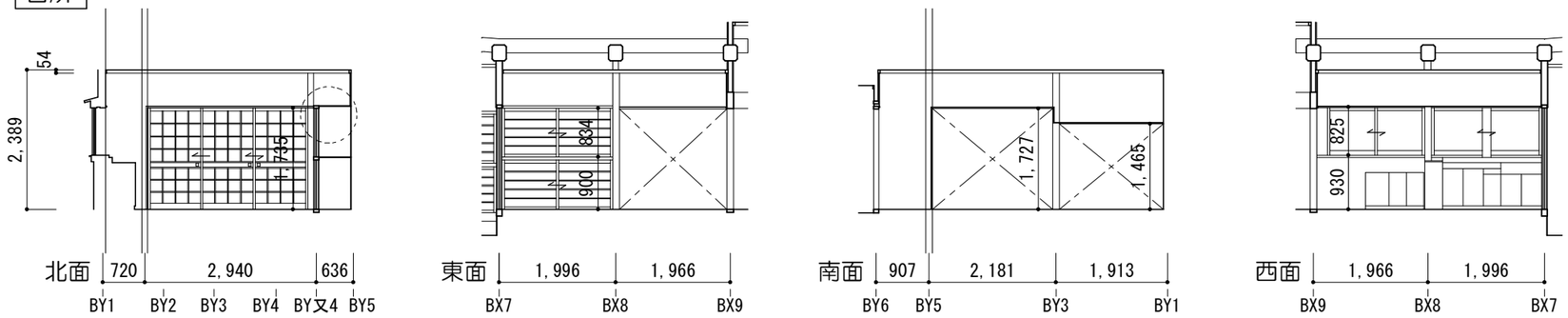
板間



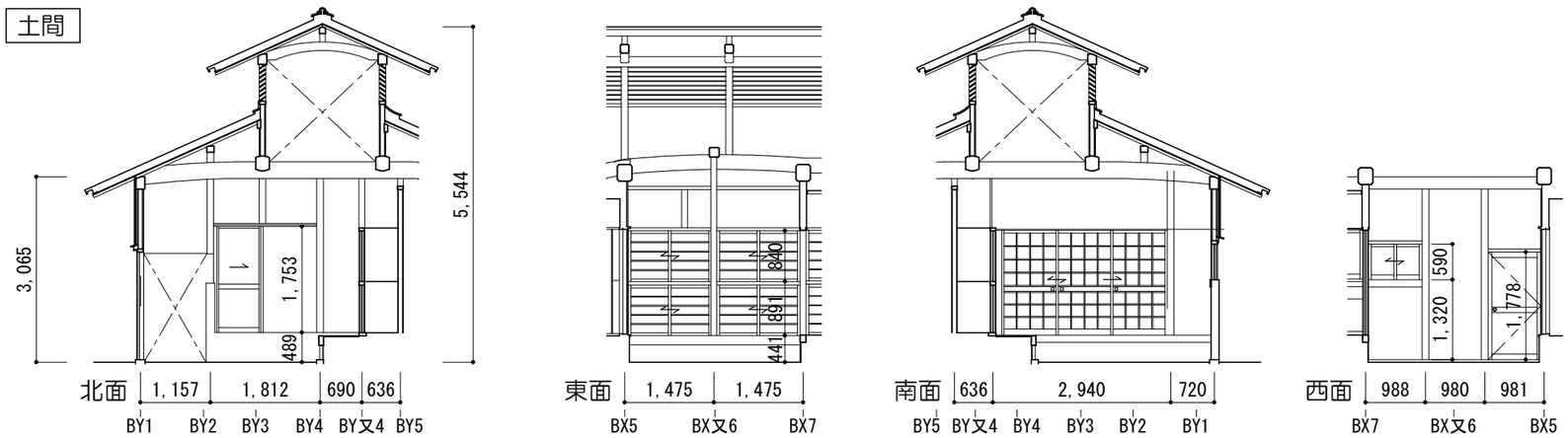
内玄関



台所



土間



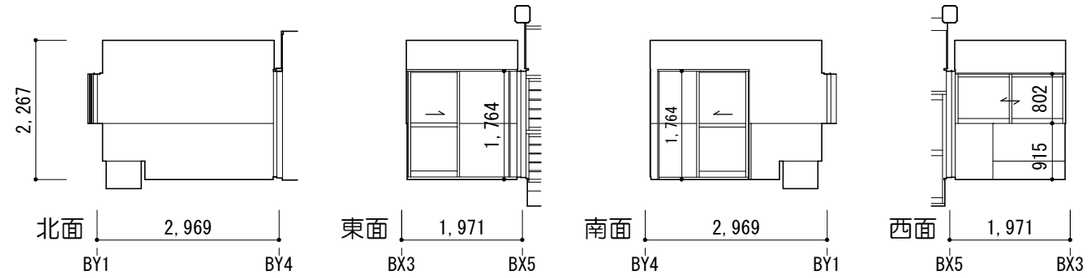
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　釜屋　展開図1

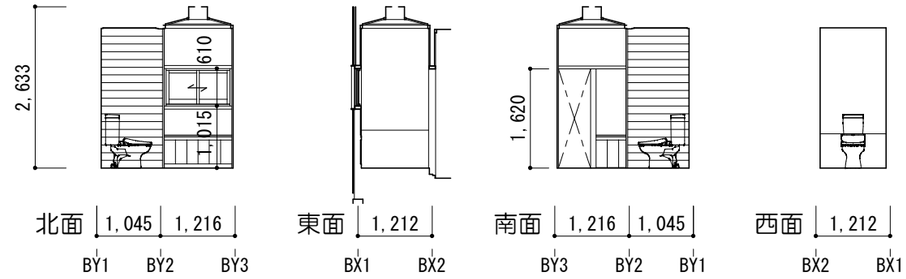
特記事項

図面番号 A45-1

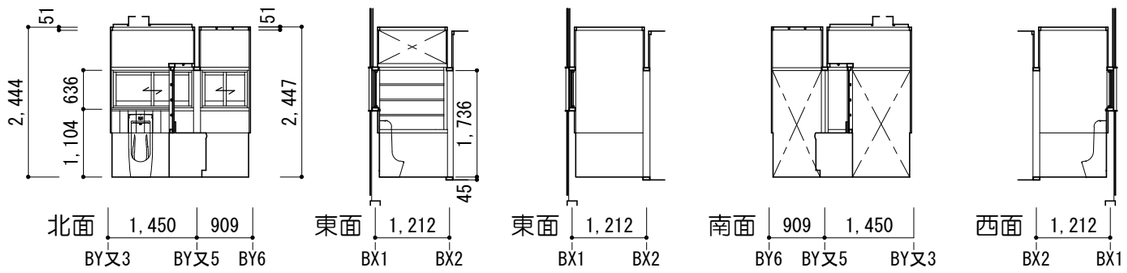
浴室



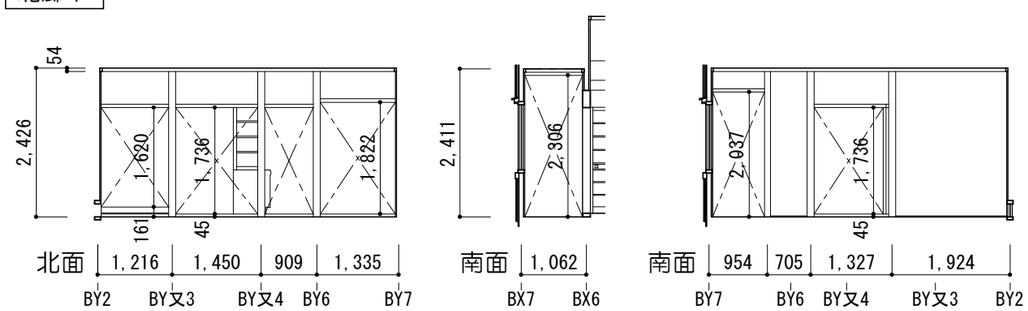
女子トイレ



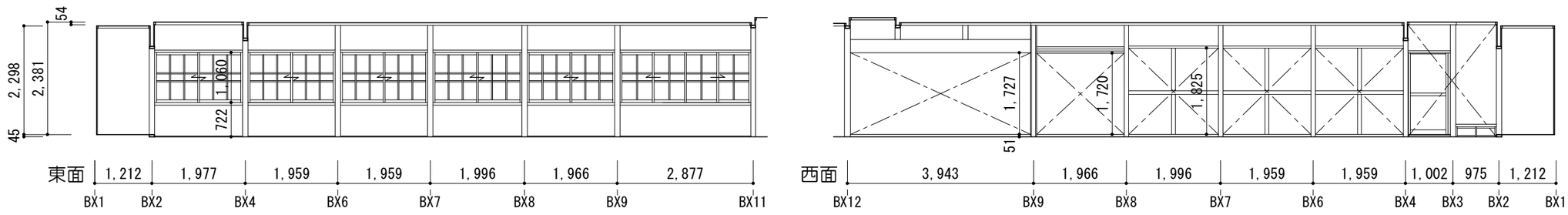
男子トイレ・洗面室



北廊下



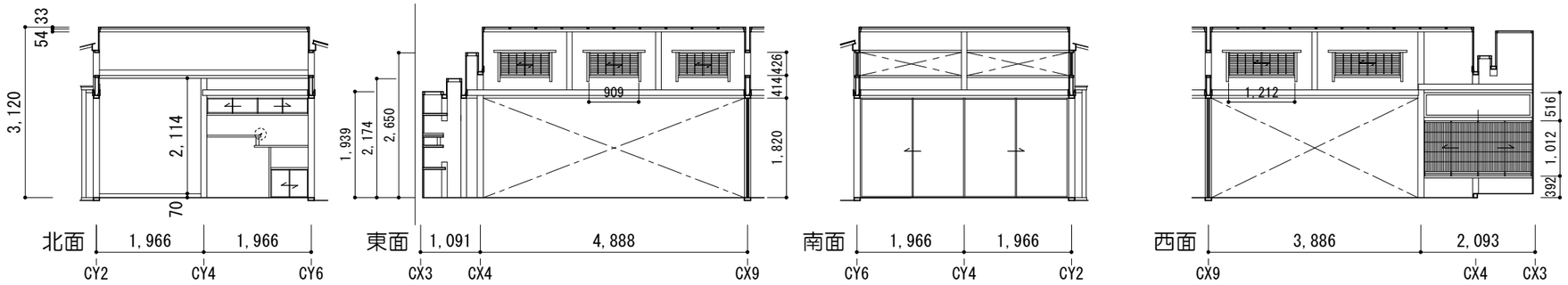
東廊下



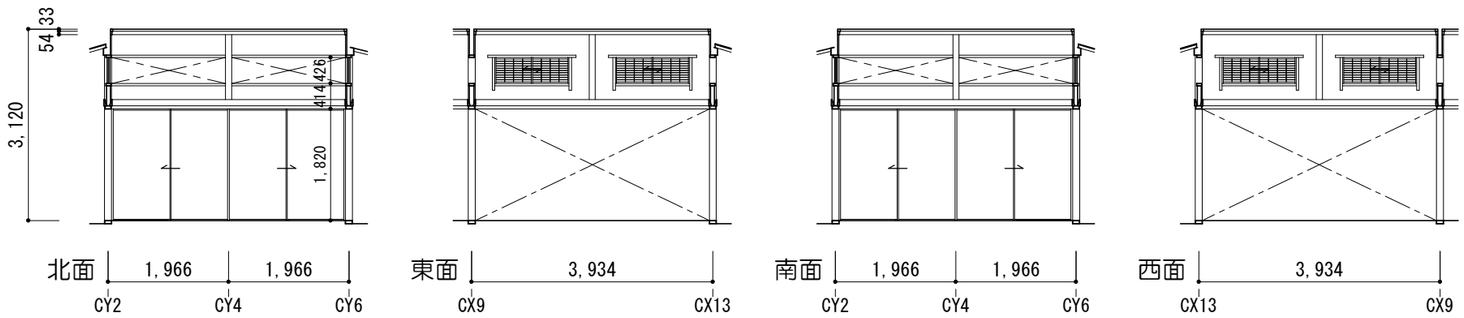
単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所 福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3） 1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 A45-2
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1−12636号 / 赤松 悟 一級建築士登録 第298543号	年月日 2026.9	図面名称	現況 釜屋 展開図2		

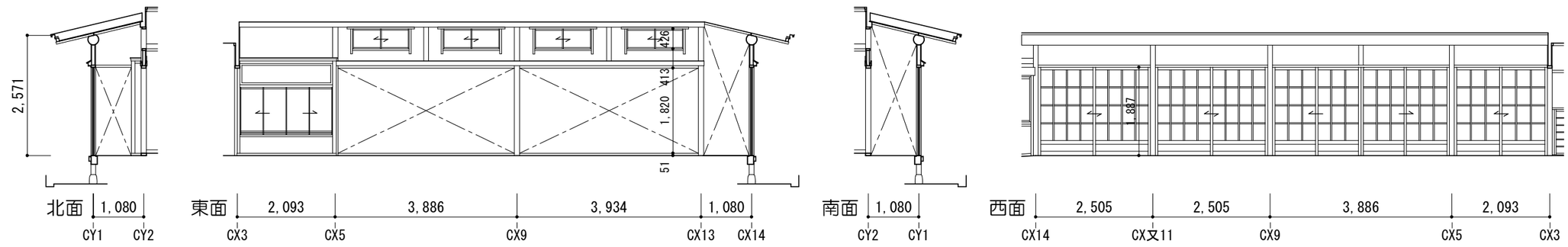
座敷



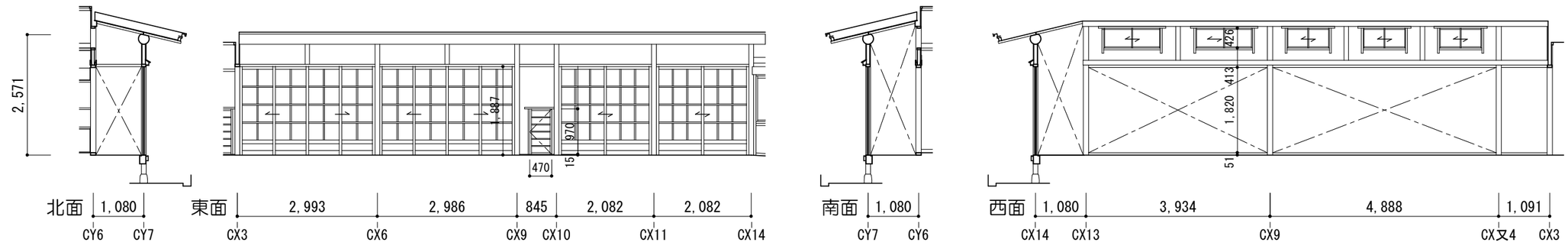
次の間



西縁



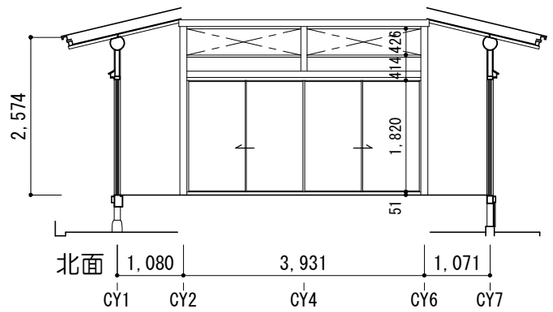
東縁

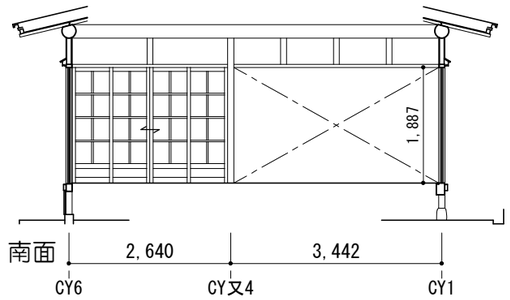


単位：mm

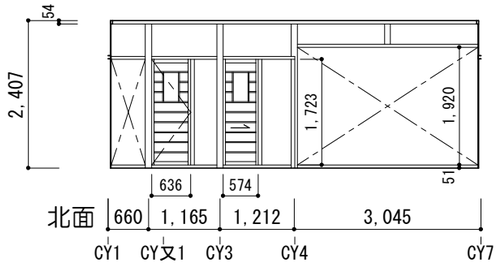
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 A46-1
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況　離れ　展開図1		

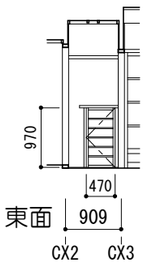
南縁

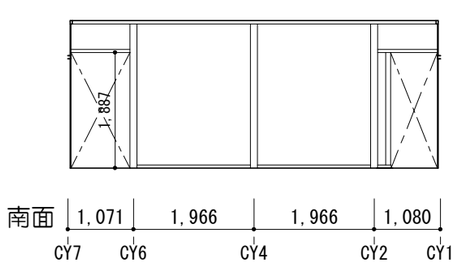


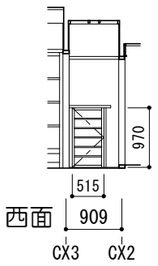


北廊下

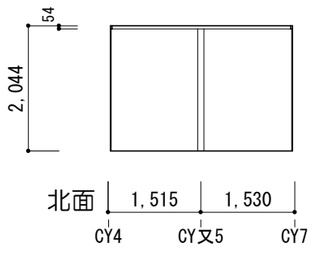


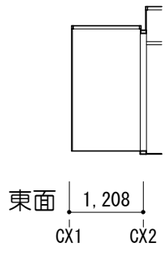


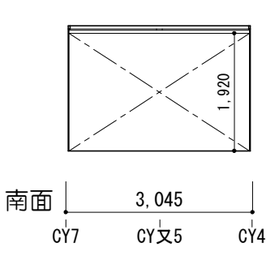


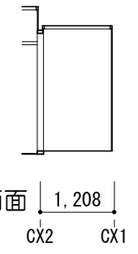


押入

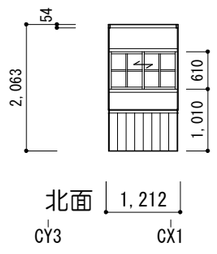


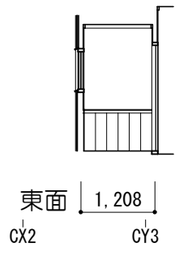


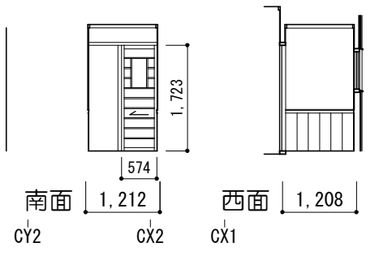




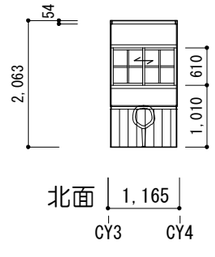
女子トイレ

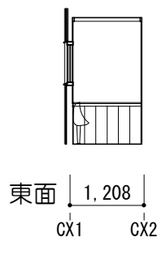


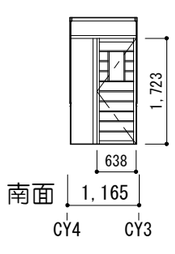


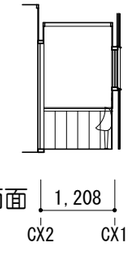


男子トイレ

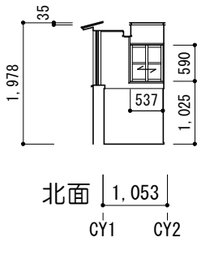


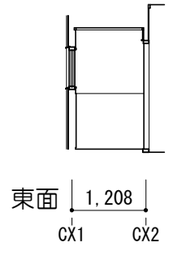


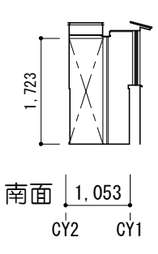


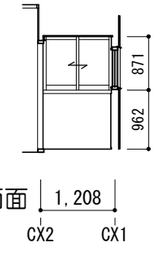


洗面室









単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所 福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項
					図面番号 A46-2
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1−12636号 / 赤松 悟 一級建築士登録 第298543号	年月日	2026.9	図面名称	現況 離れ 展開図２	

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

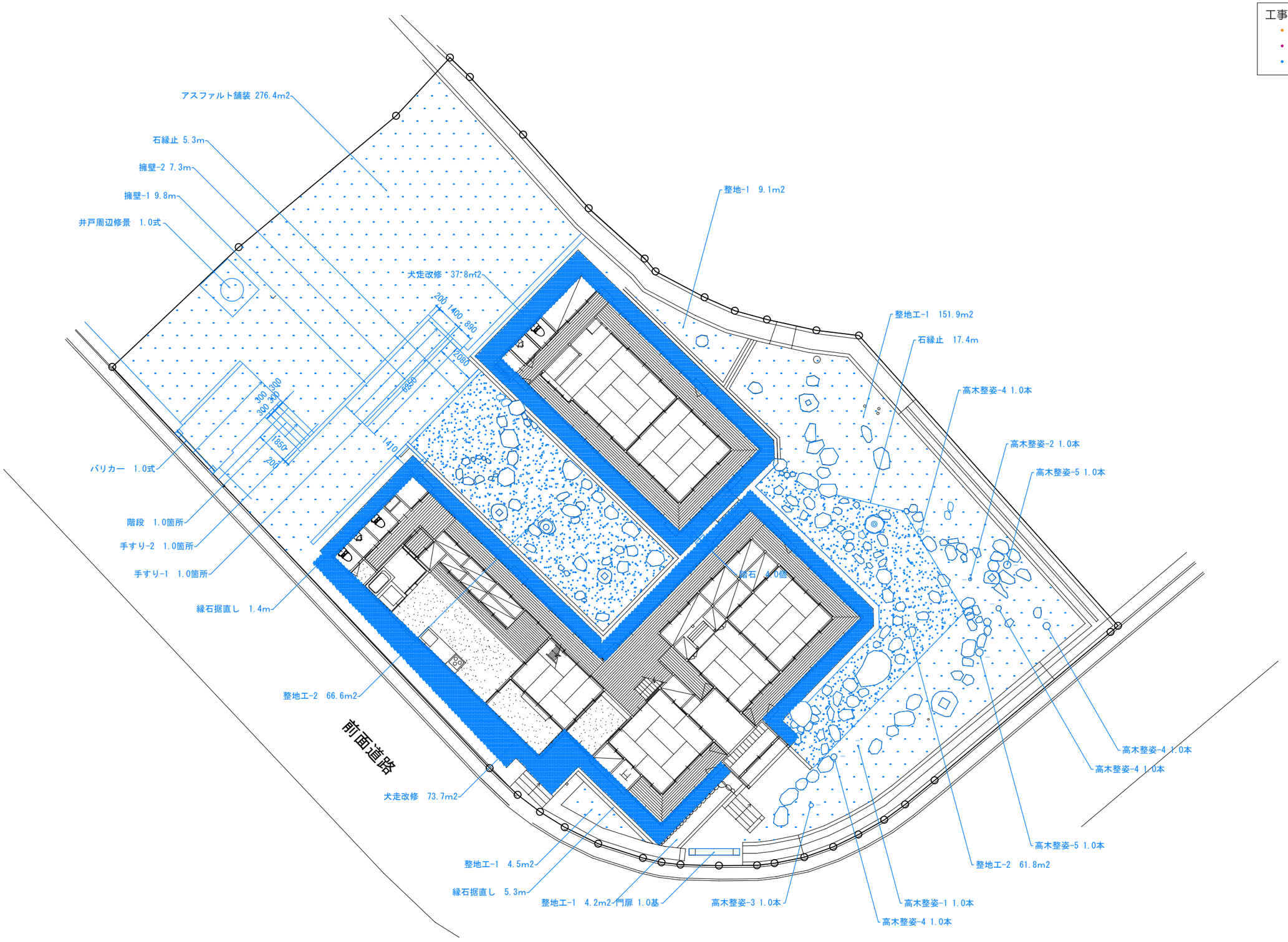
石撤去 10.0m3
（災害復旧利用可）
ＣＢ-2撤去 1.5m
コンクリート擁壁-3撤去 6.0m
コンクリート擁壁-1撤去 2.7m
コンクリート壁撤去 3.2m
縁石-2撤去 8.8m
ＣＢ-1撤去 3.1m
コンクリート立上り撤去 5.5m
土砂撤去 8.6m3
門扉撤去 1.0基
コンクリート舗装撤去 20.9m2
縁石-3撤去 2.2m
コンクリート擁壁-2撤去 6.6m
高木伐採・除根-3 1.0本
縁石-2撤去 3.7m/3.9m
縁石-1撤去 4.1m
コンクリート舗装撤去 7.6m2/4.7m2/5.2m2
高木伐採・伐根-1 1.0本
高木伐採・伐根-2 1.0本
高木伐採・伐根-1 1.0本
高木伐採・伐根-1 1.0本
高木伐採・伐根-3 1.0本
高木伐採・伐根-2 1.0本
高木伐採・伐根-3 1.0本
高木伐採・伐根-3 1.0本
景石移設 2.0個
切株伐根-1 1.0本
切株伐根-5 1.0本
前面道路
灯籠移設 1.0個
中低木伐採・伐根 1.0本
高木伐採・伐根-3 1.0本
株張木伐根 2.0本
切株伐根-4 1.0本
切株伐根-5 1.0本
中低木伐採・伐根 1.0本
切株伐根-4 1.0本
コンクリート管撤去 1.0基
高木伐採・伐根-1 1.0本
切株伐根-5 1.0本
切株伐根-3 1.0本
中低木伐採・伐根 1.0本
中低木伐採・伐根 1.0本
中低木伐採・伐根 1.0本
高木伐採・伐根-1 1.0本
景石移設 2.0個
切株伐根-4 1.0本
中低木伐採・伐根 1.0本
景石移設 6.0個
切株伐根-5 1.0本
中低木伐採・伐根 1.0本
レンガ塀撤去 16.0m
中低木伐採・伐根 1.0本
切株伐根-2 1.0本

N

単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所 福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：200	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1−12636号 / 赤松 悟 一級建築士登録 第298543号	年月日	2026.9	図面名称	撤去平面図	図面番号 L１

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度



単位：mm

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：200	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1−12636号	赤松 悟 一級建築士登録 第298543号	年月日	2026.9	図面名称	施設平面図	図面番号 L2

撤去・移設工　凡例

種別	細別	規格寸法	単位	数量
樹木伐採・伐根工	高木伐採・伐根-1	30cm≦C＜60cm	本	5.0
	高木伐採・伐根-2	60cm≦C＜90cm	本	2.0
	高木伐採・伐根-3	90cm≦C＜120cm	本	5.0
	中低木伐採・伐根	H＜3.0m	本	8.0
	切株伐採-1	C＜20cm	本	1.0
	切株伐採-2	20cm≦C＜30cm	本	1.0
	切株伐採-3	30cm≦C＜60cm	本	1.0
	切株伐採-4	60cm≦C＜90cm	本	5.0
	切株伐採-5	90cm≦C＜120cm	本	5.0
	枯損木伐根	90cm≦C＜120cm	本	2.0
撤去工	石撤去		m3	10.0
	土砂撤去		m3	10.7
	コンクリート擁壁-1撤去	H=450	m	2.7
	コンクリート擁壁-2撤去	H=500	m	6.6
	コンクリート擁壁-3撤去	H=800	m	6.0
	コンクリート壁撤去	H=1000	m	3.2
	ＣＢ壁-1撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ H=600	m	3.1
	ＣＢ壁-2撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄ間知ﾌﾞﾛｯｸH=350	m	1.5
	コンクリート舗装撤去	t=70	m2	38.4
	縁石-1撤去	150×150	m	4.1
	縁石-2撤去	200×150	m	16.4
	縁石-3撤去	250×150	m	2.2
	コンクリート立上り撤去	150×100	m	5.5
	コンクリート管撤去	φ1200　H=800	基	1.0
	レンガ塀撤去	H=780　レンガ	m	16.0
	門扉撤去	アコーディオン門扉	基	1.0
移設工	景石移設	φ800程度	個	8.0
	景石移設	φ600程度	個	2.0
	灯籠移設	H=900	個	1.0

基盤整備工　凡例

種別	細別	規格寸法	単位	数量
敷地造成工	擁壁-1	Ｌ型擁壁　H=550	m	9.8
	擁壁-2	Ｌ型擁壁　平均H=292	m	7.3
	整地工-1	除草、整地	m2	169.7
	整地工-2	t=50鋤取、敷均	m2	128.4

樹木整姿工　凡例

種別	細別	規格寸法	単位	数量
高中木整姿工	高木整姿-1	基本剪定　C＜30cm	本	1.0
	高木整姿-2	基本剪定 30cm≦C＜60cm	本	1.0
	高木整姿-3	基本剪定 60cm≦C＜90cm	本	1.0
	高木整姿-4	基本剪定 90cm≦C＜120cm	本	4.0
	高木整姿-5	基本剪定 120cm≦C（針葉樹）	本	2.0

施設工　凡例

種別	細別	規格寸法	単位	数量
舗装工	犬走改修	t=20　モルタル塗り	m2	111.5
	アスファルト舗装	t=40	m2	276.4
	縁石据直し	150×150	m	6.7
	石縁止	現場発生材使用	m	22.7
	階段	4段	箇所	1.0
修景施設工	踏石	口300　L=600	個	4.0
	井戸周辺修景	上屋等美装化	式	1.0
管理施設工	門扉	復元（現状物撤去）	式	1.0
	バリカー	チェーン・南京錠含む	式	1.0
	手すり-1	スロープ　手摺2段	箇所	1.0
	手すり-2	階段　手摺2段	箇所	1.0

樹木一覧

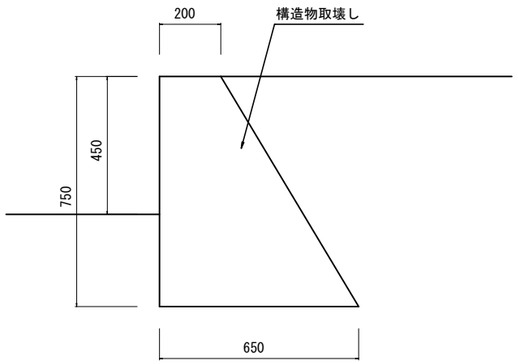
番号	8			備考
	樹高	幹周	葉張	
①	6.5	0.37	3.0	高木伐採・伐根-1
②	3.5	0.45	2.0	高木伐採・伐根-1
③	7.0	0.47	4.0	高木伐採・伐根-1
④	7.0	0.50	2.0	高木伐採・伐根-1
⑤	3.5	0.45	2.0	高木伐採・伐根-1
⑥	7.0	0.78	3.0	高木伐採・伐根-2
⑦	7.5	0.85	3.5	高木伐採・伐根-2
⑧	3.0	1.10	4.0	高木伐採・伐根-3
⑨	8.0	1.19	5.0	高木伐採・伐根-3
⑩	3.0	1.05	2.5	高木伐採・伐根-3
⑪	4.0	0.90	2.5	高木伐採・伐根-3
⑫	7.5	1.19	4.5	高木伐採・伐根-3
⑬	1.5	－	1.0	中低木伐採・伐根
⑭	0.6	－	0.7	中低木伐採・伐根
⑮	0.7	－	0.8	中低木伐採・伐根
⑯	0.8	－	0.8	中低木伐採・伐根
⑰	3.0	－	1.0	中低木伐採・伐根
⑱	0.8	－	0.8	中低木伐採・伐根
⑲	1.5	－	1.0	中低木伐採・伐根
⑳	1.0	－	0.5	中低木伐採・伐根
—	－	0.25	－	切株伐根-2
—	－	0.15	－	切株伐根-1
—	－	0.35	－	切株伐根-3
—	－	0.60	－	切株伐根-4
—	－	0.60	－	切株伐根-4
—	－	0.60	－	切株伐根-4
—	－	0.75	－	切株伐根-4
—	－	0.63	－	切株伐根-4
—	－	1.19	－	切株伐根-5
—	－	1.19	－	切株伐根-5
—	－	0.90	－	切株伐根-5
—	－	0.90	－	切株伐根-5
—	－	1.10	－	切株伐根-5
—	3.0	0.95	－	枯損木伐根
—	3.0	0.95	－	枯損木伐根
—	4.0	0.25	2.0	高木整姿-1
—	6.0	0.55	3.0	高木整姿-2
—	7.0	1.02	4.0	高木整姿-4
—	6.0	0.93	3.0	高木整姿-4
—	5.0	1.16	3.5	高木整姿-4
—	5.0	1.00	4.0	高木整姿-4
—	6.0	0.75	5.0	高木整姿-3
—	8.0	1.20	5.0	高木整姿-5
—	7.0	1.26	5.0	高木整姿-5

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（A3）	
年月日	2026.9
工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
図面名称	凡例表
特記事項	
図面番号	Ｌ３

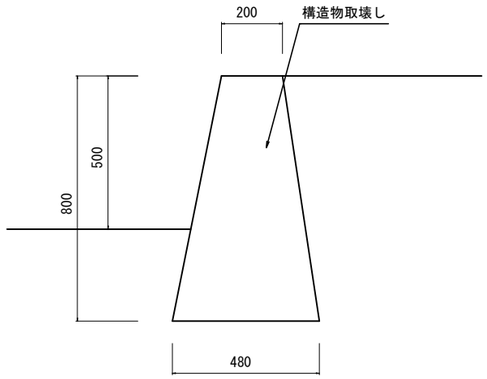
コンクリート擁壁-1撤去

断面図　S=1:20



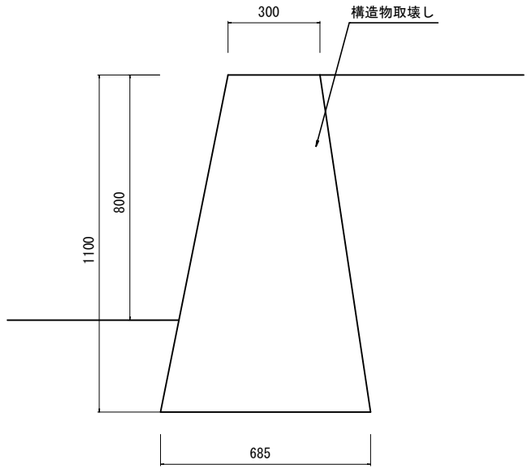
コンクリート擁壁-2撤去

断面図　S=1:20



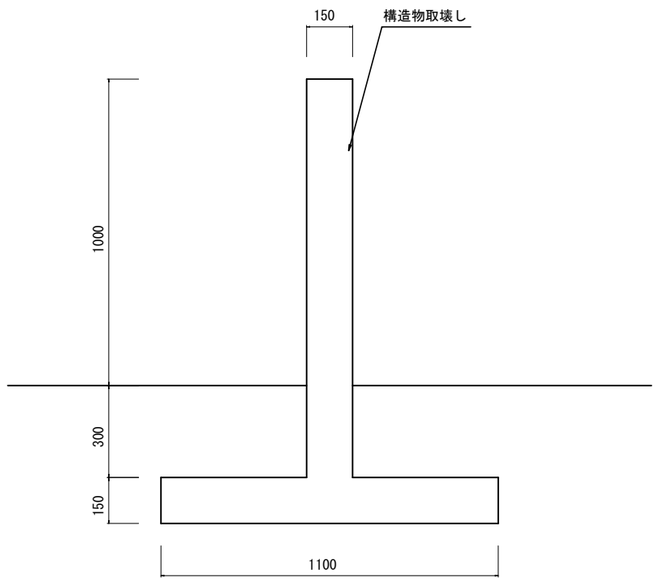
コンクリート擁壁-3撤去

断面図　S=1:20



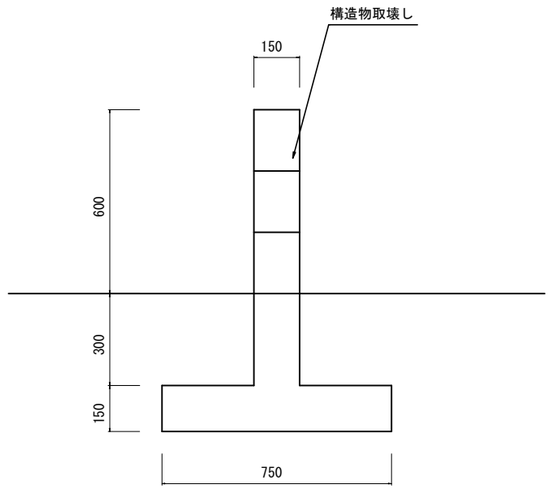
コンクリート壁撤去

断面図　S=1:20



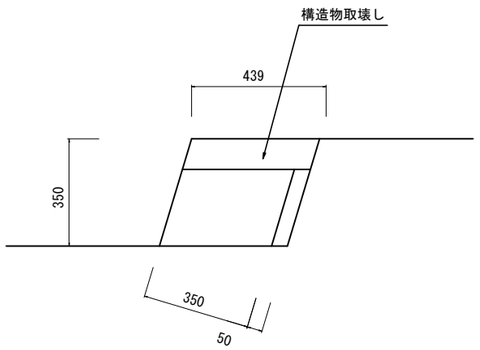
ＣＢ壁-1撤去

断面図　S=1:20



ＣＢ壁-2撤去

断面図　S=1:20



都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

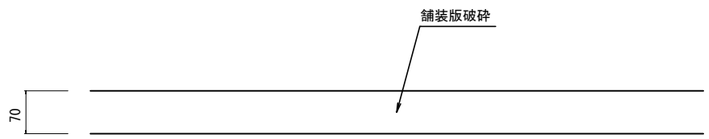
縮尺（A3）	図示	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
年月日	２０２６.９	図面名称	詳細図　その１

特記事項

図面番号　Ｌ４

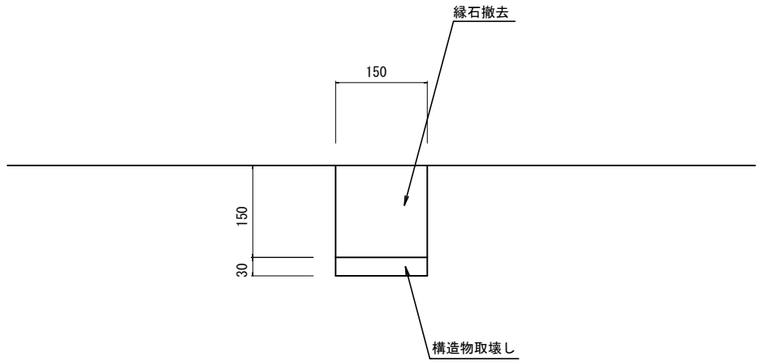
コンクリート舗装撤去

断面図　S=1:10



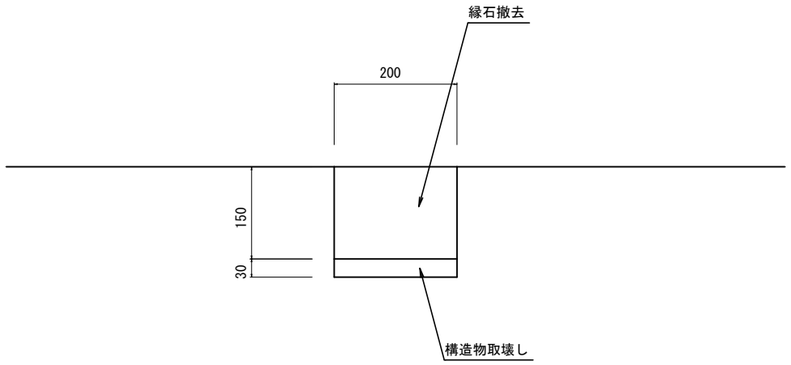
縁石-1撤去

断面図　S=1:10



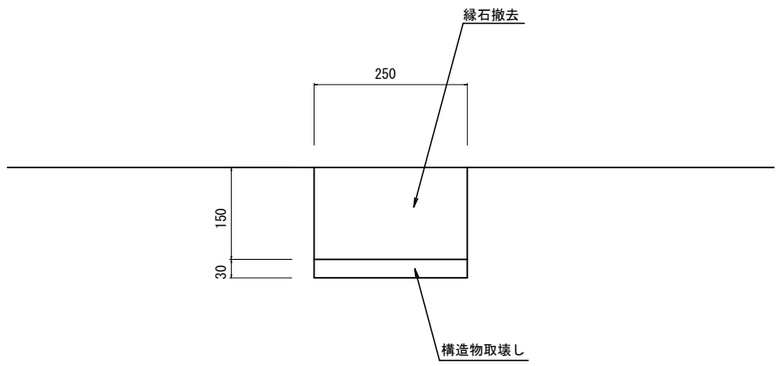
縁石-2撤去

断面図　S=1:10



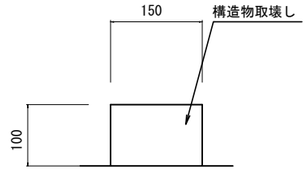
縁石-3撤去

断面図　S=1:10



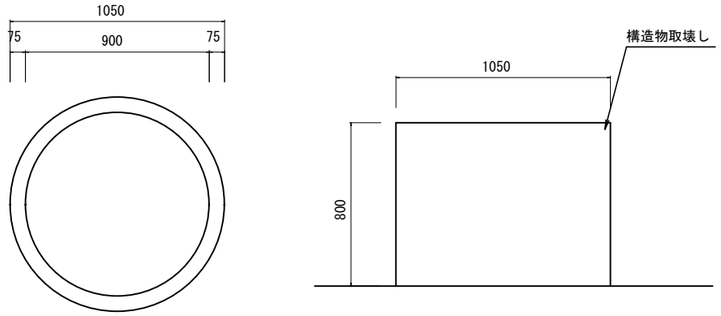
コンクリート立上り撤去

断面図　S=1:10



コンクリート管撤去

断面図　S=1:30



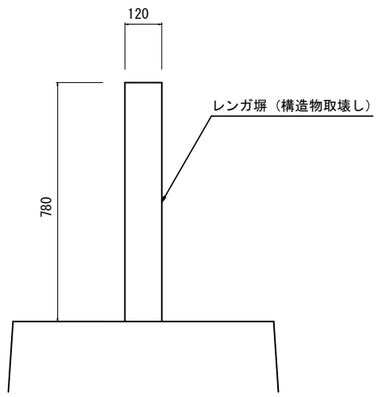
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	図示	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	詳細図　その２

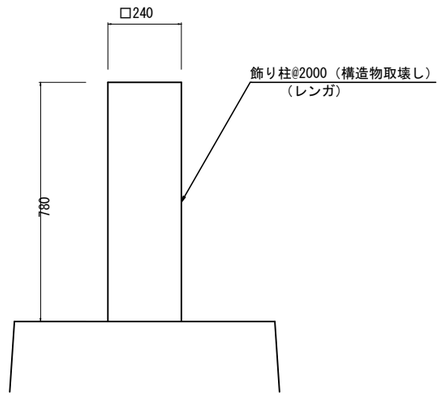
特記事項

図面番号　Ｌ５

レンガ塀撤去

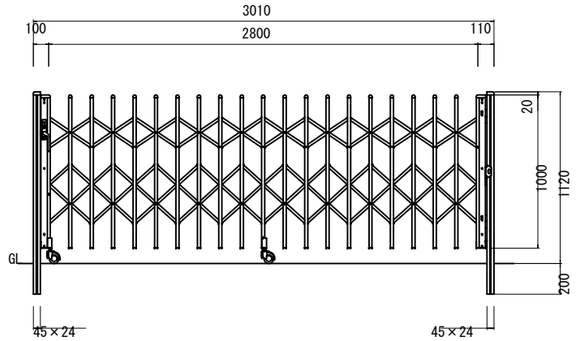
断面図　S=1:20





門扉撤去

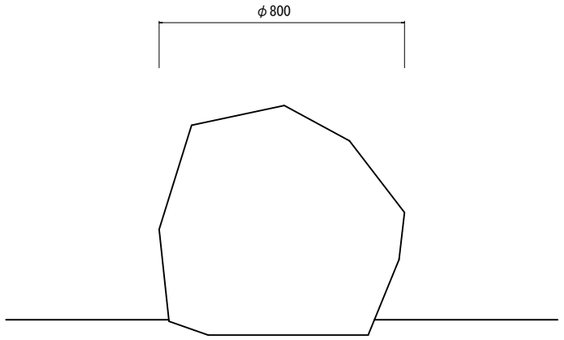
参考図　S=1:20



・参考重量は約20.0kg

景石（φ800）移設

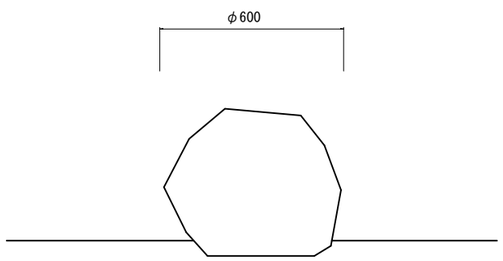
断面図　S=1:20



・石組みの際は位置、配置等、監督員の了承を得ること。

景石（φ600）移設

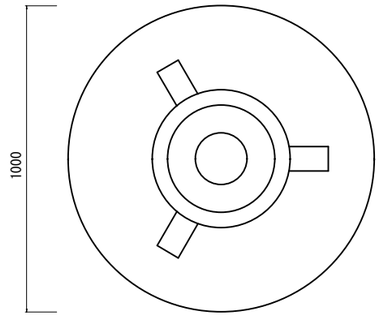
断面図　S=1:10



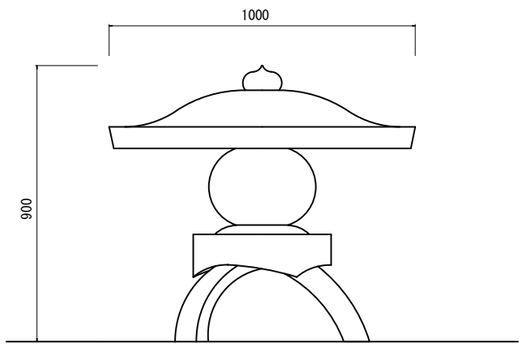
xt52;・石組みの際は位置、配置等、監督員の了承を得ること。

灯籠　移設

平面図　S=1:20



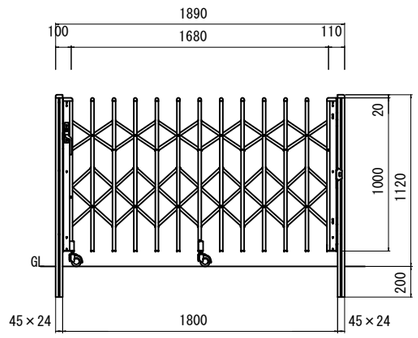
側面図　S=1:20



・再設置の際は位置、配置等、監督員の了承を得ること。

門扉（現況物撤去）

参考図　S=1:20

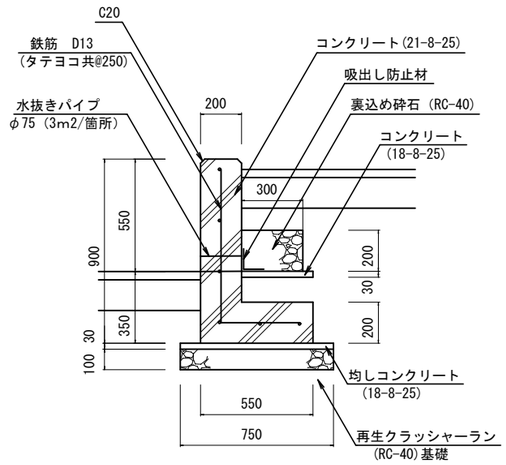


・参考重量は約13.5kg

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	図示	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	詳細図　その３	図面番号 L６

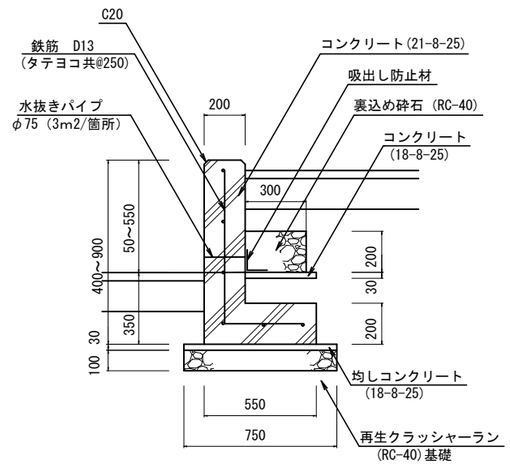
擁壁-1

断面図　S=1:30



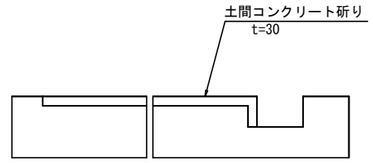
擁壁-1

断面図　S=1:30

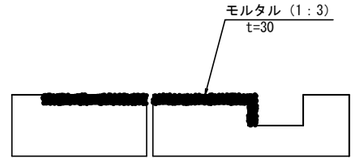


犬走改修

斫り　断面図　S=1:20

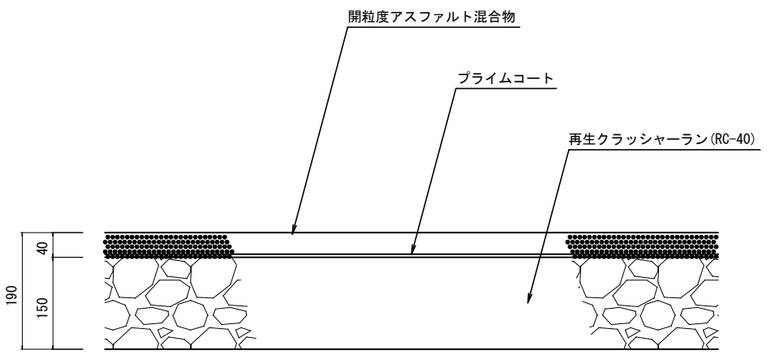


改修　断面図　S=1:20



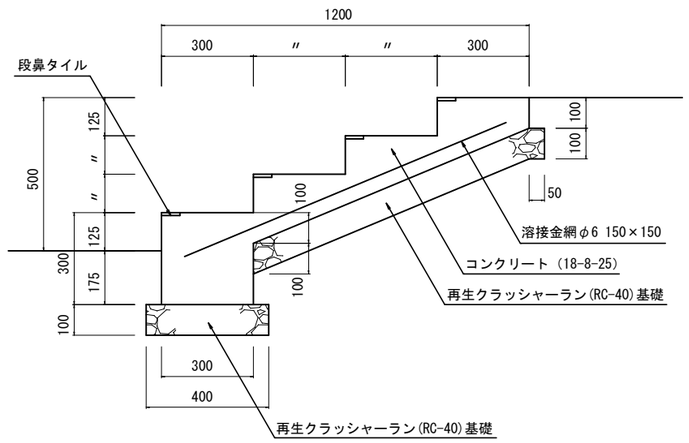
アスファルト舗装

断面図　S=1:10



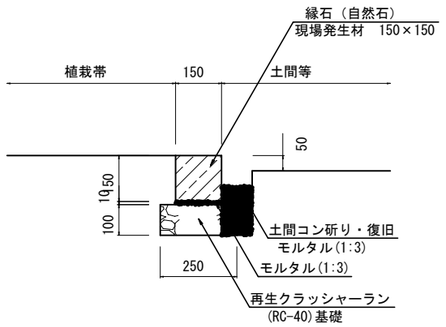
階段

断面図　S=1:20



縁石据直し

断面図　S=1:20



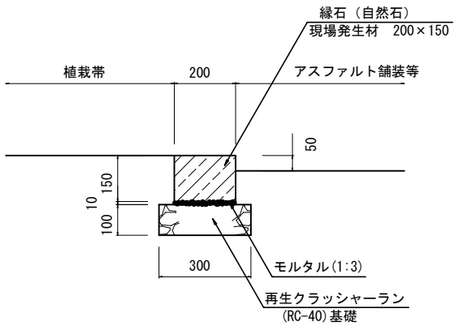
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	図示	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	詳細図　その４

特記事項

図面番号　Ｌ７

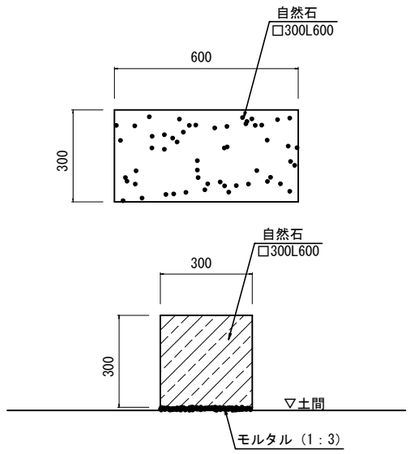
石縁止

断面図　S=1:20

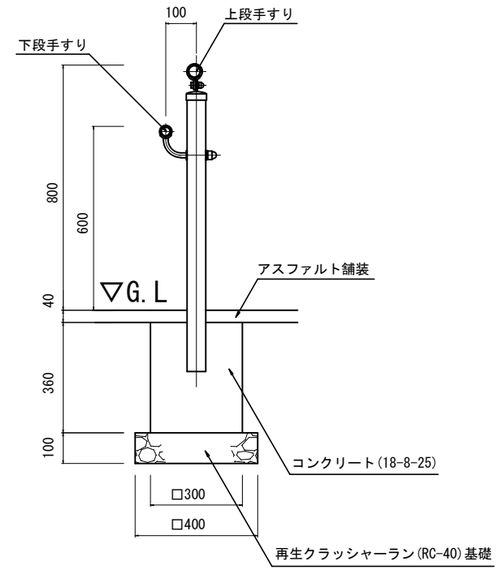


踏石

断面図　S=1:30



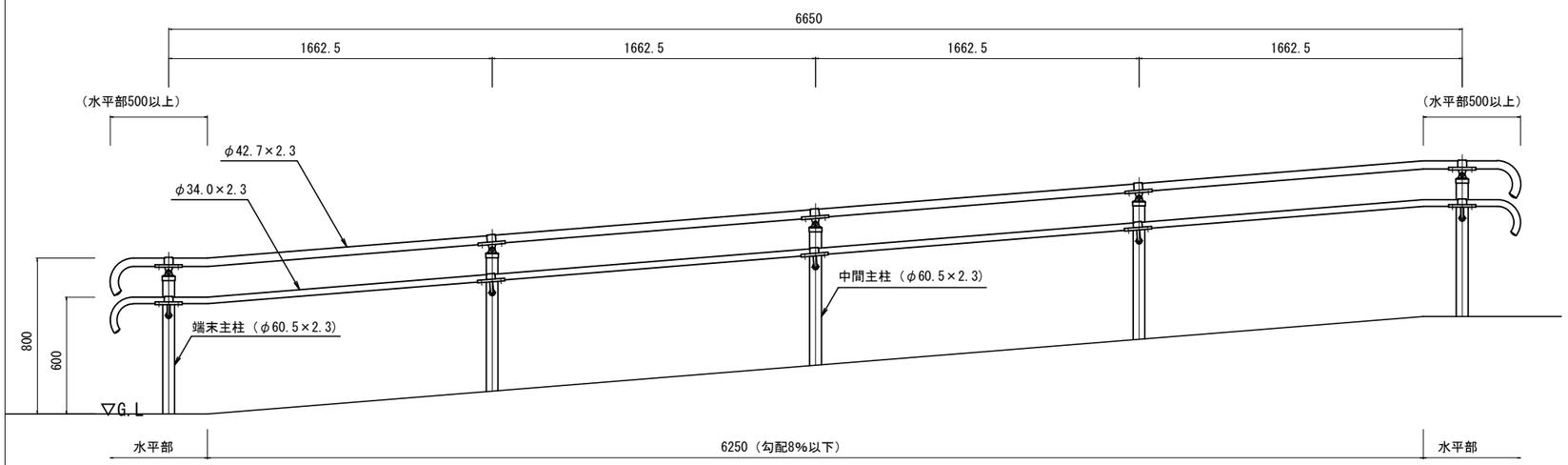
手すり　共通詳細図　S=1:20



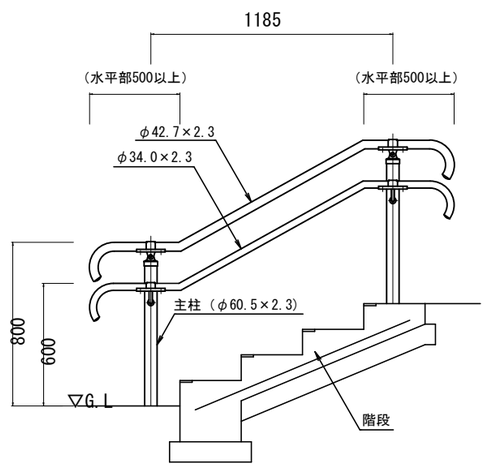
・本体はアクリル樹脂静電粉体塗装とし、色は監督員の指示による。

手すり-1、-2

手すり-1　側面図　S=1:30



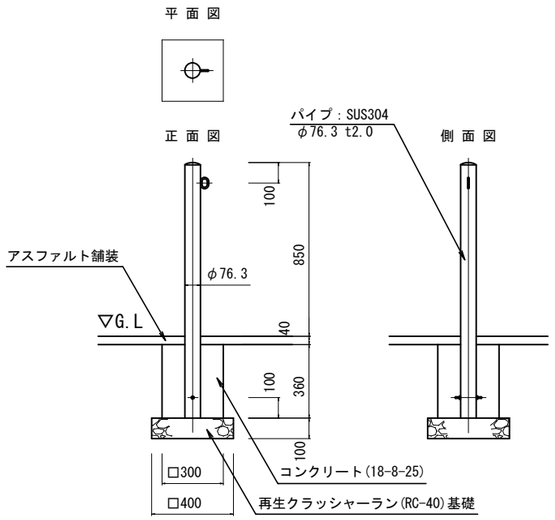
手すり-2　側面図　S=1:30



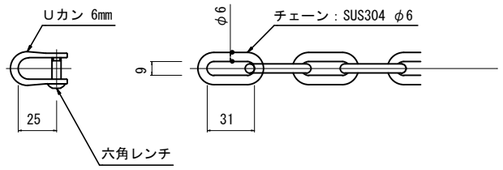
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	図示	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号
							L８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	詳細図　その５		

バリカー

バリカー詳細図　S=1:30



チェーン詳細図　S=1:2



・図は参考図とし、着工前に監督員に承認図を提出すること。　・南京錠は監督員と協議の上、仕様等を決定する。

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	図示	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	詳細図　その6		L 9

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ. 工事名称　旧小西家住宅保存修理　工事

Ⅱ. 工事概要

1. 総合発注の有無　本工事は、以下の工事を含む。（詳細は、図面参照のこと）
- ● 建築工事
- ● 電気設備工事
- ・ 機械設備工事

2. 工事場所　長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷地内

3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	防火対象物の種別	備考
旧小西家住宅	木造	2階	401.51㎡		

4. 工事種目　（○印を付けたものを適用する）

工事種目＼建物別	工事種別				
				屋外	備考
●電灯設備	改修 一式	一式	一式		
・動力設備	一式	一式	一式		
・避雷設備	一式	一式	一式		
・受変電設備	一式	一式	一式		
・静止形電源設備	一式	一式	一式		
・発電設備	一式	一式	一式		
・構内情報通信網設備	一式	一式	一式		
●構内交換設備	改修 一式	一式	一式		
●情報表示設備	改修 一式	一式	一式		
・映像・音響設備	一式	一式	一式		
・拡声設備	一式	一式	一式		
・誘導支援設備	一式	一式	一式		
・呼出し設備	一式	一式	一式		
●テレビ共同受信設備	改修 一式	一式	一式		
・防犯設備	一式	一式	一式		
・自動火災報知設備	一式	一式	一式		
・中央監視制御設備	一式	一式	一式		
・遠隔量水器設備	一式	一式	一式		
・デマンド監視・制御設備	一式	一式	一式		
・太陽光発電設備	一式	一式	一式		
・	一式	一式	一式		
・構内配電線路	一式	一式	一式	一式	
・構内通信線路	一式	一式	一式	一式	
・	一式	一式	一式		

Ⅲ. 工事仕様

1 適用仕様等

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の仕様書による。

（1）「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（2）「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（3）「公共建築工事標準仕様書（建築工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（4）「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（5）「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（6）「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（7）「公共住宅建設工事共通仕様書（令和元年版）」　国土交通省住宅局住宅総合整備課監修
年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。
ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更が生じる場合は、県担当者と協議すること。

2 補足基準等

適用仕様等、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の基準、指針、要領、標準図等による。

（1）「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修
（2）「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修
（3）「建築工事標準詳細図（建築工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
（4）「電気設備工事監理指針（令和元年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（5）「機械設備工事監理指針（令和元年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（6）「建築工事監理指針（令和元年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（7）「建築改修工事監理指針（令和元年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（8）「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」　独立行政法人　建築研究所監修
（9）「建築工事安全施工技術指針・同解説」　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
（10）「建設廃棄物処理指針」　厚生労働省生活衛生局
（11）建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」
厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課、環境省 水・大気環境局大気環境課
（12）「石綿含有廃棄物等処理マニュアル（第3版）」　環境省環境再生・資源循環局
（13）「建築工事の手引き」　福岡県建築都市部編集
年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。
ただし、改定内容で発注仕様の変更、又は工事価格の変更が生じる場合は、県担当者と協議すること。

3 特記仕様

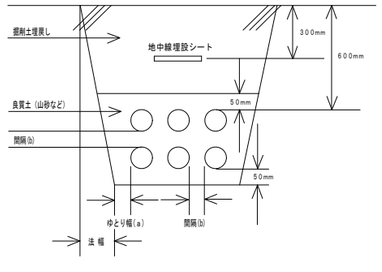
（1）該当する項目のみ適用する。
（2）特記事項のうち選択する事項は、○印のついたものを適用する。

項目	特記事項
1. 機材	この工事に使用する機材は、監督職員の承諾を受ける。 なお、材料及び製品については、地域産材の使用に努めること。 また、機材の選定に当たっては、グリーン購入法に適合したものを優先すること。
2. 電気工作物	● 一般用電気工作物　・ 事業用電気工作物
3. 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。
4. 工事に必要な資格（建設業法に関することを除く）	・ 第１種電気工事士　● 第２種電気工事士(もしくは上位資格) ・ 特種電気工事資格者(非常用予備発電装置)　・ 工事担任者 ・ 消防設備士甲種　類　・ あと施工アンカー第　種施工士(もしくは上位資格)
5. 官公庁その他への手続き	この工事に必要な官公署その他の関係機関への諸手続等は、これに必要な資機材、労務、及び費用を請負者の負担にて速やかにおこない、その検査に合格すること。
6. 監督員事務所	●設けない　・設ける（ 10㎡程度）　備品については監督員の指示による。
7. 工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力（仮設電力及び試運転調整用電力等を含む）・水及び諸手続等の費用は、すべて請負者の負担とする。
8. 総合仮設計画	・ 要する　● 要しない
9. 足場 ・ 構台	● 他工事　・ 本工事(詳細図による。)
10. 仮囲い等危険防止措置	● 他工事　・ 本工事(詳細図による。)
11. 工事表示板等	監督員の指示による。
12. 工事車両の出入り口	工事用車両の出入口では、一般通行人及び一般車両の安全確保に努めること 交通誘導員　・配置する（　　名以上）　・ 配置しない
13. 残土処分	● 構内指示の場所に散均し　・ 構内指示の場所に堆積　・ 構外搬出適切処理
14. 他工事との取合い	・ 施工区分表による　・ 図面詳細による
15. 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃並びに絶縁抵抗測定を取外し前後で行った後、取り付けること。 但し、絶縁劣化等再使用に耐えない場合は、監督職員に報告すること。
16. 耐震施工	設備機器の固定は、すべて「建築設備耐震設計・施工指針」（２０１４年版）によるものとする。 （１）設計用標準震度（Ks） 機器毎の耐震安全性の分類及び設置場所により以下表より求める。

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
地階及び１階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

（ ）書きの数値は防振支持の機器の場合に適用する。

（２）耐震安全性の分類　（・特定の施設　・一般の施設）
（３）地域係数（Z）　地域係数（Z）は、1.0とする。

17. 合成樹脂製可とう電線管	環境対応型合成樹脂製可とう管（ＰＦ管）の一重管とする。なお、打込配管として使用する場合、原則として呼び径を22までとする。 また鉄筋等への結束には樹脂被覆を施したバインド線を用いること。
18. プレートの材質	・ 金属製（防水形配線器具を除く）　● 樹脂製
19. フロアプレート	ベースは、水平高低調整付（空転防止リング付）とする。　・ 砲金製　・ アルミ製
20. ハイテンション	・ 上下動形　・ 外部固定形　・ 内部固定形
21. 露出配管等の塗装	屋内においては特記がなければ、F☆☆☆☆製品とし、屋外においても低VOC塗料の使用に努めること。
22. 呼び線	長さ　１ｍ　以上の入線しない電線管には電線太さ　１．２ｍｍ　以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。
23. 表示	スイッチ・コンセント及びプルボックスで用途の判別し難いものは、表示する。
24. 地中線埋設シート	地下埋設の線路には、標識シートを２倍長以上重ね合わせて布設するものとする。
25. 地中埋設標	電力用（矢指色：赤色）　・ 樹脂製　● コンクリート製　・ 鉄製 通信用（矢指色：黄色）　・ 樹脂製　・ コンクリート製　・ 鉄製
26. 地中埋設配管（GL－600の場合）	 根切り深さが1.5m未満の場合は直堀工法とし、1.5m以上の場合には法付工法とする。 法付工法の法幅は、根切り深さに0.3を乗じたものとする。 床堀幅は、埋設管類などの外径（底面）の寸法にゆとり幅×2を加えたものとする。 ゆとり幅（ａ）及び埋設管相互の間隔（ｂ）は、下表を参照のこと。

ゆとり幅（a）	根切り深さ1m未満	根切り深さ1.5m未満	根切り深さ1.5m以上
地中電線管類	0．2m	0．4m	0．3m
地下埋設物	0．5m	0．5m	0．5m

埋設管の呼び径	間隔（ｂ）（左右・上下）
50以下	50m
150 〃	70m
200 〃	100m

27. 接地極	強電配線・弱電配線・その他配管等について、定められた離隔を考慮すること。 多条敷設により埋設管同士を密着させる場合は、「JIS C 3653（附属書含む）」及び「電気設備に関する技術基準を定める省令」における関連事項に適合した資材の使用、及び施工を行うこと。 また、電線相互の接近により誘導障害が生じるおそれがある場合は、多条敷設は行わないこと。 接地極の材料は下表による。接地極の近くに接地極埋設標９０×１４０×１．５ｔ（黄銅製・刻印）を設置すること。なお、接地棒 EB（１４）φ の長さは１，５００mm以上とし、１０φ・１４φは、Ｗ＝４０として差し支えない。

接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極
共同	$E_{A\cdot C\cdot D}$	Ω以下	
共同	$E_{A\cdot B}$	Ω以下	
A種	E_A	１０Ω以下	
B種	E_B	Ω以下	
C種	E_C	１０Ω以下	
D種	E_D	１００Ω以下	ＥＢ（　）φ × １ (L=1,500mm)
避雷設備	E_L	１０Ω以下	
高圧避雷器	E_{LH}	１０Ω以下	
低圧避雷器	E_{LL}	１０Ω以下	
交換機用	E_t	１０Ω以下	
通信用	E_{At}	１０Ω以下	
通信用	E_{Ct}	１００Ω以下	ＥＢ（１０）φ × １ (L=1,500mm)
測定用	E_0		ＥＢ（１０）φ × １ (L=1,500mm)

28. 構内交換設備工事範囲	避雷設備の接地抵抗値は、総合抵抗とする。 本工事における構内交換設備の工事範囲は、以下のとおりとする。 ・ 構内交換装置　・ 電話機取付け　（　　台） ・ 配管配線まで本工事　・ 配管のみ本工事　・ 配線のみ本工事
29. 電話機への配線	電話機１台につき次のものを見込む。 ・ TIVF(TIVE)　0.65-2C　m　・ EM-TIEF(TIEE)　0.65-2C　m ・ EBT　0.4-2P　m　・ EM-BTIEE　0.4-2P　m ・ 2号ワイヤプロテクタ　m
30. 構内情報通信網設備工事範囲	本工事における構内情報通信網設備の工事範囲は、以下のとおりとする。 ・ 構内情報通信網装置　・ ネットワーク管理装置　・ 配管配線まで本工事 ・ 配管のみ本工事
31. LANケーブルの色	・ 幹線LAN：赤色　・認証ネットワーク：指定なし　・その他：指定なし
32. 機器と配線の接続	拡声設備において、増幅器などの入出力路と配線との接続は、コネクタなどを取付けて行うこと。
33. インターロック	自動火災報知設備において、感知器が作動した場合に受信機及び連動制御機と連動して空調機並びに送排風機を停止させる。
34. ガス漏れ警報装置受信機	・ 単独　（ ・ 自立形　・ 壁掛形 ）
35. ガス漏れ警報装置検知器	・ 液化石油ガス用　・ 都市ガス用
36. 防犯設備工事範囲	・ 配管のみ本工事　・ 機器取付調整まで本工事
37. 躯体貫通場所	躯体貫通箇所においては探査機を使用し、コンクリート内配筋を避け貫通すること。
38. 発電機回路コンセント	発電機回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。
39. マンホール ハンドホール蓋	蓋中央部に県章を刻印すること。また、用途別に「高圧」「電気」「弱電」の刻印をすること。
40. プルボックス	屋外に設置するものには、事前に水抜き穴を設けること。

41. 建築副産物の処理について	資源の有効利用・環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制・再利用・適正処理を推進する。 現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。 また、「再生資源の利用の促進に関する法律」・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。 工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。

指定副産物（原則として、再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物
がれき類 （コンクリート塊） （アスファルト コンクリート塊） 木くず 建設発生土 汚泥	廃プラスチック ガラス・陶磁器くず 廃石こうボード 金属くず 繊維くず

特別管理産業廃棄物

・廃石綿等

「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」（環境省大気保全局）に従い、収集・運搬・処分を行うこと。

・廃ＰＣＢ等

「電気事業法：電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・届出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

※ 参考受入場所は、現場説明書による。

建築副産物の処理内容

処理内容	備考
現場内における分別	
現場内分別保管場所の設置	
現場内分別保管場所までの運搬	
分別保管場所からの積込み・運搬・処分	
「建設副産物の処理計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要

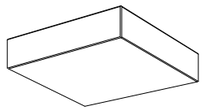
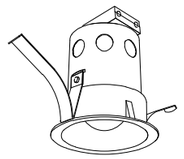
42. その他	・ 廃蛍光灯および廃水銀灯は、水銀使用製品産業廃棄物として処理すること。 ・ 停電を伴う工事は、施設管理者と事前協議を十分した上で実施すること。 ・ 施工の際は、分電盤対象回路を遮断すること。 ・ 建築足場等により、自動点滅器が影に入る場合は、必要に応じて仮設措置を行うこと。 ・ 本工事は、週休2日促進工事対象である。（詳細は現場説明書による。） ・ 入札時積算数量書活用方式対象工事である。 ・ 余裕期間制度対象工事である。 ・ 情報共有システム対象工事である。 ・ 快適トイレ対象工事である。 ※ 器機についてはすべて発注前に監督員の承諾を得ること。

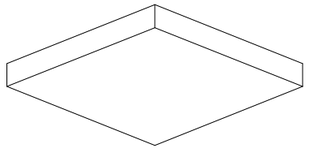
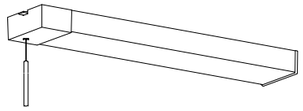
都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８	縮尺（Ａ３）		工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６．９	図面名称	特記仕様書（電気設備）

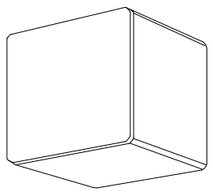
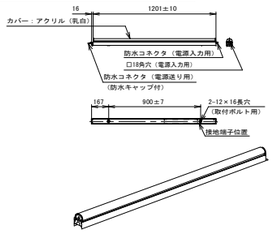
特記事項

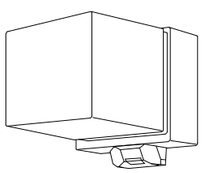
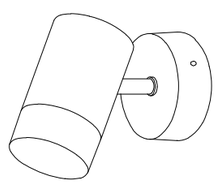
図面番号　Ｅ１

照明器具姿図

型		LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 型	
			
LEDシーリング 消費電力 41.5W 定格光束 4550lm 色温度 6500K～2700K Ra83		光束値 300lm 色温度 2700K Ra82 施工寸法 φ75 H=95mm	
C1	LED 41.5W DCL-39977E	D	LED電球4.2W DDL-3874YW

型		型	
			
DCL-40853Y			
C2		K	DCL-38488W

型		LED建築化照明 L1200タイプ 型	
			
DBK-40036Y		防雨型、電球色、２７００K、Ｒａ８３ 本体：アルミ、カバー：アクリル（乳白）	
B1		B	器具光束１１９０ｌｍ、消費電力２２．８W、電圧１００V

型		型	
			
DWP-39655Y			
B2		S	DSL-5327YW

盤名：
（ＮＰ：アクリル製）
露出形（Ｔ）一般形
メラミン焼付
Ｋ－２００

Ｌ－1

MCCB3P100AF/75AT
（ｽﾍﾟｰｽ225AF/150AT）
27400VA

ｺﾝｾﾝﾄ	800	ELCB2P50AF／20AT 100V	1		2	ELCB2P50AF／20AT 100V	1000	ｺﾝｾﾝﾄ
ｺﾝｾﾝﾄ	600	ELCB2P50AF／20AT 100V	3		4	ELCB2P50AF／20AT 100V	600	ｺﾝｾﾝﾄ
ｺﾝｾﾝﾄ	800	ELCB2P50AF／20AT 100V	5		6	ELCB2P50AF／20AT 100V	600	ｺﾝｾﾝﾄ
ｺﾝｾﾝﾄ	800	ELCB2P50AF／20AT 100V	7		8	ELCB2P50AF／20AT 100V	800	ｺﾝｾﾝﾄ
ｺﾝｾﾝﾄ	1000	ELCB2P50AF／20AT 100V	9		10	ELCB2P50AF／20AT 100V	1000	ｺﾝｾﾝﾄ
ｺﾝｾﾝﾄ	800	ELCB2P50AF／20AT 100V	11		12	ELCB2P50AF／20AT 100V	1000	ｺﾝｾﾝﾄ
ｺﾝｾﾝﾄ	800	ELCB2P50AF／20AT 100V	13		14	ELCB2P50AF／20AT 100V	600	2階ｺﾝｾﾝﾄ
2階ｺﾝｾﾝﾄ	600	ELCB2P50AF／20AT 100V	15		16	ELCB2P50AF／20AT 100V	600	2階ｺﾝｾﾝﾄ
2階ｺﾝｾﾝﾄ	600	ELCB2P50AF／20AT 100V	17		18	ELCB2P50AF／20AT 100V	600	2階ｺﾝｾﾝﾄ
1階電灯	200	ELCB2P50AF／20AT 100V	19		20	ELCB2P50AF／20AT 100V	400	1階電灯
1階電灯	200	ELCB2P50AF／20AT 100V	21		22	ELCB2P50AF／20AT 100V	400	1階電灯
1階電灯	300	ELCB2P50AF／20AT 100V	23		24	ELCB2P50AF／20AT 100V	300	2階電灯
2階電灯	300	ELCB2P50AF／20AT 100V	25		26	ELCB2P50AF／20AT 100V	700	1階ＡＣ
1階ＡＣ	700	ELCB2P50AF／20AT 100V	27		28	ELCB2P50AF／20AT 100V	700	1階ＡＣ
1階ＡＣ	700	ELCB2P50AF／20AT 100V	29		30	ELCB2P50AF／20AT 100V	700	2階ＡＣ
2階ＡＣ	700	ELCB2P50AF／20AT 100V	31		32	ELCB2P50AF／20AT 100V	700	2階ＡＣ
1階ＡＣ	2800	ELCB2P50AF／20AT 200V	33		34	ELCB2P50AF／30AT 200V	4000	エコ給湯
		ELCB2P50AF／20AT 100V	35		36	ELCB2P50AF／20AT 100V		

ｴｱｺﾝは、将来取付

鋼鈑製・ﾒﾗﾐﾝ焼付
K－200
NP：アクリル製
（ホーム分電盤タイプ）

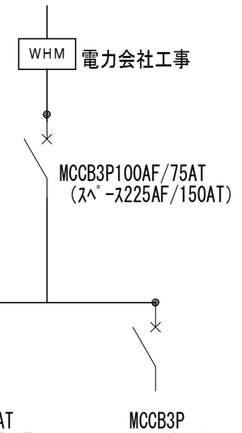
Ｌ－2

MCCB3P
50AF/30AT
4200VA

ｺﾝｾﾝﾄ	600	ELCB2P50AF／20AT 100V	1		2	ELCB2P50AF／20AT 100V	600	ｺﾝｾﾝﾄ
ｺﾝｾﾝﾄ	600	ELCB2P50AF／20AT 100V	3		4	ELCB2P50AF／20AT 100V	600	ｺﾝｾﾝﾄ
電灯	400	ELCB2P50AF／20AT 100V	5		6	ELCB2P50AF／20AT 100V	700	AC
AC	700	ELCB2P50AF／20AT 100V	7		8	ELCB2P50AF／20AT 100V		
		ELCB2P50AF／20AT 100V	9		10	ELCB2P50AF／20AT 100V		
		ELCB2P50AF／20AT 100V	11		12	ELCB2P50AF／20AT 100V		

2300　　1900

鋼鈑製・ﾒﾗﾐﾝ焼付
防水形
K－200
NP：アクリル製



引込分電盤

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092－263－7848	縮尺（A3）		工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1－12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	照明器具・分電盤リスト

特記事項

図面番号 Ｅ２

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

離れ座敷

主屋

釜屋

EM−EEF2．0−3C（1C・E）（PF16）×3

EM-CE8-4C(FEP40)埋設配管

EM-CE8-4C(PF28)床下配線

EM-CET38°（HIVE54）露出配管

EM-CET22° E8°（FEP50)床下配管

引込分電盤

土木工事

埋設ｼｰﾄ
良質土
山砂

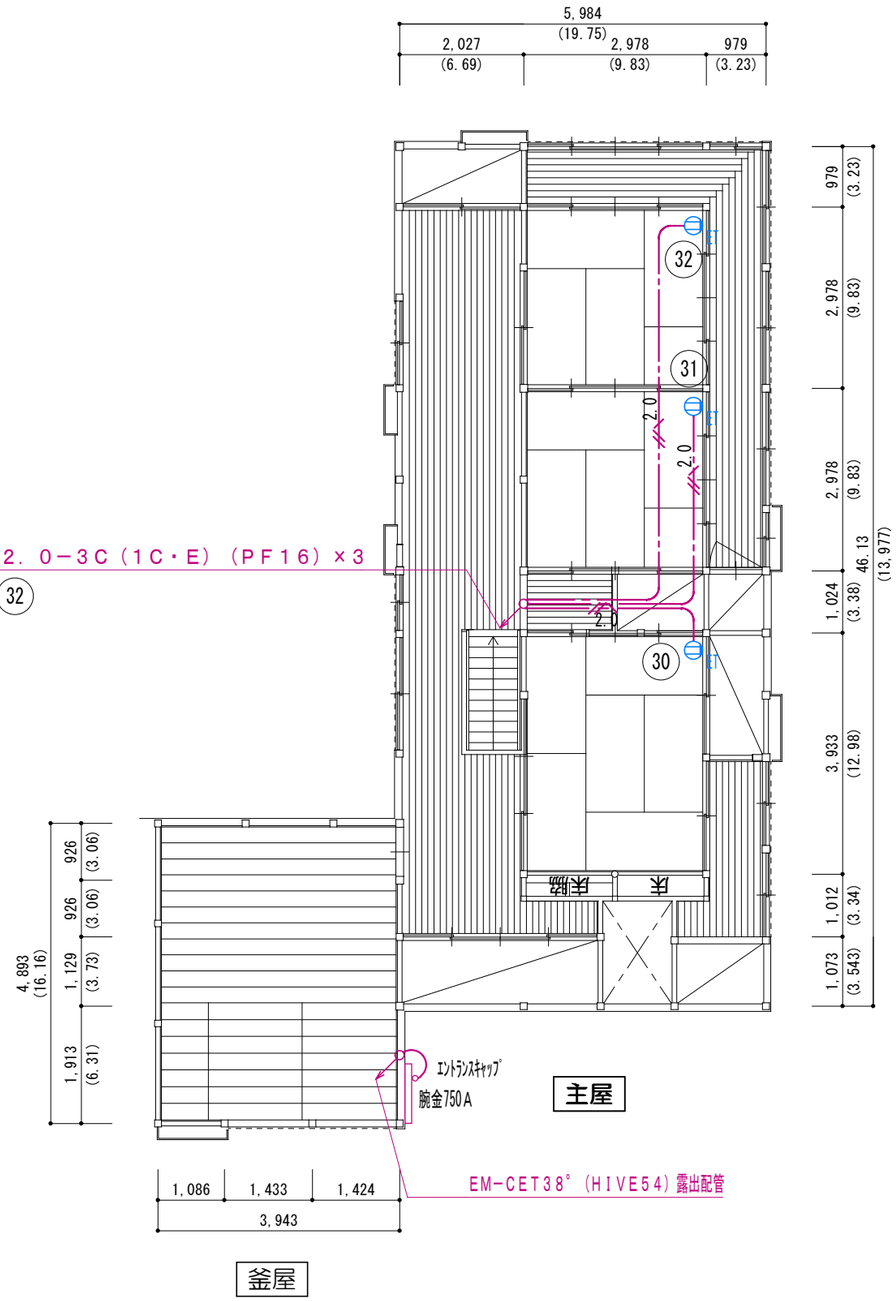
単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1−12636号	赤松 悟 一級建築士登録 第298543号	年月日	2026.9	図面名称	幹線・空調電源設備 1階平面図

特記事項

図面番号 E3-1

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度



特記なき記号は下記による。	
記　号	名　称
	分電盤
33	PB300Ｘ300Ｘ200（樹脂製）
給	給湯リモコン（機械支給） 取付：電気設備
ET	埋込コンセント２Ｐ１５Ａ接地付 （樹脂製プレート）
E	埋込コンセント２Ｐ２０Ａ接地付 （樹脂製プレート）

特記なき配線は下記による。 立上・立下配管ＰＦ管とする。	
5.5	EM−CE5．5−3C（1C・E） （コロガシ）
2.0	EM−EEF2．0−3C（1C・E） （コロガシ）
AE	EM−AE1．2−2C （コロガシ）

N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 ＴＥＬ：０９２−２６３−７８４８	縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 Ｅ３-２
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１−１２６３６号	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６.９	図面名称	幹線・空調電源設備　２階平面図		

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度



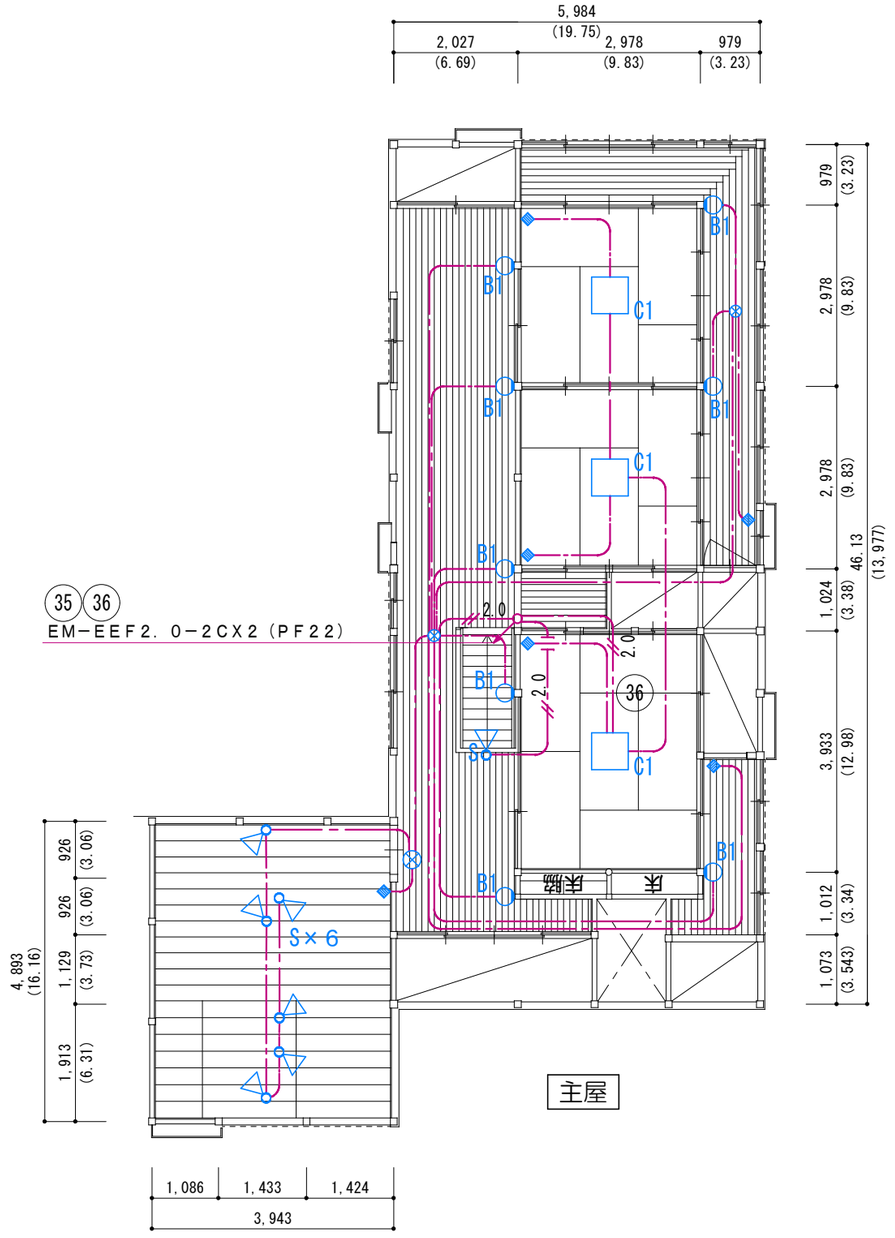
部屋名称	姿図符号
主屋	Ｂ×２
	Ｃ２×１
	Ｄ×２６
	Ｓ×１３
釜屋	Ｂ×１
	Ｂ１×３
	Ｂ２×１
	Ｃ２×１
	Ｄ×１１
	Ｋ×１
	Ｓ×１０
離れ座敷	Ｂ１×１０
	Ｃ１×２
	Ｄ×１

N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項
						図面番号 Ｅ４-１
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１−１２６３６号	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６.９	図面名称	電灯設備　１階平面図	

工事年度凡例
- ―：令和８年度
- ―：令和９年度
- ―：令和１０年度



特記なき記号は下記による。	
記　号	名　称
	分電盤
	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ1個用
2S	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ2個用
J	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ44・樹脂製
	引掛ｼｰﾘﾝｸﾞｰ丸
	ワイドハンドル形スイッチ １Ｐ１５Ａ
3	ワイドハンドル形スイッチ ３Ｗ１５Ａ
	ワイドハンドル形スイッチ １Ｐ１５ＡＸ２
3	ワイドハンドル形スイッチ ３Ｗ１５Ａ+１Ｐ１５Ａ
3 3	ワイドハンドル形スイッチ ３Ｗ１５Ａ×２
	ワイドハンドル形スイッチ １Ｐ１５Ａ×３
3	ワイドハンドル形スイッチ １Ｐ１５ＡＸ２＋３Ｗ１５Ａ
	ワイドハンドル形スイッチ １Ｐ１５ＡＸ５

部屋名称	姿図符号
主屋	Ｂ１×８
	Ｃ１×３
	Ｓ×１
釜屋	Ｓ×６

特記なき配線は下記による。 立上・立下配管ＰＦ管とする。	
2.0	ＥＭ−ＥＥＦ２．０−２Ｃ （コロガシ）
	ＥＭ−ＥＥＦ１．６−３Ｃ×２ （コロガシ）
	ＥＭ−ＥＥＦ１．６−３Ｃ+２Ｃ （コロガシ）
	ＥＭ−ＥＥＦ１．６−３Ｃ （コロガシ）
	ＥＭ−ＥＥＦ１．６−２Ｃ （コロガシ）
2.0	ＥＭ−ＥＥＦ２．０−２Ｃ （露出配線）
	ＥＭ−ＥＥＦ１．６−３Ｃ×２ （露出配線）
	ＥＭ−ＥＥＦ１．６−３Ｃ+２Ｃ （露出配線）
	ＥＭ−ＥＥＦ１．６−２Ｃ （露出配線）

露出配線は、極力見えないように配線を行う事
見える部分のケーブルは、黒色使用
美観に注意し、ステップルで固定する事

N

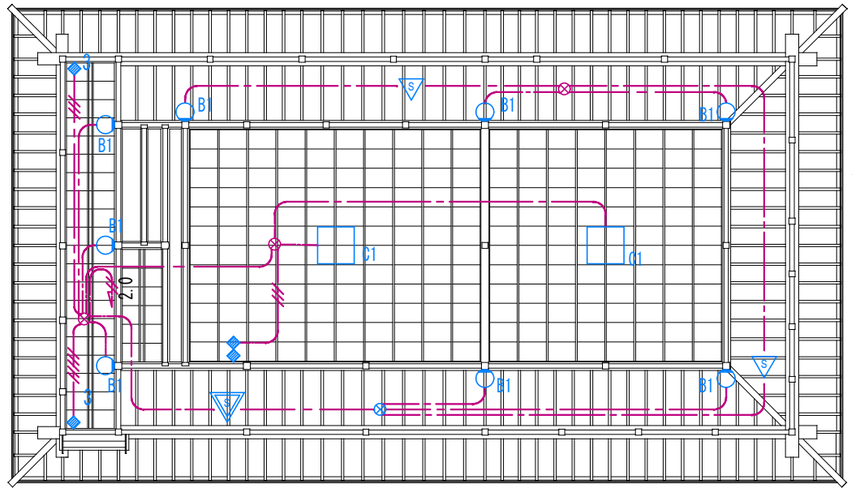
単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２−２６３−７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１−１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 Ｅ４-２
年月日	２０２６．９	図面名称	電灯設備　１階平面図		

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

部屋名称	姿図符号
主屋	Ｂ×２
	Ｃ２×１
	Ｄ×２６
	Ｓ×１３
釜屋	Ｂ×１
	Ｂ１×３
	Ｂ２×１
	Ｃ２×１
	Ｄ×１１
	Ｋ×１
	Ｓ×１０
離れ座敷	Ｂ１×１０
	Ｃ１×２
	Ｄ×１



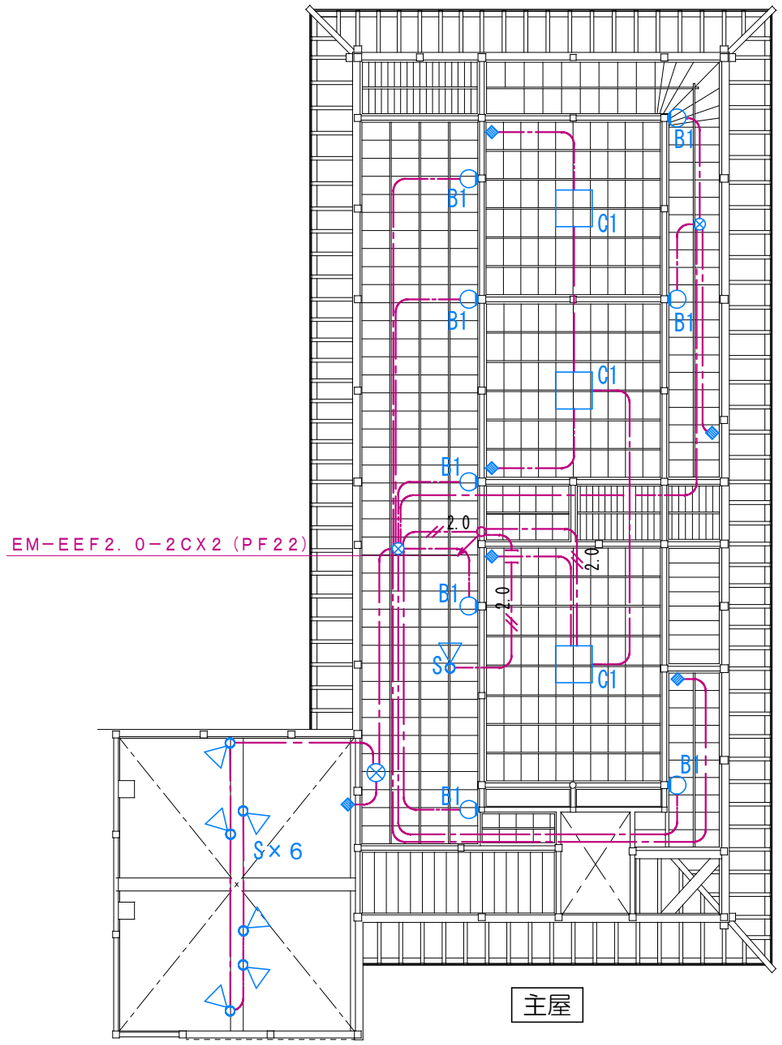
離れ座敷

N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所 福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１−１２６３６号　赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６．９	図面名称	電灯設備　１階天井見上図	図面番号 Ｅ４-３

工事年度凡例
- ―：令和８年度
- ―：令和９年度
- ―：令和１０年度



特記なき記号は下記による。	
記　号	名　称
	分電盤
	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ1個用
2S	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ2個用
J	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ44・樹脂製
	引掛ｼｰﾘﾝｸﾞｰ丸
	ワイドハンドル形スイッチ １Ｐ１５Ａ
3	ワイドハンドル形スイッチ ３Ｗ１５Ａ
	ワイドハンドル形スイッチ １Ｐ１５ＡＸ２
3	ワイドハンドル形スイッチ ３Ｗ１５Ａ+１Ｐ１５Ａ
3 3	ワイドハンドル形スイッチ ３Ｗ１５Ａ×２
	ワイドハンドル形スイッチ １Ｐ１５Ａ×３
3	ワイドハンドル形スイッチ １Ｐ１５ＡＸ２＋３Ｗ１５Ａ
	ワイドハンドル形スイッチ １Ｐ１５ＡＸ５

部屋名称	姿図符号
主屋	Ｂ１×８
	Ｃ１×３
	Ｓ×１
釜屋	Ｓ×６

特記なき配線は下記による。 立上・立下配管ＰＦ管とする。	
2.0	ＥＭ−ＥＥＦ２．０−２Ｃ （コロガシ）
	ＥＭ−ＥＥＦ１．６−３Ｃ×２ （コロガシ）
	ＥＭ−ＥＥＦ１．６−３Ｃ+２Ｃ （コロガシ）
	ＥＭ−ＥＥＦ１．６−３Ｃ （コロガシ）
	ＥＭ−ＥＥＦ１．６−２Ｃ （コロガシ）
2.0	ＥＭ−ＥＥＦ２．０−２Ｃ （露出配線）
	ＥＭ−ＥＥＦ１．６−３Ｃ×２ （露出配線）
	ＥＭ−ＥＥＦ１．６−３Ｃ+２Ｃ （露出配線）
	ＥＭ−ＥＥＦ１．６−２Ｃ （露出配線）

露出配線は、極力見えないように配線を行う事
見える部分のケーブルは、黒色使用
美観に注意し、ステップルで固定する事

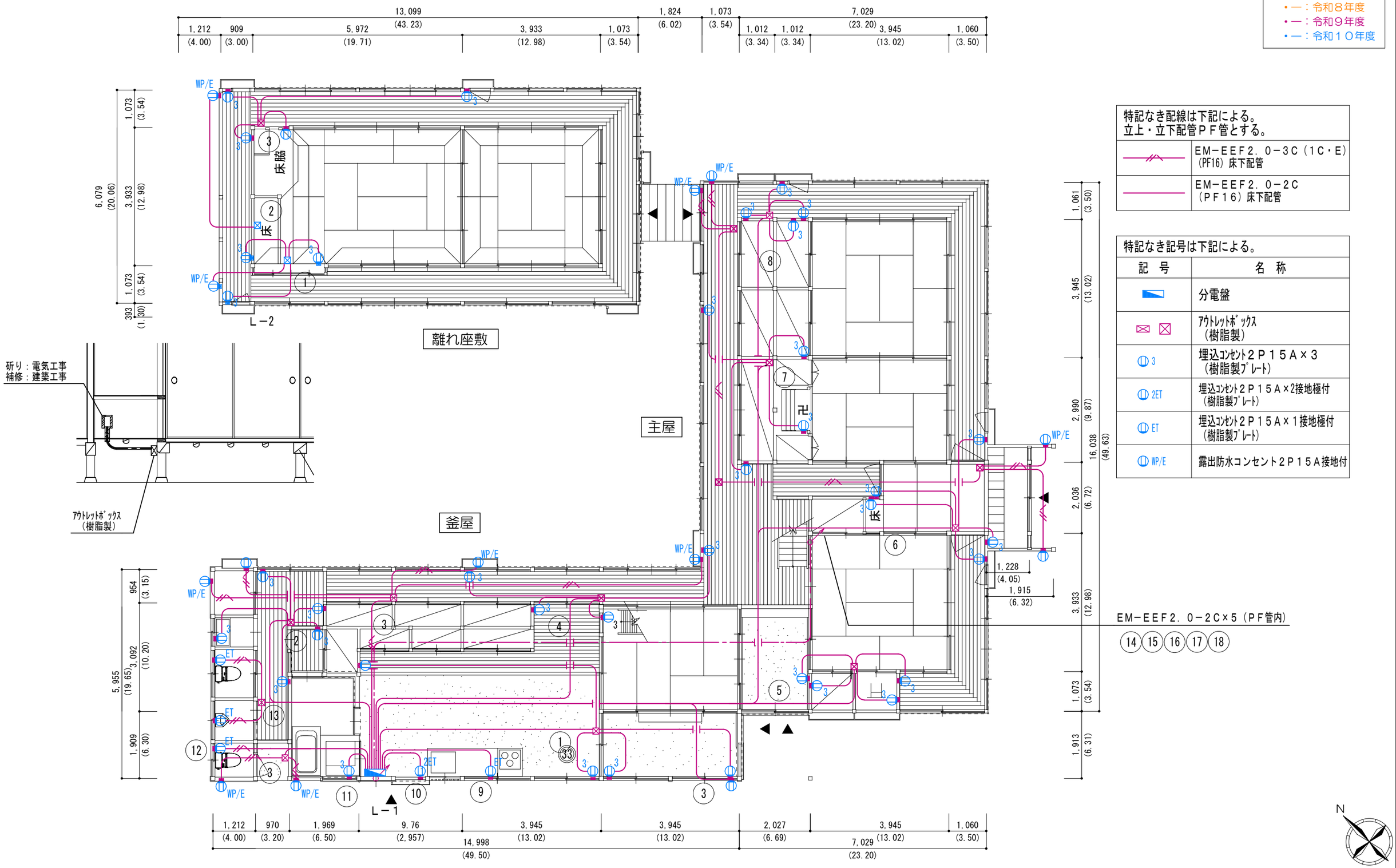
N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２−２６３−７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１−１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（Ａ３）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 Ｅ４-４
年月日	２０２６.９	図面名称	電灯設備　２階天井見上図		

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度



特記なき配線は下記による。
立上・立下配管ＰＦ管とする。

	EM－EEF2．0－3C（1C・E）（PF16）床下配管
	EM－EEF2．0－2C（ＰＦ16）床下配管

特記なき記号は下記による。

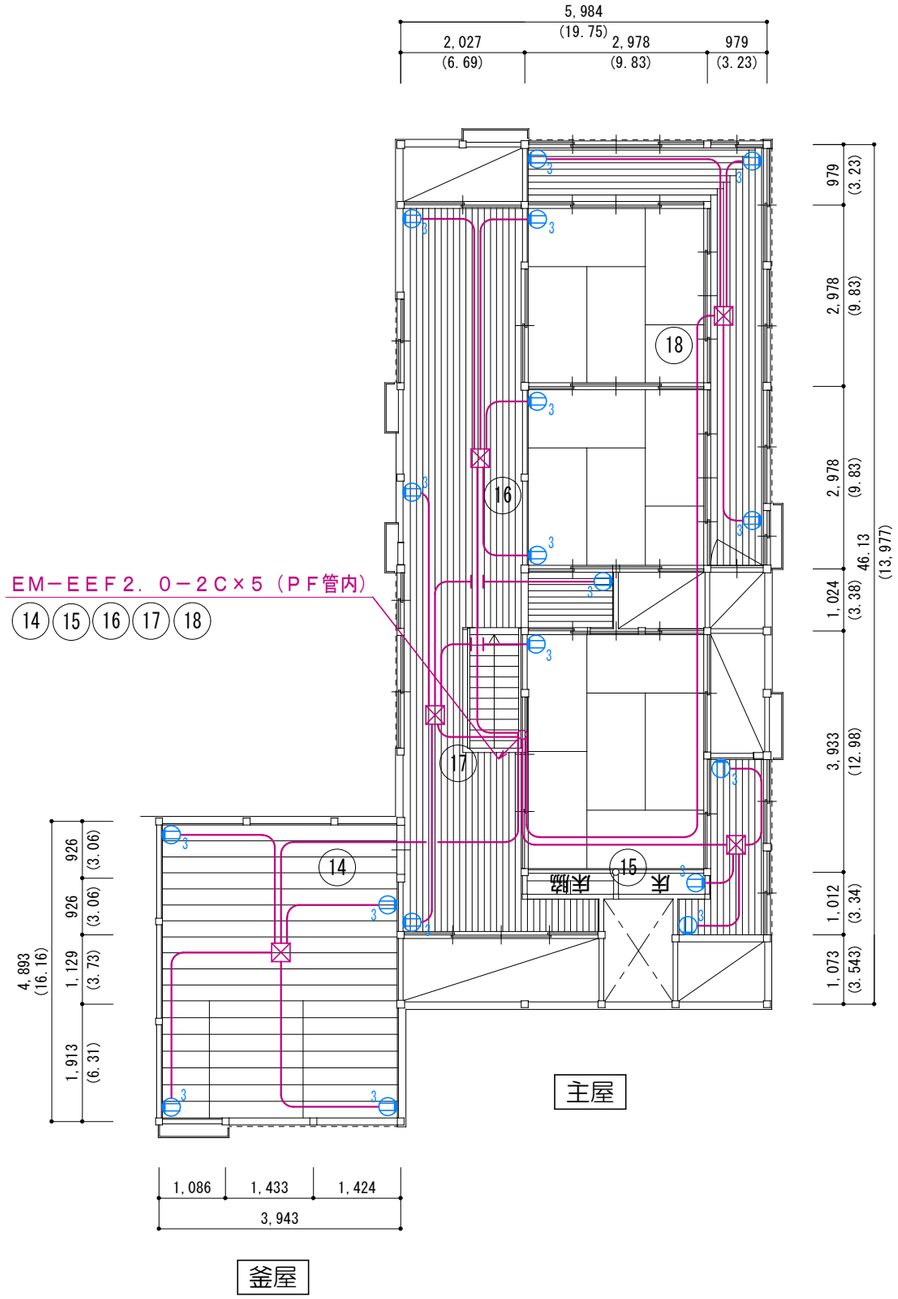
記　号	名　称
	分電盤
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ（樹脂製）
3	埋込ｺﾝｾﾝﾄ２Ｐ１５Ａ×３（樹脂製ﾌﾟﾚｰﾄ）
2ET	埋込ｺﾝｾﾝﾄ２Ｐ１５Ａ×2接地極付（樹脂製ﾌﾟﾚｰﾄ）
ET	埋込ｺﾝｾﾝﾄ２Ｐ１５Ａ×１接地極付（樹脂製ﾌﾟﾚｰﾄ）
WP/E	露出防水コンセント２Ｐ１５Ａ接地付

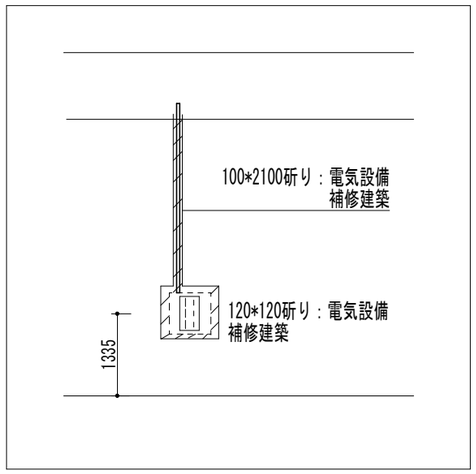
N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092－263－7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号 E5-1
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1－12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	コンセント設備　１階平面図		

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度





N

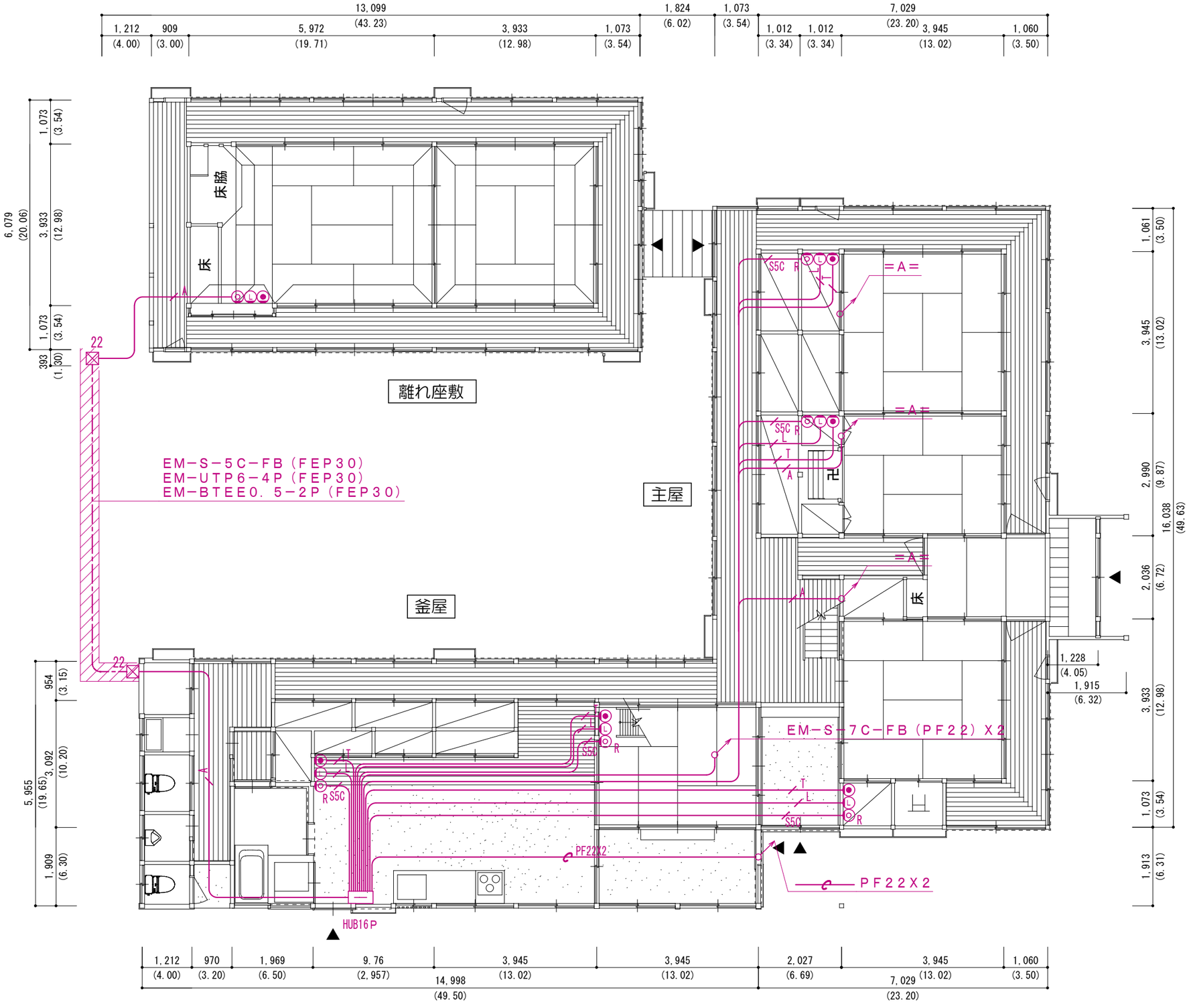
単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	コンセント設備　２階平面図

特記事項

図面番号 E5-2

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度



特記なき記号は下記による。

記　号	名　称
—	端子盤
◉	電話モジュラ６極４心（樹脂製プレート）
(L)	LAN用ｱｳﾄﾚｯﾄ-壁付
◎R	直列ﾕﾆｯﾄ-壁付

特記なき配線は下記による。
立上・立下配管ＰＦ管とする。

T	EM−BTEE0．5−2P（コロガシ）
L	EM−UTP6−4P（コロガシ）
S5C	EM−S−5C−FB（コロガシ）
A	EM−BTEE0．5−2P（コロガシ） EM−UTP6−4P（コロガシ） EM−S−5C−FB（コロガシ）

N

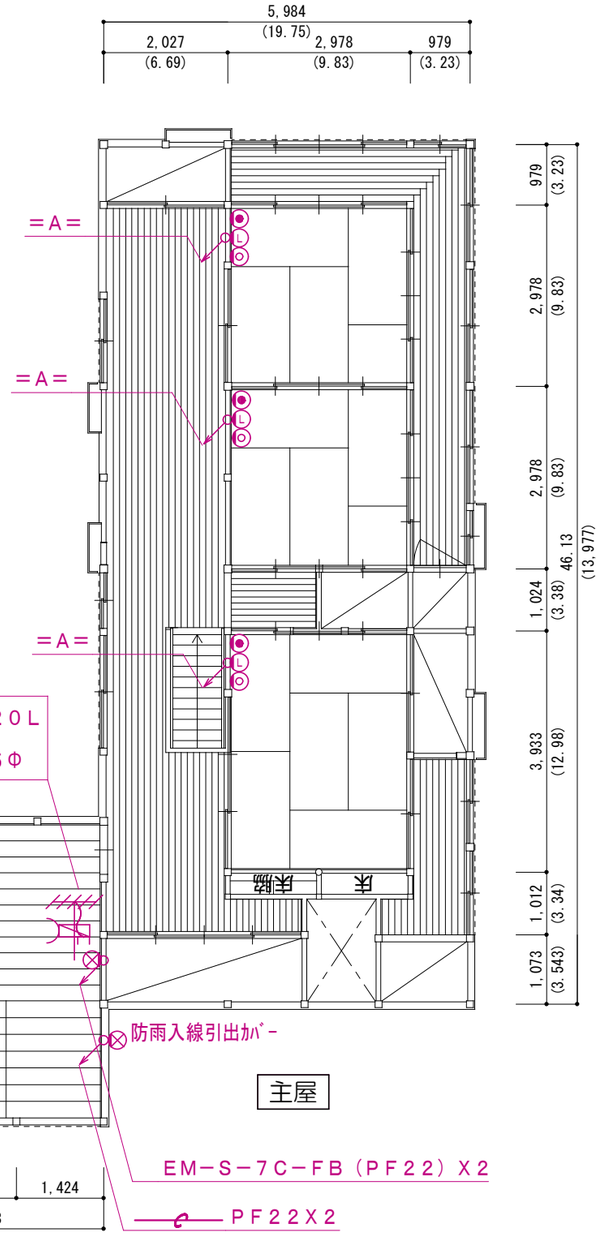
単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	弱電設備設備　１階平面図

特記事項

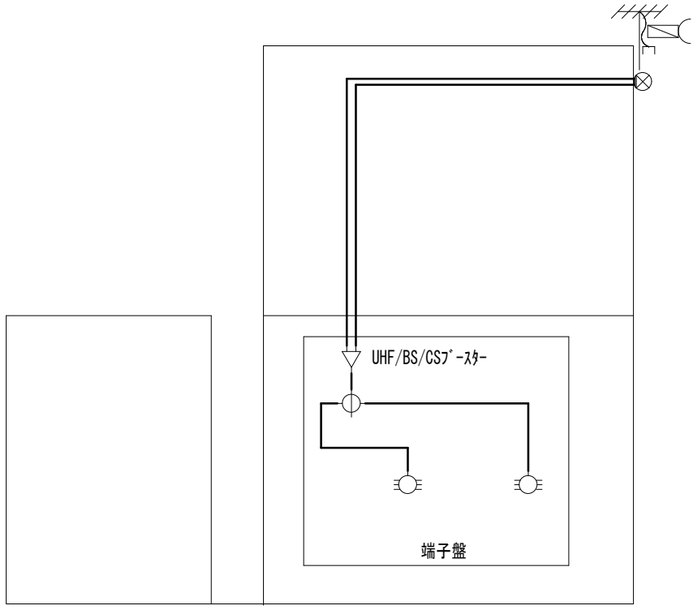
図面番号 E6-1

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度



主屋

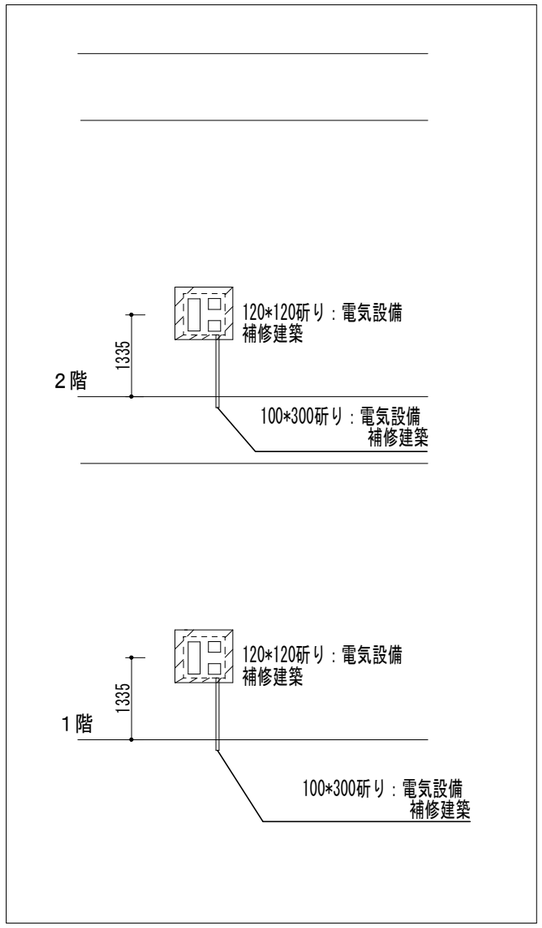
釜屋



離れ座敷

主屋 釜屋

端子盤
（メラニン焼付・鋼鈑製）
・ﾃﾚﾋﾞ収納
・電話20P



N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1−12636号	赤松 悟 一級建築士登録 第298543号	年月日	2026.9	図面名称	弱電設備 ２階平面図

特記事項

図面番号 E6-2

機械設備特記仕様書

Ⅰ．工 事 名 称　　旧小西家住宅保存修理　　工事

Ⅱ．工 事 概 要

1．工 事 場 所　　長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷地内

2．建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	延面積(㎡)	防火対象物の 種 別	昇降・浄化槽人槽 受水槽有効容量等
旧小西家住宅	木造	２階	401.51㎡		—
					—
					—
					—

3．工 事 種 目　（○印を付けたものを適用する）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別				屋外
⊙衛 生 器 具 設 備	改修 一式	一式	一式	一式	一式
⊙給 水 設 備	改修 一式	一式	一式	一式	一式
⊙排 水 設 備	改修 一式	一式	一式	一式	一式
・給 湯 設 備	改修 一式	一式	一式	一式	
・消 火 設 備		一式	一式	一式	一式
・ガ ス 設 備		一式	一式	一式	一式
⊙換 気 設 備	改修 一式	一式	一式	一式	
・空 気 調 和 設 備		一式	一式	一式	
・排 煙 設 備		一式	一式	一式	一式
・中 水 設 備		一式	一式	一式	一式
・浄 化 槽 設 備					一式
・さ く 井 設 備					一式
・電 気 設 備 工 事 ※		一式			一式
・建 築 工 事 ※		一式			一式

※ 各工事の特記仕様書を確認のこと

4 本 工 事 設 備 概 要　（本工事該当箇所に・印を付ける）

給排水衛生設備	給水方式	上水水源（・市水 ・井水） 法的区分（・小規模貯水 ・簡易 ・専用水道）
		給水方式（・水道直結方式（・直圧 ・増圧） ・高架水槽方式 ・ポンプ直送方式）
		中水水源（・雑用水処理水 ・雨水 ・井水 ）
		中水給水方式 （・水道直結方式 ・高架水槽方式 ・ポンプ直送方式 ）
	排水方式	・建物内汚水と雑排水（ ・分流 ・合流）
		・重力式 ・ポンプアップ式 ・敷地外放流方式
		・直放流（ ・合流式 ・分流式）・非直放流（ ・浄化槽 ・中水処理槽）
	浄化槽の形式	・ユニット型 ・現場施工型 ・放流水質BOD mg/L
		・合併処理
	給湯設備	・局所式 ・中央式
	消火設備の種別	・屋内消火栓（・1号・2号・易操作性1号） ・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ ・連結散水 ・連結送水
		・屋外消火 ・水噴霧消火 ・泡消火 ・不活性ｶﾞｽ ・ﾊﾛﾝ化物消火 ・粉末消火
	ガスの種別	・都市ガス ・液化石油ガス ・簡易ガス
空気調和設備	空調方式	・ダクト方式 ・ファンコイルユニット ・ダクト併用方式
		・パッケージ方式（ ・中央式 ・各階式 ・個別式）
		・直接暖房（ ・蒸気 ・温水）
		・温風暖房 ・暖房専用 ・将来冷房可能
		・温風暖房機 ・空気調和機
	主要熱源機器	・温水 ・蒸気
		・鋳鉄製ボイラ ・鋼製ボイラ（ ・立てボイラ ・炉筒煙管式ボイラ）
		・温風暖房機 ・ヒートポンプチラー（ ・水冷 ・空冷）
		・往復動冷凍機 ・遠心冷凍機 ・吸収冷凍機 ・直だき吸収冷温水機
	全熱交換器	・回転形 ・静止形 ・全熱交換ユニット
	換気設備	・機械換気（ ・有 ・無）
	排煙設備	・機械排煙（ ・有 ・無）・法規（ ・建基法 ・消防法）

5．法令による区画（本工事該当箇所に・印を付ける ※有の場合は、図示等による）

建築基準法	防火区画	112条区画（・有 ・無）
		114条区画（・有 ・無）
	延焼のおそれがある部分（・有 ○無）	
	排煙区画（・有 ・無）	
消防法	令8区画（・有 ・無）	
	共住区画（・有 ・無）	
その他の区画		

6．その他　（本工事該当箇所に・印を付ける）

・週休２日促進工事　・入札時積算数量書活用方式対象工事　・快適トイレ設置対象

・情報共有システム活用　・余裕期間制度対象

※工事内容、留意事項等を必ず記載のこと。

工事内容：改修工事に伴う、給排水衛生設備及び換気設備を施工する。

留意事項：換気ﾀﾞｸﾄ配管はロックウール断熱(50mm)の上ｶﾗｰ鉄板巻とする。

Ⅲ．工 事 仕 様

1．適用仕様等

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の仕様書による。

（1）「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（2）「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（3）「建築工事標準仕様書（建築工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（4）「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（5）「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（6）「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（7）「公共住宅建設工事共通仕様書（令和元年度版）」　国土交通省住宅局住宅総合整備課監修

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。
ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更が生じる場合は、県担当者と協議すること。

2．補足基準等

適用仕様等、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の基準、指針、要領、標準図等による。

（1）「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修
（2）「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修
（3）「建築工事標準詳細図（建築工事編　令和4年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
（4）「機械設備工事監理指針（令和元年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（5）「電気設備工事監理指針（令和元年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（6）「建築工事監理指針（令和元年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（7）「建築改修工事監理指針（令和元年版）」　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（8）「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」　独立行政法人　建築研究所監修
（9）「建築工事安全施工技術指針・同解説」　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
（10）「建設廃棄物処理指針」　厚生労働省生活衛生局
（11）「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」
（厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課、環境省 水・大気環境局大気環境課）
（12）「石綿含有建築物等処理マニュアル（第3版）」（環境省環境再生・資源循環局）
（13）「建築工事の手引き」　福岡県建築都市部編集

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。
ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更が生じる場合は、県担当者と協議すること。

3．現場に常備する図書等

1．適用仕様等 及び2．補足基準 のうち、当該工事に係る図書等については現場事務所に常備し、監督職員の承諾を得ること。

4．特 記 仕 様

（1）章および項目は番号に ・印のついたものを適用する。
（2）特記事項のうち選択する事項は、原則として※印を選択するが、それ以外を適用する場合は　・印をつけて選択する。
（3）図面に明記なくも関係法規上・機能上・意匠上当然と認められるものは、本工事にて施工すること。

章	項 目	特 記 事 項
1 一般事項	1．発生材の処理	※18建設副産物の処理については項を適用すること。 ※フロンの処理は、19フロン処理については項を適用のこと。
	2．残土処分	※構外搬出　・構内敷き均し
	3．官公署その他への手続き	この工事に必要な官公署その他の関係機関への諸手続等は、これに必要な資機材、労務、及び費用を請負者の負担にて速やかにおこない、その検査に合格すること。
	4．機能試験	工事の内容に応じて、機能試験を行うこと。
	5．他工事との取合い	※施工区分表による　・図面詳細による
	6．技能士の適用	住宅において20戸以上、住宅以外の建物については1,500㎡以上の工事に適用する。 ・配管（建築配管作業）　・建築板金（ダクト板金作業）　・断熱被覆工（保温保冷工事作業） ・冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工作業）
	7．あと施工アンカー	あと施工アンカーの施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の有資格者にて行うこと。
2 仮設工事	1．監督員事務所	・設けない　・設ける（ 10 ㎡程度）　備品については監督員の指示による。
	2．工事用電力・水・その他	この工事に必要な工事用電力（仮設及び試運転調整用電力を含む）、水（機能検査、消火用水及びプールの水張りを含む）及び諸手続などの費用は、すべて請負者の負担とする。
	3．総合仮設計画書	・要する　・要しない
	4．足場・構台	・他工事　・本工事（詳細図による。）
	5．仮囲い等危険防止措置	・他工事　・本工事（詳細図による。）
	6．工事表示板等	監督員の指示による。
	7．工事車両の出入り口	工事用車両の出入口では、一般通行人及び一般車両の安全確保に努めること。 交通誘導員　・配置する（　　名以上）　・配置しない
3 共通事項	①機材	この工事に使用する機材は、監督職員（係員）の承諾を受けること。
	②容量等の表示	なお、材料及び製品については、地域産材の使用に努めること。 イ）機器類の能力、容量等（電動機出力は除く）は、原則として、表示された数値以上とする。 ロ）電動機出力は、原則として、表示された出力以下の容量とする。 ハ）電動機の周波数は、60Hzとする。
	3．耐震施工	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」による。 （1）設計用標準震度（Ks） 機器毎の耐震安全性の分類及び設置場所により以下表よりまめる

設置場所	耐震安全性の分類							
	・特定の施設				・一般の施設			
	重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽	重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	2.0	1.5 (2.0)	1.5	1.5 (2.0)	1.5	1.0 (1.5)	1.0
中間階	1.5 (1.5)	1.5	1.0 (1.5)	1.0	1.0 (1.5)	1.0	0.6 (1.0)	0.6
地階及び1階	1.0 (1.0)	1.5	0.6 (1.0)	1.0	0.6 (1.0)	1.0	0.4 (0.6)	0.6

（ ）書きの数値は防振機器

＊耐震安全性の分類　（・特定の施設 ○一般の施設）
＊次に示す機器を、重要機器、重要水槽とし、それ以外の機器を一般機器、一般水槽とする。
・
＊上層階の定義は、次のとおりとする。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階
（2）地域係数（Z）
地域係数（Z）は、1.0とする。

	4．防火区画等を貫通する配管	給水管その他の管が、建築基準法施行令第112条第15項の準耐火構造の防火区画等を貫通する場合の措置は、図1による。
	5．給水管等の材質	飲料用の給水・給湯管、継手、弁類、水栓等については、鉛に関する溶出性試験基準を満足すること。
	6．ライニング鋼管の継手	呼び径100以下はねじ接合、125以上はフランジ接合とする。
	7．吊り及び支持等	図2による。
	8．埋設標識テープ	※鋼材・ボルトナットを屋外又は多湿箇所に使用する場合は、溶融亜鉛メッキ（2種35）又は、ステンレス鋼製（SUS304）とする。 埋設深さは150mm、テープ幅は150mm以上（図3）とし、色については次による。 上水（青）　ガス（緑）　消火管（赤）　中水（黄色）　油（茶） その他については、監督職員（係員）の指示による。
	9．地中埋設標	※標準仕様書による。　・図示による。
	10．地中埋設及びコンクリート内の防食	コンクリート内の防食は、防食用ビニルテープ巻（1/2重ね1回巻）とする。 地中埋設は、ペトロラタム系ペーストを塗布のうえ、ペトロラタム系防食テープ1/2重ね1回巻きを行う。さらにプラスチックテープ1/2重ね1回巻きを行う。継手は凹部分にペトロラタム系マスチックを詰め、表面を平滑にしたうえで防食シートで包み、プラスチックテープを1/2重ね1回巻きとする。
	11．コンクリート強度	イ）無筋コンクリートの配合は、1：2：4とする。 ロ）鉄筋コンクリートの設計強度は、18N/㎟とする。
	12．はつり	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の孔開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。事前に探査機等を使用し、コンクリート内の配筋・配線等を避けること。
	13．電気工事	※電気工事士法に定める「電気工事」「軽微な工事」を自ら行うものは、電気工事業の登録または届出及び電気工事士資格を要し、「軽微な作業」を自ら行うものは電気工事業の登録または届出を要する。 ※特記なき電線管は、薄鋼電線管又は同一外径のねじなし電線管とする。 ※可とう電線管は、2種金属可とう電線管とする。 ※特記なき電線は、600Vビニル絶縁電線とする。
	14．鍵類	この工事で設置する鍵箱の仕様については、監督職員（係員）の承諾を受けること。
	15．矢板	掘削深さ（1,500 mm以上）の掘削には矢板を使用すること。
4 衛生器具設備	1．大便器	・和風大便器（※節水型　・一般型）　※耐火カバー（防火区画貫通部） ・洋風大便器（※節水型　・一般型　・高座面形）
	2．大便器洗浄方式	・フラッシュタンク式　・節水型ＦＶ（パキュームブレーカ付）　・タンク式
	3．小便器	・床置型　・壁掛型
	4．小便器洗浄方式	※専用洗浄弁式　・洗浄弁式
	5．洗面化粧台	※洗面化粧台キャビネット部材は、ホルムアルデヒト放散量が日本農林規格（JAS）で定めるF☆☆☆基準のものとする。
	6．水栓	※節水コマ付　・普通コマ付
	7．鏡	・普通　・盗難防止形　・耐食　・盗難防止形耐食　・身体障害者対応
	8．水栓柱	70゜口×1300（※合成樹脂製　・人研製　・SUS製）
	9．器具配置	トイレブース内の紙巻器、リモコン類等については JIS S0026に則った配置とすること。

5 給水設備	1．量水器	※計量法　検定合格品とする。 ・親メーター（※貸与品　・買取り）（・直接式　・遠隔式） ・子メーター（・貸与品　※買取り）（・直接式　・遠隔式）
	2．量水器桝	・水道事業者指定品（・貸与品　※買取り）　・国土交通省型　・その他
	3．弁類	・水道直結部分　JIS（※10K　・　　）
		・その他の部分　JIS（・5K　・10K）
		・塩ビライニング鋼管及びポリ粉体鋼管の配管に取り付ける鋳鉄製の弁はライニング弁とし、青銅製弁は管端防食継手の規定に準じた管端コアを備えたものとする。
		・鋳鉄製ストレーナーはライニングを施したものとする。
	4．弁栓	・国土交通省型　図4による。
	5．配管材料	一般配管　・塩ビライニング鋼管（SGP−VA）　・保温付ステンレス鋼管 ○1 ライニング鋼管（SGP−VB） ○2 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP）・鋳鉄管（　型　種） ・ステンレス鋼管（SUS）（・圧縮接合　・溶接接合　・拡管接合） ・架橋ポリエチレン管またはポリブデン管（さや管工法）・金属強化ポリエチレン管
		ピット内配管　・塩ビライニング鋼管（SGP−VD）　・ポリ粉体鋼管（SGP−PD）
		厨房、浴室等のシンダー内配管　・塩ビライニング鋼管（SGP−VD）
		屋内地中配管　・塩ビライニング鋼管（SGP−VD）　・ポリ粉体鋼管（SGP−PD） ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP）
		屋外地中配管　・塩ビライニング鋼管（SGP−VD）　・ポリ粉体鋼管（SGP−PD） ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP）・水道用硬質塩化ビニル管（VP） ・ポリエチレン管　1種（PE）（・溶着接合　・金属継手接合）
	6．引込納付金等	※別途
	7．ボンプ基礎	・標準基礎　・防振基礎
	8．他の設備項目の適用	下記のものは、空気調和設備の当該項目を適用する。 イ）防振継手　ロ）ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ ハ）防振吊り金物及び支持金物（ただし揚水管のみ）
	9．建物導入部配管	※標準図（・(a)　・(b)　※(c) スリークッション）による。
	10．管の埋設深さ	・一般敷地（・300 mm　・　mm）　・構内車両通路（・600 mm　・　mm）
	11．器具接続用管端防食管継手	※用いる（図5による。）　塩ビライニング鋼管と給水栓・銅合金製配管附属品等との接続
6 排水設備	1．配管材料	・汚水管　・硬質塩化ビニル管(VP)　・耐火二層管 ・排水用塩ビライニング鋼管　・耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（FS−VP） ・硬質塩化ビリサイクル管(RF−VP)：ピット内
		・雑排水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・硬質塩化ビニル管（VP）　・カラーVP　・耐火二層管 ・排水用塩ビライニング鋼管　・耐熱硬質塩化ビニル管　・耐火硬質塩化ビ管（FS−VP） ・硬質塩化ビリサイクル管(RF−VP)：ピット内
		・屋外排水管・硬質塩化ビニル管（・VP　・VU）※呼び径125以上は原則としてVUとする。
		・小口径桝立ち管・リサイクル硬質塩化ビニ層管（・※RS−VU）
		・通気管・配管用炭素鋼鋼管（白）・硬質塩化ビニル管（VP）・カラーVP　・耐火二層管 ・硬質塩化ビリサイクル管(RF−VP)：ピット内
	2．管接合	・鋼管（・ねじ込み式　・MD継手　・　　） ・排水用塩ビライニング鋼管（・MD継手　・　　）
	3．可燃材の区画処理	図1による。
	4．弁類	特記以外JIS 5K とする。
	5．床上掃除口直下の曲管	排水鋳鉄管系統の床上掃除口直下に取付ける管は45° 2個曲りとする。
	6．コンクリート桝ふた	図面詳細による。
	7．小口径桝ふた	図面詳細による他、下記による。 ミカゲ（未舗装部）　鋳鉄（歩道部）　保護鋳鉄（車道部）（・T−8　・T−14　・T−25）
	8．伸縮継手	ビニル製伸縮継手
	9．グリーストラップ	空気調和・衛生工学会規格SHASE-S 217（グリース阻集器）によるものとする。
	10．差込ソケット（VV）	排水流し下のビニル製排水管には差込（VV）ソケットを使用すること。
	11．満水試験継手	図示による。
7 給湯設備	1．管類	イ）・ステンレス鋼管（・圧縮接合　・溶接接合）・保温付ステンレス鋼管 ・耐熱塩ビライニング鋼管　・銅管　・保温付被覆銅管　・被覆断熱銅管 ・架橋ポリエチレン管またはポリブデン管（さや管工法）　・金属強化ポリエチレン管
		ロ）銅管使用の場合はM管とし、電食防止継手を取付ける。
	2．器具接続用管端防食管継手	※用いる（図5による。）
	3．弁類	JIS 5K とする。ただし、特記部分はJIS 10K とする。
	4．排気筒及び煙突	ガス湯沸器用排気筒は、JIS S 3025によるSUS304(厚さ0.3mm以上)とする。 ・排気筒の断熱（※要（隠ぺいの箇所のみ）　・不要）
	5．保温	イ）断強水槽の保温（・要　・不要） ロ）コンクリート埋設部（・防水麻布巻　・保温施工）
	6．湯沸器	・瞬間式　・貯湯式　・風呂給湯器（オートタイプ）
	7．燃料	・ガス　・灯油　・電気
8 消火設備	1．消火ポンプの基礎	・標準基礎　・防振基礎
	2．フート弁・呼水槽及びサクションカバー	・要　・不要
	3．屋内消火栓弁	※減圧弁付
	4．保温	・屋内消火管　（・要　※不要）　・屋外露出消火管　（※要　・不要）
	5．管類	・配管用炭素鋼鋼管(白)(屋内)・外面被覆鋼管（・SGP−VS・SGP−PS）
	6．消防設備士	※要
9 ガス設備	1．種類	・都市ガス（ガス種　※13A　・12A ）　・液化石油ガス
	2．管類	一般配管　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・ガス用ステンレス製フレキシブル管 ・硬質塩ビ外面被覆鋼管　・ポリエチレン被覆鋼管
		ピット内配管　・硬質塩ビ外面被覆鋼管　・ポリエチレン被覆鋼管
		屋外埋設配管　・ポリエチレン管JIS K 6774
	3．都市ガス	イ）ガスメーター　親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。
	4．液化石油ガス	イ）ガスメーター（・買取り　・借用）　ロ）集合装置（・別途工事　※本工事）
		ハ）転倒防止用の鎖（・別途工事　※本工事）
		ニ）ボンベ置場のコンクリート基礎（※別途工事　・本工事）
	5．ガス湯沸器の付属品	連動スイッチ（・要　・不要）
	6．ガス漏れ警報器	・本工事　・別途工事 ※ガス漏れ警報器工事は、住宅工事においては原則として行わない。
	7．施工資格	液化石油ガス設備士による施工とする。
	8．ガス栓	（財）日本エルピーガス機器検査協会、検査合格品とする。
	9．絶縁継手	※要　・不要
	10．建物導入部配管	・標準図（・(a)　・(b)　※(c) スリークッション）による。
10 換気設備	1．ダクトの種別	※低圧ダクト　・高圧ダクト
	2．厨房ダクトの板厚	厨房排気ダクト（矩形ダクトに限る）の板厚は、表1による
	3．ダクトの工法・種類	イ）給気用ダクト　・アングル工法　・コーナーボルト工法（・共板　・スライドオン） ・スパイラルダクト　・耐火二層管工法　・VP管工法
		ロ）排気用ダクト　・アングル工法　・コーナーボルト工法（・共板　・スライドオン） ・スパイラルダクト　・耐火二層管工法　・VP管工法 ※厨房排気は原則としてアングル工法とすること
	4．ダクトの分岐方法	イ）給気用ダクト　※割込み方式　・直付け方式
		ロ）排気用ダクト　※割込み方式　・直付け方式
	5．換気フード	※指定色仕上げ　・指定なし
	6．厨房排気フード	イ）排気フードの補強及び支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製高速の当該事項による。 ロ）材質　※ステンレス製　・亜鉛鉄板製
	7．多湿箇所の範囲	※厨房　※浴室（シール有）
	8．他の設備項目の適用	下記のものは、空気調和設備の当該項目を適用する。 イ）風量測定口　ロ）チャンバー等　ハ）吹出口及び吸込口の材質 ニ）防煙ダンパー　ホ）消音内貼り　ヘ）防振つり金物 ・床置（・標準基礎　・防振基礎）　・天吊（標準図による。）
	9．送風機の基礎	

11 排煙設備	1．ダクトの材質	・亜鉛鋼板製　・普通鋼板製
	2．排煙口	イ）形状　・スリット形　・パネル形　・ダンパー形 ロ）開放装置　・手動　・手動及び遠隔操作可能なもの
12 自動制御設備	1．中央監視制御	・要　・不要
	2．中央監視制御装置の構成・機能	別紙による。
	3．電源装置	・要（・本工事　・別途電気工事）　・不要
13 空気調和設備	1．温湿度調整目標値	（※冷・暖房期前若しくは指定日に総合運転調整を行い、試運転成績表を提出すること）

	外気			室内					
				・（　　）			・学校（一般系統）		・学校（厨房）
	温度(DB)	湿球温度(WB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿球温度(WB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏季	34.8℃	27.5℃	57.1%	℃	℃	%	28.0℃	%	25.0 ℃	80 %
冬季	1.8℃	-0.7℃	59.2%	℃	℃	%	19.0 ℃	%	℃	%

	2．電気工事の範囲	※施工区分表による。　・図面詳細による。
	3．パッケージエアコン	イ）冷媒　※HFC系（R407C、R410A、R134a、R32等）
		ロ）冷媒管（※断熱材被覆銅管（断熱厚さ：液管10mm(液管の管径9.52mm以下は厚さ8mm)、ガス管20mm）） ハ）冷媒管及びドレン管の区画処理（・有（※国土交通大臣認定工法　・その他）・無）
		ニ）ドレン管の材質　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・カラーVP ・結露防止層付塩化ビニル管　・硬質塩ビリサイクル管（RF−VP）
		ホ）室外機の基礎（・標準架台　・防振架台）
		ヘ）※2015年省エネ基準値対応品とする（各メーカ最高APF機種）
	4．配管材料（ﾊﾞﾅｰｼﾞｴｱﾝを除く）	イ）給水管　・塩ビライニング鋼管（・SGP−VB　・SGP−VA）
		ロ）冷温水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・耐熱塩ビライニング鋼管 ・一般配管用ステンレス鋼鋼管
		ハ）排水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）・硬質塩化ビニル管（VP）・カラーVP ・結露防止層付塩化ビニル管　・硬質塩ビリサイクル管（RF−VP）
		ニ）冷却水管　※塩ビライニング鋼管（※SGP−VB　・　　）
		ホ）蒸気及び油配管は配管用炭素鋼鋼管（黒）とする。
		ヘ）冷媒管（・銅管　・断熱材被覆銅管（製造者標準品））
		ト）冷媒管の区画処理（・有（※国土交通大臣認定工法　・その他）　・無）
		チ）断強管、安全管及び断強水槽より ボイラへの給水管の配管材料は、水道用亜鉛メッキ鋼管とする。
	5．冷媒	※HFC系（R407C、R410A、R134a、R32等）　・自然冷媒（CO2、NH3）
	6．弁類	JIS 5K とする。ただし特記部分はJIS 10K とする。
	7．防振継手	・ベローズ形　・合成ゴム製（・合成ゴム製　・3山ベローズ形）
		※長さは標準仕様書による。
	8．ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	・ベローズ形ステンレス製　・合成ゴム製
	9．ダクト	イ）種別（※低圧ダクト　・高圧ダクト）
		ロ）工法・種類（・アングル工法　・コーナーボルト工法（・共板　・スライドオン） ・スパイラルダクト　・ステンレスダクト）
		ハ）分岐方法（※割込み方式　・直付け方式）
	10．風量測定口	標準仕様書によるほか、取付を図示された部分に取付ける。
	11．チャンバー等	イ）シーリングディフューザーには、下記の接続チャンバーを設ける。 a）ネック径が200φ以下　400×400×250H b）ネック径が200φをこえるもの　500×500×300H
		ロ）ブリーズライン形吹出口には、下記の接続チャンバーを設ける。 a）シングル形　200×（L＋100）×300H b）ダブル形　250×（L＋100）×300H
		ハ）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー、ホッパーには排水弁を設ける。
	12．吹出口・吸込口の材質（シャッター共）	イ）ユニバーサル形吹出口　・鋼板製　※アルミ製
		ロ）シーリングディフューザー　・鋼板製　※アルミ製
		ハ）吸込口　・鋼板製　※アルミ製（外気吸込口には防虫網付とする。）
	13．防煙ダンパー	下記のものは本仕様による。
		イ）操作方式　・電気式　・空気式
		ロ）復帰方式　※遠隔式（※電気式　・空気式）　・手動式
		ハ）温度ヒューズ（・取り付ける　・取り付けない）
		ニ）表示用端子（・設ける　・設けない）
	14．煙道	鋼板厚（・4.5mm　※3.2mm）
	15．保温	下記のものは本仕様による。
		イ）建物内の空気吹き管の保温は、空気抜き弁までとし、仕様は温水管の項による。
		ロ）空気調和機・ファンコイルユニット等の排水管の保温は、給排水衛生設備の排水管の項による。
		ハ）逃り風速の保温（・要　・不要）　ニ）断強水槽の保温（・要　・不要）
		ホ）内貼りチャンバー等の保温（・要　・不要）
	16．消音内貼り	ヘ）隠ぺい風道の保温でフランジ部は保温材2枚重ねとする。
		イ）内貼りの材料及び施工法は、標準仕様書の当該事項による。
		ロ）施工箇所は、図示した風道並びにチャンバー類とする。
		ハ）内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。
	17．機器類の架台	イ）パッケージ形空気調和機（・防振パット　※木台　※転倒防止処理）
		ロ）ユニット形空気調和機（・標準架台　・防振架台）
		ハ）送風機（・標準架台　・防振架台）　ニ）ポンプ（・標準架台　・防振架台）
		ホ）冷凍機（・標準架台　・防振架台）
		ヘ）チラーユニット（・標準架台　・防振架台）
	18．機械室(配管・風道)のつり金物	・防振つり金物（・シングル　・ダブル）（・中央機械室　・各階機械室）
	19．温度計	※標準仕様書による。
	20．圧力計及び連成計	※標準仕様書による。
	21．瞬間流量計	※要（※標準仕様書による。　・図示による。）　・不要
	22．ファンコイルユニット用調節弁	・流量調節弁　・定流量弁（流量設定が可能なもの）
	23．油サービスタンク	イ）防油堤（コンクリート製）　※別途工事　・本工事
		ロ）フロートスイッチの機能は、下記による。
		・給油ポンプの起動、停止　・満油警報　・減油警報
		ハ）油面計（・フロート式　・ゲージ式）
	24．地下貯油槽	イ）タンク室　・設けない　・設ける（・別途工事　・本工事）
		ロ）計量器（・計量尺　・直読式（防水直スプリング付、プロテクター共）　・遠隔式）
		ハ）土工事　・オープンカット　・矢板（・有　・無）　・特殊基礎（・有　・無）
	25．予備品	※ファンコイルユニット付属品　イ）運転表示ランプ　台数の1/2以上 ロ）フィルター　各型番台数の1/2以上
		※自動巻取形空気清浄用フィルター（各台1巻）
		※ユニット形空気清浄器　　個
	26．アワーメーター	※要（指定機器）　・不要
	27．度数計	※要（指定機器）　・不要
	28．保温蓋皮計	・設ける
	29．ばいじん量測定孔	・設ける（煙道の直線部に直径80φ以上のフランジ付とする。）　・設けない

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町5番15号
TEL：092−263−7848
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号
赤松　悟　一級建築士登録　第298543号

縮尺（A3）		工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項	図面番号
年月日	2026.9	図面名称	特記仕様書（機械設備）		M1

衛生設備　凡例

	名　称	器　具 メーカー	器　具 品　番	設置箇所	数量	備　考
1	大便器	ＴＯＴＯ	ＣＳ２３２Ｂ＃ＮＷ１， ＳＨ２３３ＢＡ＃ＮＷ１，ＴＣＦ６５５３ＡＫ	釜屋、離れ座敷	3	床置壁排水、手洗付密結タンク、ウォシュレット
2	小便器	〃	ＵＦＨ５００＃ＮＷ１，ＴＥＡ６２ＤＳ，Ｔ９Ｒ	釜屋、離れ座敷	2	壁掛壁排水、自動フラッシュバルブ
3	Ｌ型手すり	〃	Ｔ１１２ＣＬ９＃ＳＣ１	釜屋、離れ座敷	3	
4	はね上げ手すり	〃	Ｔ１１２ＨＫ７Ｒ＃ＮＷ１	釜屋	1	
5	手洗器１		カウンター	釜屋	1	洗面器（LS721C#NW1・水栓：TLG04302JA ﾀｵﾙ掛:YT903S4）
6	手洗器２		カウンター	離れ座敷	1	洗面器（LS721C#NW1・水栓：TLG04302JA ﾀｵﾙ掛:YT903S4）
7	台所シンク		システムキッチン３口ＩＨヒーター	釜屋	1	間口２１００mm・扉３Ａ／３Ｂ
8	ユニットバス （ハーフ）	ＴＯＴＯ	ＰＹＳ１４０２	釜屋	1	ホワイト、エプロン二方半、タイル貼り サーモスタット混合水栓　ＴＢＶ０３４２１Ｊ
9	エコキュート	三菱	ＳＲＴ－Ｓ５５５	釜屋	1	５５０Ｌ

浴室排水ユニット（網引きトラップ）　EWB６２２SR

※その他必要なものは本工事に含む。

	図記号	名　称	器　具 メーカー	器　具 品　番	設置箇所	数量	備　考
1	ＥＦ－１	換気扇(壁取付)	三菱	Ｖ－１２ＰＳ８	トイレ、脱衣室	6	
2	ＥＦ－２	換気扇(天井埋込)	〃	Ｖ－１４１ＢＺ５	風呂	1	
3	ＥＦ－３	ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞﾌｧﾝ	〃	Ｖ－６０２Ｋ９－Ｍ	台所	1	
4							
5							
6							
7							

※その他必要なものは本工事に含む。

配　管　凡　例

名	称記号	管　材	ＪＩＳ記号
給　水　管	——— -- ———	屋外埋設　－　耐衝撃性硬質塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）	JIS　K　6742
		屋内一般　－　水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（ＶＢ）	JWWA　K　116
汚水排水管	———(———	屋内一般　－　硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	JIS　K　6741
		屋外埋設　－　硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	JIS　K　6741
雑排水管	———————	屋内一般　－　硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	JIS　K　6741
		屋外埋設　－　硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	JIS　K　6741
給湯配管	———————	給湯配管　-架橋ポリエチレン管	JIS　K　6741
		屋外埋設-硬質ポリ塩化ビニールＨＴＶＰ	JIS　K　6741
	----------		JIS　K　6741
屋外排水管	———————	屋外埋設　－　硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	JIS　K　6741

保温一覧表

管　種　別	施　工　箇　所	保温・塗装の材料及び施工順序
給　水　管	隠蔽部	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温筒+ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ
排　水　管	隠蔽部	アルミ箔付ＧＷ帯(24K)+亀甲金網巻

特　記　事　項

1	残土は場外搬出処分とする。
2	発生材は全て場外搬出処分とし，処分については関連法規を遵守し適切に処理する。
3	屋外部分に使用する支持金物･部材等は，ｽﾃﾝﾚｽ製(SUS304)とする。

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（Ａ３）	
年月日	２０２６.９
工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
図面名称	衛生設備・換気設備凡例
特記事項	
図面番号	Ｍ２－１

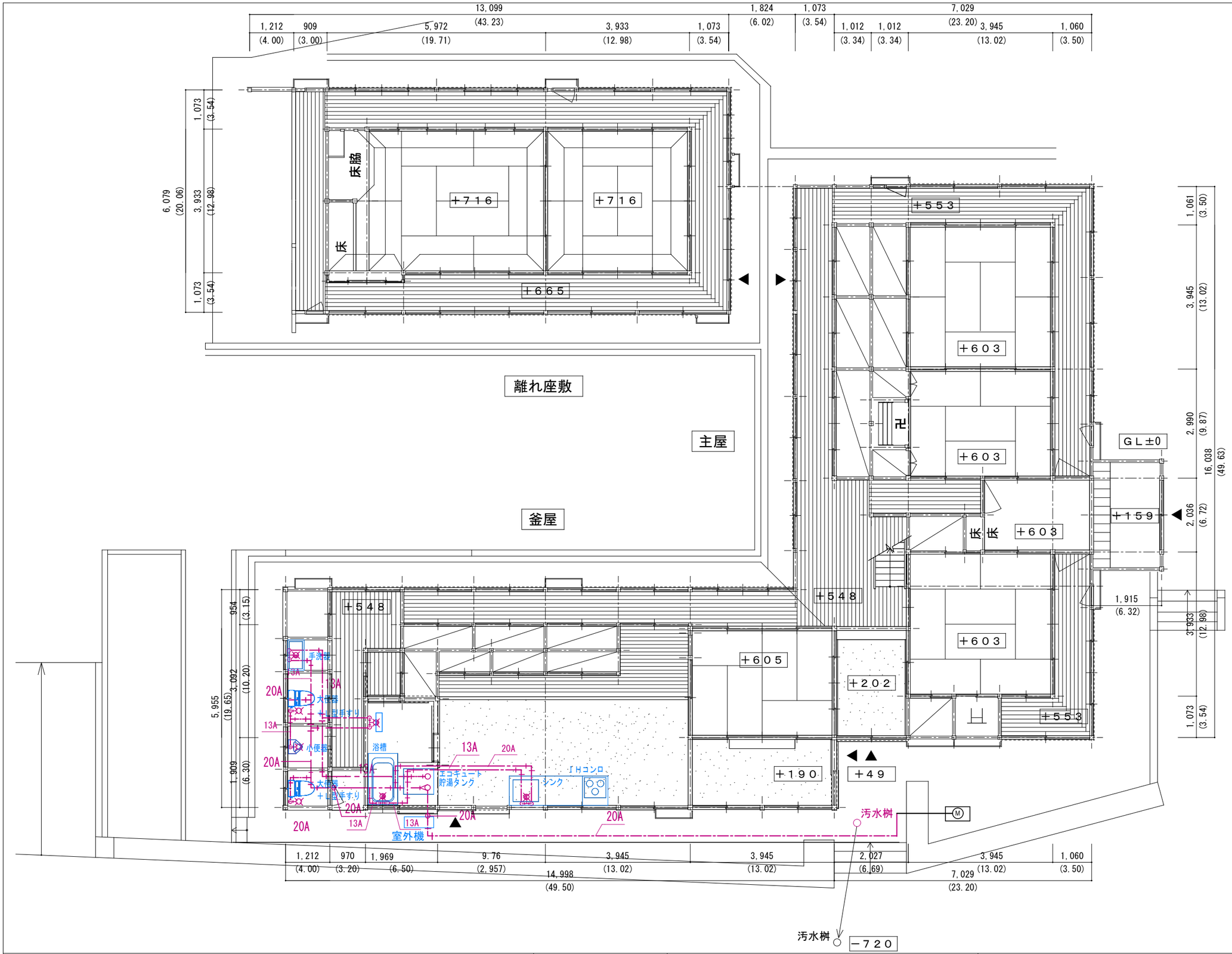
空調設備機器表

機器番号	機器名称	性能・仕様	電気仕様		数量	階	設置場所及び系統	備　考
			電　源	容量(kw)				
								省エネ適合品
ＡＣ 1	空冷ヒートポンプ式	屋内機　壁掛形	１φ２００Ｖ	１．７２kw	２	１		手元リモコン（１）
18	ルームエアコン	定格冷房能力：5.6kw　定格暖房能力：6.7kw		（１．７８kw）				室外機架台工事〔本工事〕
		圧縮機　：　1.10kw						
		室外機重量：45.0kg　　室内機重量：12.0kg〔参考値〕						
		付属品　ワイヤレスリモコン,転倒防止金具,縁石基礎,防振ゴムパッド,						
		その他付属品一式						
								省エネ適合品
ＡＣ 2	空冷ヒートポンプ式	屋内機　壁掛形	１φ１００Ｖ	０．８２５kw	３	１		手元リモコン（１）
	ルームエアコン	定格冷房能力：3.6kw　定格暖房能力：4.2kw		（１．０２kw）				室外機架台工事〔本工事〕
		圧縮機　：　1.10kw						
		室外機重量：42.0kg　　室内機重量：12.5kg〔参考値〕						
		付属品　ワイヤレスリモコン,転倒防止金具,縁石基礎,防振ゴムパッド,						
		その他付属品一式						
								省エネ適合品
ＡＣ 3	空冷ヒートポンプ式	屋内機　壁掛形	１φ１００Ｖ	０．５８kw	５	１		手元リモコン（１）
	ルームエアコン	定格冷房能力：2.8kw　定格暖房能力：3.6kw		（０．７２kw）				室外機架台工事〔本工事〕
		圧縮機　：　1.10kw						
		室外機重量：42.0kg　　室内機重量：12.5kg〔参考値〕						
		付属品　ワイヤレスリモコン,転倒防止金具,縁石基礎,防振ゴムパッド,						
		その他付属品一式						

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所
福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号
ＴＥＬ：０９２－２６３－７８４８
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１－１２６３６号
赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号

縮尺（A3）	１：１００
年月日	２０２６.９
工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
図面名称	空調設備凡例
特記事項	
図面番号	Ｍ２－２

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度



N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第1−12636号	赤松　悟　一級建築士登録　第298543号	年月日	2026.9	図面名称	給水設備平面図

特記事項

図面番号 M３

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

桝　　表〔汚水桝〕

記号	名称	サイズ（本管/蓋径）	管底深さ（GL−OO）	蓋	備考
①	小口径インバート桝	１００／１５０	３００	樹脂製蓋(防臭)φ１５０	９０°曲り
②	小口径インバート桝	１００／１５０	３２０	樹脂製蓋(防臭)φ１５０	９０°合流（３ｃｍ段差付）
③	小口径インバート桝	１００／１５０	３４０	樹脂製蓋(防臭)φ１５０	９０°合流
④	小口径インバート桝	１００／１５０	３６０	鋳鉄製防護蓋φ１５０	９０°曲り
⑤	小口径インバート桝	１００／１５０	３８０	鋳鉄製防護蓋φ１５０	９０°曲り
⑥	小口径インバート桝	１００／１５０	５４０	鋳鉄製防護蓋φ１５０	９０°曲り
⑦	小口径インバート桝	１００／１５０	５６０	鋳鉄製防護蓋φ１５０	９０°曲り
⑧	小口径インバート桝	１００／１５０	５８０	樹脂製蓋(防臭)φ１５０	９０°合流
⑨	小口径インバート桝	１００／１５０	６２０	樹脂製蓋(防臭)φ１５０	９０°曲り
⑩	小口径インバート桝	１００／１５０	６４０	樹脂製蓋(防臭)φ１５０	９０°曲り
⑪	小口径インバート桝	１００／１５０	６６０	樹脂製蓋(防臭)φ１５０	９０°合流
⑫	小口径インバート桝	１００／１５０	６８０	樹脂製蓋(防臭)φ１５０	９０°合流
⑬	小口径インバート桝	１００／１５０	７２０	樹脂製蓋(防臭)φ１５０	９０°合流

注記
- 桝の深さは建物廻り設計ＧＬより管底までの寸法を示し参考値とする。
- 小口径桝の立上りは、塩化ビニル管（ＶＵ）とする。

離れ座敷　主屋　釜屋　前面道路

パイプ切断後キャップ止め　100A　40A　75A　65A　50A　手洗器　大便器＋L型手すり　小便器　浴槽　エコキュート貯湯タンク　シンク　ＩＨコンロ　室外機　汚水桝　汚水桝

＋７１６　＋７１６　＋６６５　＋５５３　＋６０３　＋６０３　＋６０３　＋１５９　＋５４８　＋５４８　＋６０５　＋２０２　＋５５３　＋１５９　＋１９０　＋４９　－７２０　ＧＬ±0　床脇　床　床　床　卍

13,099 (43.23)　1,824 (6.02)　1,073 (3.54)　7,029 (23.20)
1,212 (4.00)　909 (3.00)　5,972 (19.71)　3,933 (12.98)　1,073 (3.54)　1,012 (3.34)　1,012 (3.34)　3,945 (13.02)　1,060 (3.50)
6,079 (20.06)　1,073 (3.54)　3,933 (12.98)　1,073 (3.54)
954 (3.15)　3,092 (10.20)　1,909 (6.30)　5,955 (19.66)　1,915 (6.32)
1,212 (4.00)　970 (3.20)　1,969 (6.50)　9.76 (2.957)　14,998 (49.50)　3,945 (13.02)　3,945 (13.02)　2,027 (6.69)　7,029 (23.20)　3,945 (13.02)　1,060 (3.50)

N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項
						図面番号 M４
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１−１２６３６号	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６.９	図面名称	排水設備平面図	

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度

離れ座敷
主屋
釜屋
２段積み
金具
床脇
床
ふかし壁
床下
配管
室外機(ﾌﾞﾛｯｸ付)
スパイラルダクト１００mm
レンジフード
E F－1
E F－2
E F－3
R(SUSﾌｯｷﾝｸﾞ)
25A
R
D25A
露出
RC
ET
AC 1
AC 2
AC 3
前面道路

エアコンスリーブ１００Φ（樹脂製キャップ付）

N

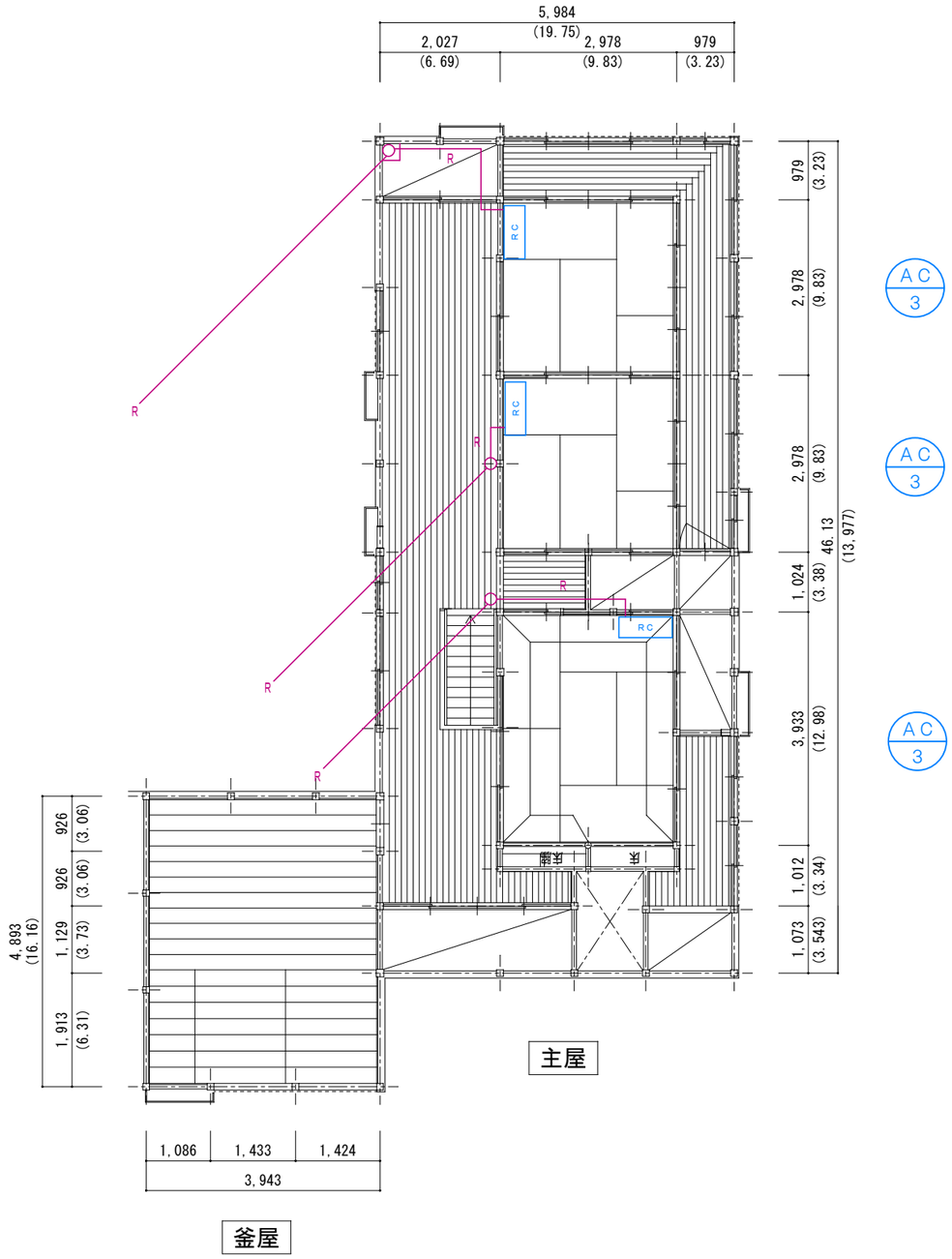
単位：mm（R）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092－263－7848	縮尺（A3）	1：100	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1－12636号	赤松 悟 一級建築士登録 第298543号	年月日	2026.9	図面名称	空調換気設備１階平面図

特記事項

図面番号 M５－１

工事年度凡例
- 一：令和８年度
- 一：令和９年度
- 一：令和１０年度



N

単位：mm（尺）

都市環境研究所九州事務所 一級建築士事務所	福岡県福岡市博多区綱場町５番１５号 TEL：092−263−7848	縮尺（A3）	１：１００	工事名称	旧小西家住宅保存修理工事	特記事項
一級建築士事務所　福岡県知事登録　第１−１２６３６号	赤松　悟　一級建築士登録　第２９８５４３号	年月日	２０２６.９	図面名称	空調換気設備２階平面図	図面番号 M５−２